

埼玉県熊谷市教育委員会埋蔵文化財調査報告書 第22集

樋の上遺跡Ⅱ

— 幹線第3号線道路改良事業地内遺跡発掘調査報告書 —

2016

埼玉県熊谷市教育委員会

埼玉県熊谷市教育委員会埋蔵文化財調査報告書 第22集

ひ
樋 の うえ い せき
上 遺 跡 II

— 幹線第3号線道路改良事業地内遺跡発掘調査報告書 —

2016

埼玉県熊谷市教育委員会

序

私たちの郷土熊谷は、原始・古代の集落跡等の埋蔵文化財が数多く分布することで知られています。こうした埋蔵文化財は、郷土の発展やその過程を物語る証であるとともに、私たちの子孫の繁栄の指標ともなる先人の貴重な足跡であります。

しかしながら、近年においては、多くの開発行為に伴い、我々の郷土の景観は日々変化しております。このような現状の中で、失われつつある文化財を保護し、それらを次世代に伝えていくことは我々の大きな課題であり、責務であることと考えます。

さて、樋の上遺跡は、熊谷市三ヶ尻地内に所在する古代の遺跡であります。また、過去における発掘調査等により、付近一帯には古代の集落が分布していることが確認されております。

この度、この遺跡の一部に、かねてからの計画として熊谷市幹線第3号線の開発計画がございました。熊谷市教育委員会では、遺跡の保護と保存について担当部署と協議を重ねてまいりましたが、事業計画の変更が困難なことから、熊谷教育委員会で記録保存のための措置を講ずることとなりました。

本書は、平成27年4月23日から8月9日、及び11月29日から12月26日にかけて実施された記録保存のための発掘調査の成果をまとめたものでございます。今回の調査によって、本遺跡における集落の状況が徐々に明らかになってきました。

本書が埋蔵文化財の保護、学術研究の基礎資料として、また埋蔵文化財の普及・啓発として広く活用されることとなれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書刊行に至るまで、文化財保護法の趣旨を御理解、御協力を賜りました隣接する田畑の地権者各位、並びに地元関係者各位に厚く御礼申し上げます。










平成28年3月

熊谷市教育委員会
教育長 野原 晃

例 言

- 1 本書は、埼玉県熊谷市三ヶ尻字樋上2083番2ほかに所在する樋の上遺跡（埼玉県遺跡番号59-18）の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査届出に対する埼玉県教育委員会からの指示通知は、平成26年1月8日付教生文第5-1358号である。
- 3 本調査は、分譲住宅建設に伴う事前の記録保存のための発掘調査であり、熊谷教育委員会が実施した。
- 4 本事業の組織は、I章のとおりである。
- 5 発掘調査期間は、第1次が平成26年4月23日から平成26年8月9日、第2次が平成26年11月29日から12月26日である。
また整理・報告書作成期間は、平成27年5月1日から平成28年3月25日までである。
- 6 発掘調査は第1次を腰塚博隆が行い、吉野健がその補佐をした。第2次は吉野が行った。
本書の執筆・編集は熊谷市立江南文化財センター内作業員の協力をもとに腰塚博隆が行い、吉野健がその補佐をした。
- 7 写真撮影は、発掘調査は吉野、腰塚が行い、遺物は吉野が行った。
- 8 遺跡内における地質調査については、清水康守、小川政之、駒井潔、武藤博士の方々の御教示をいただき、その結果について寄稿いただいた。
- 9 出土遺物は、熊谷市教育委員会で保管している。
- 10 本書の作成にあたり多くの方々から御教示、御協力を賜った。記して感謝いたします。
(敬称略 五十音順)
小川政之（日本第四紀会会員）、清水康守（熊谷市史編さん特別調査員）、菅谷浩之（熊谷市文化財保護審議会会長）、駒井 潔（埼玉県立和光高等学校）、武藤博士（化石研究会会員）、埼玉県教育
局生涯学習文化財課

凡 例

- 本文中、遺構の表記記号は、次のとおりである。
S I……住居跡、S B……掘立柱建物、NR……河川跡、S D……溝跡、S K……土坑、
P……ピット、S X……性格不明遺構
- 遺構図面中のトーン・表記記号は、次のとおりである。
焼土、炭化物覆土…、礫層及び礫…
S…川原石 ×…遺物
- 遺構挿図の縮尺は、次のとおりである。
遺構全測図…1/1000、調査区遺構図…1/160、住居跡・掘立柱建物跡・河川跡・溝跡・
土坑・火葬跡・ピット・性格不明遺構…1/60
- 遺構土層断面図及びエレベーション図のポイントの標高は、原則として同一図版、同一遺構の標高は統一し、Aポイントに表記した。なお、例外的に標高差が大きい場合は、統一せずその都度表記してある。
- 遺物実測図の縮尺は、1/4である。ただし、一部に限り1/2及び1/3である。
- 遺物実測図の中で、中心線はすべて実線で示し、遺物観察表にできる限り残存率で示した。また、土師器の断面は白抜き、須恵器の断面は黒塗りで示した。なお、須恵系土師質土器（酸化焰硝性土器）は表記を土師質土器とし、白抜きで示した。陶磁器のうち釉薬があるものは、を、ススが付着については で示した。墨書については で示した。
また底部調整は、回転糸切りが「」、回転ヘラケズリは「」で示した。
- 遺物である礫のうち、敲打痕があるものは、「」がその範囲を、擦り痕があるものは「」でその範囲を示した。
- 挿図中の遺物番号は、遺物実測図及び遺物観察表の番号と一致している。
- 遺物観察表の凡例は、次のとおりである。
法量の単位は、cmである。また、推定値は括弧付けで示した。
胎土は、土器に含まれる含有鉱物を以下の記号で示した。
A…白色粒子、B…黒色粒子、C…赤色粒子、D…褐色粒子、E…赤褐色粒子、F…白色針状物質、
G…長石、H…石英、I…白雲母、J…黒雲母、K…角閃石、L…片岩、M…砂状、N…礫
色調は、『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修2010年版）に照らし最も近似した色相を示した。

目 次

序	I
例 言	II
凡 例	III
目 次	IV
挿図目次	V
表 目 次	VI
図版目次	VII
I 発掘調査の概要	1
1 調査に至る経過	1
2 発掘調査・報告書作成の経過	1
3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織	2
II 遺跡の立地と環境	3
III 遺跡の概要	6
1 樋の上遺跡について	6
2 調査の方法	13
3 検出された遺構と遺物	13
IV 遺構と遺物	
1 住居跡	19
2 掘立柱建物跡	52
3 河川跡	61
4 溝跡	62
5 火葬跡	73
6 土坑	76
7 ピット	87
8 性格不明遺構	109
9 遺構外出土遺物	116
V 調査のまとめ	121
附編 樋の上遺跡の地形と地質	124

挿 図 目 次

- | | | | |
|------|----------------------|------|-----------------------------|
| 第1図 | 埼玉県の地形図 | 第36図 | 第13号住居跡・出土遺物 (E区) |
| 第2図 | 第3図掲載遺跡一覧 | 第37図 | 第14・15号住居跡 (F区) |
| 第3図 | 周辺遺跡分布図 | 第38図 | 第14号住居跡出土遺物 (F区) |
| 第4図 | 樋の上遺跡位置図 | 第39図 | 第16号住居跡・出土遺物 (F区) |
| 第5図 | 樋の上遺跡全測図 | 第40図 | 第1号掘立柱建物跡 (1) (D区) |
| 第6図 | A区全測図 | 第41図 | 第1号掘立柱建物跡 (2)・出土遺物 (D区) |
| 第7図 | B、D区全測図 | 第42図 | 第2号掘立柱建物跡 (E区) |
| 第8図 | C区全測図 | 第43図 | 第3・4号掘立柱建物跡 (F区) |
| 第9図 | E区全測図 | 第44図 | 第5号掘立柱建物跡 (F区) |
| 第10図 | F区全測図 | 第45図 | 第6・7号掘立柱建物跡 (F区) |
| 第11図 | 第1号住居跡 (A区) | 第46図 | 第8号掘立柱建物跡 (F区) |
| 第12図 | 第1号住居跡出土遺物 (A区) | 第47図 | 第1号河川跡 (C区) |
| 第13図 | 第2号住居跡 (A区) | 第48図 | 第1・2号溝跡・第2号溝跡出土遺物 (A区) |
| 第14図 | 第2号住居跡出土遺物 (A区) | 第49図 | 第3・4号溝跡 (B区) |
| 第15図 | 第3号住居跡 (B区) | 第50図 | 第3号溝跡出土遺物 (B区) |
| 第16図 | 第3号住居跡出土遺物 (B区) | 第51図 | 第5号溝跡 (C区) |
| 第17図 | 第4号住居跡 (B区) | 第52図 | 第6・7号溝跡 (D区) |
| 第18図 | 第4号住居跡出土遺物 (1) (B区) | 第53図 | 第6号溝跡出土遺物 (D区) |
| 第19図 | 第4号住居跡出土遺物 (2) (B区) | 第54図 | 第8～10号溝跡 (F区) |
| 第20図 | 第5号住居跡 (C区) | 第55図 | 第10号溝跡出土遺物 (1) (F区) |
| 第21図 | 第5号住居跡出土遺物 (C区) | 第56図 | 第10号溝跡出土遺物 (2) (F区) |
| 第22図 | 第6号住居跡 (C区) | 第57図 | 第1・2号火葬跡 (C・D区) |
| 第23図 | 第7号住居跡 (C区) | 第58図 | 第1・2号火葬跡出土遺物 (C・D区) |
| 第24図 | 第7号住居跡出土遺物 (1) (C区) | 第59図 | 第1～11号土坑 (A区) |
| 第25図 | 第7号住居跡出土遺物 (2) (C区) | 第60図 | 第12～22号土坑 (B区) |
| 第26図 | 第7号住居跡出土遺物 (3) (C区) | 第61図 | 第23～30号土坑・第29号土坑出土遺物 (C区) |
| 第27図 | 第8号住居跡 (D区) | 第62図 | 第31～38号土坑 (D区) |
| 第28図 | 第8号住居跡出土遺物 (D区) | 第63図 | 第39・40号土坑 (E区) |
| 第29図 | 第9号住居跡出土遺物 (D区) | 第64図 | 第41～51号土坑 (F区) |
| 第30図 | 第10号住居跡 (E区) | 第65図 | 第52～61号土坑 (F区) |
| 第31図 | 第10号住居跡出土遺物 (1) (E区) | 第66図 | 第2・4・10・11号土坑出土遺物 (A区) |
| 第32図 | 第10号住居跡出土遺物 (2) (E区) | 第67図 | 第12・14～18号土坑出土遺物 (B区) |
| 第33図 | 第11号住居跡 (E区) | 第68図 | 第34・35・38号土坑出土遺物 (D区) |
| 第34図 | 第11号住居跡出土遺物 (E区) | 第69図 | 第42・44・46～48・57号土坑出土遺物 (F区) |
| 第35図 | 第12号住居跡 (E区) | 第70図 | 第1～24号ピット (A区) |

第71図	第25～54号ピット (A区)	第87図	第3～5号性格不明遺構 (B区)
第72図	第55～68号ピット (A区)	第88図	第6～8号性格不明遺構 (C区)
第73図	第69～93号ピット (B区)	第89図	第9・10号性格不明遺構 (D区)
第74図	第94～108号ピット (B区)	第90図	第11・12号性格不明遺構 (E区)
第75図	第109～111・113～135号ピット (C区)	第91図	第13・14号性格不明遺構 (F区)
第76図	第112・136～152号ピット (C区)	第92図	性格不明遺構出土遺物 (A～D区)
第77図	第153～183号ピット (D区)	第93図	性格不明遺構出土遺物 (E区)
第78図	第184～199号ピット (D区)	第94図	性格不明遺構出土遺物 (E・F区)
第79図	第200～209号ピット (E区)	第95図	遺構外出土遺物 (A～C区)
第80図	第210～227号ピット (F区)	第96図	遺構外出土遺物 (D～F区)
第81図	第228～247号ピット (F区)	第97図	遺構外出土遺物 (試掘トレンチ)
第82図	第248～270号ピット (F区)	第98図	周辺の地形区分図及び遺跡位置図
第83図	第271～290号ピット (F区)	第99図	模式地質断面図
第84図	ピット出土遺物 (A・B区)	第100図	地質柱状図
第85図	ピット出土遺物 (B・C・D区)	第101図	火山灰分析
第86図	第1・2号性格不明遺構 (A区)	第102図	岩片組成図

表 目 次

第1表	第1号住居跡出土遺物観察表 (A区)	第14表	第1号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (D区)
第2表	第2号住居跡出土遺物観察表 (A区)	第15表	第2号溝跡出土遺物観察表 (A区)
第3表	第3号住居跡出土遺物観察表 (B区)	第16表	第3号溝跡出土遺物観察表 (B区)
第4表	第4号住居跡出土遺物観察表 (B区)	第17表	第6号溝跡出土遺物観察表 (D区)
第5表	第5号住居跡出土遺物観察表 (C区)	第18表	第10号溝跡出土遺物観察表 (F区)
第6表	第7号住居跡出土遺物観察表 (C区)	第19表	第1・2号火葬跡出土遺物観察表 (C・D区)
第7表	第8号住居跡出土遺物観察表 (D区)	第20表	土坑一覧表
第8表	第9号住居跡出土遺物観察表 (D区)	第21表	土坑出土遺物観察表
第9表	第10号住居跡出土遺物観察表 (D区)	第22表	ピット一覧表
第10表	第11号住居跡出土遺物観察表 (E区)	第23表	ピット出土遺物観察表
第11表	第13号住居跡出土遺物観察表 (E区)	第24表	性格不明遺構一覧表
第12表	第14号住居跡出土遺物観察表 (F区)	第25表	性格不明遺構出土遺物観察表
第13表	第16号住居跡出土遺物観察表 (F区)	第26表	遺構外出土遺物観察表

図 版 目 次

<p>図版 1 A区調査区全景（東から） 第1号住居跡（南から） 第2号住居跡検出遺物（南から） 第2号住居跡（南から） B区調査区全景（西から）</p>	
<p>図版 2 第3号住居跡（西から） 第4号住居跡検出遺物（西から） 第4号住居跡検出遺物（西から） 第4号住居跡（南から） Q-7グリッド付近（南から） P-8グリッド付近（南から）</p>	<p>火葬跡02（南から） 火葬跡02 遺物検出状況 火葬跡02 遺物検出状況</p>
<p>図版 3 C区調査区全景（東から） 第1号河川跡土層断面（北東から） 第1号河川跡（北から） 第5号住居跡（西から） 第5号住居跡 カマド土層 第5号住居跡出土遺物 火葬跡01土層断面（北から）</p>	<p>図版 7 第10.11号住居跡（南から） 第11号住居跡 カマド土層断面 第11号住居跡 カマド検出遺物 第11号住居跡 カマド状況 第12号住居跡（北から） F-21グリッド付近（南から） 第13号住居跡（南から）</p>
<p>図版 4 第6号住居跡（南から） 第24.25号土坑（北から） 第7号住居跡 カマド土層断面 火葬跡01（北から） 第7号住居跡（南から） M-13グリッド付近（南から） N-11グリッド付近（南から）</p>	<p>図版 8 F区調査区全景（東から） 第16号住居跡（東から） 第9号溝跡（南から） 第10号溝跡（南から） 第14号住居跡（東から） 第15号住居跡（南から）</p>
<p>図版 5 D区調査区全景（西から） 第6号溝跡・第1号掘立柱建物跡 土層断面 第1号掘立柱建物跡（南から） 第6号溝跡（南から） SB01ーピット土層断面 SB01ーピット（南から）</p>	<p>図版 9 第6.7.8号掘立柱建物跡（北から） 第46.47号土坑（北から） 第5号掘立柱建物跡（北から） 第48号土坑（北から） 第59.60号土坑（北から） 三ヶ尻地域の治水地形分類図</p>
<p>図版 6 第8号住居跡（南から） 第8号住居跡検出遺物 第9号住居跡（南から） 第9号住居跡検出遺物</p>	<p>図版 10 第12図-1.2.3.4.5 第12図-7.8.9.11 第12図-9 第12図-10 第12図-6 第12図-12 第14図-1 第14図-2</p>
	<p>図版 11 第14図-3 第14図-4 第14図-5.6.7 第14図-9 第16図-1</p>

- 第16图-3
第16图-5
第16图-6
图版12 第18图-1
第18图-2. 3. 4. 6. 7. 9. 10. 11
第18图-14. 15. 16
第18图-5
第18图-8
第18图-17
第19图-20
第19图-21. 22. 23. 24
第19图-26. 25
图版13 第21图-3
第21图-12
第21图-1. 2. 14
第24图-13
第21图-4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11
第24图-2
第24图-6
第24图-7
第24图-22
第24图-1. 3. 4. 5. 8. 9. 10
图版14 第24图-11~21
第24图-26. 27. 28. 29. 30. 32
第25图-35. 36. 37
第24图-23. 24. 25
第25图-35~58
第26图-59~64
第25图-29 (内面: 压痕)
第28图-1
第28图-3
第28图-9
第28图-10
图版15 第28图-11
第28图-12
第28图-13
第28图-14
第28图-15
第28图-4~9
第28图-16. 17. 18
第29图-1. 2. 3
第31图-3
图版16 第31图-4
第31图-5
第31图-6
第31图-8
第31图-14
第31图-18
第31图-19
第31图-22
第31图-23
第31-7. 9. 10~13. 15~17. 20. 21
图版17 第31图-24
第31图-25
第32图-40
第31图-26
第32图-34. 35
第32图-41. 42. 43
第34图-2
第34图-6
图版18 第34图-7
第34图-8
第34图-11
第34图-1. 3. 4. 5. 9. 10. 12. 20
第34图14. 15. 17. 18
第34图-13. 21. 22
第36图-1~5
第36图-6
图版19 第38图-2
第38图-4
第38图-6
第38图-1. 5. 7
第41图-P 4-1
第41图-P 2-2

	第41图-P 2-1. 3、 P 8-1		第56图-42~46
	第41图-P 1-1、 P 2-5	图版22	第58图-1-2
	第50图-2		第58图-2-7
	第50图-7		第58图-2-2. 3. 5. 6. 11
图版20	第50图-12		第58图-2-10
	第50图-3~6. 8. 9. 13. 14		第68图-16-3
	第53图-1. 2. 3. 4		第67图-16-4
	第53图9. 10. 12~15		第68图-38-1
	第53图-16. 21		第68图-38-2
	第53图-17. 18. 19. 20		第69图-46-3
	第55图-1		第69图-48-1
	第55图-2	图版23	第69图-48-2
图版21	第55图-4		第67图-12-1. 14-1. 15-1. 16-1. 2. 5. 6. 18-1
	第55图-11		第68. 67图-38-3. 14-2
	第55图-24		第85图-100-1
	第55图25		第85图-100-4
	第55图-26		第85图-186-1
	第55图-3. 5~10		第85图-186-2
	第55图-12~23		第85图98-1
	第55. 56图-30. 32. 38. 39		第84. 85图-75-1. 77-1. 2. 3. 88-1. 96-1. 97-2
	第56图-41		第84图-69-1. 89-1. 76-1

I 発掘調査の概要

1 調査に至る経過

平成25年11月27日付けで、熊谷市長から埼玉県教育委員会あてに、文化財保護法第94条第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘の届出があった。開発の内容は面積2,356㎡の現況道路を拡幅する改良事業であった。

熊谷市教育委員会は届出を受けて、平成25年12月4～6日に試掘調査を実施した。その結果、現地表面下50cm前後で奈良～平安時代の土師器・須恵器片及び住居跡が検出され、埋蔵文化財の所在が確認された。

その後、埋蔵文化財の所在が確認された旨を熊谷市担当部署に回答するとともに、その保存に関する協議を重ねたが、工事は保護層が設けられない工法で行うものであり、計画の変更は不可能であると判断されたため、記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は、2次に分けて行われ、第1次については熊谷市教育委員会から、平成26年4月21日付熊教社埋第26号で、文化財保護法第99条第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘調査の届出が提出され、平成26年4月23日から開始された。第2次については熊谷市教育委員会から、平成26年10月30日付熊教社埋第366号で、文化財保護法第99条第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘調査の届出が提出され、平成26年11月19日から開始された。

なお、埼玉県教育委員会から、熊谷市長へ平成26年1月8日付教生文第5-1358号で発掘調査実施の指示通知があった。

発掘調査終了後、平成27年5月1日から遺物整理および報告書刊行作業を開始した。

2 発掘調査・報告書作成の経過

(1) 発掘調査

発掘調査は、第1次は平成26年4月23日から平成26年8月9日、第2次は平成26年11月19日から平成26年12月26日にかけて行われた。調査面積は、2,356㎡であった。

第1次は平成26年4月23日に遺構確認面まで重機による表土剥ぎを行い、5月1日から遺構精査作業を行った。その際、住居跡、溝跡、多数の土坑、ピットなどが確認され、順次遺構の調査に着手した。調査箇所は農地だった箇所を道路拡張のため工事するもので、東西に長いことから各々の調査区をA・B・C・D・E区と呼称し行った。大部分の遺構は検出が比較的容易であったが、調査区うちC区では、隣接地で農地の耕作による影響、6月から7月にはゲリラ豪雨や夕立による現場復旧により苦戦を要した。

第2次は平成26年11月19日に遺構確認面まで重機による表土剥ぎを行い、11月27日から遺構精査作業を行った。その際、住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、多数の土坑、ピットなどが確認され、順次遺構の調査に着手した。当該調査区をF区と呼称し行った。

平成26年12月26日、調査のすべてを終了した。

(2) 整理・報告書作成作業

整理作業は、平成27年5月1日から始めた。遺物の洗浄・注記・復元を行った。9月までに順次、遺物の実測、拓本取りを行った。10月からは遺構の図面整理作業を行い、遺構・遺物図面のトレース、遺構・遺物の図版組を行い、2月下旬には、原稿執筆、割付等の作業をして、報告書の印刷に入り、校正を行った後、3月25日に本報告書を刊行した。

3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織

主体者 熊谷市教育委員会

(1) 発掘調査

平成26年度

教育長	野原 晃
教育次長	米澤ひろみ
社会教育課長	岩上 精純
社会教育課副参事	森田 安彦
社会教育課副課長兼文化財保護係長	吉野 健
主査	松田 哲
主査	杉浦 朗子
主査	小島 洋一
主任	蔵持 俊輔
主任	山下 祐樹
主任	腰塚 博隆

(2) 整理・報告書作成

平成27年度

教育長	野原 晃
教育次長	米澤ひろみ
社会教育課長	岩上 精純
社会教育課副参事	森田 安彦
社会教育課副課長兼文化財保護係長	吉野 健
主査	松田 哲
主査	小島 洋一
主査	蔵持 俊輔
主任	山下 祐樹
主任	腰塚 博隆
主任	金子 正之

Ⅱ 遺跡の立地と環境

樋の上遺跡は、熊谷市に所在し、J R高崎線籠原駅の南約1.4km、荒川から北へ約3.8km、利根川から南へ約10.0kmに位置する。

樋の上遺跡の所在する三ヶ尻地区は、熊谷市の中央西部にあたり、櫛挽台地の北端及びその北と北東に展開する妻沼低地、うち一部が新荒川扇状地上にある。櫛挽台地は寄居町末野付近を扇頂に、荒川の両岸に広がる洪積扇状地である荒川扇状地のうち、荒川左岸側が浸食されてできたものである。そして、妻沼低地は、利根川及びその支流により形成された沖積地であり、熊谷市の大半を覆っている洪積扇状地の新荒川扇状地（市西部）と自然堤防が広がる地区に分けられる。本遺跡は、その荒川左岸の妻沼低地及び新荒川扇状地の一部、標高約46m前後に立地し、水田地となっていた。遺跡を覆っていた土は、関東造盆地運動による地盤の沈下及び荒川の度重なる河川氾濫の影響で、およそ1～1.3mの厚さをもっていた。

次に、本遺跡を中心に櫛挽台地及び妻沼低地における歴史環境の一端を簡単に見ていきたいと思う。

まず、縄文時代であるが、この時期の遺跡の発見は極めて少ない状況である。市の南部に位置する江南台地を除き、櫛挽台地さらには妻沼低地にも発見例が少々ある。寺東遺跡では前期関山式土器が、三ヶ尻遺跡内の林遺跡でも前期黒浜式期の集落が発見されており、妻沼低地には石田遺跡も存在する。後期に至っては、前述の寺東遺跡で称名寺式期の埋甕を伴う土坑等が発見されており、豊富な土器群が検出された入川遺跡や深町遺跡も知られる。一方、縄文時代晩期から弥生時代前半にかけての市内の発見例はほとんどなく、熊谷市内において本格的展開の知られる遺跡は、現段階では弥生時代中期まで待つことになる。須和田式期の再葬墓が16基発見された横間栗遺跡、同じく須和田式期の壺が発見されている三ヶ尻遺跡内の上古遺跡が知られている。地図には示していないが、北島遺跡・平戸遺跡・前中西遺跡も同時期の遺跡として挙げられ、北島遺跡でも再葬墓や土壙墓群が前中西遺跡では再葬墓と方形周溝墓の2タイプの葬送形態が発見されている。一方、同時期の集落・住居跡が検出されている遺跡としては関下遺跡・飯塚南遺跡が存在する。後期には妻沼低地の各地に遺跡が見られ始め、弥藤吾新田遺跡などが存在する。弥藤吾新田遺跡では南関東系の弥生町式土器が出土している。

古墳時代に入ると、古墳は台地・自然堤防等の微高地に形成され、集落は台地ばかりでなく低地帯の自然堤防上にも営まれるようになり、次第に遺跡数も増加傾向にある。前期では、妻沼低地に大きく遺跡が展開している。横間栗遺跡・別府条里遺跡・一本木遺跡・中耕地遺跡・北島遺跡・弥藤吾新田遺跡等がある。横間栗遺跡では住居跡が3軒、北島遺跡では21軒検出されており、北島遺跡さらに弥藤吾新田遺跡等は比較的大規模な集落と推定されている。

中期の様相は、他の時期と比べて不明な点が多いが、集落が大規模に展開していくのは中期後半以降となるようである。北島遺跡・中条遺跡内の権現山遺跡・常光院東遺跡（後者2遺跡は地図未掲載）等で遺構・遺物が検出されている。北島遺跡では住居跡から須恵器の甗を模倣した土師器小型壺が、権現山遺跡では出現期の竈をもつ住居跡が検出されている。また、集落内の祭祀は東川端遺跡に確認されていて、遺物が集中分布している谷にむかう斜面部で剣形の滑石製模造品が検出されている。また、古墳

に目を向けると、数こそ少ないが、妻沼低地の福川の自然堤防に横塚山古墳が存在する。そして、後期になると遺跡は爆発的な増加をみる。台地ばかりではなく自然堤防上にもさらに積極的に進出を図っていったようである。集落は、古墳時代後期から奈良・平安時代へと継続して展開する大規模なものが市内では目立つようになる。櫛挽台地及び新荒川扇状地上では、樋の上遺跡で古墳時代後期から平安時代の住居跡が150軒以上検出され、このうち古墳時代後期のものは14軒以上に上る。また現在では同遺跡の一部となっている上辻・下辻遺跡でも後期から平安時代の住居が50軒以上検出された。三ヶ尻遺跡内の天王遺跡等でも後期の集落が検出されている。一方、妻沼低地の自然堤防上では、一本木前遺跡・飯塚南遺跡・北島遺跡・小敷田遺跡等が存在する。一本木前遺跡では後期を中心に奈良・平安時代の住居跡が450軒以上検出されており、当該期の祭祀跡も発見され、折り重なるように土師器杯等が出土し、それとともに白玉も出土している。

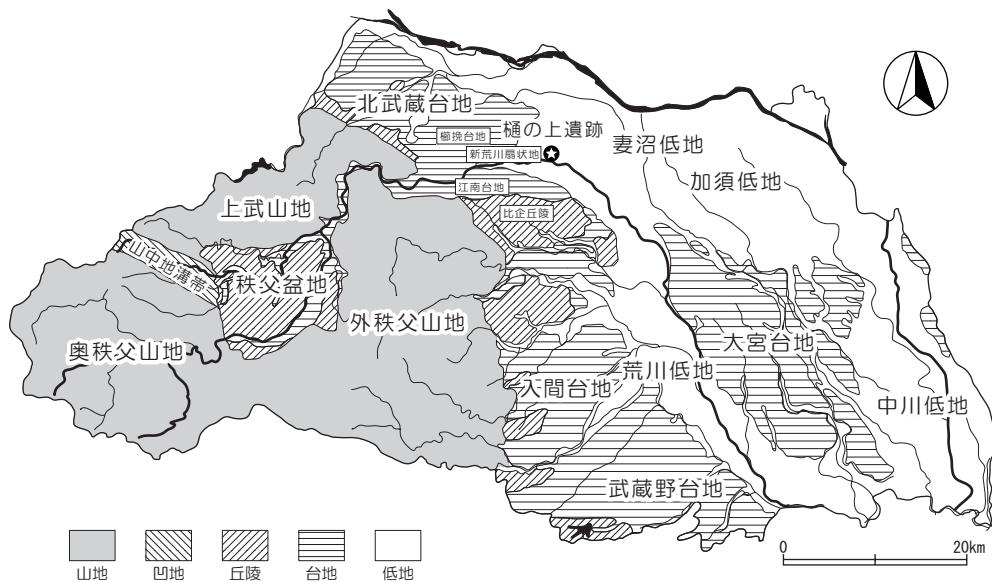
一方、古墳を見てみると、群を形成して築造されているのがわかる。櫛挽台地上の別府古墳群・在家古墳群・籠原裏古墳群・三ヶ尻古墳群、新荒川扇状地の玉井古墳群・広瀬古墳群・石原古墳群等が分布する。これらは概ね6世紀から7世紀ないし8世紀初頭にかけて形成された古墳群である。別府古墳群は、農夫の埴輪を出土している。籠原裏古墳群は川原石乱石積の胴張型横穴式石室を有する古墳群であるが、7世紀後半～8世紀初頭の築造と考えられる八角形の墳形をもつ古墳の存在が知られており、終末期の古墳の様相において見流すことのできない発見である。三ヶ尻古墳群は、前方後円墳の二子山古墳を盟主墳とする100基以上の古墳で形成されている大古墳群であるが、現在でも61基の所在が確認されている（消滅・半壊を含める）。また、広瀬古墳群中の宮塚古墳は、上円下方墳という特異な墳形を今に残し、熊谷市唯一の国指定史跡として知られている。

古墳時代後半に自然堤防上の微高地に形成された集落の多くは、増減はするもの奈良・平安時代へと継続されていく。奈良時代には、この地域も律令体制に組み込まれていき、別府条里遺跡等が見られる。このころの中心的遺跡は櫛挽台地上に見られ、この地域には幡羅郡が設置され、台地上に「原郷」の地名が残り、正倉館、厨家、曹司等が発見された幡羅郡家跡の幡羅遺跡、8世紀初頭創建の西別府廃寺、湧泉祭祀跡・西別府祭祀遺跡が存在する。西別府廃寺は二度の発掘調査によって寺域を区画する大溝、伽藍配置は不明であるが基壇建物跡、瓦溜まり状遺構等とともに軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦が大量に出土し、瓦は8世紀初頭から9世紀後半のものまで確認されており、県内でも滑川町寺谷廃寺に次いで最も古い建立の寺院の一つとして認識されている。また、その北西約200mの湯殿神社裏のかつて湧水があった箇所には西別府祭祀遺跡が所在し、古墳時代後期から平安時代までの土師器・須恵器と共に古墳時代後期の馬形・櫛型・勾玉形・有孔円板形・有線円板形・剣形等の滑石製模造品が約297点発見されており、県内でも類例がほとんどない湧泉に対する祭祀の実態を考える上で貴重な遺跡である。西別府廃寺は、幡羅郡家との関係を考慮に入れれば、幡羅郡の郡司が関わった郡寺的な機能を有することが考えられるし、郡家成立以前の周辺の古墳群を形成した有力氏族との関係も想定できる。

奈良・平安時代の集落遺跡としては、広瀬地区には本遺跡のほか在家遺跡・籠原裏遺跡・拾六間後遺跡・飯塚南遺跡・新ヶ谷戸遺跡・横塚遺跡・北島遺跡等がある。特に北島遺跡は7世紀から12世紀の大規模な集落で、多数の住居跡とともに大規模な掘立柱建物跡・道路状遺構・河川跡など、興味深い発見がされている。一本木前遺跡の11世紀初頭の住居跡からは、瑞花鴛鴦八稜鏡が出土し、県内初の

住居跡出土例として注目されている。

平安時代末から中世になると、武蔵七党やその他の在地武士団の館跡が散在するようになる。別府城跡・別府氏館跡・西別府館跡・玉井陣屋跡・奈良氏館跡・黒沢館跡・兵部裏屋敷等であるが、いずれの館跡も実態は不明である。その中で残りの良いものの中に、本遺跡の北西に位置する別府城跡がある。別府氏の居館で方形の敷地に土塁の一部と空堀をよく残している。また、三ヶ尻地区に所在する黒沢館跡は、発掘調査によって、渡辺崋山が記した『訪甕録』に残る「黒沢屋敷」の記載と調査成果が合致した貴重な例である。その北側に所在する樋の上遺跡でも、15世紀～16世紀の土壇・集石遺構とともに比較的深くコーナーをもつ溝跡が検出されており、館跡の一部である可能性が考えられている。なお、中世以降の歴史的事態はまだまだ情報不足で、今後の調査成果によるところが多く、情報の蓄積に期待するところであろう。



第1図 埼玉県の地形図

Ⅲ 遺跡の概要

1 樋の上遺跡について

樋の上遺跡の所在する三ヶ尻地区周辺はこれまで過去数回において、発掘調査を実施している。調査が行われたのは、昭和50年代が多く、その当時の「樋の上遺跡」の範囲は現在の遺跡範囲の北東隅の埼玉県立熊谷西高等学校付近の遺跡とされていた。そのため、現在の樋の上遺跡の遺跡範囲には、その当時に「上辻遺跡」、「下辻遺跡」、「三尻中学校校庭遺跡」などがあり、それらの調査を行った結果、地形、遺構の時期や分布状況などから考慮すると、これらの遺跡は同一ではないかとの見解があり、平成16年度に熊谷市教育委員会において埋蔵文化財包蔵地の見直しを行い、結果現在の遺跡範囲で統合され「樋の上遺跡」として約465,600㎡の広大な遺跡となっている。

樋の上遺跡発掘調査の概要

以下既に刊行されている報告書を参考に概略を記述する。

・埼玉県立熊谷西高等学校敷地内発掘（第1次から6次調査）

遺跡範囲の北東隅に所在する埼玉県立熊谷西高等学校では、校舎建設に伴い、合計6回にわたって「樋の上遺跡」の発掘調査が行われている。

第1次調査は高等学校開校に伴う仮校舎建設予定地で実施された。調査は昭和49～昭和50年で、市教育委員会が設置した熊谷市樋の上遺跡調査会が調査主体者となった。

検出された遺構は、古墳時代末から平安時代までの住居跡17軒、中世の溝跡、ピット等であったが、出土遺物も含め、資料はすべて火災により焼失し、詳細については明らかではない。

第2次調査は校舎HR棟建設するために実施された。調査は昭和50年で、市教育委員会が調査主体者となった。検出された遺構は、古墳時代後期の住居跡8軒、奈良時代の住居跡8軒、平安時代の住居跡15軒、掘立柱建物跡1棟、ピット群、中世の溝跡4条、火葬跡3基である。遺物は土師器、須恵器、土錘、砥石、石製紡錘車、瓦質土器、陶磁器、古銭等がある。

第3次調査は、管理棟の建設のため実施された。調査は昭和51年で、市教育委員会が調査主体者となった。検出された遺構は、古墳時代後期に住居跡3軒、奈良時代の住居跡6軒、中世の溝跡5条である。出土遺物は土師器、須恵器、土錘、砥石、瓦質土器、磁器、古銭等である。

第4次調査は、体育館建設に伴い実施された。調査は昭和52年である。調査主体者は埼玉県教育委員会及びさきたま資料館（現在の県立さきたま史跡の博物館）である。検出された遺構は、古墳時代後期の住居跡3軒、平安時代の住居跡6軒、中世の溝跡11条、土坑14基である。検出された遺物は土師器、須恵器、土師質土器、砥石、瓦質土器、磁器、古銭等が出土している。

第5次調査は格技場建設に伴い実施された。調査は昭和59年で、調査主体者は財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団である。検出された遺構は、奈良時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡7軒、中世の溝跡6条、火葬跡2基、土坑6基、集石遺構2基である。出土遺物は、土師器、須恵器、古銭等がある。

第6次調査は、プール建設に伴い、実施された。調査は平成8年で、調査主体者は財団法人埼玉県埋

蔵文化財調査事業団である。検出された遺構は、平安時代の住居跡2軒、中近世の溝跡6条、土坑13基、火葬跡2基、ピット群である。出土遺物は、縄文土器（前期）、石器、須恵器、灰釉陶器、陶器等がある。

・県営ほ場整備事業・県道建設・三ヶ尻中学校・三ヶ尻幼稚園敷地内発掘（計6調査）

県立熊谷西高等学校に接する東側では、県営ほ場整備事業に伴い、熊谷市教育委員会が「樋の上遺跡」の発掘調査を実施している。調査は、昭和58年から昭和59年である。検出された遺構は、奈良・平安時代の住居跡5軒、中世の溝跡5条、土坑15基、集石遺構7基、火葬跡11基である。出土遺物は、土師器、須恵器、陶器、内耳土器、かわらけ、鉄製品、石臼、板碑、鉄滓等がある（熊谷市教育委員会1985）。

樋の上遺跡範囲中央付近では、「上辻遺跡」「下辻遺跡」の旧名称で発掘調査が計2回行われている。

1つ目は県営ほ場整備事業に伴い、「上辻遺跡」「下辻遺跡」両方で熊谷市教育委員会が発掘調査を実施している。

「上辻遺跡」の調査は、昭和56年から昭和57年に実施された。調査区は2区に分かれており、一方で検出された遺構は奈良・平安時代の住居跡19軒、溝跡2条、もう一方では古墳時代中期末の住居跡1軒、奈良・平安時代の住居跡9軒、溝跡1条である。出土遺物は両区あわせて土師器、須恵器、土錘、土製紡錘車、鉄滓、砥石、軽石、編物石、埴輪等がある。

「下辻遺跡」の調査は、昭和56年に実施された。調査区はトレンチ状を呈し、1Tから5Tまでに分かれている。1Tで検出された遺構は、住居跡8軒、溝跡7条、ピット9基、2Tは住居跡3軒、溝跡1条、ピット6基、3Tは住居跡4軒、溝跡2条、ピット3基、4Tは住居跡5軒、溝跡5条、ピット9基、5Tは住居跡1軒、溝跡3条、ピット5基である。合計すると住居跡21軒、溝跡18条、ピット32基であり、住居跡はすべて奈良・平安時代に相当する。出土遺物は、土師器、須恵器、土錘、鉄製鎌、鉄滓、砥石、軽石等がある（熊谷市教育委員会1984）。

2つ目は県道三ヶ尻新堀線建設に伴い、「下辻遺跡」で財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を実施している。調査は、昭和60年に実施され、検出された遺構は、奈良・平安時代の住居跡19軒、溝跡3条、近世の土坑多数、ピットである。出土遺物は、土師器、須恵器、土錘、土製紡錘車、砥石、編物石、石製紡錘車、鉄鎌、鉄釘、鉄鎌、鉄鑿、刀子、かわらけ、内耳土器等である（財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1987）。

遺跡範囲南西部に位置する「三ヶ尻中学校校庭遺跡」では、校舎増築工事に伴い、熊谷市教育委員会が発掘調査を実施している。調査は、昭和55年から昭和56年に実施され、検出された遺構は、奈良時代の住居跡10軒、平安時代の住居跡7軒、中世の溝跡2条、火葬跡1基、時期不明の土坑5基、ピット59基である。出土遺物は、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、土錘、土製紡錘車、鉄製品、陶器、板碑等である。

遺跡範囲南西部に位置する三ヶ尻幼稚園では、幼稚園園舎建築に伴い、熊谷市教育委員会が発掘調査を実施している。調査は平成23年に実施され、検出された遺構は、奈良時代の住居跡1軒、同時代溝跡1条、土坑2基、ピット43基である。出土遺物は縄文土器、土師器、須恵器である。

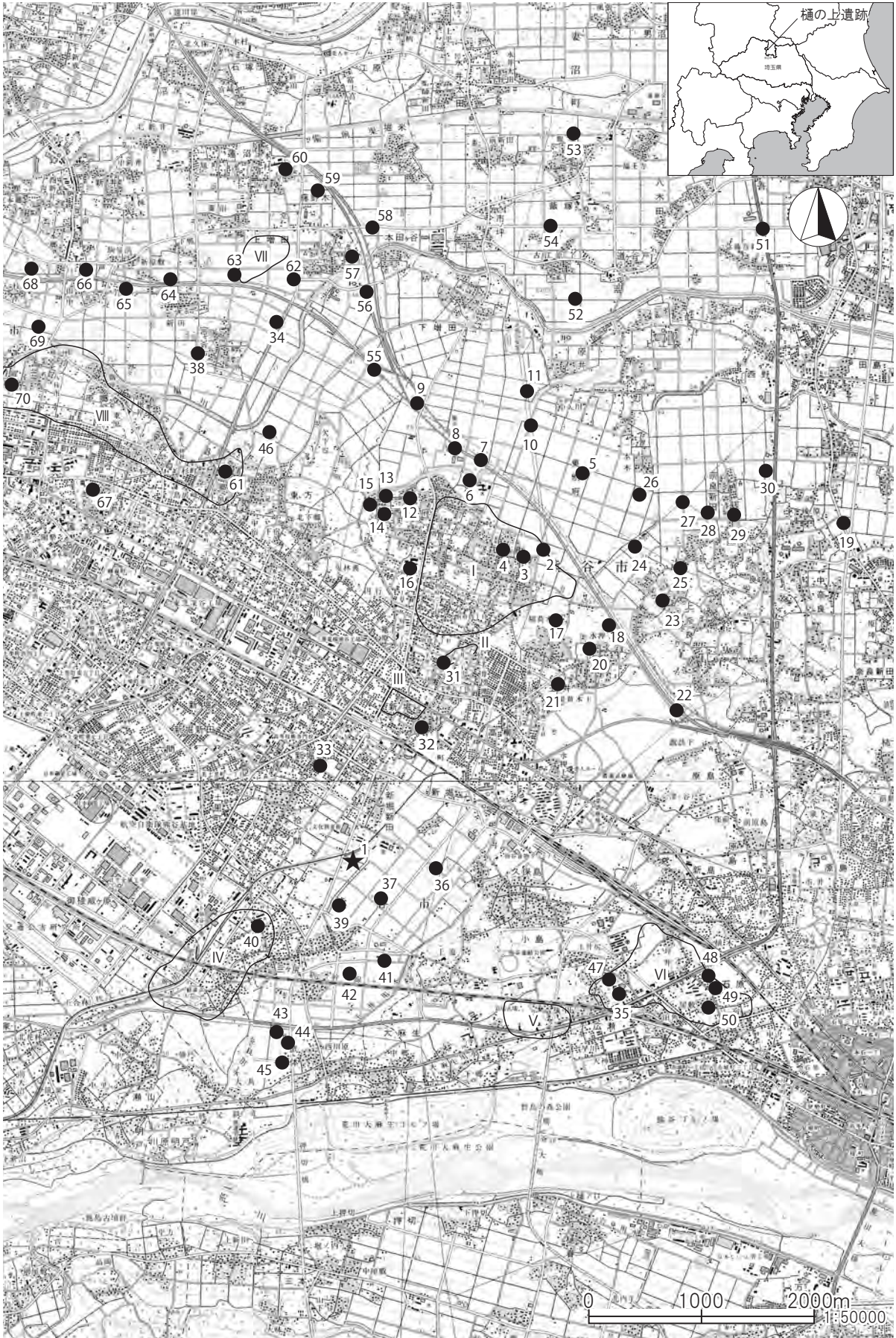
なお、「上辻遺跡」、「下辻遺跡」はそれぞれ独立した遺跡であり、「三尻中学校校庭遺跡」は、樋の上遺跡南西に位置する三ヶ尻遺跡に含まれていたが、平成16年度の遺跡範囲修正により、それらを樋の上遺跡に組み込まれたものである（熊谷市教育委員会2002）。

以上、各調査の概要を列記した。これらの調査の結果、樋の上遺跡では、古墳時代中期末から近世までの遺構・遺物が検出されており、遺跡の主体となるであろう古墳時代後期から平安時代にかけては160軒以上の住居跡やそれに伴った遺物が検出されており、集落が大規模で広範囲に営まれていたことが明らかとなっている。今回の調査においても、主体時期より若干時代を経た平安時代に位置し、住居跡からさらに集落が北へ広がることがわかった。

なお、今回の発掘調査の概要については、樋の上遺跡Ⅰ（2012樋の上遺跡）を参考とした。発掘箇所などの詳細については、そちらを参照されたい。

第2図 第3図掲載遺跡一覧

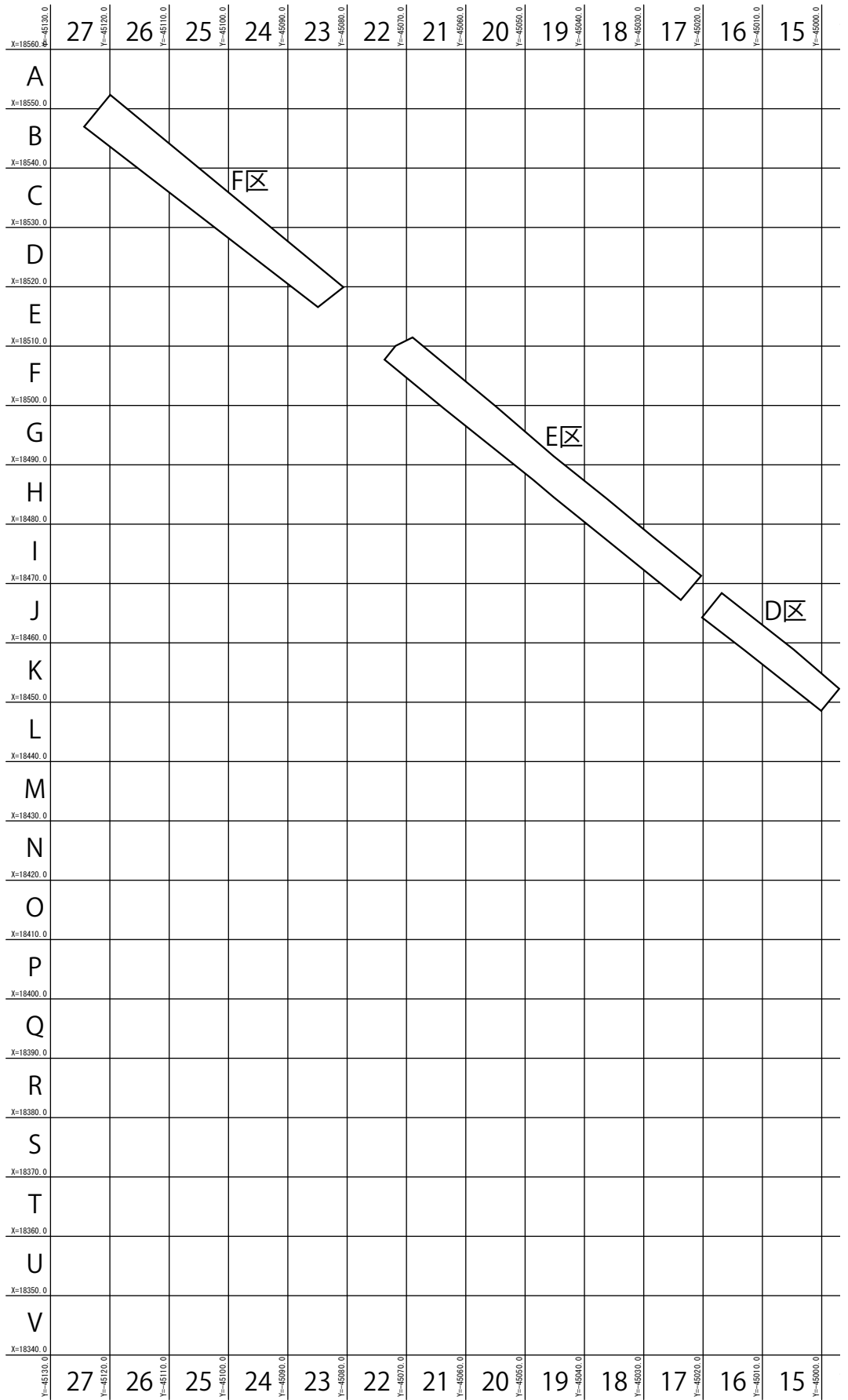
1 樋の上遺跡	21 稻荷木上遺跡	41 庚申塚遺跡	61 東方城跡
2 寺東遺跡	22 下川原遺跡	42 松原遺跡	62 原遺跡
3 別府氏館跡	23 奈良氏館跡	43 社裏北遺跡	63 明戸東遺跡
4 別府城跡	24 天神下遺跡	44 社裏遺跡	64 新田裏遺跡
5 別府条里遺跡	25 土用ヶ谷戸遺跡	45 社裏南遺跡	65 新屋敷東遺跡
4 石田遺跡	26 一本木前遺跡	46 城下遺跡	66 本郷前東遺跡
7 関下遺跡	27 中耕地遺跡	47 高根遺跡	67 庁鼻和城跡
8 横間栗遺跡	28 西通遺跡	48 天神前遺跡	68 上敷免遺跡
9 根絡遺跡	29 東通遺跡	49 兵部裏屋敷跡	69 八日市遺跡
10 深町遺跡	30 横塚山古墳	50 御蔵場跡	70 八幡太郎館跡
11 入川遺跡	31 在家遺跡	51 弥藤吾新田遺跡	I 別府古墳群
12 西別府館跡	32 籠原裏遺跡	52 道ヶ谷戸遺跡	II 在家古墳群
13 西方遺跡	33 拾六間後遺跡	53 飯塚遺跡	III 籠原裏古墳群
14 西別府廃寺	34 東川端遺跡	54 飯塚南遺跡	IV 三ヶ尻古墳群
15 西別府祭祀遺跡	35 樋の上遺跡	55 清水上遺跡	V 広瀬古墳群
16 原遺跡	36 東遺跡	56 前遺跡	VI 石原古墳群
17 玉井陣屋跡	37 黒沢館跡	57 居立遺跡	VII 上増田古墳群
18 新ヶ谷戸遺跡	38 宮ヶ谷戸堀ノ内遺跡	58 城北遺跡	VIII 木の本古墳群
19 奈良東耕地遺跡	39 若松遺跡	59 柳町遺跡	
20 水押下遺跡	40 三ヶ尻遺跡	60 砂田遺跡	

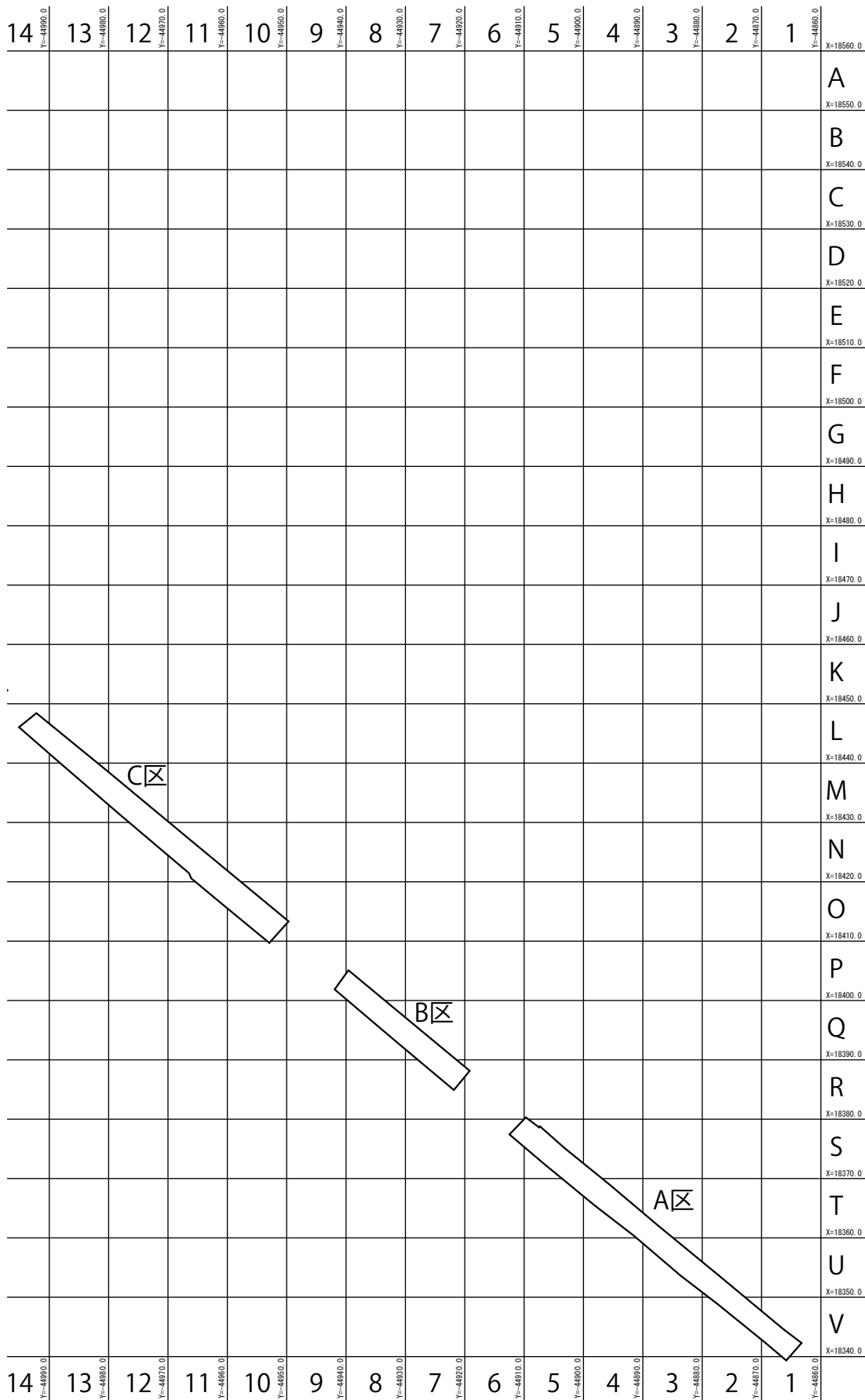


第3図 周辺遺跡分布図

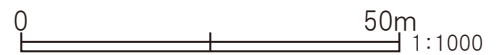


第4図 樋の上遺跡位置図





第5図 樋の上遺跡全測図



2 調査の方法

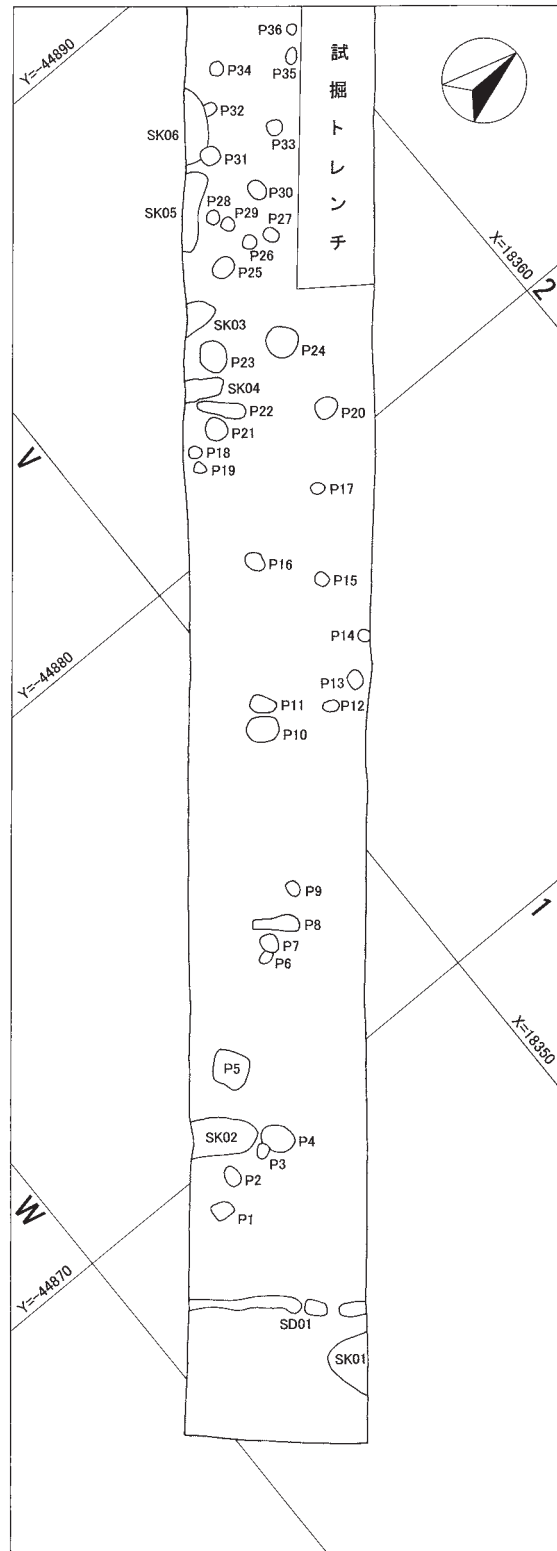
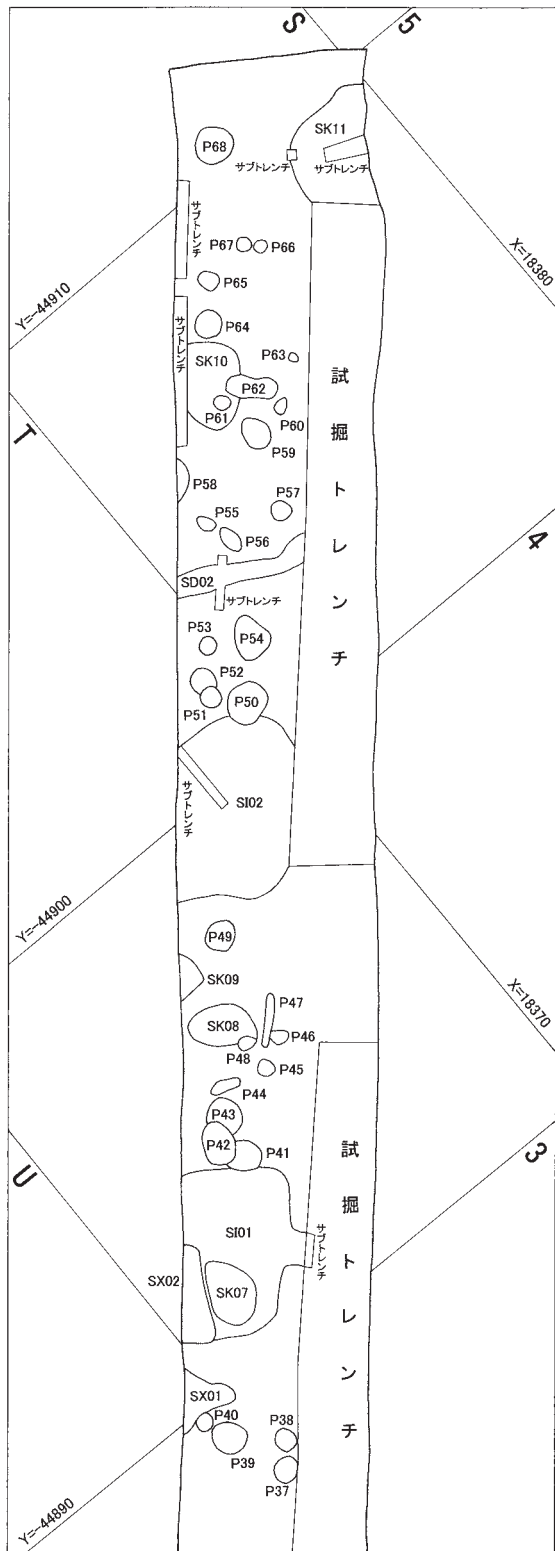
発掘調査の方法は、1辺5mのグリッド方式を用いて行い、調査区全体を網羅できる様に、北西隅をA-1として東へA・B・C・・・、南へ1・2・3・・・とし、Aラインは北から南へA-1・A-2・A-3・・・と呼称した。Bライン以西もAラインと同様に呼称し、グリッド設定を行った。

発掘調査は、重機による遺構確認面までの表土剥ぎを行った後、先述のグリッド設定を行った。なお、座標は世界測地系による国家方眼座標に基づく基準点測量による。調査区は既存道路の拡張に伴う調査のため、東西方向におよそ300m程度、幅約5mの東西に長い調査箇所である。よって調査箇所を区単位で分割し、東から西への調査区をA区、B区、～F区と設定した。表土剥ぎ後は、人力による遺構確認のための精査を実施し、確認された各遺構は各々手掘りを行った。原則として遺物は必要に応じて写真撮影後、遺構ごと一括して慎重に取り上げた。遺構は写真撮影した後、実測を行った。そして、最後に遺構全体の写真撮影を行い、全測図の実測を行った。

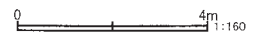
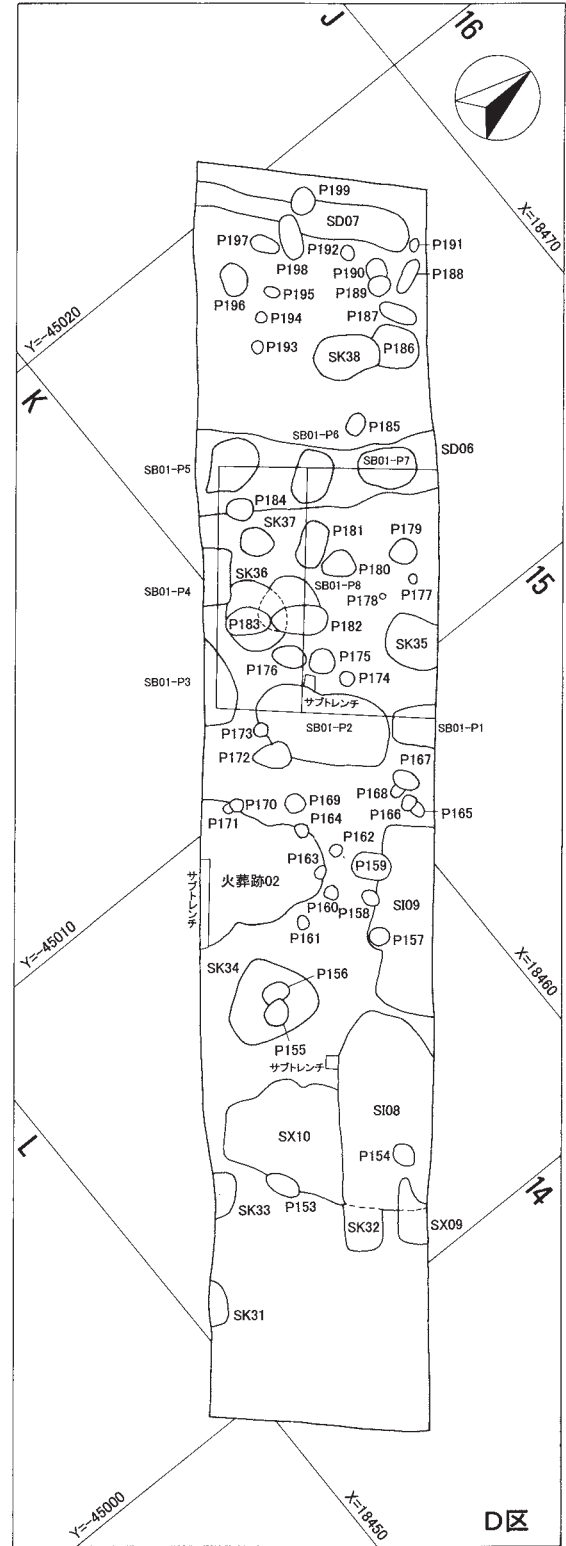
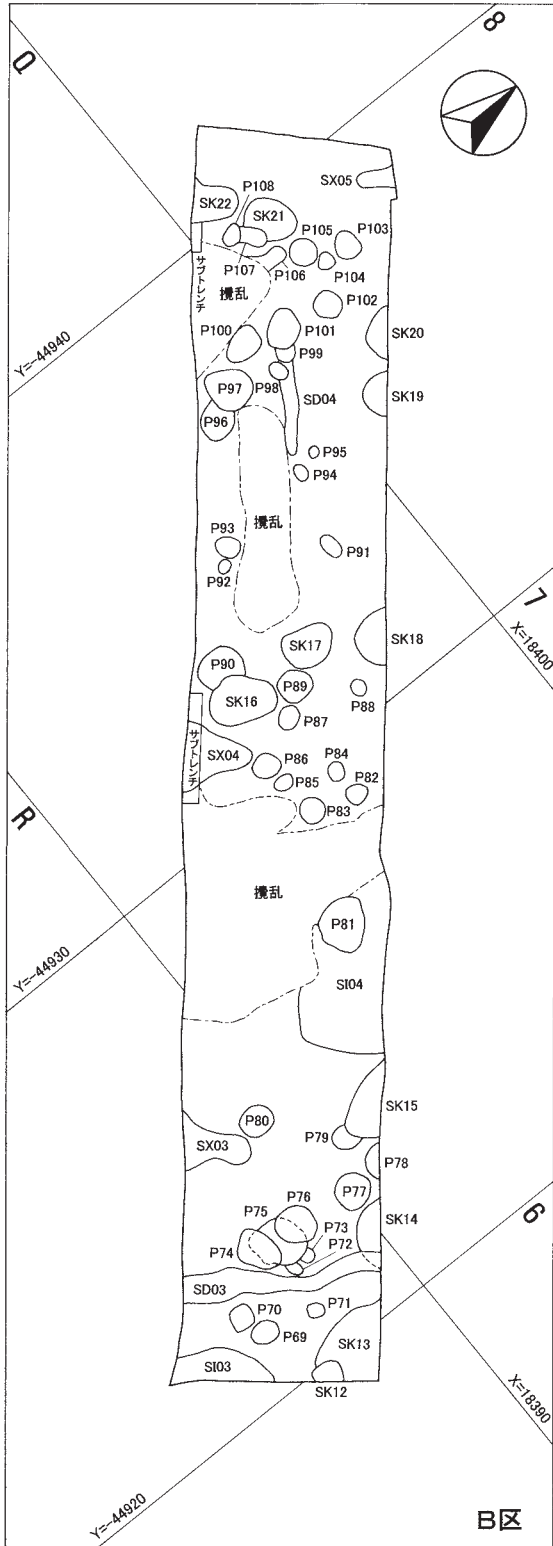
3 検出された遺構と遺物

本調査によって検出された遺構は、A区～F区で合計して、竪穴式住居跡16軒、掘立柱建物跡8軒、河川跡1条、溝跡10条、土坑61基、火葬跡2基、性格不明遺構14基、ピット多数であった。遺構の分布状況を、全体を通じてみると、C、D区などの今回の調査範囲の中央部付近が遺構の密度が濃く、A区やF区などの端に進むにつて、遺構が希薄となっていく。住居跡からは、土師器や、須恵器など以外にも灰釉陶器などが出土し、検出した河川跡で利用したのか、大量の土鍾が出土した住居跡もあった。

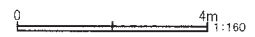
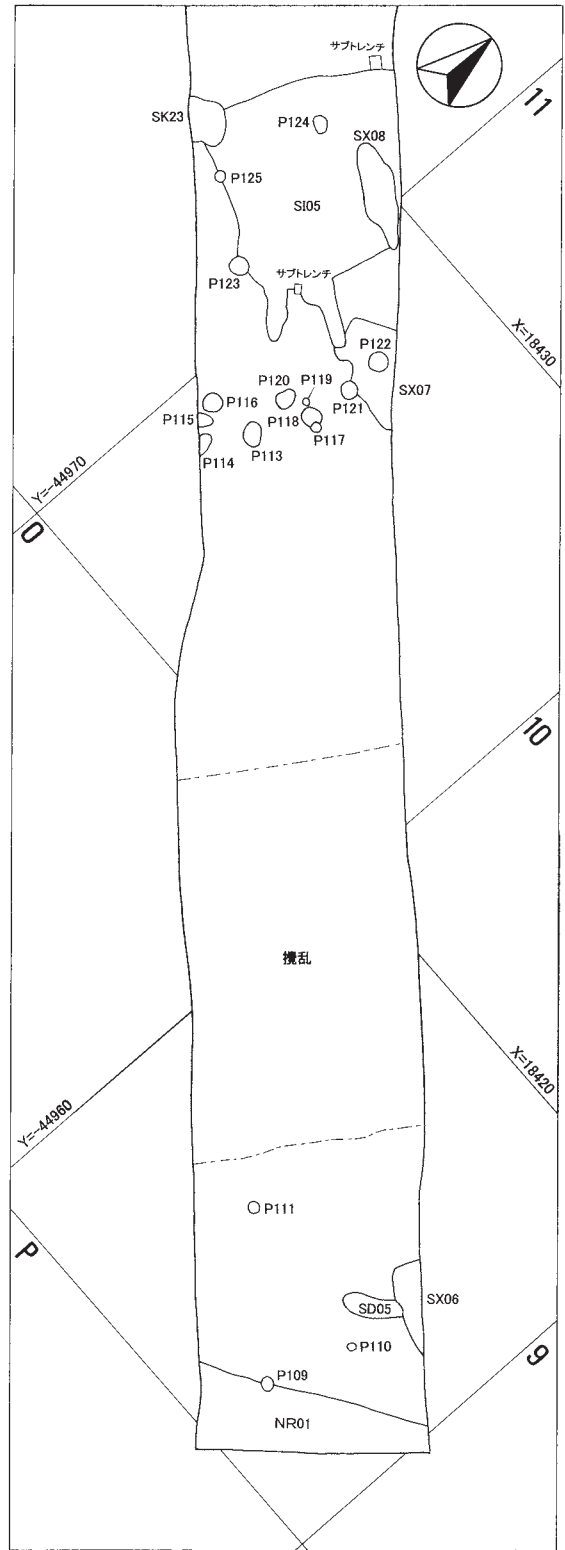
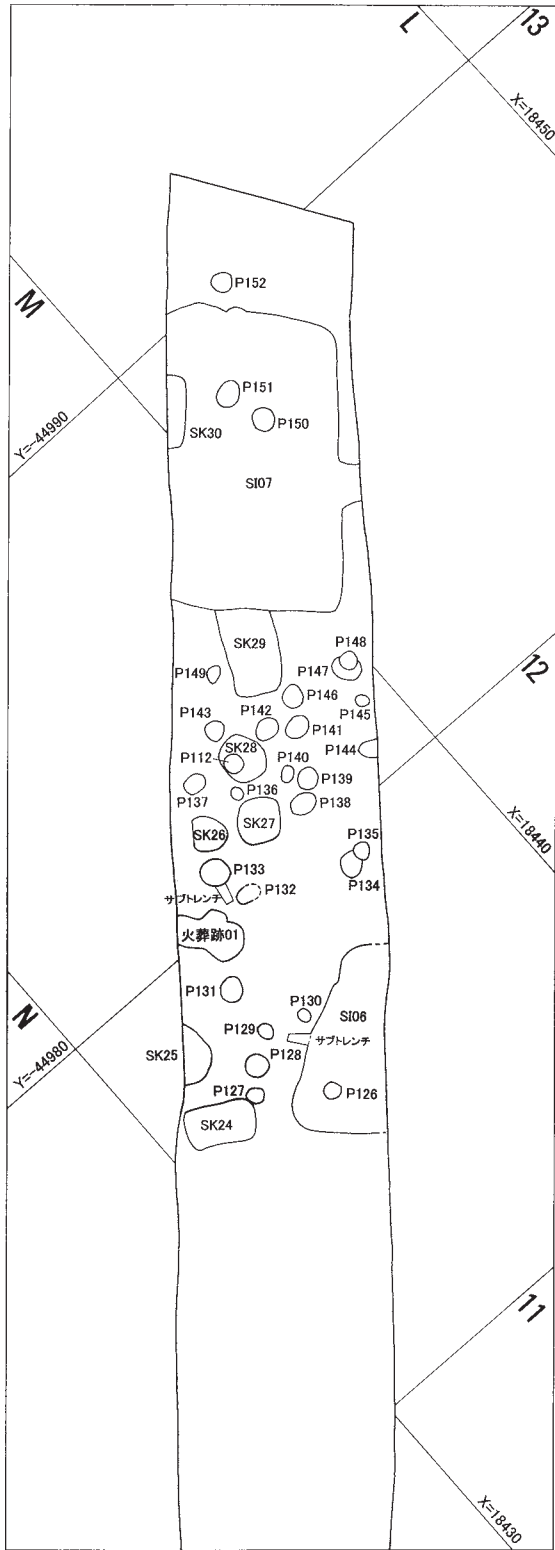
また、掘立柱建物跡も検出されているが、検出がD区から以西であり、うち1軒は規模が大きい建物跡と推定され、またF区の溝跡からは流れ込みとも考えられるが風字硯の出土もあった。それら以外にも多く遺物は出土し、遺物の出土量はコンテナ20箱分の出土量であった。



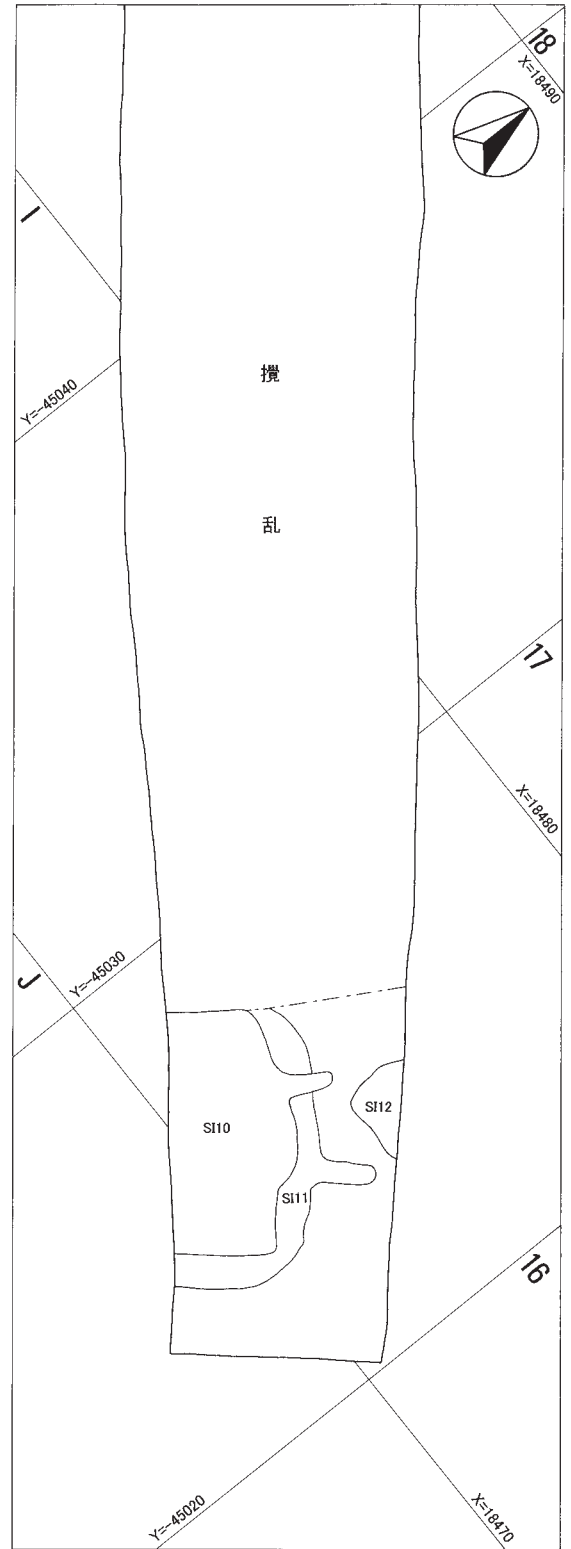
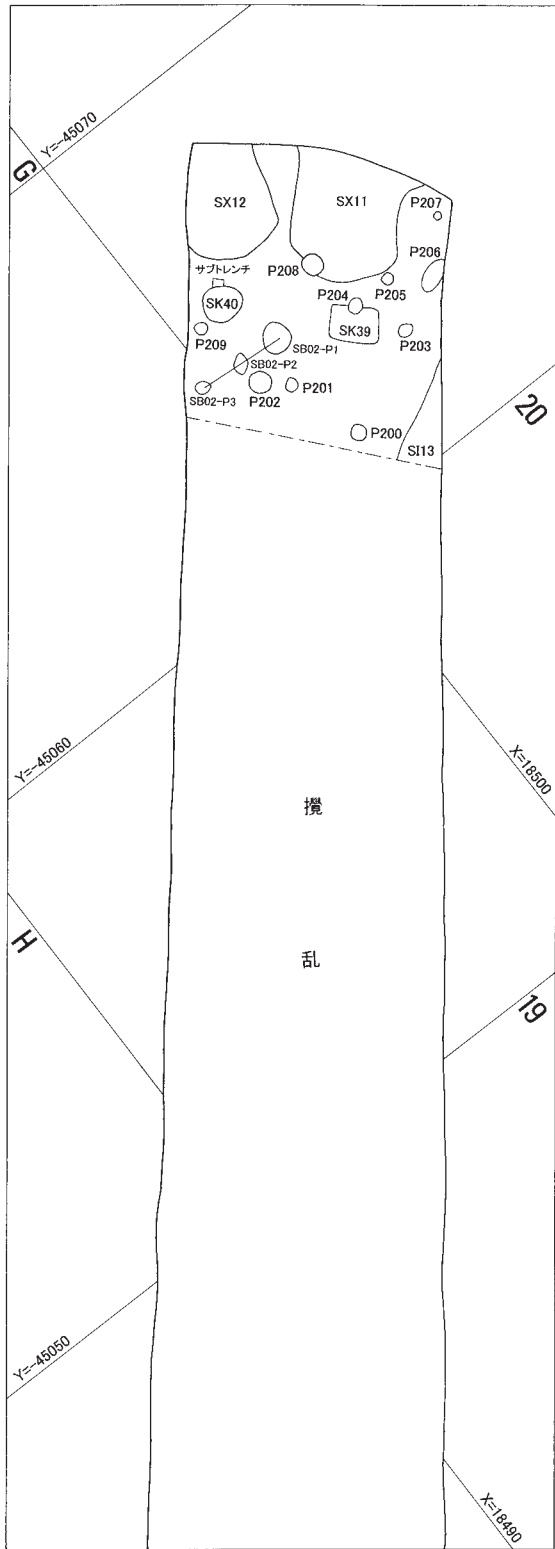
第6図 A区全測図



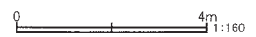
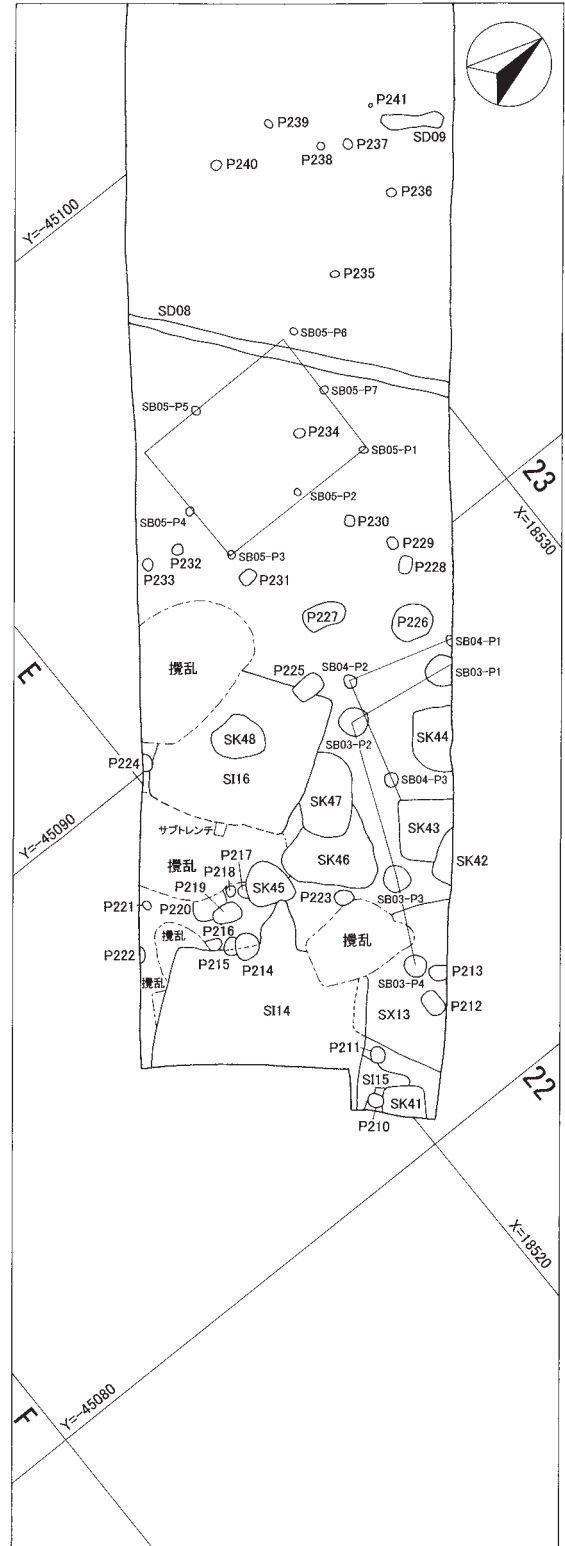
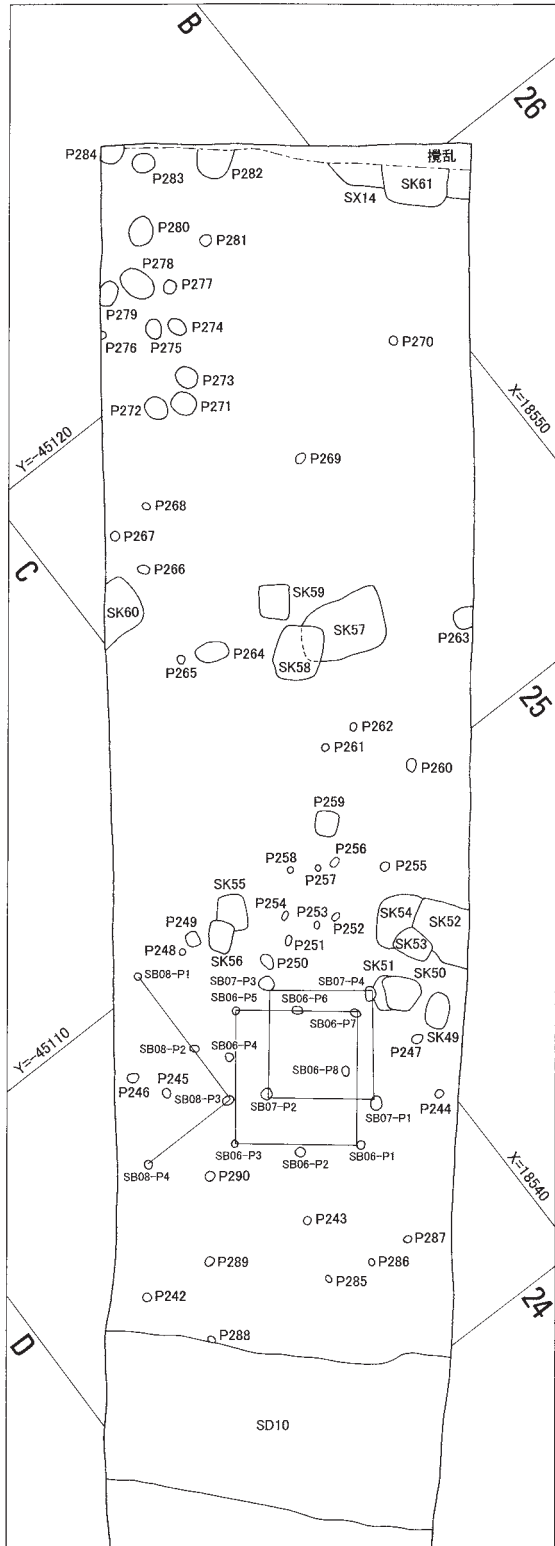
第7図 B、D区全測図



第8図 C区全測図



第9図 E区全測図



第10図 F区全測図

IV 遺構と遺物

1 住居跡

住居跡は、各調査区で総じて16軒検出した。まずA区からは西側に2軒検出し、1軒からは、灰釉陶器椀が確認できた。B区でも2件検出し、うち1軒は大半が調査区域外であるが、大量の土器を検出できた。C区では、3軒の検出があり、うち2軒は規模が大きく、1軒はカマドが新旧2基検出された。カマドの作り替えだと推定される。D区では2軒検出され、E区では4軒、うち1軒は建て替えによるものと思われ、住居跡が重複して検出している。F区では3軒検出され、これまで検出された住居跡より時期が古いものであった。各調査区の多くの住居跡で確認されたカマドからは完形に近い甕などの遺物が検出できた。

以下住居跡ごとに詳細を記載する。

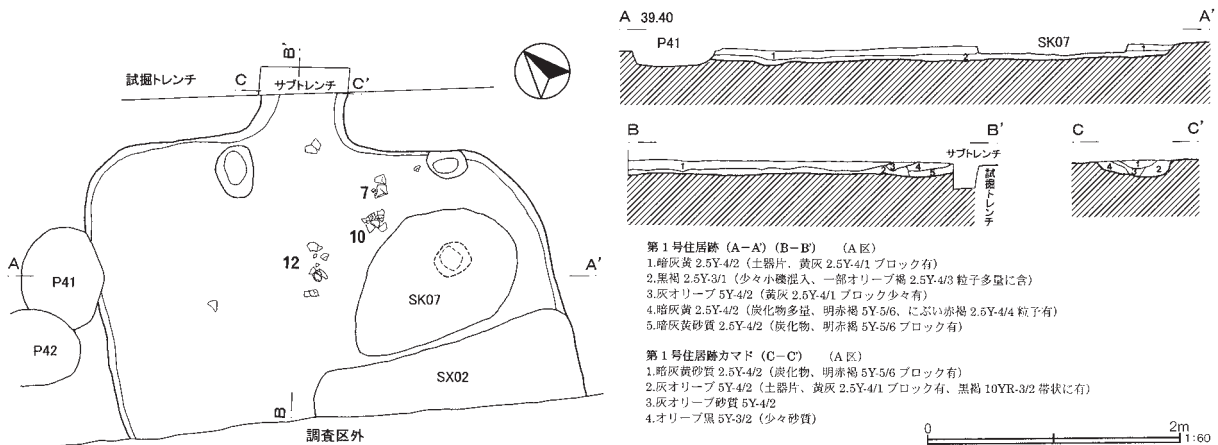
第1号住居跡（第11・12図）

T-4グリッド（A区）から検出した。第7号土坑、第2号性格不明遺構、第41号ピットと重複関係にあり、それらに掘り込まれていた。また南側の一部、カマド煙道部が試掘トレンチ内及び調査区域外であった。

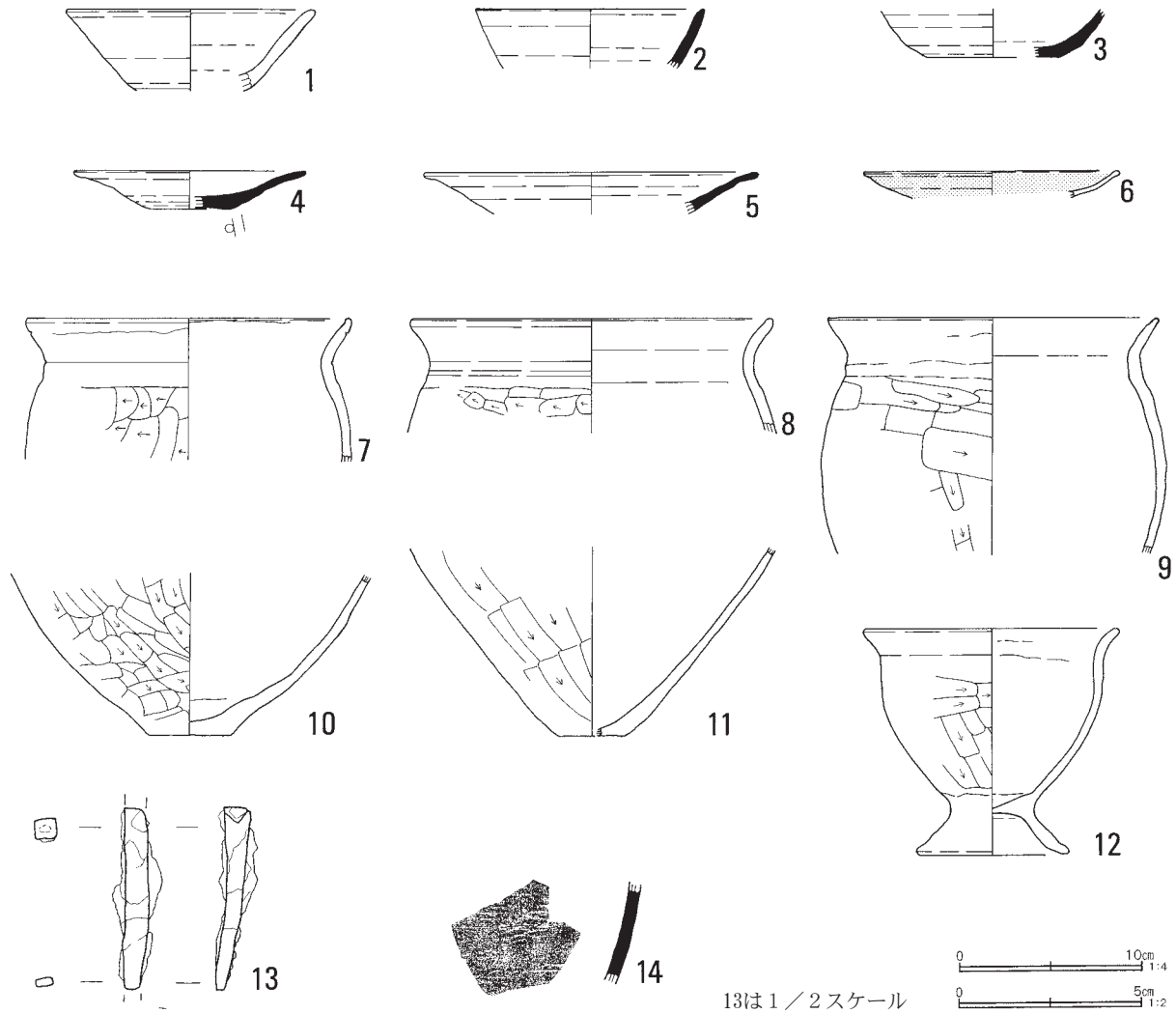
正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ2.58m、短軸は3.56mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-° 45-Eを指すと思われる。確認面からの深さは、0.22mであることが確認された。床面はほぼ平坦であるが、礫により掘削に支障をきたしたが、覆土は基本層で2層しかなく、残存状況は悪い。水平堆積であることから自然堆積で埋まったと推定される。カマドが検出され、住居のほぼ中央部に位置している。残念ながら燃焼部は確認できず、落ち込みや、貯蔵穴のようなものはなかった。

床面にはピット状の落ち込みが2基あり、いずれも柱跡だと思われる。

出土遺物は土師器甕、台付甕、椀や須恵器杯、皿、壺、灰釉陶器、釘などある。坏に関しては須恵器の割合が高く、土師器では甕がほとんどであった。須恵器坏は大体9世紀後半～末にかけての古相の様相を呈し、灰釉陶器は9世紀後半のK90窯式と考えられ、それ以外は9世紀末～10世紀初ごろの時期と推定される。時期にばらつきがみられるが、これらの遺物から本住居跡の主体時期は、9世紀末～10世紀初頭と考えられる。



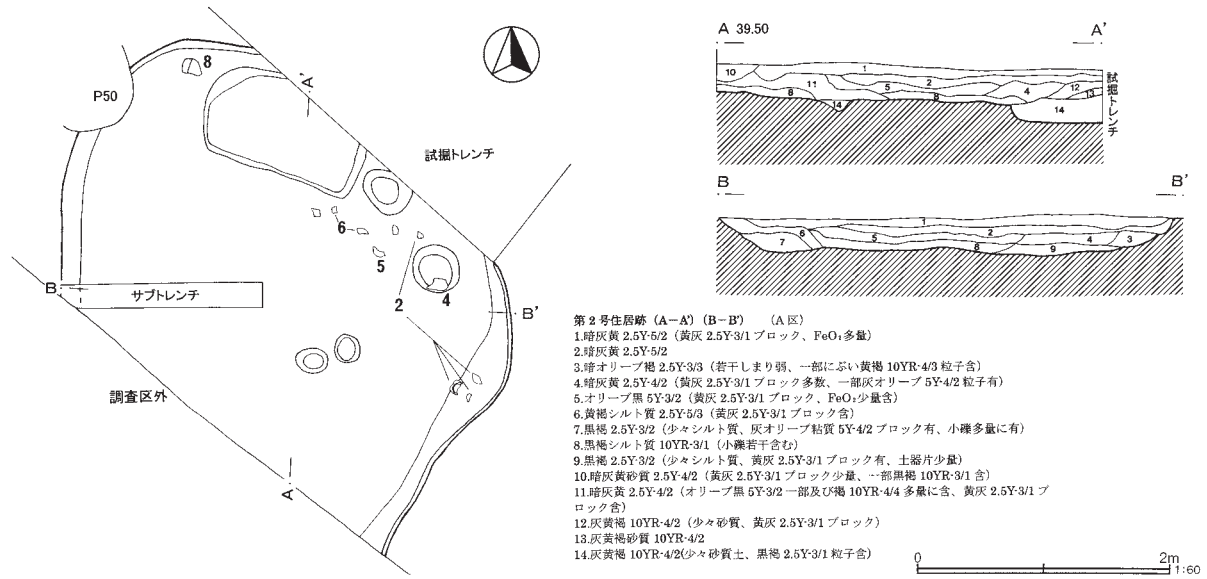
第11図 第1号住居跡 (A区)



第12図 第1号住居跡出土遺物（A区）

第1表 第1号住居跡出土遺物観察表（A区）

図版No	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 椀	(13.5)	(4.5)	(6.4)	ABDEIM	浅黄橙10YR-8/3	C	40%	外面ヨコナデ	
2	須恵器 坏	(12.5)	(3.3)	-	ABD	灰白7.5Y-7/1	A	口縁部10%	内外ヨコナデ	未野産
3	須恵器 坏	-	(2.6)	(7.6)	ABDE	灰5Y-6/1	B	底部～体部30%	有段口縁坏（有段ほぼ消滅）	未野産
4	須恵器 皿	(12.6)	(2.1)	(4.8)	ADIJ	褐7.5YR-4/6	B	20%	底部周縁ヘラケズリ 台部欠損か？	未野産
5	須恵器 皿	(18.3)	(2.3)	-	ACDI	明赤褐5YR-5/6	B	口縁部10%	口縁部外反	
6	灰釉陶器 皿	(14.0)	(1.4)	-	A	灰白7.5Y	A	口縁部20%	内外面とも全面釉	東海産 K90窯式
7	土師器 甕	(17.8)	(7.8)	-	ABDEGK	にぶい黄橙10YR-7/3	B	口縁部15%	胴部外面横位ヘラケズリ	
8	土師器 甕	(21.0)	(6.5)	-	ABDEJK	にぶい橙7.5YR-6/4	B	口縁部15%	胴部外面横位ヘラケズリ	
9	土師器 台付甕	(18.0)	(13.0)	-	ACGIJ	明黄褐10YR-6/6	B	25%	胴部外面横位～斜位ヘラケズリ	
10	土師器 甕	-	(8.9)	4.5	ABDEIM	暗赤褐5YR-3/2	B	底部～胴部70%	胴部外面斜位ヘラケズリ	
11	土師器 甕	-	(10.3)	(3.6)	ABDEGKM	にぶい黄褐10YR-4/3	B	胴部破片	胴部外面斜位ヘラケズリ	
12	土師器 小型台付甕	(14.1)	(12.4)	8.4	ACGIJ	黄褐10YR-5/6	B	50%	口縁部ヨコナデ 胴部外面横位～斜位ヘラケズリ	
13	鉄釘	最大長 (5.0)	最大幅 (1.4)	最大厚 (1.0)	重さ 5.6g					
14	須恵器 壺	-	-	-	AE	灰N5/ 灰褐5YR-5/2	B	胴部片		



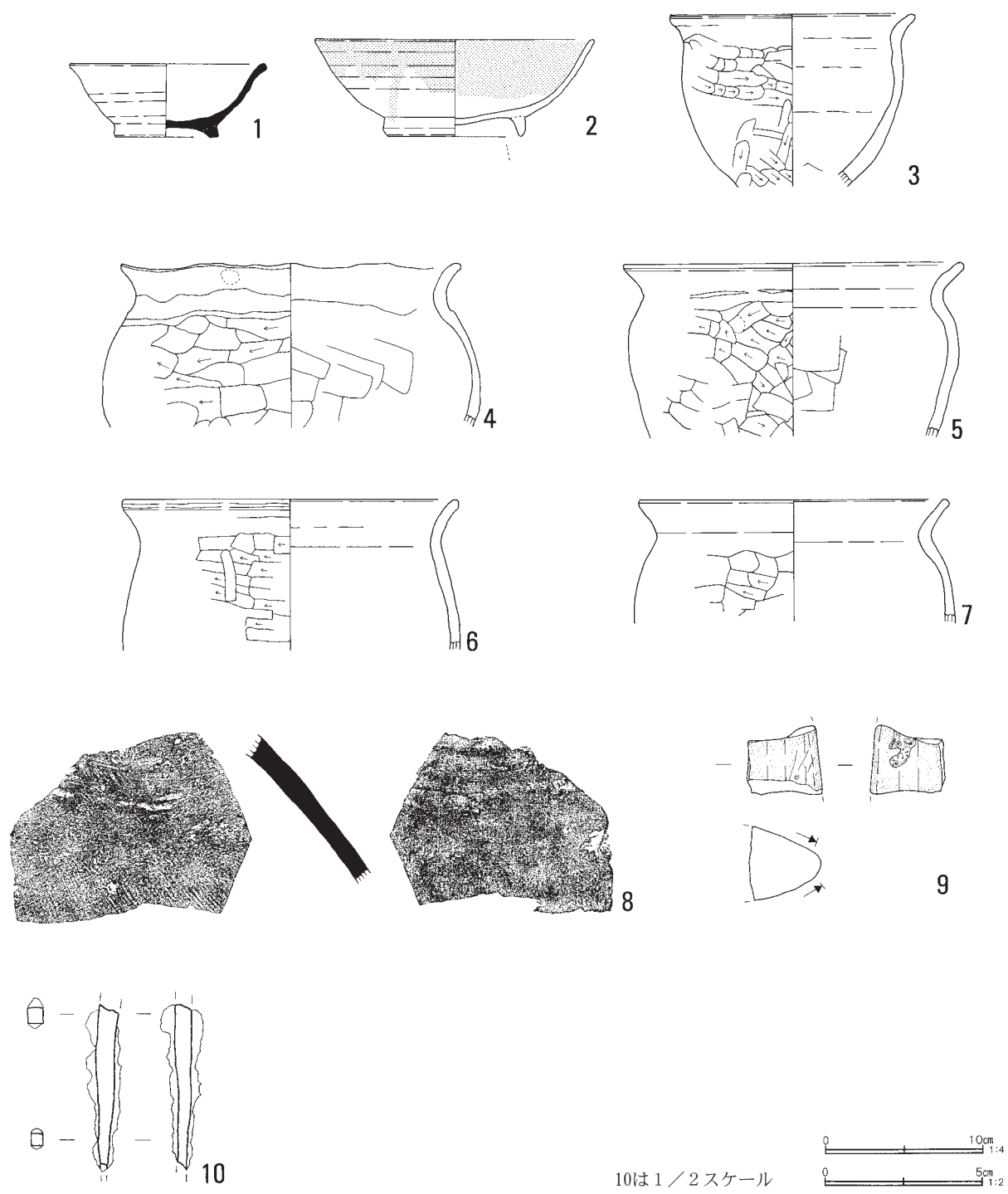
第13図 第2号住居跡 (A区)

第2号住居跡 (第13・14図)

T-4. 5グリッド (A区) から検出した。他の遺構との重複関係があり第50号ピットが住居跡の一部を掘り込んでいた。なお、北側は試掘トレンチにより掘り込まれている。一部が調査区域外であり、カマド部分は試掘時の掘削により消滅したと思われる。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ2.45m、短軸は3.90mを測り、主軸方向はカマドの検出はないが、第1号住居跡と同様に北東方向を指すものと推測される。確認面からの深さは最大で0.3mであった。床面はいくらかの凹凸がみられるが全体的に平坦であり、住居の北西部では窪みが確認された。これはカマド手前の燃焼部への落ち込み部分と考えられ、基本土層は3層から4層であり、カマド手前部分と思われる部分ではいくらか複雑な土層断面である。礫や砂質土が多く検出され、第8層については過去の河川による氾濫土と思われる覆土と思われ、このことから河川の氾濫により埋まったと想定できる。燃焼部手前と思われる落ち込みは長方形の形をした土坑状となっており、床面から0.16mの深さを持つ。それ以外は、ピットが4基確認され、うち北北東隅の1基については柱穴跡と考えられる。

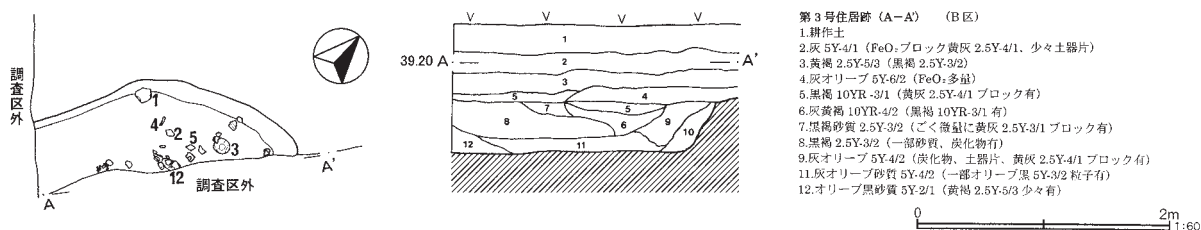
出土遺物では土師器甕、須恵器椀、灰釉陶器椀などである。土師器、須恵器ともに坏の出土がない点特徴的である。また椀と甕で時期に隔たりがあり、灰釉陶器椀はツケガケであり、口縁部が外反していない点などから考えて、H72窯式に比類できると推定されることから、10世紀後半とし、須恵器椀も9世紀末～10世紀と考えられる。また、それ以外の甕については口縁部が「く」の字状であることから、大体8世紀中頃から後半に比類できる。先述した椀はどちらも第7、8層中からの出土であることから氾濫時の流れ込みと考えることができることから、この住居の時期は、8世紀中頃～後半と思われ、ほかの住居に比べて早い時期の住居跡と考えられる。



第14図 第2号住居跡出土遺物 (A区)

第2表 第2号住居跡出土遺物観察表 (A区)

図版No	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	須恵器 椀	(12.6)	4.7	6.7	ABIN	浅黄2.5Y-7/3	C	60%	有段稜線複数	未野産
2	灰釉陶器 椀	(17.9)	6.2	8.7	ABN	灰白7.5Y-8/1	A	45%	内外面ツケガケ 外面、内面ともヨコナデ 三角高台	東海産 H72窯式
4	土師器 甕	(21.8)	(10.4)	-	AEK	明黄褐10YR-6/6	B	口縁部40%	口縁部外面指頭圧痕 胸部外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ痕	
3	土師器 甕	(15.6)	(11.1)	-	ABDG	外：灰黄褐10YR-5/2 内：にぶい黄橙10YR-6/4	B	口縁部へ胸部30%	台付か？ 口縁部ヨコナデ 胸部上ヘラケズリ (ヨコ) 胸部下ヘラケズリ (タテ)	
5	土師器 甕	(21.8)	(11.2)	-	ABDEIM	にぶい橙7.5YR-7/3	B	口縁部20%	口縁部ヨコナデ 外面指頭圧痕 胸部上ヘラケズリ (ヨコ) 胸部下ヘラケズリ (ナナメ)	
6	土師器 甕	(21.4)	(9.6)	-	ABDEGHKN	橙7.5YR-7/6	B	口縁部12%	口縁部ヨコナデ 胸部ヘラケズリ (ヨコ)	
7	土師器 甕	(19.8)	(7.7)	-	ABDEGHK	にぶい橙7.5YR-6/4	B	口縁部15%		
8	須恵器 甕	-	-	-	ABN	外：灰N4/ 内：灰5Y-6/1	A	破片	外面一部平行叩き目	
9	すり石	最大長 4.8	最大幅 4.4	最大厚 4.8	重さ 113g					
10	鉄角釘	最大長 5.3	最大幅 (0.6)	最大厚 (0.5)	重さ 7.2g			頭部・先端部欠損		

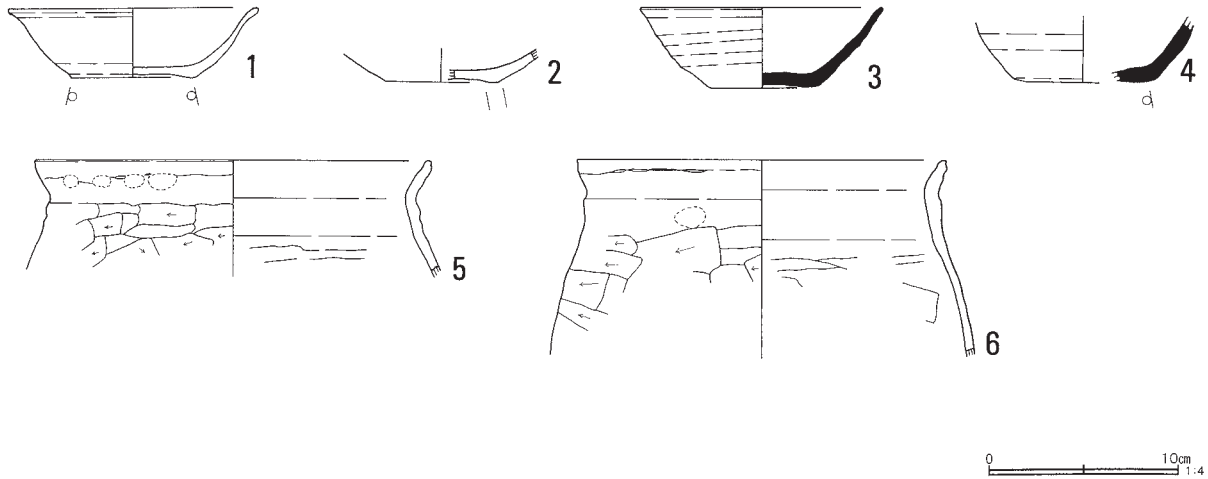


第15図 第3号住居跡 (B区)

第3号住居跡 (第15・16図)

R-7グリッド (B区) から検出した。他の遺構との重複関係はなく、大半が調査区域外であった。住居の角隅部分だろうと思われる。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ2.74m、短軸は0.55mを測る。確認面からの深さは最大で0.4mであった。床面の確認は確認面付近に礫が多く、苦勞を強いられ、ほぼ平坦であるが多くの角礫や小ぶりの礫が床面に確認できた。覆土は東側から徐々に埋まっており、ほぼレンズ状に堆積していたことから自然堆積と想定されるが、一部については過去の河川による氾濫土と想定できる覆土を確認できた。床面には多量の遺物が散乱した状態で検出でき、1㎡あたりでの遺物の出土量は他の住居跡と比較して一番である。完形のものも出土しており、土師器坏、甕、須恵器坏、土師質土器椀などが主体であった。土師器坏はすべてロクロ土器であり、須恵器は未野産であった。これらのことからこの住居跡の時期は9世紀後半～10世紀初めと思われる。また図示できない出土品の大半は坏であり、場合によれば、土器廃棄遺構としての性格の可能性も考えることができる。



第16図 第3号住居跡出土遺物（B区）

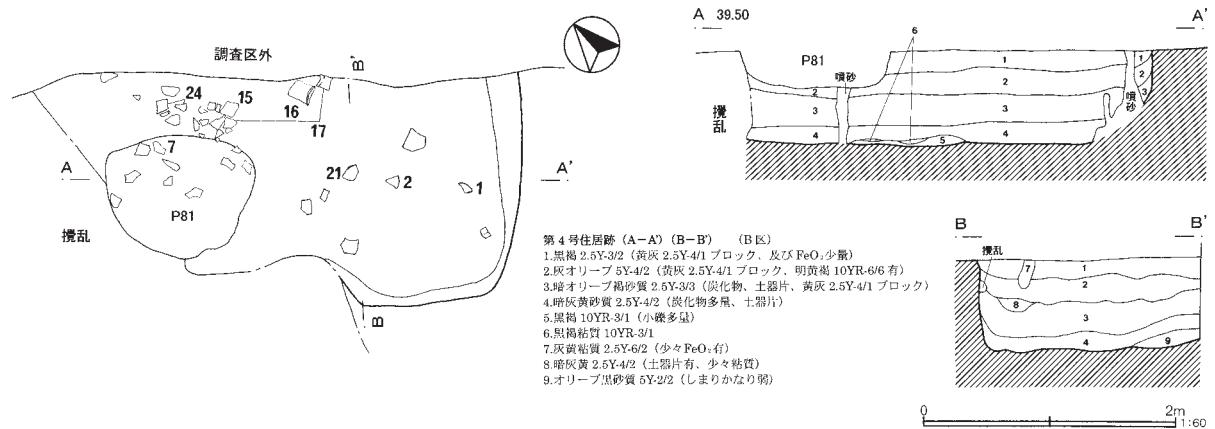
第3表 第3号住居跡出土遺物観察表（B区）

図版No	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 杯	13.2	3.6	6.5	ABDEHIN	にぶい橙5YR-6/4	B	80%	口縁部やや外反 回転ナデ 底部回転糸切り	
2	土師器 杯	-	(1.8)	(6.0)	ADEIN	褐灰5YR-6/1	B	底部30%	底部回転ヘラケズリ	
3	須恵器 杯	12.9	4.3	5.7	AL	灰白10Y-7/1	B	完形	回転ナデ 底部調整不明 ややナデ方向斜位	末野産
4	須恵器 杯	-	(3.1)	(6.2)	AFLN	灰5Y-5/1	A	底部20%	回転ナデ 底部回転ヘラケズリ	末野産
5	土師器 甕	(21.0)	(6.0)	-	AEGI	橙5YR-6/6	B	口縁部20%	口縁部外面指頭圧痕 頸部外面横位ヘラケズリ 胴部外面斜位ヘラケズリ	
6	土師器 甕	(19.5)	(10.3)	-	ABEI	明赤褐5YR-5/8	B	口縁部30%	口縁部やや「コ」の字状 頸部外面指頭圧痕 胴部外面横位ヘラケズリ	

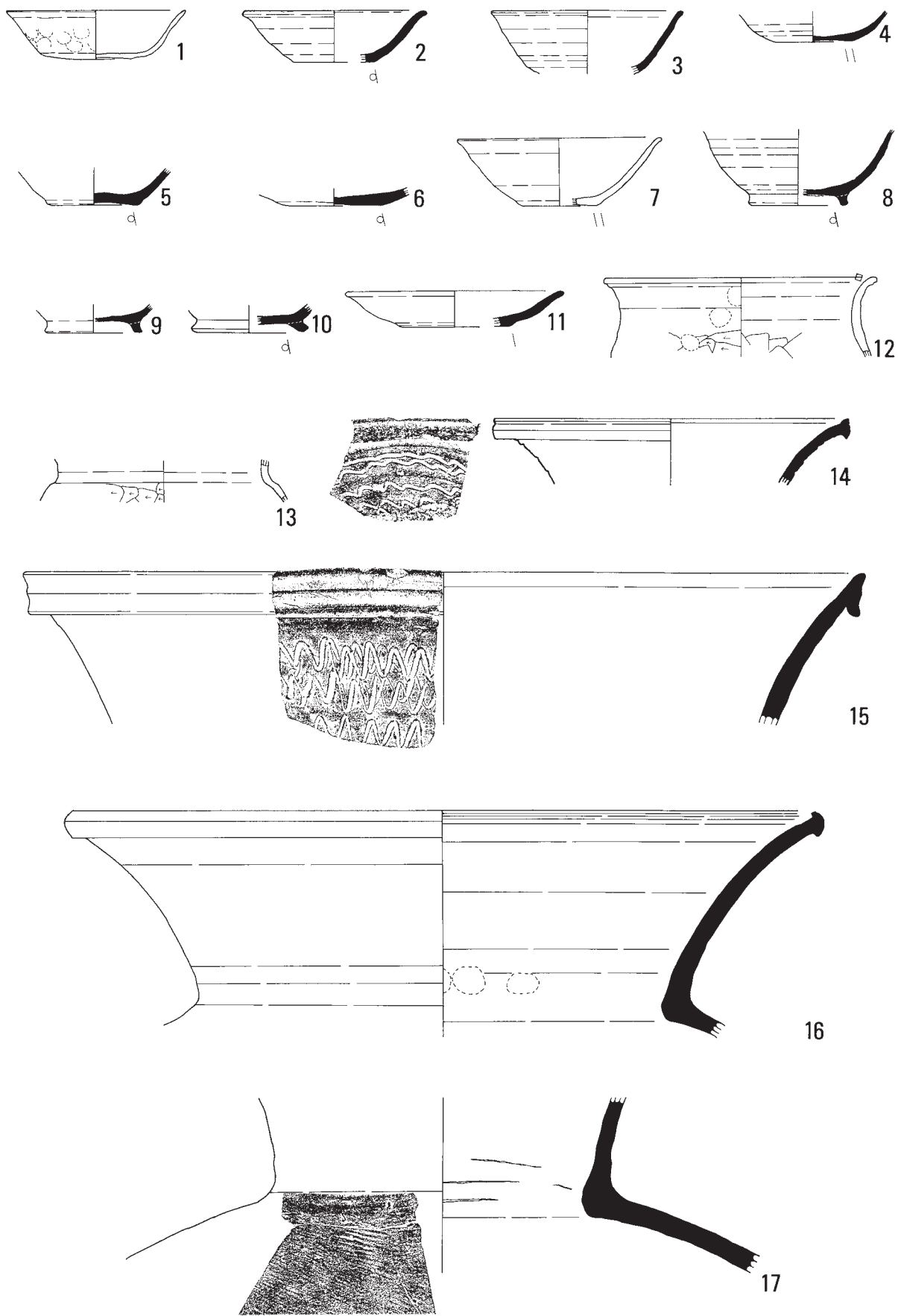
第4号住居跡（第17・18・19図）

Q-7グリッド（B区）から検出した。第81号ピット及び攪乱によって重複関係があり、それらに掘り込まれていた。なおカマド等を含めた、住居北側は調査区域外であると推定される。

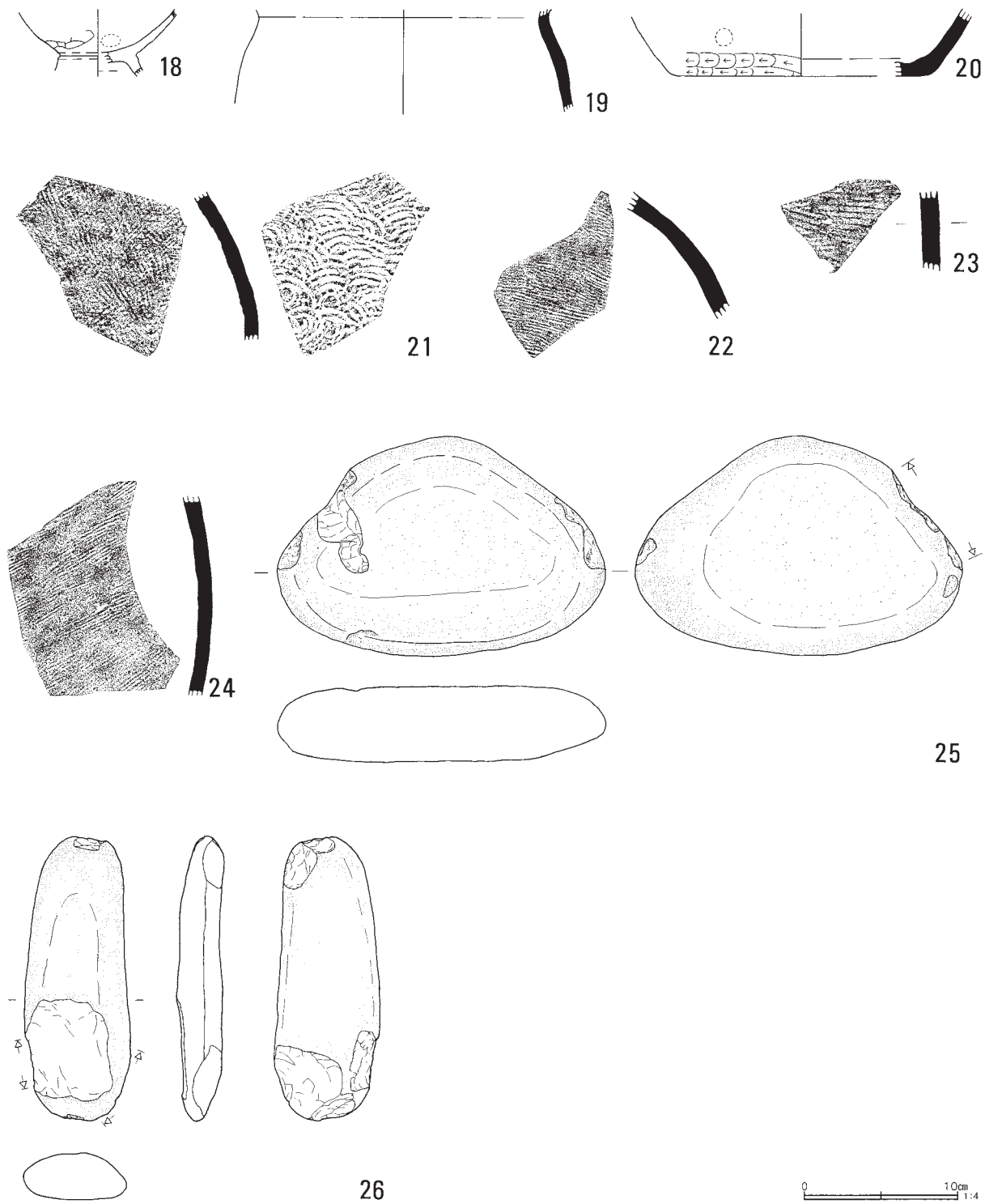
正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ1.92m、短軸は3.85mを測り、主軸方向はカマドの検出はないが、他の住居跡と同様に北東方向を指すものと推測される。確認面からの深さは最大で0.63mであり、住居跡としては残存状態がよいものであった。床面は若干の凹凸があったものの、ほぼ平坦で



第17図 第4号住居跡（B区）



第 18 图 第 4 号住居跡出土遺物(1) (B 区)



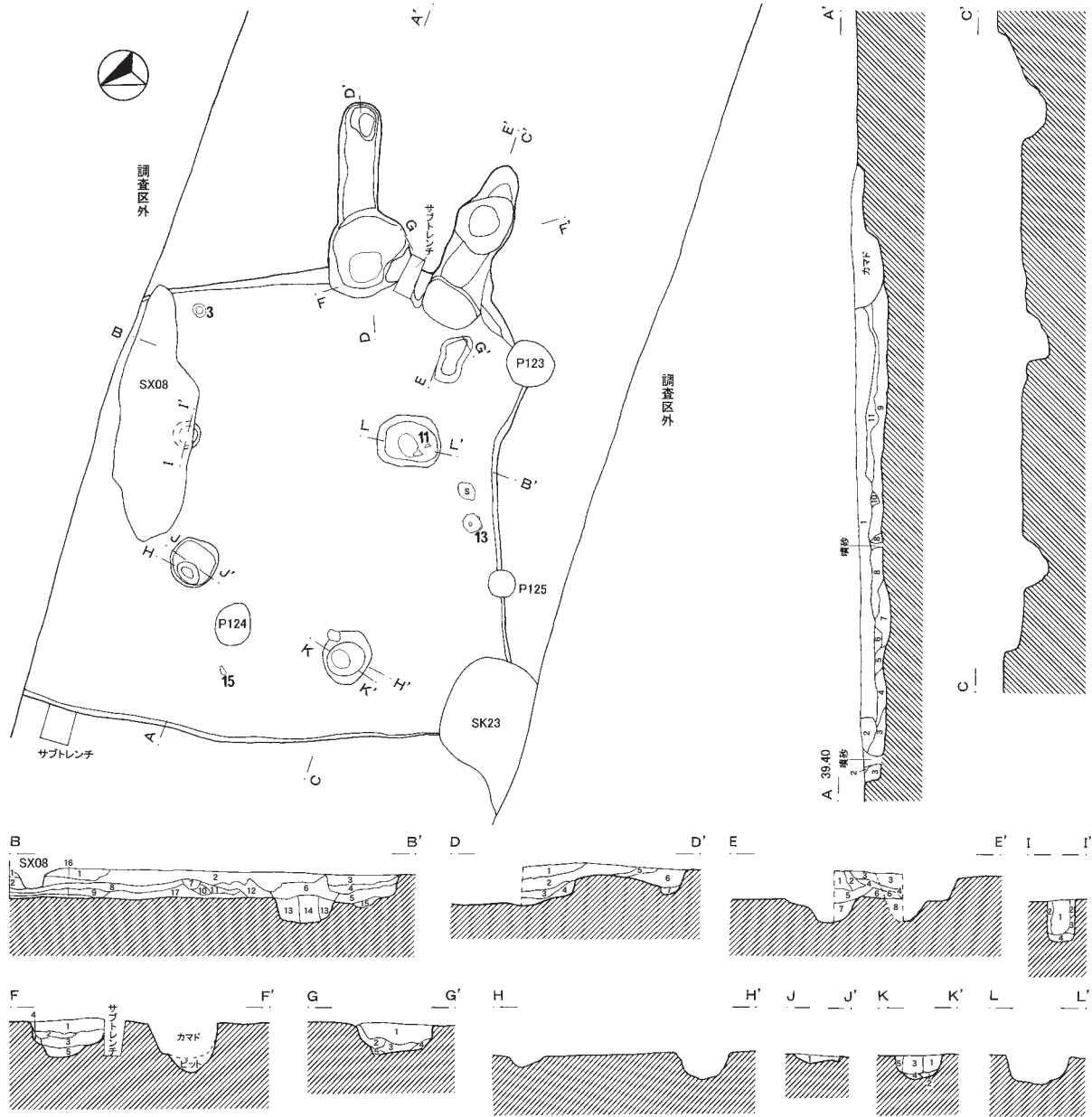
第 19 图 第 4 号住居跡出土遺物(2) (B 区)

あり、底部付近にはいくらか礫が混じっていた。基本土層は全部で4層からなり、いずれも水平堆積であることから、自然堆積と断定できる。底部付近の2層からは土器片とともに炭化物が混ざった状態の砂質土が確認された。

床面からは落ち込みやピット、柱穴跡の検出はなく、遺物が全面に広がった状態で検出され、それら出土遺物は土師器坏、甕、台付甕、須恵器坏、椀、甕、長頸瓶、土師質土器椀がある。一部用途不明の石があり、表裏とも多量にススが付着しており、カマドなどでの利用された可能性がある。また、やや時代が古い東海産と考えられる須恵器長頸瓶を除き、ほぼすべてが末野産の須恵器であった。さらに、土師器甕については、いずれも口縁部が「コ」の字状の様相である。それらのことから、この住居跡の時期は、9世紀後半～10世紀初めと思われる。

第4表 第4号住居跡出土遺物観察表（B区）

図版No	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考	
1	土師器坏	12.7	3.6	-	ABDE	橙7.5YR-6/6	B	80%	底部外面ヘラケズリ 体部外面指頭圧痕		
2	須恵器椀	(13.2)	3.7	-	ABDEN	青灰5PB-5/1	B	20%	回転ナデ 口縁部やや外反 底部回転糸切り	末野産	
3	須恵器椀	(13.7)	(4.5)	-	ABGIN	褐灰10YR-5/1	B	20%	口縁部やや外反	末野産	
4	須恵器坏	-	(2.2)	(5.5)	ADILN	橙7.5YR-6/6	C	底部30%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	末野産	
5	須恵器坏	-	(2.6)	6.5	ABDGN	外：黄褐2.5Y-5/3 内：黄灰2.5Y-6/1	B	底部70%	底部回転糸切り	末野産	
6	須恵器坏	-	(1.3)	6.5	ABIN	灰5Y-5/1	A	底部50%	底部回転糸切り		
7	土師質土器椀	(14.6)	(4.8)	-	ABDEIN	明赤褐5YR-5/6	B	台部欠損	底部台部接続部分ヘラケズリ		
8	須恵器椀	-	(5.4)	(7.1)	ABN	灰白5Y-7/2	A	台部30%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産	
9	須恵器椀	-	(2.0)	(6.9)	ABN	灰白5Y-7/2	A	台部50%	回転ナデ	末野産？	
10	須恵器椀	-	(1.9)	(8.4)	ABDEN	黄灰2.5Y-6/1	B	底部40%	回転ナデ 底部回転糸切り		
11	須恵器坏	(15.6)	2.5	(7.7)	ABCELN	褐7.5YR-4/3	C	20%	口縁部やや外反 回転ナデ 底部回転ヘラケズリ	末野産	
12	土師器甕	(19.4)	(5.6)	-	ABJM	赤褐5YR-4/6	B	口縁部20%	口縁部「コ」の字状 口縁部外面指頭圧痕 胴部外面ヘラケズリ		
13	土師器甕	頸径 (15.0)	(3.0)	-	ABCJ	橙5YR-6/6	B	口縁部破片	口縁部「コ」の字状 胴部外面ヘラケズリ		
14	須恵器長頸瓶	(25.4)	(5.3)	-	ABDEM N	にぶい橙7.5TR-7/4	B	口縁部20%	口縁部外面ヘラガキ沈線	東海産？	
15	須恵器甕	(60.0)	(10.7)	-	BDEHL	灰N-5/	B	口縁部20%	口縁部外面ヘラガキ沈線	末野産	
16	須恵器甕	(54.0)	(16.1)	-	ABN	外：灰N-5/ 内：灰10YR-4/1	B	口縁部～肩部10%	肩部外面自然袖付着 内面指頭圧痕	東海産？	
17	須恵器甕	-	(12.5)	-	ABN	灰N-5/0	A	頸部～肩部20%	口縁部外面ヘラケズリ 胴部外面平行叩き目 口縁部内面粘土組織上痕	末野産	
18	土師器台付甕	-	(4.4)	-	ABEIJ	外：灰褐7.5YR-4/2 内：橙2.5YR-6/6	B	胴部～底部60%	胴部外面ヘラケズリ 胴部内面指頭圧痕		
19	須恵器甕	-	(6.7)	-	AIN	灰N4/	B	肩部破片	回転ナデ	末野産	
20	須恵器甕	-	(4.5)	(17.0)	ABHN	灰N-5/	B	底部20%	底部外面ヘラケズリ 胴部外面指頭圧痕		
21	須恵器甕	-	-	-	ABH	外：灰N6/ 内：青灰5PB-6/1	B	肩部破片	胴部外面平行叩き目（擬斜格子） 内面同心円状当て具痕	産地不明	
22	須恵器甕	-	-	-	ABEN	外：灰7.5Y-5/1 内：灰白2.5Y-7/1	A	肩部破片	肩部外面平行叩き目	末野産？	
23	須恵器甕	-	-	-	ABDN	灰N5/	B	胴部破片	胴部外面平行叩き目 胴部内面同心円状当て具痕	末野産	
24	須恵器甕	-	-	-	ABN	外：灰5Y-4/1 内：灰白2.5Y-7/1	A	胴部破片	胴部外面平行叩き目 外面自然袖付着	末野産	
25	用途不明石	最大長	21.4	最大幅	14.4	最大厚	4.8	重さ	2200 g	2面とも多量のススが付着	砂岩
26	打製石斧	最大長	18.6	最大幅	6.9	最大厚	3.0	重さ	570 g	先端部及び後部に欠損	砂岩



- 第5号住居跡 (A-A') (C区)**
- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、土器片、黄灰 2.5Y-4/1、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
 - 2.オリーブ黒 5Y-3/1 (明黄褐 2.5Y-6/6、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 - 3.オリーブ褐粘質 2.5Y-4/3 (オリーブ黒 10Y-3/1 粒子多量)
 - 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質明黄褐粘質 2.5Y-6/6 ブロック多量)
 - 5.オリーブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 - 6.にぶい黄シルト質 2.5Y-6/3 (一部黒褐 2.5Y-3/1 ブロック有)
 - 7.オリーブ褐粘質 2.5Y-4/3 (一部にぶい黄砂質 2.5Y-6/3 有)
 - 8.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 砂質ブロック多量)
 - 9.暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3、オリーブ褐 2.5Y-4/3 ブロック多量)
 - 10.にぶい黄 2.5Y-6/3 (しまりかなり強)
 - 11.黒褐 2.5Y-3/2 (土器片、炭化物有)

- 第5号住居跡 (B-B') (C区)**
- 1.オリーブ黒 5Y-3/1 (しまり強)
 - 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物多量、にぶい黄 2.5Y-6/4 多量、土器片)
 - 3.オリーブ黒 5Y-3/1 (炭化物微量、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック少量、土器片)
 - 4.灰オリーブ砂質 5Y-4/2 (少々3有、若干しまり弱)
 - 5.黄褐 2.5Y-5/3 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 - 6.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO少量有、土器片、黄灰 2.5Y-4/1、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
 - 7.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeOかなり微量有)
 - 8.オリーブ黒 5Y-3/1 (炭化物ごく微量)
 - 9.暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック及び粒子有、黄灰 2.5Y-4/1 粒子有)
 - 10.暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 - 11.暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 及び粒子・ブロック有)
 - 12.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO多量、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック少量有)
 - 13.黒褐 2.5Y-3/1 (炭化物、土器片、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量、少々シルト質)
 - 14.黒褐 10YR-3/1 (炭化物、土器片有)
 - 15.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 - 16.黒褐 10YR-3/2 (しまり強)
 - 17.黄灰 2.5Y-4/1 (黄褐 2.5Y-5/3、にぶい黄褐 10YR-5/4 ブロック有)

- 第5号住居跡 (D-D') (C区)**
- 1.灰オリーブ 5Y-4/2 (にぶい赤褐 5YR-5/4、一部ににぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有)
 - 2.暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (にぶい赤褐 5YR-5/4 ブロック多量、炭化物)
 - 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々粘質、黒褐 2.5Y-3/1 粒子全体的に含、炭化物)
 - 4.灰オリーブ粘質 5Y-4/2
 - 5.オリーブ黒 5Y-3/2 (にぶい赤褐 5YR-5/4 ブロック微量、褐 7.5YR-4/3 ブロック有)
 - 6.暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部に黒褐 2.5Y-3/1 ブロック有)
 - 7.灰オリーブ 5Y-4/2 (一部砂質)

- 第5号住居跡 (E-E') (C区)**
- 1.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2
 - 2.オリーブ黒 5Y-3/2 (若干砂質、炭化物少量)
 - 3.暗灰黄 2.5Y-5/2 (土器片、少々砂質)
 - 4.黒褐 2.5Y-3/1 (炭化物、土器片、少々砂質、にぶい赤褐 5YR-5/4 ブロック少量有)
 - 5.オリーブ黒 5Y-3/2 (オリーブ褐 2.5Y-4/3 ブロック有)
 - 6.暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (一部に4の粒子が入る)
 - 7.灰オリーブ 5Y-4/2
 - 8.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子多量)

- 第5号住居跡 (F-F') (C区)**
- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい赤褐 5Y-4/4 ブロック有、少々にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有、炭化物有)
 - 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい赤褐 5Y-4/4 及び炭化物多量)
 - 3.黒褐 10YR-3/1 (にぶい赤褐 5Y-4/4 ブロック多量、炭化物多量)
 - 4.灰オリーブ 5Y-4/2 (少々シルト質)
 - 5.灰オリーブ粘質 5Y-4/2 (炭化物、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量)

- 第5号住居跡 (G-G') (C区)**
- 1.灰オリーブ 5Y-4/2 (炭化物、にぶい黄 2.5Y-6/3 有)
 - 2.黒褐砂質 2.5Y-3/1 (焼土、明赤褐 5YR-5/6 ブロック少量)
 - 3.黒褐 10YR-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック多量、少々粘質、炭化物有、明赤褐 5YR-5/6 ブロック微量)
 - 4.灰オリーブ 5Y-4/2 (明赤褐 5YR-5/6 ブロック少量、炭化物、土器片)
 - 5.黒褐 2.5Y-3/1 (明赤褐 5YR-5/6 ブロック多量、炭化物、しまり弱)

- 第5号住居跡内第1号ピット (I-I') (C区)**
- 1.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子多量)
 - 2.暗灰黄砂質 2.5Y-5/2
 - 3.暗灰黄 2.5Y-5/2 (黒褐 2.5Y-3/1 粒子少量含)
 - 4.暗灰黄 2.5Y-5/2

- 第5号住居跡内第2号ピット (J-J') (C区)**
- 1.黒褐 2.5Y-5/3 (一部黒褐 2.5Y-3/1 ブロック多量)

- 第5号住居跡内第3号ピット (K-K') (C区)**
- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、にぶい黄褐 10YR-5/4 ブロック有)
 - 2.オリーブ黒 5Y-3/2 (にぶい黄褐 10YR-5/4 ブロック有)
 - 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質、にぶい黄褐 10YR-5/4 ブロック微量)
 - 4.暗灰黄粘質 2.5Y-4/2
 - 5.オリーブ褐 2.5Y-4/3 (にぶい黄褐 10YR-5/4 ブロック)

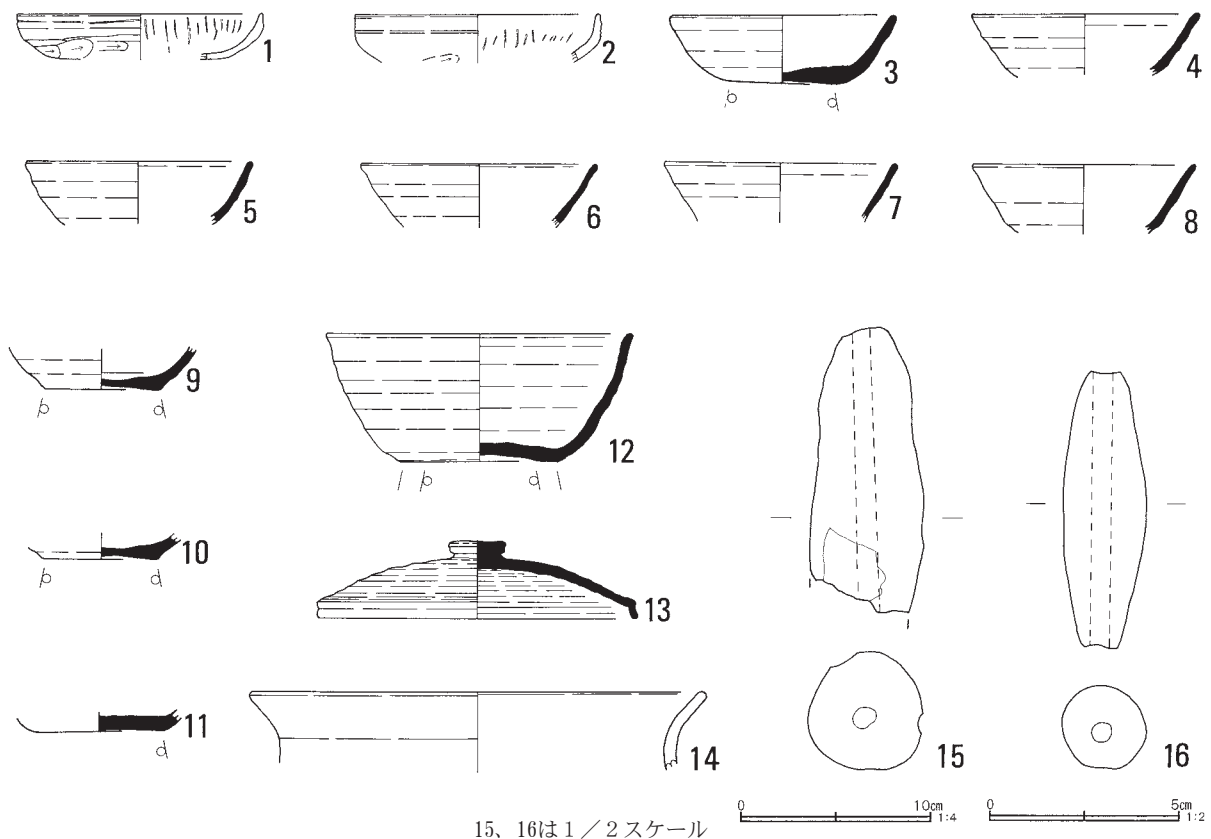
第20図 第5号住居跡 (C区)

第5号住居跡 (第20・21図)

N-10.11グリッド (C区) から検出した。多数の遺構との重複関係があり、第23号土坑、第123~125号ピット、第8号性格不明遺構が住居跡を掘り込み、第7号性格不明遺構が本住居跡に掘り込まれていた。なお一部が調査区域外であった。

長軸がおよそ5.55m、検出短軸は3.65mを測り、他の住居跡と比較すると、規模が大きい。主軸方向はカマドを通るものとしてN-70-Eを指し、東向きのカマドであった。確認面からの深さは最大で0.27mであった。床面はほぼ平坦であるが、カマドがある東に向かってやや傾斜があった。

カマドは2箇所検出され、住居跡を主軸方向から見て、南が当初利用していたカマドで、その後北のカマドへと作り替えたものと思われる。どちらのカマドも住居跡の東隅に位置していると考えられる。また両方のカマドからは燃焼部が検出でき、粘土で構築されたカマドのそでの一部が残存して、確認された。燃焼部からは、甕片が数点検出できたが、図示できるようなものではない。南側のカマドは観察すると全部で5層の層序で構成されており、うち第1層は0.18mに渡って灰オリーブとにぶい黄ブロックが混ざった状態であることから、人工的に埋めたことが分かる。それ以降の覆土には炭化物と共に焼土が多く含まれていた。北側のカマドはいたって自然な堆積で、5層に渡る堆積で、焼土と炭化物を含む覆土が重なり、底部は灰オリーブの粘質土が確認できた。煙道部はどちらも検出され、南側のカマドはおよそ20°の傾斜で立上っていく。また北側のカマドでは燃焼部を経て、いったん60°の傾斜で立ち上り、そこから水平状に煙道部が検出されている。



第21図 第5号住居跡出土遺物 (C区)

第5表 第5号住居跡出土遺物観察表（B区）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器杯	(13.0)	(2.4)	-	AB I	明赤褐2.5YR-5/8	B	口縁部20%	内面放射線状暗文 体部外面ヘラケズリ	
2	土師器杯	(13.0)	(2.5)	-	ABC I	橙5YR-6/8	B	口縁部20%	内面放射線状暗文 体部外面ヘラケズリ 体部やや丸み	
3	須恵器杯	12.0	3.7	5.6	BDH I N	灰白10YR-7/1	B	90%	回転ナデ 厚手、底部回転糸切り	未野産
4	須恵器杯	(12.0)	(3.3)	-	BDHN	黄灰2.5Y-6/1	B	口縁部30%	やや自然袖付着、火襷 回転ナデ、やや浅身	未野産
5	須恵器杯	(12.0)	(3.3)	-	DHN	黄灰2.5Y-6/1	B	口縁部20%	やや自然袖付着 回転ナデ、やや浅身	未野産
6	須恵器杯	(12.6)	(3.3)	-	ADGHN	暗灰黄2.5Y-5/2	B	口縁部20%	回転ナデ、体部直線的	未野産
7	須恵器杯	(12.4)	(3.1)	-	ADHLN	褐灰7.5YR-6/1	B	口縁部20%	回転ナデ、体部直線的	未野産
8	須恵器杯	(11.8)	(3.6)	-	ABDFN	灰黄褐10YR-6/2	B	口縁部20%	回転ナデ、体部直線的	未野産？
9	須恵器杯	-	(2.1)	6.2	ADHN	灰5Y-6/1	B	底部片	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
10	須恵器杯	-	(1.3)	6.0	ABDGN	灰7.5Y-6/1	A	底部片	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
11	須恵器杯	-	(1.1)	(6.7)	A I N	灰N-5/0	B	底部50%	厚手、底部回転糸切り	未野産
12	須恵器碗	16.3	6.8	8.2	ABEGN	青灰10BG-6/1	A	80%	回転ナデ、胴部ゆったりと丸み 底部回転周縁ヘラケズリ	未野産
13	須恵器蓋	16.9	4.1	3.0	ABGN	灰白5Y-7/1	B	90%	蓋の形状を	未野産
14	土師器甕	(24.2)	(4.2)	-	ABDEGIKN	橙7.55YR-6/6	B	口縁部20%	口縁部やや「く」の字状 胴部直線的に落ちる	
15	土錘	最大長 (9.5)	最大幅 3.0	孔径 0.55	重さ 70.3g				土師質 およそ1/3欠損	
16	土錘	最大長 7.3	最大幅 2.2	孔径 0.5	重さ 28.8g				土師質	

床面からは複数のピットが確認でき、土層観察からいずれも柱穴跡と思われるが、このうち疑問となるのが、南側のカマドに重複する柱穴跡の存在である。土層断面の観察により、この柱穴跡はカマド構築時より前に掘られている。そのため、ここに柱跡があることが不自然になる。ここでC-C'を確認すると柱穴跡の3基が一直線となり、かつ2間分等間隔で並ぶことから、掘立柱建物跡が当初あり、その上にこの住居跡が建てられたと考えることができる。他の柱穴は住居跡に削平されたか、調査区域外と推定できる。

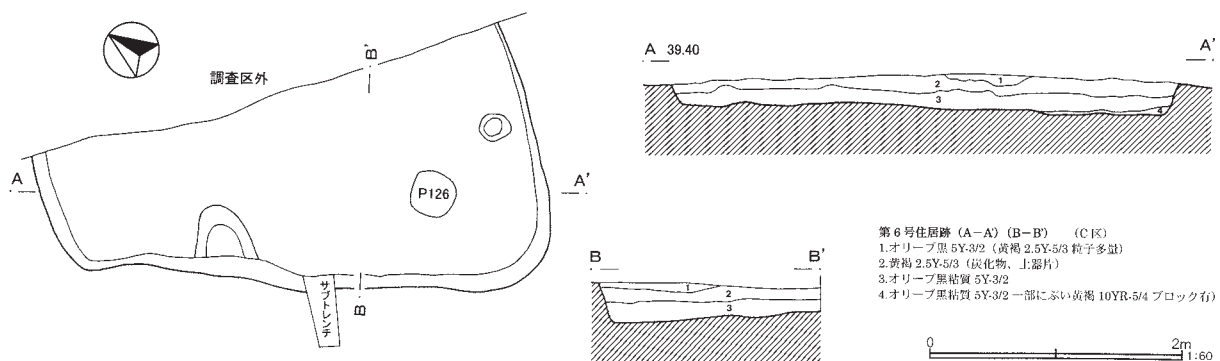
出土遺物では図示可能なものは土師器杯、甕、須恵器杯、碗、蓋、土錘がそれぞれ検出されている。須恵器はほぼ未野産で、土師器杯には暗文が確認できるものもあった。器種の特徴などから判断すると、この住居跡の時期は先の住居跡よりやや早い、9世紀初め～中ごろ、もしくは後半と思われる。一部には8世紀代に含めて良いものも確認されたが、流れ込みと判断した。

第6号住居跡（第24図）

M-12グリッド（C区）から検出した。第126号ピットと重複関係にあり、住居跡の一部を掘り込んでいた。なお、カマド部分は検出されず、調査区域外に位置していると想定される。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ2.00m、短軸は3.88mを測り、この住居もカマド検出はないが、他と同様に主軸方向は北東を指すと思われる。確認面からの深さは、0.22mであることが確認された。調査区域外の壁面から土層観察を行いたかったが、残念ながら崩落の危険性があったため断念した。床面はほぼ平坦であるが東に向かってやや傾斜がある。覆土は基本層で3層からなる。自然堆積で水平に堆積があったようで、底部の第3層は粘質の氾濫土と考えられることから、河川の氾濫によりこの住居は居住不可能となったと判断できる。床面からはピット状の落ち込みが確認できたが、柱穴跡か判断はできなかった。

出土遺物としては、土師器、須恵器片が出土したが、残念ながら図示できるものはなかった。



第 2 2 図 第 6 号住居跡 (C 区)

第 7 号住居跡 (第 2 3・2 4・2 5・2 6 図)

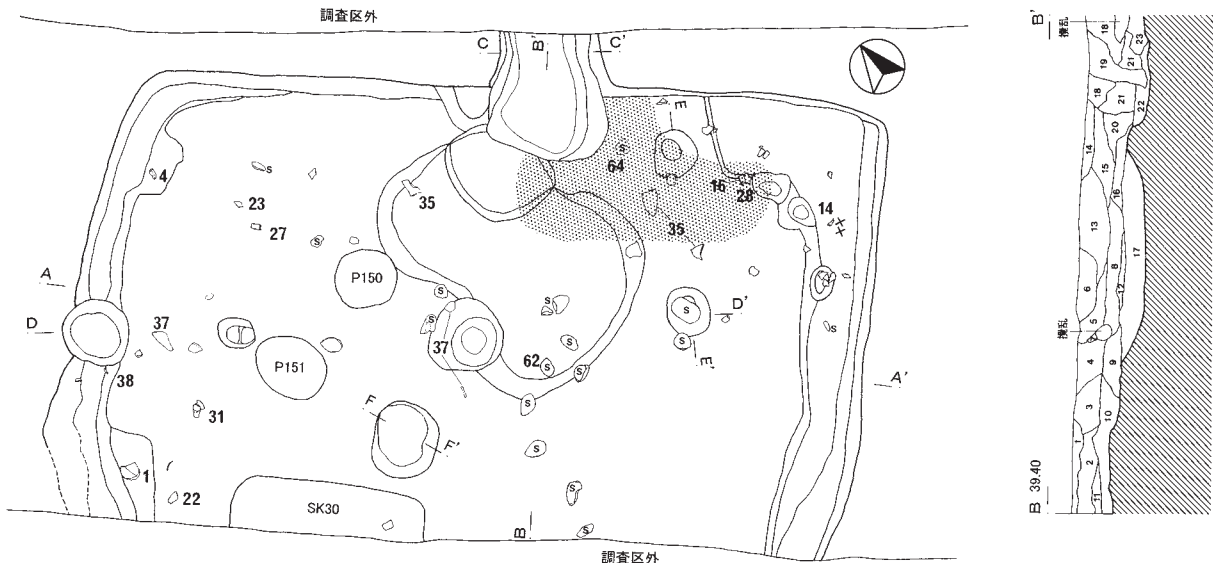
L-13、M-13グリッド (C区) から検出した。複数の遺構と重複関係にあり、第 30 号土坑、第 150、151 号ピットらに掘り込まれ、第 29 号土坑を掘り込んでいた。なおカマド煙道部の一部や、住居南側の一部が調査区域外であった。なお他の住居跡と比較して、この住居は規模が大きい。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ 4.00m、短軸は 6.25m を測り、主軸方向はカマドを通るものとして N-40°-E を指す。確認面からの深さは最大で 0.33m であった。床面はほぼ平坦であるが、カマド手前では窪みが確認された。

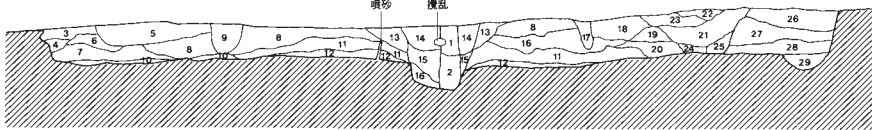
覆土は基本土層からおよそ 2~3 層渡って堆積していると想定されるが堆積状況が複雑で確認は得られない。堆積する覆土は主に砂質土がほとんどで、カマド手前の土坑状の落ち込みの覆土は黄灰色の粘質土で埋設されていた。不自然な堆積箇所もあるが、自然堆積により埋まったものと推定される。

カマド部分は燃烧部と煙道部の一部が検出でき、粘土で構築された側面の一部が残存して、左手にはそでの一部が残存していた。燃烧部は落ち込みが確認でき、確認面からおよそ 12cm 程度の落差があった。煙道部は 10° の傾斜で立上っており、そのまま立上っていくものと推定される。土層断面を観察すると底部が構築時の粘土であり、それ以外は焼土が混入する砂質土であった。また、カマドの右手前には焼土と共に炭化物を多く含んだ床面が広がっており、床面でも何らかの焰硝があった形跡と考えられる。住居内にはピットが 5 基確認され、それらの間隔と覆土から柱穴跡と想定できる。さらに、住居の東西壁手前には壁溝があり、双方とも 20~30cm 程度の幅をもった形で掘られていた。

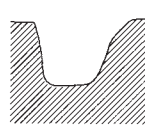
出土遺物は土師器坏、甕、台付甕、甑、須恵器坏、皿、椀、蓋、長頸壺、灰釉陶器椀、多量の土錘が出土した。大体が、8 世紀~9 世紀代の遺物と考えられるが、一部土師器坏などで模倣杯などのやや古相の土器も含まれ、また、灰釉陶器などは 10 世紀としてもおかしくないだろうものも出土している。土錘から漁労を営んでいたことが窺い知ることができる。覆土中からの出土という点から流れ込みの一部と考えられ、これらの遺物からこの住居跡の主体的な時期は、8 世紀中ごろ~9 世紀初めと推定される。よって他の住居跡と比較して、この住居跡はやや時代が古いと思われる。



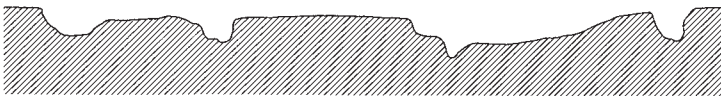
A 39.40



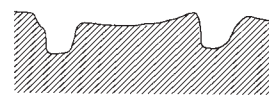
C 39.40



D 39.10



E 39.10



F 39.10



第7号住居跡 (A-A') (C区)

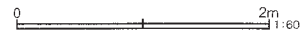
- 1.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子多量)
- 2.黄褐粘質 2.5Y-5/3
- 3.灰オリブ 5Y-4/2 (土器片、一部黒褐 2.5Y-3/1 粘質ブロック有)
- 4.暗灰黄 2.5Y-5/2 (土器片有)
- 5.オリブ黒 5Y-3/1 (土器片多量に有、黄褐 2.5Y-5/3 ブロック有)
- 6.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (土器片少量)
- 7.暗灰黄 2.5Y-5/2 (土器片多量、黄褐 2.5Y-5/3 粘質ブロック多量)
- 8.オリブ褐砂質 2.5Y-4/3 (土器片、黄褐粘質 2.5Y-5/3 ブロック有)
- 9.黒褐 2.5Y-3/1 (ごく微量に黄褐 2.5Y-5/3 粒子有、土器片)
- 10.にぶい黄 2.5Y-6/3 (暗灰黄 2.5Y-4/2 粒子少量)
- 11.灰黄褐砂質 10YR-4/2 (土器片)
- 12.暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック多量)
- 13.暗灰黄 2.5Y-5/2 (黒褐 2.5Y-3/1 粒子微量)
- 14.オリブ黒 5Y-3/1 (微量に土器片、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量有)
- 15.オリブ黒 5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/3 粒子、炭化物少量)
- 16.灰オリブ砂質 5Y-4/2 (土器片有)
- 17.オリブ褐 2.5Y-4/3 (ごく微量に褐 10YR-4/6 ブロック含、土器片有)
- 18.暗灰黄 2.5Y-4/2 (Fe₂O₃ ごく微量に有)
- 19.暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまりかなり強、土器片、少々黄褐 2.5Y-5/3 粒子有)
- 20.暗灰黄 2.5Y-4/2 (Fe₂O₃ 少量、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック微量に有)
- 21.黄褐 2.5Y-5/3 (一部に暗灰黄 2.5Y-4/2 ブロック有)
- 22.灰オリブ 5Y-5/2 (灰白 5Y-7/2 ブロック有)
- 23.灰白粘質 5Y-7/2
- 24.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック帯状に有)
- 25.黒褐 2.5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック少量含)
- 26.オリブ黒 5Y-3/2 (にぶい黄褐 10YR-5/3 ブロック及び粒子有)
- 27.黒褐 2.5Y-3/1 (オリブ黒 5Y-3/2 及びオリブ褐 2.5Y-4/3 粒子多量)
- 28.黒褐 2.5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック微量、少々粘質)
- 29.黒褐 2.5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/4 ブロック多量、かなり粘質)

第7号住居跡 (B-B') (C区)

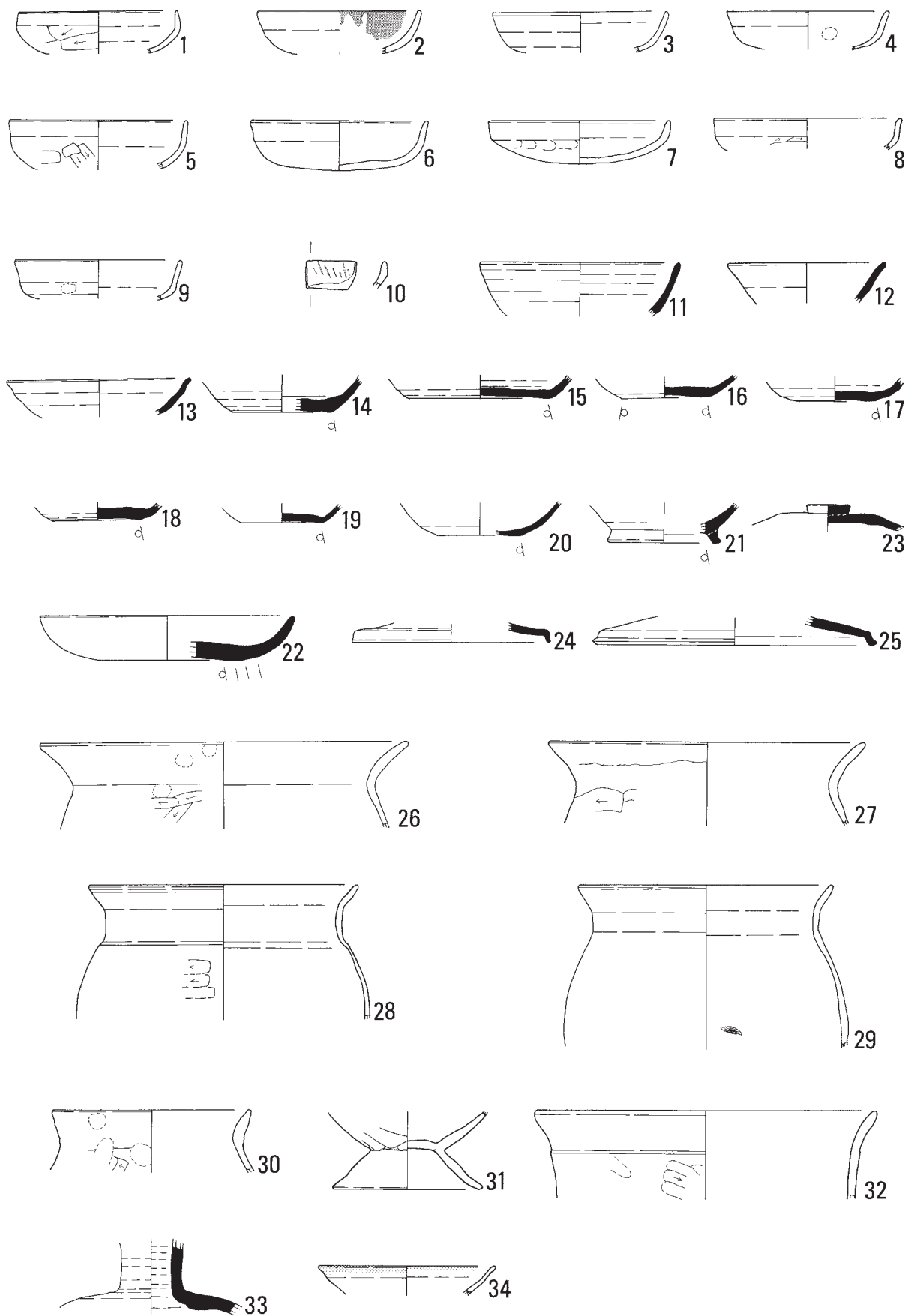
- 1.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子多量)
- 2.灰黄褐砂質 10YR-4/2 (土器片)
- 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (Fe₂O₃ ごく微量に有)
- 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、土器片有)
- 5.灰オリブ砂質 5Y-4/2 (土器片有)
- 6.オリブ褐砂質 2.5Y-4/3 (土器片、黄褐 2.5Y-5/3 粘質ブロック有)
- 7.灰オリブ 5Y-4/2
- 8.灰黄褐砂質 10YR-4/2 (土器片)
- 9.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (土器片)
- 10.暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (にぶい黄褐 10YR-4/3 ブロック少量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、粒子有)
- 11.暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部にオリブ黄砂質、及びにぶい黄褐 10YR-4/3 粘質ブロック有、土器片)
- 12.暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック多量)
- 13.暗灰黄砂質 2.5Y-5/3 (土器片多量、塵土含)
- 14.黄褐砂質 2.5Y-5/3
- 15.オリブ黒 5Y-3/2 (にぶい黄粘質 2.5Y-6/3 ブロック)
- 16.黒褐 10YR-3/1 (暗黄褐粘質 2.5Y-3/1 ブロック、土器片、炭化物少量)
- 17.黄灰粘質 2.5Y-4/1 (明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック多量、炭化物、土器片)
- 18.にぶい黄 2.5Y-6/4 (少量黄褐 2.5Y-5/3 有)
- 19.灰砂質 5Y-4/1 (炭化物多量、土器片、黄褐 2.5Y-5/3 粒子少量)
- 20.灰オリブ 5Y-4/2 (土器片、炭化物少量、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック)
- 21.オリブ褐砂質 2.5Y-4/3 (灰砂質 5Y-4/1 粒子含)
- 22.暗オリブ褐 2.5Y-4/3 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子多量)
- 23.オリブ黒粘質 5Y-3/2 (塵土、土器片少量含)

第7号住居跡内第1号ピット (F-F') (C区)

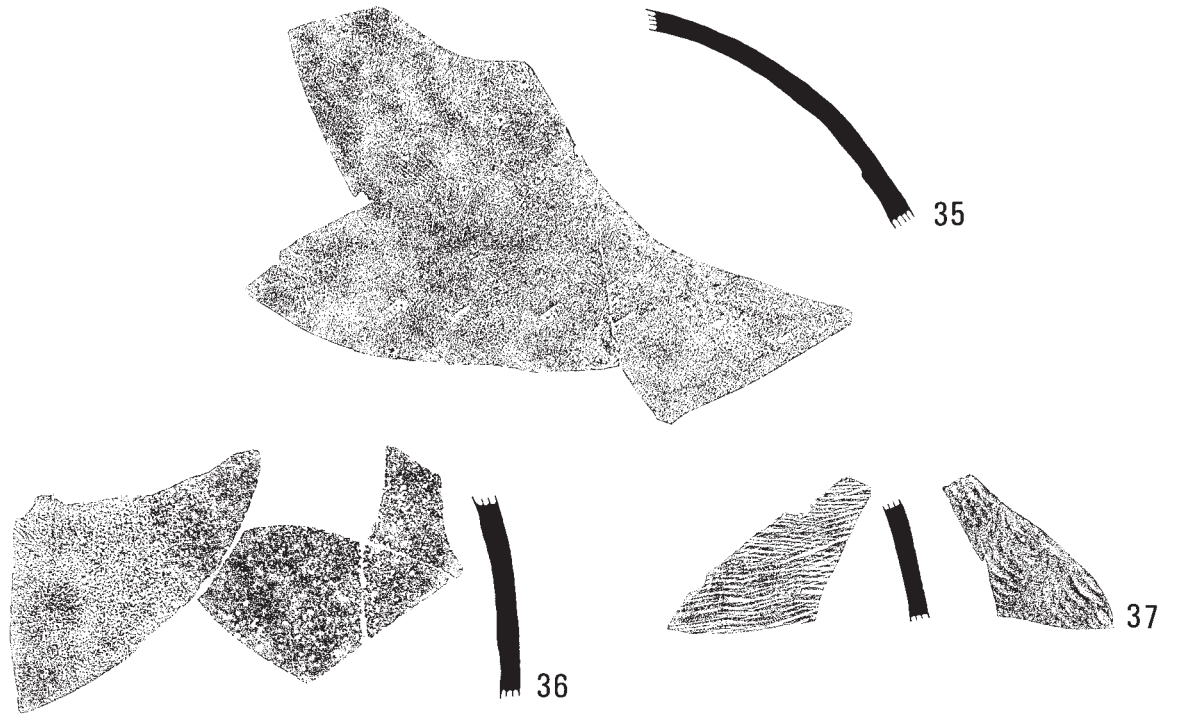
- 1.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (Fe₂O₃ 少量)
- 2.オリブ黒 5Y-3/2 (一部 Fe₂O₃ 多量)



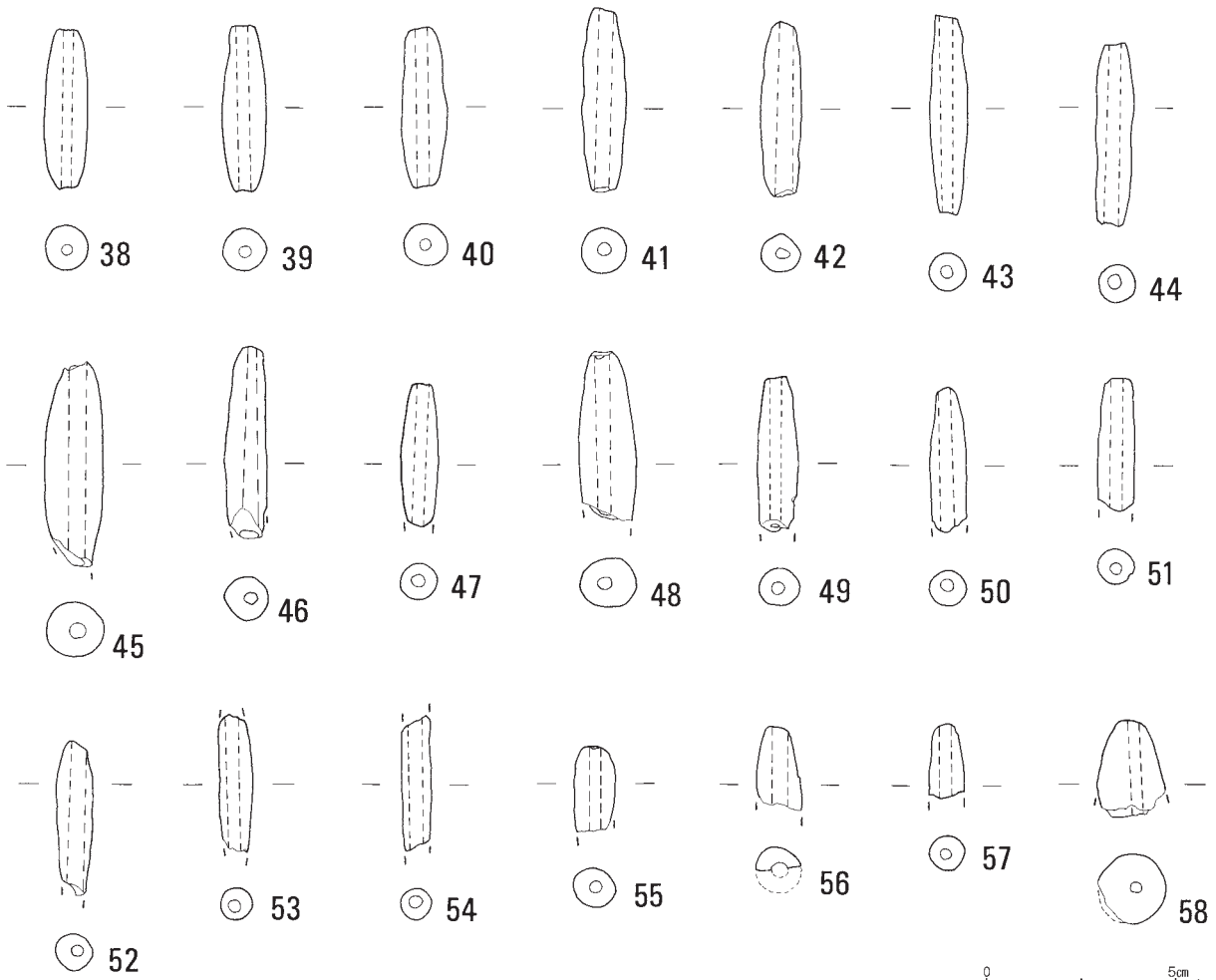
第23図 第7号住居跡 (C区)



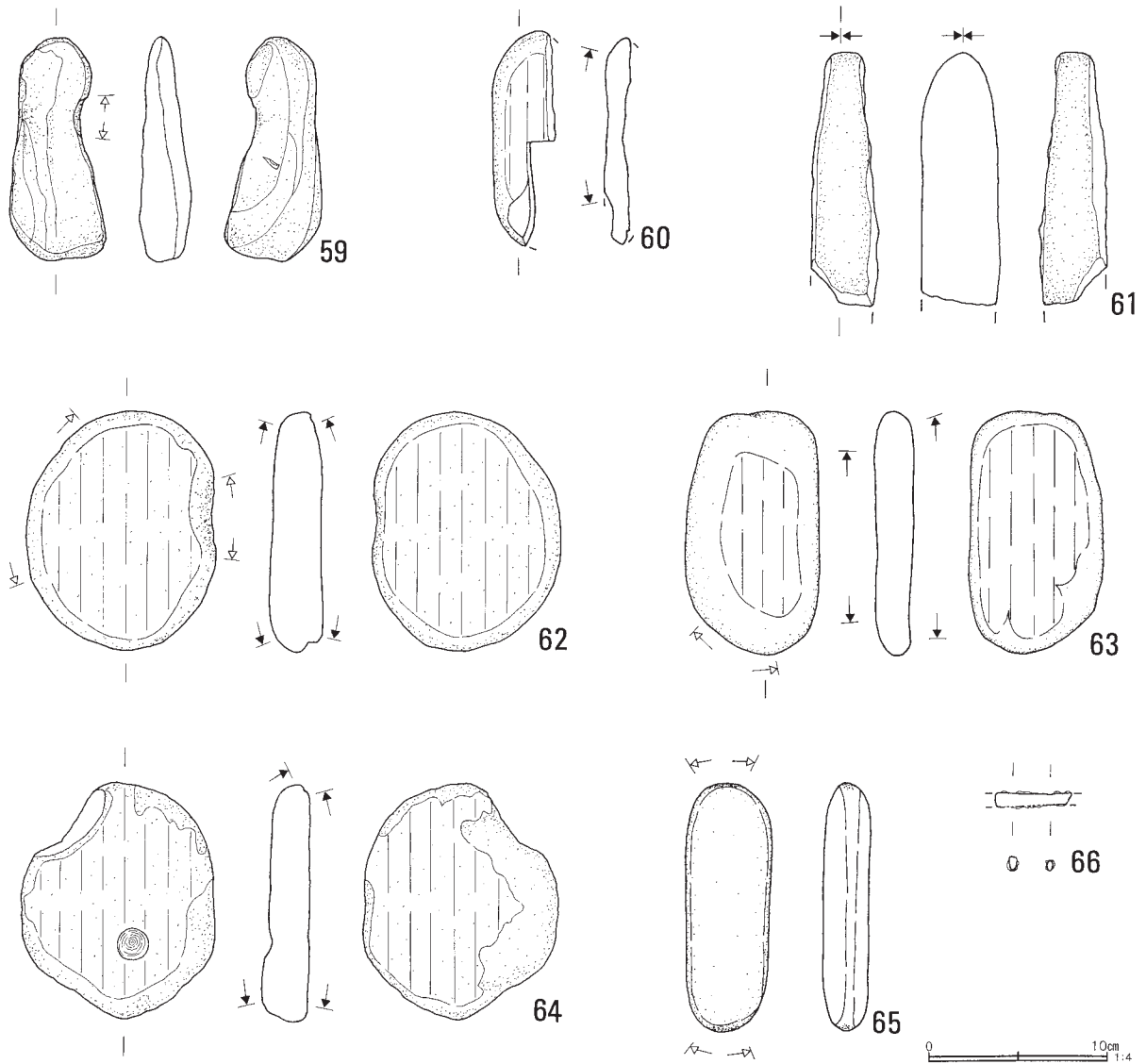
第24图 第7号住居跡出土遺物(1) (C区)



0 10cm 1:4



第 2 5 图 第 7 号住居跡出土遺物(2) (C区)



第26図 第7号住居跡出土遺物(3) (C区)

第6表 第7号住居跡出土遺物観察表 (C区)

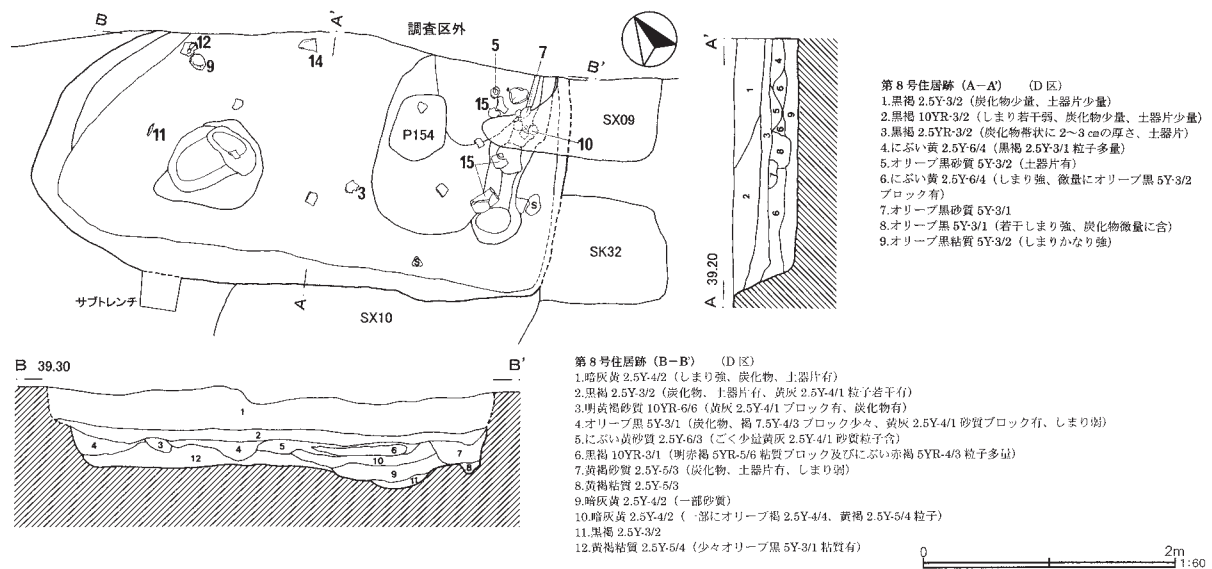
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器杯	(11.2)	(3.1)	-	ABKN	橙7.5YR-6/6	B	20%	口縁部内湾 体部外面ヘラケズリ	
2	土師器杯	(11.5)	(3.1)	-	ABIJ	にぶい橙7.5YR-7/3	B	40%	口縁部やや内湾 内面スス附着 胴部外面ヘラケズリ	
3	土師器杯	(12.5)	(3.0)	-	ABIJ	明黄褐10YR-7/6	B	20%	口縁部やや内湾 平底	
4	土師器杯	(11.4)	(2.8)	-	ABGN	橙7.5YR-6/6	B	20%	体部内面指頭圧痕 消耗著しい、浅身	
5	土師器杯	(12.7)	(3.4)	-	ABJM	にぶい橙7.5YR-6/4	B	20%	体部外面ヘラケズリ 深身、体部丸み	
6	土師器杯	(12.5)	3.5	-	ABI	橙5YR-6/6	B	50%	体部やや丸み、深身 体部外面ヘラケズリ (摩耗有)	
7	土師器杯	(12.8)	3.0	-	ABDIJ	橙7.5YR-6/6	B	60%	口縁部直立、体部外面ヘラケズリ	
8	土師器杯	(13.2)	(2.3)	-	ABEN	明赤褐2.5YR-5/6	B	口縁部20%	口縁部ヨコナデ 口縁部直立 体部外面ヘラケズリ	
9	土師器杯	(11.8)	(2.8)	-	ABI	橙7.5YR-6/6	B	口縁部30%	口縁部緩やかに内湾 浅身、平底、体部外面指頭圧痕、体部外面ヘラケズリ	

第6表 第7号住居跡出土遺物観察表 (C区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考	
10	土師器杯	-	-	-	ABN	橙5YR-6/6	-	破片	内面放射線状暗文		
11	須恵器杯	(14.0)	(3.7)	-	DHN	灰7.5Y-6/1	B	口縁部10%	回転ナデ		
12	須恵器杯	(11.2)	(2.9)	-	ABEN	灰白2.5Y-8/2	B	口縁部20%	回転ナデ	未野産	
13	須恵器杯	(13.0)	(2.5)	-	DFH	灰5Y-6/1	B	口縁部10%	口縁部外反	南比企産	
14	須恵器杯	-	(26.0)	(7.2)	ABD	灰白2.5Y-7/1	B	底部30%	回転ナデ、厚手 底部回転糸切り	南比企産?	
15	須恵器杯	-	(1.6)	(9.8)	ABDF	灰5Y-6/1	A	底部40%	回転ナデ やや大振り 平底 底部回転糸切り	南比企産	
16	須恵器杯	-	(1.5)	6.0	ABFIN	灰黄褐10YR-6/2	B	底部片	回転ナデ 底部回転糸切り		
17	須恵器杯	-	(1.7)	(6.0)	ABDEIN	にぶい赤褐5YR-5/3	B	底部40%	回転ナデ、厚手 底部回転糸切り		
18	須恵器杯	-	(1.1)	(6.2)	ABDF	灰白5Y-7/1	B	底部60%	回転ナデ 底部厚手 底部回転糸切り	南比企産	
19	須恵器杯	-	(1.3)	(5.6)	BDFHN	黄褐2.5Y-6/1	B	底部70%	回転ナデ 底部回転糸切り	南比企産	
20	須恵器杯	-	(2.3)	(6.0)	CEHN	灰黄2.5Y-7/2	B	底部30%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産	
21	須恵器碗	-	(2.3)	(8.0)	BDGHIL	灰黄2.5Y-6/2	B	底部20%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産	
22	須恵器皿	(18.0)	3.2	(9.5)	ABN	黄灰2.5Y-6/1	B	30%	外面体部火樺 厚手・回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	未野産 蓋とも考 えられる	
23	須恵器蓋	-	(1.8)	(3.0)	DEFHN	灰5Y-5/1	B	蓋20%	つまみは内窪み	未野産	
24	須恵器蓋	(14.0)	(1.3)	-	AB	灰白5Y-8/1	A	口縁部20%	回転ナデ 内面返し	未野産	
25	須恵器蓋	(20.0)	(2.0)	-	AB	灰7.5Y-5/1	A	蓋30%	内面返し 回転ナデ	未野産	
26	土師器甕	(26.0)	(6.2)	-	ABCIJ	橙5YR-6/6	B	口縁部30%	口縁部大きく外反 「く」の字状 胴部外面指頭圧痕 胴部外面横位ヘラケズリ		
27	土師器甕	(22.3)	(5.7)	-	ABIK	橙5YR-7/8	B	口縁部30%	口縁部大きく外反 「く」の字状 粘土紐積上痕 胴部外面横位ヘラケズリ		
28	土師器甕	(19.0)	(9.5)	-	ABDIJ	黄灰2.5Y-5/1	C	口縁部～肩部30%	口縁部外反 「コ」の字状 胴部外面横位ヘラケズリ		
29	土師器甕	(18.0)	(11.5)	-	ABHI	橙5YR-6/6	B	口縁部～胴部30%	胴部内面圧痕 摩耗著しい やや「コ」の字状		
30	土師器台付甕	(14.0)	(14.3)	-	ABJN	明赤褐2.5YR-5/6	B	口縁部30%	口縁部粘土紐積上痕 口縁部～口辺部外面指頭圧痕 胴部外面横位ヘラケズリ		
31	土師器台付甕	-	(5.5)	(10.6)	ABEIN	橙5YR-6/6	B	台部～底部片	台部先端ふくらむ		
32	土師器甕	(24.0)	(6.2)	-	ABIJ	赤褐5YR-4/6	B	口縁部30%	口縁部外面ヨコナデ 胴部外面斜位ヘラケズリ		
33	須恵器長頸壺	(首径) 4.6	(5.4)	-	ABN	灰10Y-6/1	A	頸部片	内面自然釉付着 内面指頭圧痕 口縁部と頸部接着痕		
34	灰釉陶器碗	(12.6)	(2.0)	-	BCGHN	褐灰10YR-6/1	B	口縁部20%	口縁部先端釉葉付着 回転ナデ	東海産	
35	須恵器甕	-	-	-	ABGLN	灰5Y-6/1	A	胴部破片	外面自然釉わずかに付着 内面ヘラケズリ及び当て具痕	未野産	
36	須恵器甕	-	-	-		外：オリブ黒5Y-2/2 内：灰7.5Y-6/1	A	胴部破片	外面自然釉わずかに付着 外面粘土紐積上げ痕	未野産	
37	須恵器甕	-	-	-	ABEGLN	灰N-5/0	A	胴部破片	胴部外面平行叩き目 (重ね)	未野産	
38	土錘	最大長	4.3	最大幅	1.1	孔径	0.25	重さ	5.0g	完形 土師質	
39	土錘	最大長	4.4	最大幅	1.2	孔径	0.3	重さ	6.0g	完形 土師質	
40	土錘	最大長	4.3	最大幅	1.2	孔径	0.3	重さ	6.0g	完形 土師質	
41	土錘	最大長	4.9	最大幅	1.2	孔径	0.4	重さ	5.4g	完形 土師質	
42	土錘	最大長	4.7	最大幅	1.0	孔径	0.4	重さ	5.2g	一部欠損 土師質	
43	土錘	最大長	5.2	最大幅	1.0	孔径	0.3	重さ	5.4g	完形 土師質	
44	土錘	最大長	4.9	最大幅	1.0	孔径	0.35	重さ	4.6g	完形 土師質	
45	土錘	最大長	(5.4)	最大幅	1.5	孔径	0.4	重さ	12.0g	一部欠損 土師質	
46	土錘	最大長	(5.1)	最大幅	1.1	孔径	0.4	重さ	6.0g	一部欠損 土師質	
47	土錘	最大長	(3.8)	最大幅	1.0	孔径	0.3	重さ	3.0g	完形 土師質	
48	土錘	最大長	(4.5)	最大幅	1.5	孔径	0.3	重さ	8.9g	一部欠損 土師質	
49	土錘	最大長	(4.1)	最大幅	1.1	孔径	0.3	重さ	4.0g	一部欠損 土師質	
50	土錘	最大長	(3.9)	最大幅	1.0	孔径	0.35	重さ	4.0g	一部欠損 土師質	
51	土錘	最大長	(3.5)	最大幅	0.95	孔径	0.3	重さ	3.0g	一部欠損 土師質	
52	土錘	最大長	(4.2)	最大幅	1.0	孔径	0.3	重さ	3.1g	完形 土師質	
53	土錘	最大長	(3.7)	最大幅	0.85	孔径	0.3	重さ	3.0g	一部欠損 土師質	

第6表 第7号住居跡出土遺物観察表 (C区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
54	土錘	最大長 (3.6)	最大幅	0.8	孔径 0.35	重さ 3.0g			一部欠損 土師質	
55	土錘	最大長 (2.3)	最大幅	1.1	孔径 0.3	重さ 2.0g			一部欠損 土師質	
56	土錘	最大長 (2.2)	最大幅	1.2	孔径 0.4	重さ 1.0g			一部欠損 土師質	
57	土錘	最大長 (2.0)	最大幅	0.9	孔径 0.3	重さ 1.0g			一部欠損 土師質	
58	土錘	最大長 (2.6)	最大幅	1.8	孔径 0.25	重さ 7.0g			一部欠損 土師質	
59	石斧	最大長 13.1	最大幅 5.2	最大厚 3.4	重さ 198.9g				側面に打欠痕	緑泥片岩
60	すり石	最大長 (12.2)	最大幅 (3.5)	最大厚 (1.3)	重さ 71.4g				使用時の欠損 擦り石使用後、加工か?	砂岩
61	すり石	最大長 (14.3)	最大幅 4.7	最大厚 3.5	重さ 394g				全面擦り痕	砂岩
62	扁平磨石	最大長 13.4	最大幅 10.5	最大厚 2.9	重さ 699.5g				両面に擦り痕	閃緑岩
63	すり石	最大長 13.2	最大幅 7.6	最大厚 2.2	重さ 386.5g				擦り痕	砂岩
64	磨石	最大長 13.4	最大幅 11.0	最大厚 2.7	重さ 602.5g				両面に擦り痕 片面に穿孔	閃緑礫岩
65	たたき石	最大長 14.0	最大幅 4.8	最大厚 2.5	重さ 258g				上下部に敲打痕	砂岩
66	刀子?	最大長 (4.3)	最大幅 1.0	重さ 4.6g					先端部欠損	



第27図 第8号住居跡 (D区)

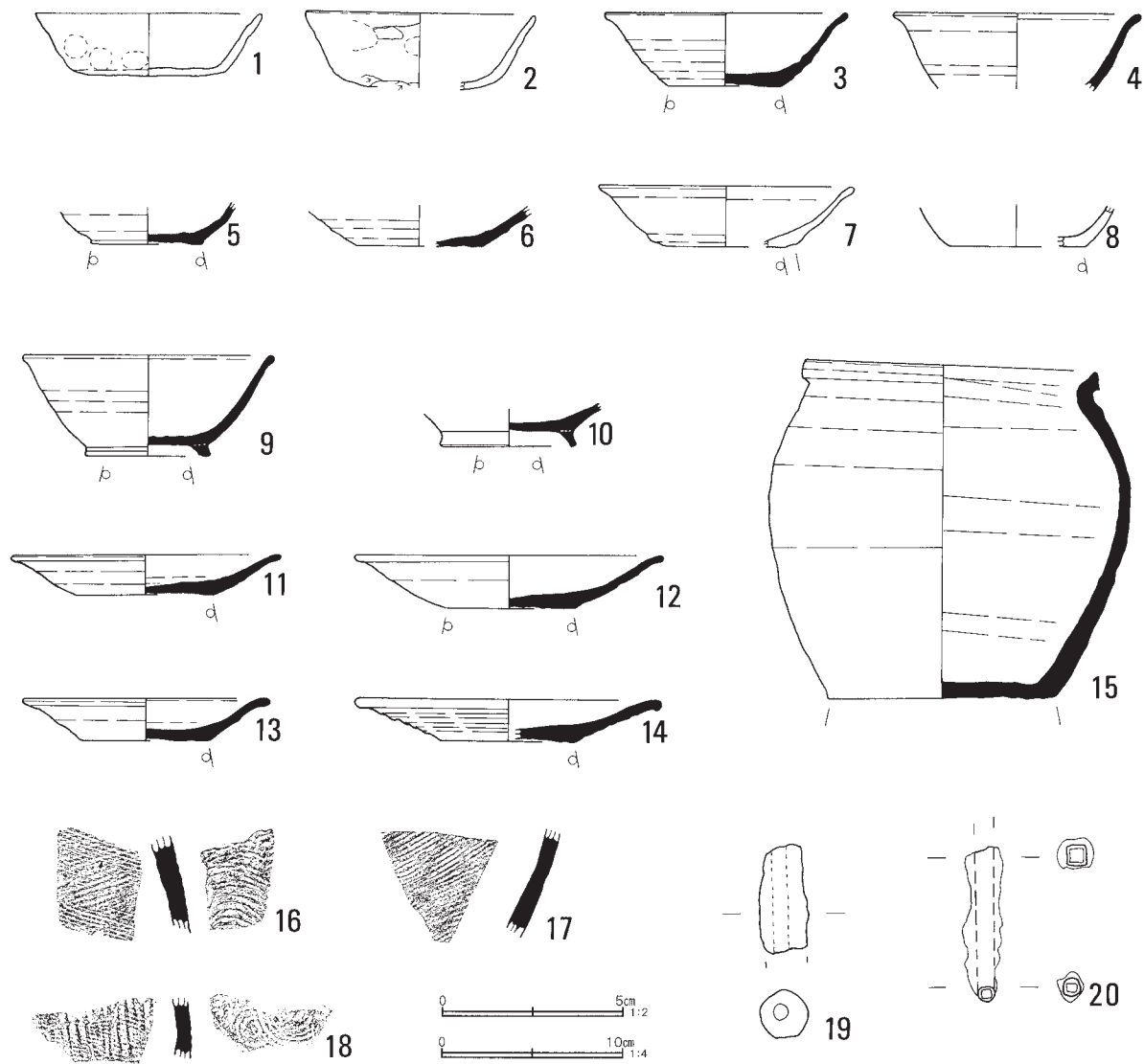
第8号住居跡 (第27・28図)

K-15グリッド (D区) から検出した。他の遺構と重複関係にあり、第154号ピット、第9性格不明遺構に掘り込まれ、第32号土坑、第10号性格不明遺構を掘り込んでいた。なお、大部分は調査区域外であり、どのように展開は不明である。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおおよそ2.00m、短軸は4.12mを測り、主軸方向はカマドの検出はないが、これまでの住居跡と同様に北東方向を指すものと推測される。確認面からの深さは最大で0.62mであった。覆土は自然堆積と想定されるが、上層部分については水平堆積が確認できることから、一部については過去の河川による氾濫土が堆積したものと考えられる。床面には北東方向に土坑状のくぼみと壁溝と思われる溝状の落ち込みがあり、その付近から集中して土器片が多量に出土している。

なお南西部分からはピット状のくぼみがあり、2重の落ち込みとなっているが、柱穴跡と考えられる。

出土遺物は土師器坏、須恵器坏、甕、椀、皿、鉢、土師質土器、土錘等が出土している。出土須恵器のすべてが末野産で、土師器との比率で見ると、須恵器が圧倒的な出土量である。これらの遺物からこの住居跡の時期は9世紀後半～10世紀初めと思われる。



19、20は1/2スケール

第28図 第8号住居跡出土遺物 (D区)

第7表 第8号住居跡出土遺物観察表 (D区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 杯	12.4	3.5	8.5	ABD	橙7.5YR-7/6	B	70%	体部外面指頭圧痕 体部外面下部ヘラケズリ 平底、やや口縁部外反	
2	土師器 杯	(12.7)	(4.2)	-	ABDN	橙2.5YR-7/6	B	20%	体部外面下部ヘラケズリ 体部外面指頭圧痕	
3	須恵器 坏	(13.4)	(4.1)	6.3	AEILN	灰黄2.5Y-7/2	B	40%	回転ナデ 口縁部わずかに外反 底部回転糸切り	未野産
4	須恵器 坏	(13.6)	(4.3)	-	ABDHN	暗灰黄2.5Y-5/2	B	口縁部20%	回転ナデ 口縁部やや外反	未野産
5	須恵器 坏	-	(2.4)	6.2	DGHN	坯黄2.5Y-7/2	B	底部100%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
6	須恵器 坏	-	(2.3)	26.9	AC	灰黄2.5Y-7/2	B	30%	回転ナデ	未野産
7	土師質土器 坏	(14.0)	3.3	(6.4)	ABDEIN	にぶい黄橙10YR-6/3	C	30%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	
8	土師質土器 坏	-	(2.3)	(7.5)	ACH	灰黄2.5Y-7/2	B	40%	回転ナデ、平底 底部回転糸切り	未野産
9	須恵器 碗	(13.8)	5.6	6.8	ABDHN	灰N6/	B	80%	回転ナデ わずかに口縁部外反 底部回転糸切り	未野産
10	須恵器 碗	-	(2.3)	7.5	BDGHKN	灰黄2.5Y-6/2	B	底部100%	回転ナデ痕 底部回転糸切り	未野産
11	須恵器 皿	(14.8)	2.2	(7.4)	ADHIKN	灰白10YR-7/1	B	30%	回転ナデ やや口縁部外反 底部回転糸切り	未野産
12	須恵器 皿	(17.0)	2.9	(7.2)	AL	浅黄2.5Y-7/3	B	50%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産

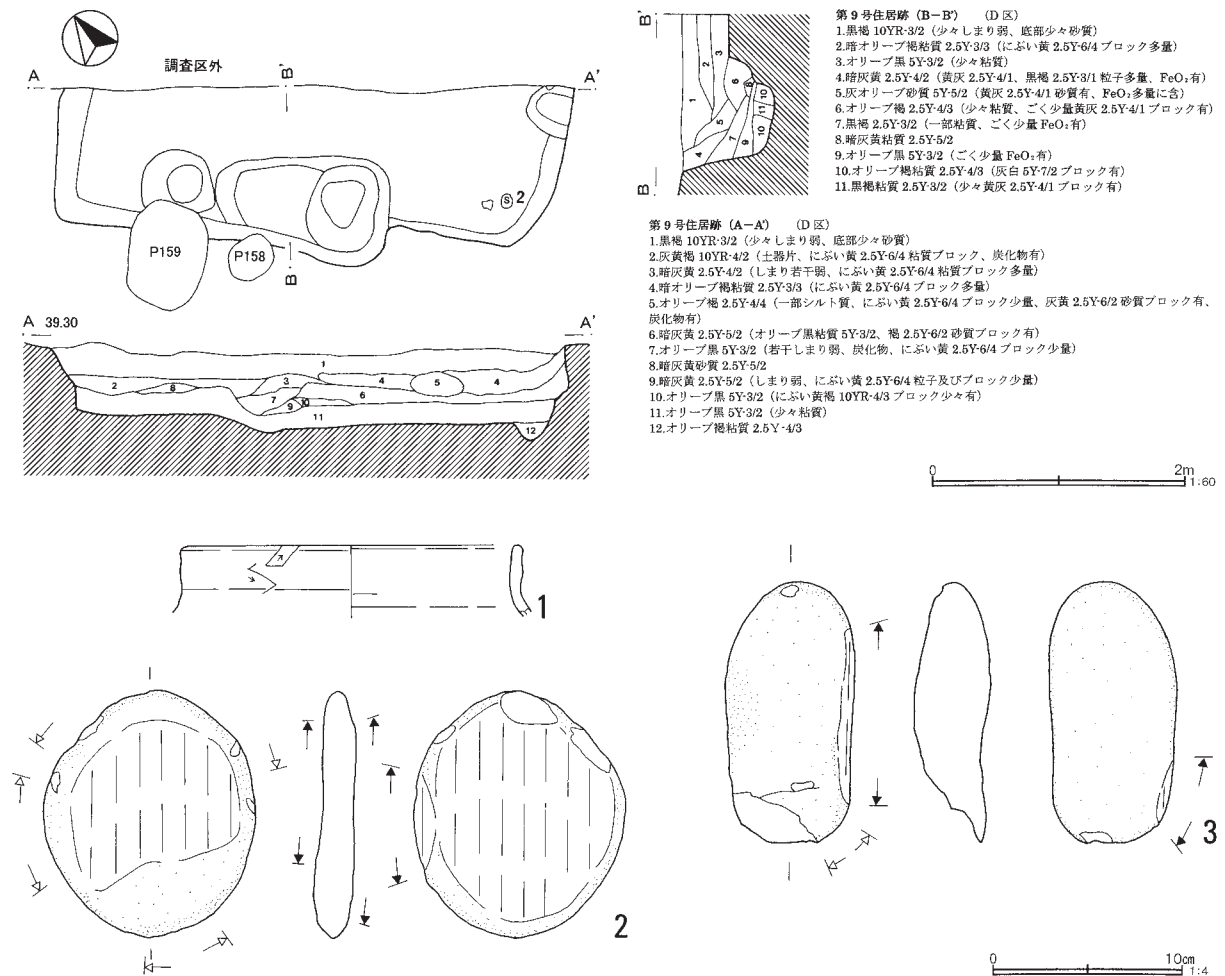
第7表 第8号住居跡出土遺物観察表 (D区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
13	須恵器 皿	(13.6)	2.3	(7.0)	ADEHN	オリープ灰5GY-5/1	B	30%	回転ナデ やや厚手 大きく口縁部外反 底部回転糸切り	未野産
14	須恵器 皿	(16.9)	2.3	(7.5)	ABDL	灰7.5Y-5/1	B	40%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
15	須恵器 鉢	16.0	18.7	12.6	ABFILN	灰N5/0-5/0	A	90%	回転ナデ 底部回転ヘラケズリ	未野産
16	須恵器 甕	-	-	-	ADH	黄灰2.5Y-6/2	B	胴部破片	外面平行叩き目(重ね) 内面同心円状あて具痕	未野産
17	須恵器 甕	-	-	-	AF	褐灰10YR-5/1	B	胴部破片	外面平行叩き目	未野産
18	須恵器 甕	-	-	-	AL	灰黄2.5Y-6/2Y-6/2	B	胴部破片	外面格子状叩き目 内面同心円状あて具痕	未野産
19	土錘	最大長 (3.0)	最大径 1.3	孔径 0.4	重さ 5.7g					
20	鉄釘	最大長 4.3	最大幅 1.1	最大厚 1.2	重さ 7.1g			胴部片	頭部、先端部欠損	

第9号住居跡 (第29図)

K-15グリッド (D区) から検出した。他の遺構との重複関係があり、第157~159号ピットに掘り込まれていた。なおカマド部分を含めた大部分が調査区域外であると推測される。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ1.00m、短軸は4.00mを測り、主軸方向はカマドの検出はないが、これまでの住居跡と同様に北東方向を指すものと推測される。確認面からの深さは最大で0.63mであり、床面は中央付近に向かって東西からの傾斜がわずかであるが確認できるが、ほぼ平坦である。覆土はほぼ水平堆積で、一部複雑に折り重なる部分があるものの、暗オリープ色の粘質土などが堆積しており、河川の氾濫等により堆積していったものと推察される。



第29図 第9号住居跡・出土遺物 (D区)

床面にはピット状の落ち込みが3箇所確認でき、南側の中央部分の2段階の落ち込みがあるピットは柱穴跡と捉えられる。

出土遺物で図示可能なものとしての検出は少なく、土師器甕や、すり石程度が確認できる。土師器甕からの判断とすると、この住居跡の時期は、9世紀末～10世紀初めと思われる。

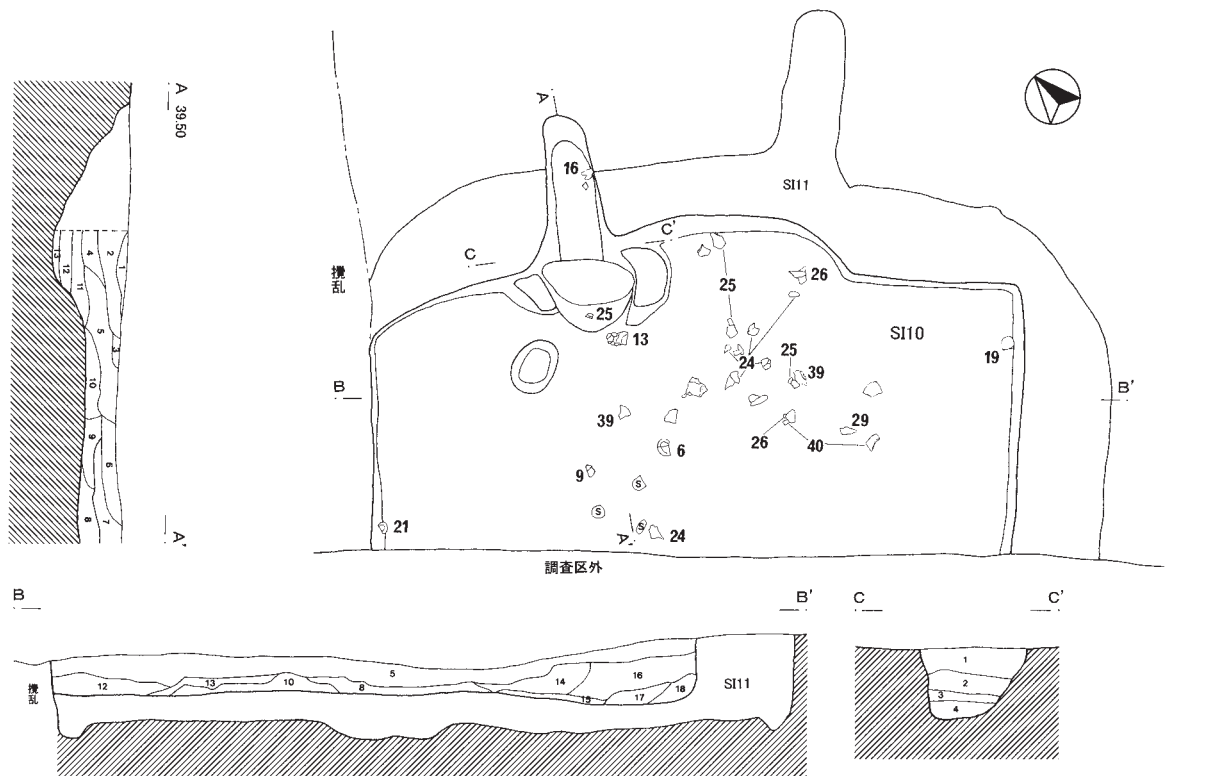
第8表 第9号住居跡出土遺物観察表 (D区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器甕	(18.0)	(3.5)	-	DGIK	にぶい褐7.5YR-5/3	B	口縁部20%	口縁部外面わずかにケズリ痕	
2	すり石	最大長	13.0	最大幅	11.2	最大厚	2.1	重さ	426g	砂岩
3	すり石	最大長	(13.7)	最大幅	6.8	最大厚	3.8	重さ	505g	砂岩

第10号住居跡 (第30・31・32図)

I-17グリッド (E区) から検出した。第11号住居跡と重複関係があり、この住居跡が第11号住居跡を掘り込んでいた。西端は攪乱手前で壁が確認できたが、南端は調査区域外であった。

検出長軸がおよそ3.50m、短軸は5.18mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-60-Eを指す。確認面からの深さは0.25~0.50mであった。床面はほぼ平坦であるが、住居中央から東にむかって傾斜が確認できる。土層は灰オーリーブと黒褐色の基本2層からなり、自然堆積と想定され、東壁部分はレンズ状に堆積している様子が顕著に確認できる。なお、この住居跡で特徴なのが、第5、6層で確

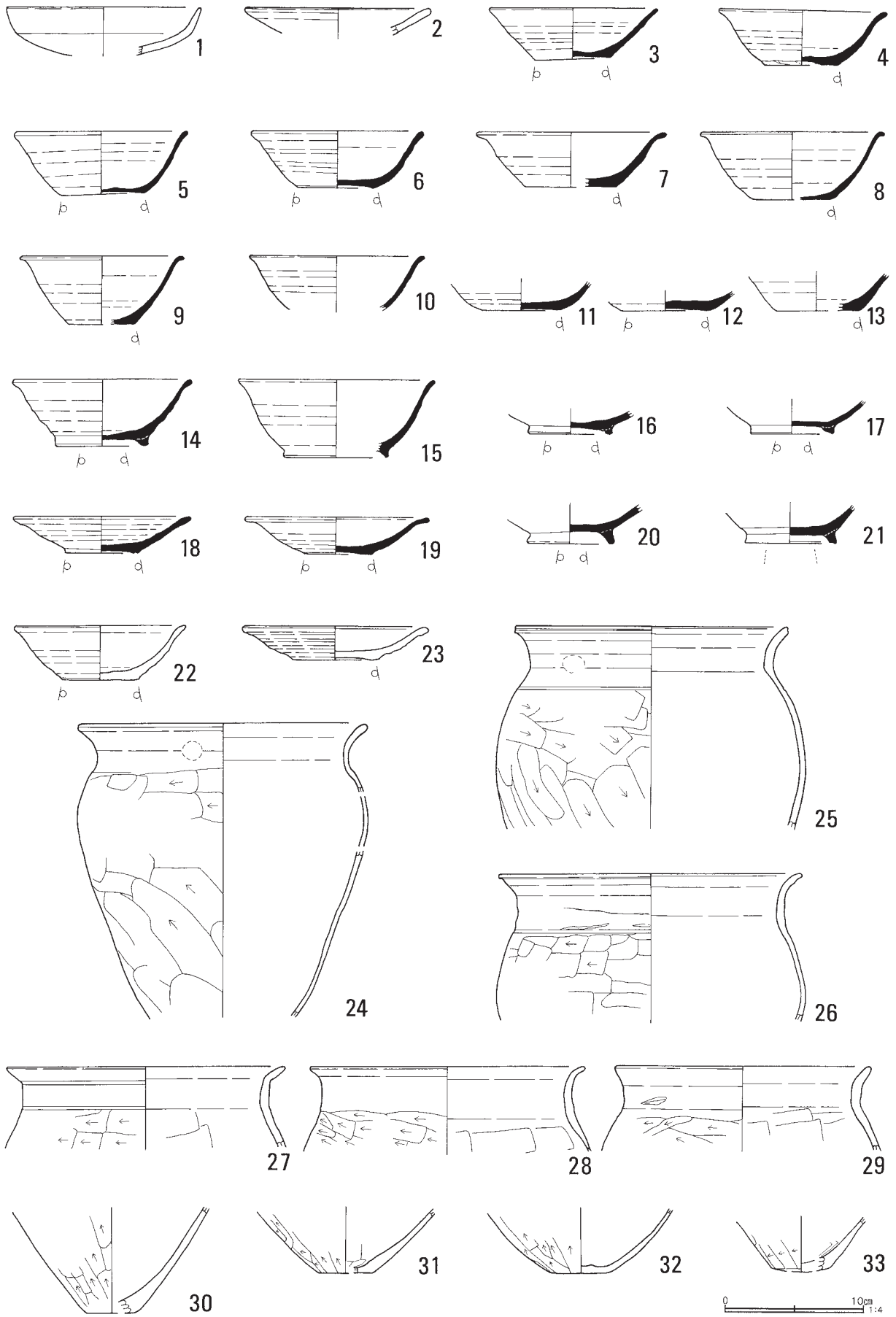


- 第10号住居跡 (A-A') (B-B') (E区)
1. 灰黄褐 10YR-4/2 (ごく少量黒褐 10YR-3/1 粒子有)
 2. 黒 10YR-2/1 (黒 2.5Y-2/1 ブロック・粒子少量、炭化物多量、明黄褐 10YR-6/6 粘質ブロック有)
 3. 黒 10YR-2/1 (明黄褐 10YR-6/6 粘質ブロック)
 4. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片、黒褐 2.5Y-3/1 粒子少量有)
 5. 灰オーリーブ 5Y-4/2 (砂質、少量の土器片、少々しまり弱、下部に炭化物帯状に2cm有)
 6. 黒褐 10YR-3/1 (黄灰 2.5Y-3/1 砂質粒子少量、炭化物有、下部に炭化物帯状に2cm有)
 7. 黒褐 2.5Y-3/1 (にぶい黄褐 10YR-5/4 粘質ブロック、炭化物、土器片有)
 8. 黒褐 2.5Y-3/1 (土器片多量、褐 10YR-4/4 ブロック有)
 9. 黒褐 2.5Y-3/2 (少々粘質、褐 10YR-4/4 粘質ブロック)

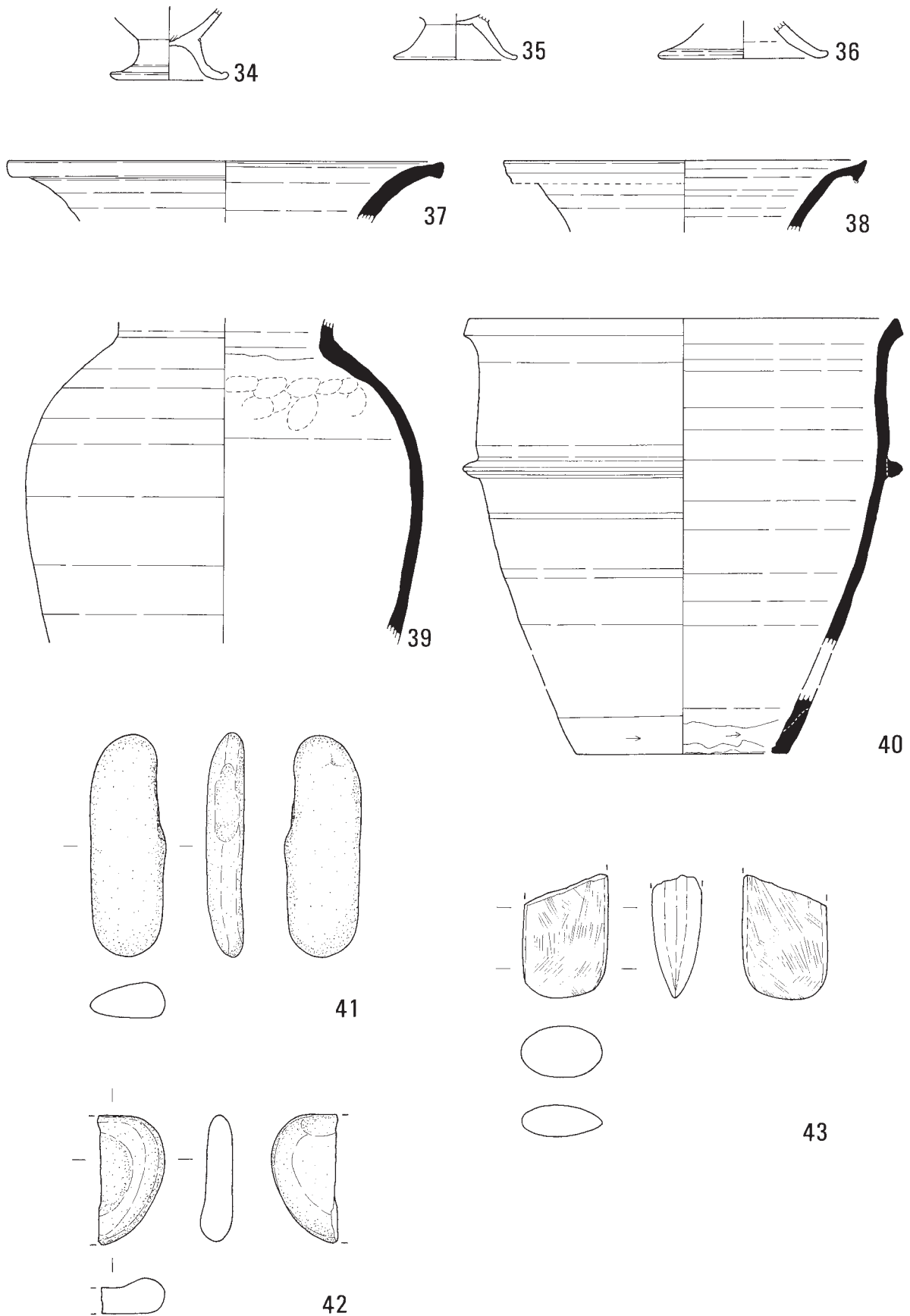
10. オリーブ黒砂質 5Y-3/1
11. オリーブ黒 7.5Y-3/2 (かなりしまり弱、ごく微塵に土器片)
12. 11に明黄褐 10YR-6/6 粘質ブロック多量
13. 黄灰粘質 2.5Y-5/1 (少々明黄褐 10YR-6/6 粘質ブロック有)
14. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (かなり多量に土器片、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量有)
15. 暗灰黄砂質 2.5Y-6/2 (ソフトローム土粒子少量有、土器片含)
16. 灰オーリーブ 5Y-4/2 (土器片、炭化物、帯状に炭化物有、黄褐 2.5Y-5/3 粘質ブロック有)
17. オリーブ黒砂質 7.5Y-3/2 (しまり弱、土器片)
18. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片、しまり弱)

- 第10号住居跡 (C-C') (E区)
1. 黒褐 2.5Y-3/1 (炭化物帯状に多量、土器片)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々粘質、土器片、炭化物微量)
 3. オリーブ黒 5Y-3/2 (若干しまり弱)
 4. オリーブ黒 5Y-3/2 (多量に土器片混ざる、炭化物多量、しまり弱)

第30図 第10号住居跡 (E区)



第31图 第10号住居跡・出土遺物(1) (E区)



第32图 第10号住居跡・出土遺物(2) (E区)

認められた多量な炭化物である。断面観察からは帯状に2cm程度の炭化物が確認されるとともに、平面上においても一面に炭化物の覆土が堆積していることが確認された。火災などにより焼失した跡であろうと考えられる。

カマド部分は燃焼部が検出でき、やや落ち込みであり、確認面からの深さが20cm程度あるピット状であった。また粘土で構築されたカマドのそでの一部が左右とも残存した状態で確認された。燃焼部の底部は黄灰の粘質土が堆積しておりかなりしまりが強い土壌である。カマドの断面は黒褐色、暗灰黄色、オリーブ黒色がそれぞれ堆積しており、炭化物が多く堆積していることも確認できる。煙道部も確認でき、燃焼部からおよそ27°の傾斜で立ち上っていく。

また、カマド手前にはピット状のくぼみが確認できたが、柱穴跡ではなく、性格は不明である。

出土遺物は床面全体に渡って散乱しており、土師器杯、甕、皿、台付甕、須恵器杯、椀、皿、甑、壺、石皿、土師質土器等が確認された。須恵器のほうが比率的にやや多く、確認された須恵器はすべて末野産であった。この住居跡からは一部が欠損しているが、しっかりした造りの須恵器甑が出土しており、胴部上端の鏝も貼り付けがしっかりし、当初は羽釜と考えたが、底部片が検出され、甑であることが確認できた。これらの遺物から本住居跡の時期は、9世紀後半～10世紀初めと思われる。

第9表 第10号住居跡出土遺物観察表（E区）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器杯	(13.9)	(3.5)	-	AHJKLM	橙7.5YR-6/6	C	10%	摩滅著しい	
2	土師器皿	(13.4)	(1.9)	-	ABDEHIN	にぶい橙5YR-7/4	B	口縁部30%	やや浅めの杯か?	
3	須恵器杯	12.1	3.8	5.7	AGLN	青灰5PB-6/1	A	100%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
4	須恵器杯	(11.8)	3.9	(5.3)	ADHLN	灰5Y-5/1	C	50%	回転ナデ 傾きあり 底部回転糸切り	末野産
5	須恵器杯	12.2	4.6	5.9	ABDLN	外：灰N-6/ 内：にぶい橙5YR-6/3	A	70%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
6	須恵器杯	12.1	4.1	5.9	ABLN	青灰5PB-6/1	A	70%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
7	須恵器杯	(13.4)	3.9	(6.1)	ABDL	灰10Y-5/1	B	20%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
8	須恵器杯	(12.9)	4.9	(5.8)	ABDLN	外：灰10Y-5/1 内：オリーブ黒10Y-3/1	A	30%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
9	須恵器杯	(11.5)	4.9	(4.8)	ABLN	灰7.5Y-4/1	A	20%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
10	須恵器杯	(12.4)	(3.9)	-	EHJL	明黄褐10YR-7/6	C	口縁部～体部20%	回転ナデ やや口縁部外反	末野産
11	須恵器杯	-	(1.9)	(5.7)	ABLM	外：灰7.5Y-5/1 内：灰5Y-6/1	A	底部～体部下	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
12	須恵器杯	-	(1.2)	5.7	ABDL	にぶい橙5YR-6/4	C	底部100%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
13	須恵器杯	-	(2.5)	(5.8)	ADLN	褐灰10YR-6/1	C	20%	回転ナデ	末野産
14	須恵器椀	(12.7)	4.8	6.2	ABDLN	灰7.5Y-4/1	A	40%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
15	須恵器椀	(13.9)	5.6	(7.2)	DGL	灰黄褐10YR-6/2	B	20%	回転ナデ	末野産
16	須恵器椀	-	(1.4)	5.6	ABLN	青灰5PB-5/1	A	底部100%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
17	須恵器椀	-	(2.3)	5.8	ADGL	灰5Y-5/1	B	底部～体部下	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
18	須恵器皿	12.6	2.7	5.5	AEGL	灰N-4/	A	80%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
19	須恵器皿	(13.0)	2.7	5.0	AEGL	灰N-4/、-5/	A	60%	回転ナデ 底部回転糸切り	末野産
20	須恵器椀	-	(2.5)	6.1	AEN	にぶい橙7.5YR-6/4	C	底部～体部下	回転ナデ 底部回転糸切り	
21	須恵器椀	-	(2.6)	6.6	ABLN	灰オリーブ5Y-6/2	C	30%	回転ナデ	末野産
22	土師質土器杯	12.4	4.0	5.6	ABDEGN	にぶい黄橙10YR-7/3	C	80%	口縁部外反 底部回転糸切り	
23	土師質土器皿	(13.5)	2.4	(6.0)	ADH	にぶい橙5YR-6/4	C	70%	体部ナデ痕強 口縁部やや外反 底部回転糸切り	
24	土師器甕	21.0	(21.4)	-	ADEK	橙5YR-6/6	B	口縁部～胴部50%	胴部外面横位～斜位ヘラケズリ	

第9表 第10号住居跡出土遺物観察表（E区）

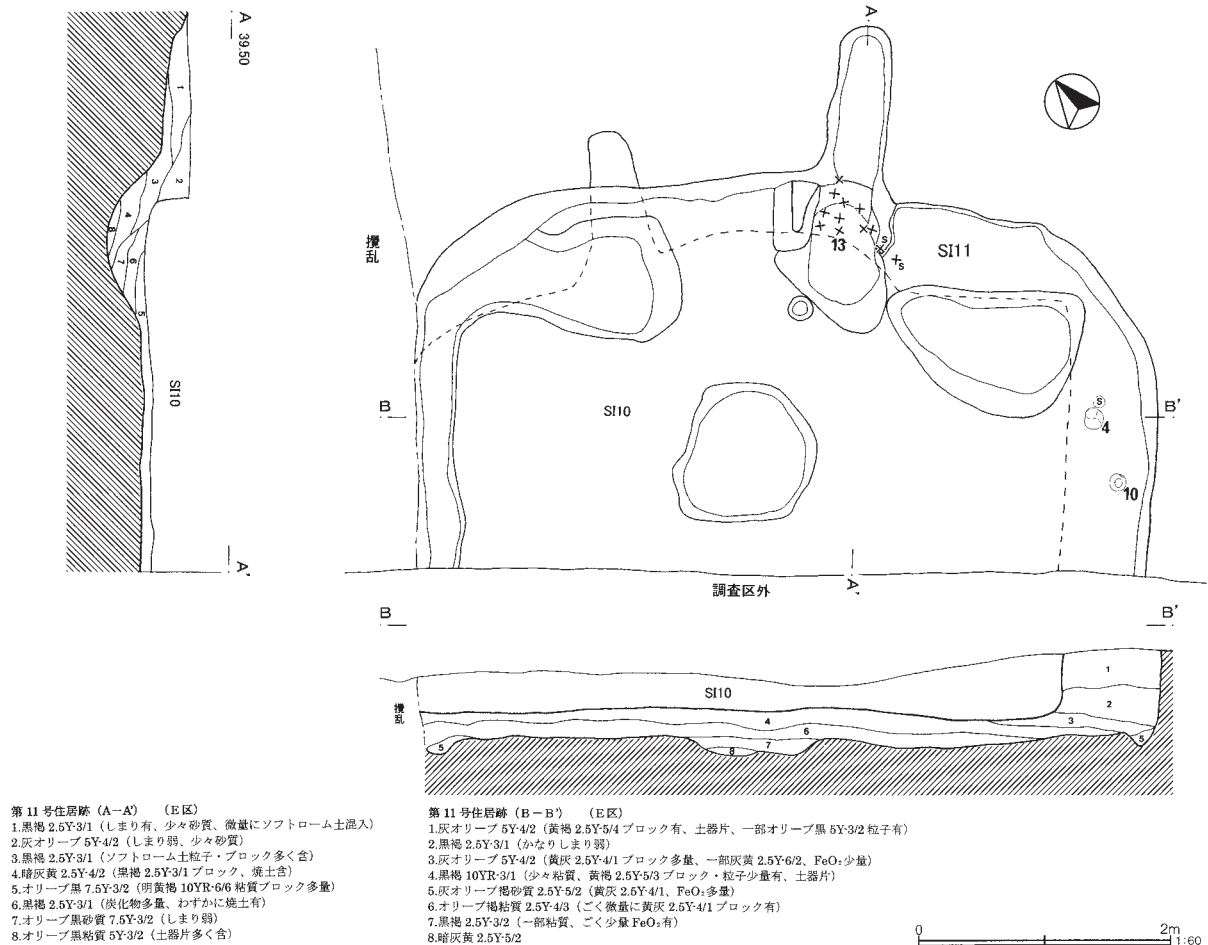
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考	
25	土師器 甕	(19.8)	(14.6)	-	ABDEK	明赤褐2.5Y-5/4	B	口縁部～胴部40%	口縁部「コ」の字状 胴部外面横位～斜位ヘラケズリ 口縁部外面指頭圧痕 口縁部及び胴 部沈線有		
26	土師器 甕	(21.8)	(10.5)	-	ABEK	橙2.5YR-6/8	B	口縁部40%	口縁部「コ」の字状 胴部外面横位ヘラケズリ 口縁部外面粘土組織上げ痕		
27	土師器 甕	(19.8)	(5.8)	-	ACHJ	にぶい橙10YR-7/4	A	口縁部～胴部40%	胴部外面横位ヘラケズリ		
28	土師器 甕	(19.6)	(6.1)	-	ACHJ	にぶい橙7.5YR-7/4	A	口縁部30%	胴部外面横位ヘラケズリ		
29	土師器 甕	(18.2)	(6.1)	-	ACHJN	橙5YR-6/6	A	口縁部20%	外面煤付着 胴部外面横位ヘラケズリ		
30	土師器 甕	-	(7.7)	(3.5)	ADEH	灰褐7.5YR-4/2	B	底部30%	底部外面斜位ヘラケズリ		
31	土師器 甕	-	(4.4)	(3.9)	ACDHJ	にぶい橙10YR-7/3	B	底部付近20%	底部外面斜位ヘラケズリ 底部外面指頭圧痕		
32	土師器 甕	-	(4.4)	(4.4)	ADEHJ	にぶい橙10YR-7/4	B	底部付近30%	底部外面斜位ヘラケズリ		
33	土師器 甕	-	(3.6)	(4.3)	ACHK	橙5YR-6/8	A	底部付近40%	底部外面横位ヘラケズリ		
34	土師器 台付甕	-	(4.7)	8.2	ACDHN	外：橙2.5YR-6/6 内：橙5YR-6/6	B	底部（台部）100%			
35	土師器 台付甕	-	(2.8)	(8.6)	ABDHKN	外：橙2.5YR-6/6 内：灰褐7.5YR-4/2	B	底部（台部）80%			
36	土師器 台付甕	-	(2.5)	11.8	ADHJ	外：橙2.5YR-6/8 内：明黄褐10YR-6/6	B	底部（台部）70%			
37	須恵器 壺	(30.0)	(4.2)		AEGLHN	暗青灰5PB-3/1	A	口縁部10%	回転ナデ	未野産	
38	須恵器 壺	(25.0)	(5.0)	-	ABGHLM	外：灰7.5Y-5/1 内：青灰5PB-5/1	A	口縁部10%	回転ナデ	未野産	
39	須恵器 壺	頸部径 (15.0)	(22.4)	-	ABGLN	灰7.5Y-4/1	A	頸部～胴部下20%	回転ナデ 胴部内面指頭圧痕	未野産	
40	須恵器 甕	(29.8)	(30.3)	(14.7)	ABDGL	灰白2.5Y-7/1	A	口縁部～胴部40% 底部破片一部	回転ナデ 鈔貼り付け	未野産？	
41	棒状礫器	最大長	15.5	最大幅	5.2	最大厚	2.6	重さ	317.0g	-	砂岩
42	石皿	最大長	9.0	最大幅	(4.5)	最大厚	2.3	重さ	124.5g	50%	中央部にくぼみ 砂岩
43	磨製石斧	最大長	(8.7)	最大幅	5.9	最大厚	3.5	重さ	261.5g	50%	凝灰岩

第11号住居跡（第33・34図）

I-17、J-17グリッド（E区）から検出した。第10号住居跡と重複関係があり、本住居跡が第10号住居跡に掘り込まれていた。西端は攪乱により滅失し、南端は調査区域外であった。住居のほぼ全体が確認でき、検出長軸がおよそ4.35m、短軸は5.87mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-47-Eを指す。確認面からの深さは0.65mであることが確認された。床面はほぼ平坦であるが他の住居跡と比べると、床面まで深く、残存状態が良い。覆土は基本層でおよそ4層からなる。すべて水平堆積であり、確認面に近い第1層、2層は28cm程度の厚さがあることから、河川の氾濫により埋まった氾濫土と推定される。

カマドも検出され、カマド部分は燃焼部が検出でき、やや落ち込みであり、確認面からの深さが30cm程度あるピット状であった。また粘土で構築されたカマドのそでの一部が左右とも残存した状態で確認された。燃焼部の底部はオリブ黒色の粘質土が堆積しており、土器片を多く含んでいた。カマドの断面はその観察から、2段階に分けて埋まったことがわかる。堆積は黒褐色やオリブ黒色が多く、焼土や炭化物が多く堆積していることも確認できる。煙道部も確認でき、燃焼部からおよそ40°の角度で立ち上り、そこから10°の傾斜で煙道部を立ち上っていく。

この住居跡は床面に土坑状の落ち込みが2箇所確認され、カマドの右手の楕円形で緩やかな落ち込みのあるものと、住居中央にあるほぼ円形の土坑である。楕円形のはカマド手前であることから、貯蔵穴であることが推測される。



第33図 第11号住居跡 (E区)

また、住居の東西両壁には、壁溝が検出されており、どちらも10cm程度の深さがあるが、西の壁溝のほうが幅もあり、規模も大きい。

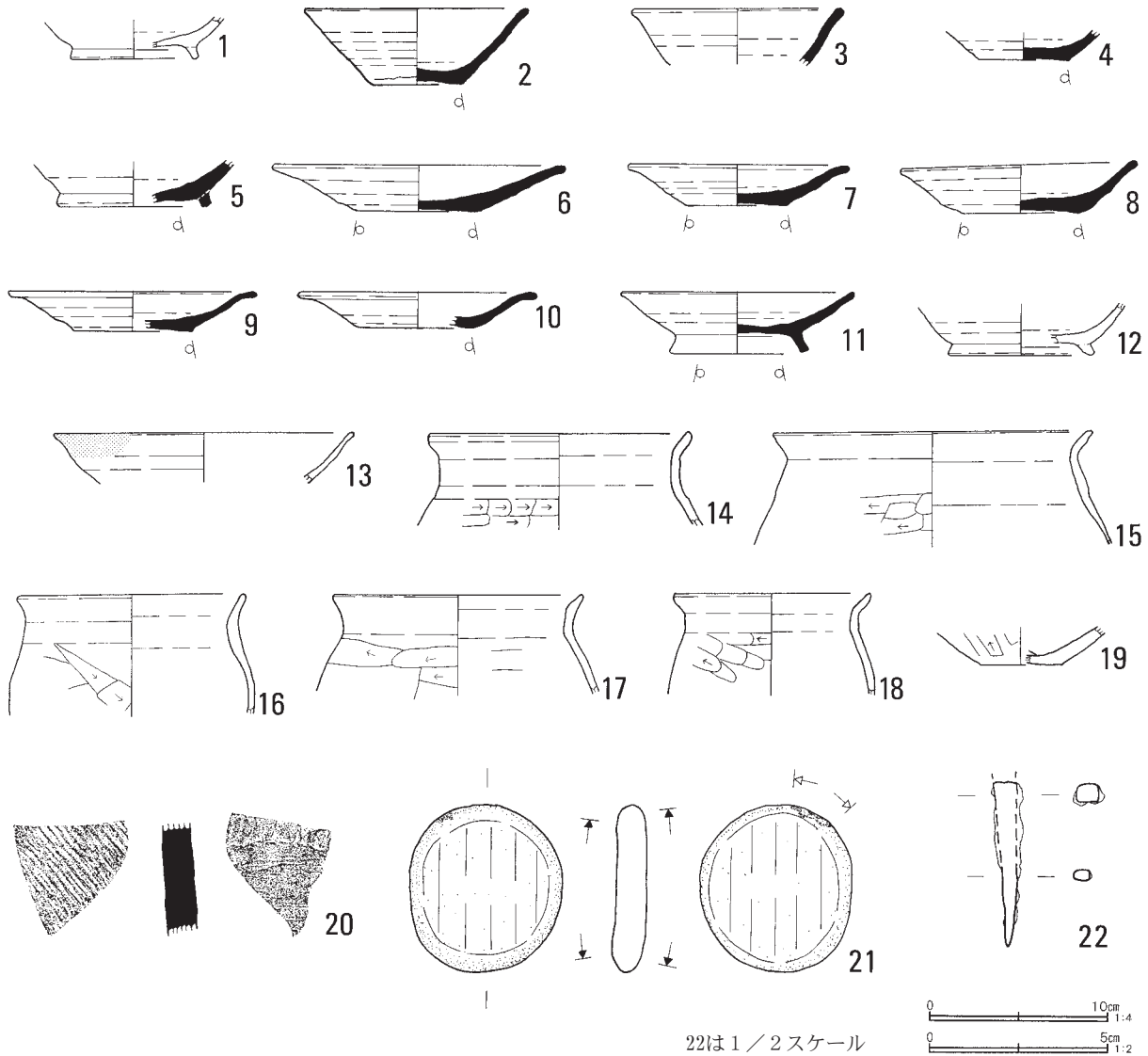
出土遺物は土師器甕、台付甕、椀、須恵器杯、椀、皿、高台皿、甕、灰釉陶器椀等の出土があった。中でも皿の出土量が多いのが特徴である。この住居跡も、ほぼ第10号住居跡と同様に、須恵器の出土量が多かった。一点灰釉陶器は、東海産の出土で、釉薬がツケガケと推測できることから、やや時期が新しくなる。しかし、主体的な遺物の時期から判断して、本住居跡の時期は9世紀中ごろ～後半と想定され、第10号住居跡との比較を考えると、重複関係の点でも合致する。

第10表 第11号住居跡出土遺物観察表 (E区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 椀	-	(2.3)	(7.2)	ABEGHIN	橙7.5YR-6/6	C	底部30%		
2	須恵器 杯	(12.6)	4.3	(5.0)	ABDEGHKN	灰黄褐10YR-6/2	B	30%	回転ナデ 体部直線的 底部回転糸切り	未野産
3	須恵器 杯	(11.8)	(3.2)	-	ABDEHIN	褐灰10YR-5/1	B	口縁部10%	回転ナデ 口縁部やや外反	未野産
4	須恵器 杯	-	(1.5)	(5.0)	AEHN	灰7.5Y-5/1	B	底部50%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
5	須恵器 椀	-	(2.6)	(8.6)	ADFGHN	褐灰10YR-5/1	B	底部30%	回転ナデ 産地不明 底部回転糸切り	
6	須恵器 皿	16.4	2.6	7.0	ABDH IKN	赤灰2.5YR-6/1	B	90%	回転ナデ 口縁部やや外反 底部回転糸切り	未野産
7	須恵器 皿	12.5	2.4	5.6	ABDH I N	灰5Y-5/1	B	90%	やや小ぶり 口縁部外反 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
8	須恵器 皿	13.2	3.0	6.7	ABDH I LN	灰N-5/	B	90%	回転ナデ 口縁部やや外反	未野産?

第10表 第11号住居跡出土遺物観察表 (E区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
9	須恵器 皿	(13.8)	2.2	(6.8)	ADEHIN	灰白10Y-7/1	B	30%	回転ナデ 口縁部外反 底部回転糸切り	未野産
10	須恵器 皿	(13.4)	2.0	(6.0)	ABCHIN	灰5Y-5/1	B	30%	回転ナデ 口縁部外反 底部回転糸切り	未野産
11	須恵器 高台皿	13.1	3.5	7.8	ABDGHILN	灰5Y-6/1	B	90%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
12	土師質土器 椀	-	(2.9)	(8.2)	ABDEGHIN	灰褐7.5YR-6/2	B	底部10%	回転ナデ	
13	灰釉陶器 椀	(16.8)	(2.8)	-	AB	外: 褐灰7.5YR-6/1 内: 灰白10YR-7/1	A	口縁部20%	回転ナデ 口縁部やや外反 内外面釉薬 (ツケガケか?)	東海産
14	土師器 甕	(14.8)	(5.4)	-	ABEI	橙5YR-6/8	B	口縁部20%	やや口縁部「コ」の字状 胴部外面横位ヘラケズリ	
15	土師器 甕	(17.8)	(6.4)	-	ABEGHIK	外: 橙5YR-6/6 内: 灰褐5YR-4/2	B	口縁部20%	胴部外面横位ヘラケズリ	
16	土師器 甕 (台付?)	(12.8)	(6.7)	-	ABDEGHIKN	明赤褐2.5YR-5/8	B	口縁部40%	やや口縁部「コ」の字状 胴部外面横位~斜位ヘラケズリ	
17	土師器 甕 (台付?)	(14.0)	(5.6)	-	ABDEGHIK	外: 橙7.5YR-6/6 内: 明赤褐5YR-5/8	B	口縁部20%	胴部外面横位ヘラケズリ	
18	土師器 甕 (台付?)	(11.1)	(5.7)	-	ABDEI	明赤褐5YR-5/8	B	口縁部20%	口縁部「コ」の字状 胴部外面横位~斜位ヘラケズリ	
19	土師器 甕	-	(2.2)	(4.4)	ABDI	明褐7.5YR-5/6	B	底部30%	底部外面粘土組織み上げ痕 外面斜位ヘラケズリ、底部剥離	
20	須恵器 甕	-	-	-	ABC	外: 灰N-4/ 内: 灰N-6/	B	胴部破片	外面平行叩き目	
21	すり石	最大長 9.4	最大幅 8.5	最大厚 1.8	重さ 270g				側面一部敲打痕	石英閃緑岩
22	鉄釘	最大長 (4.7)	最大幅 (0.65)	最大厚 (0.5)	重さ 3.0g				東部欠損	



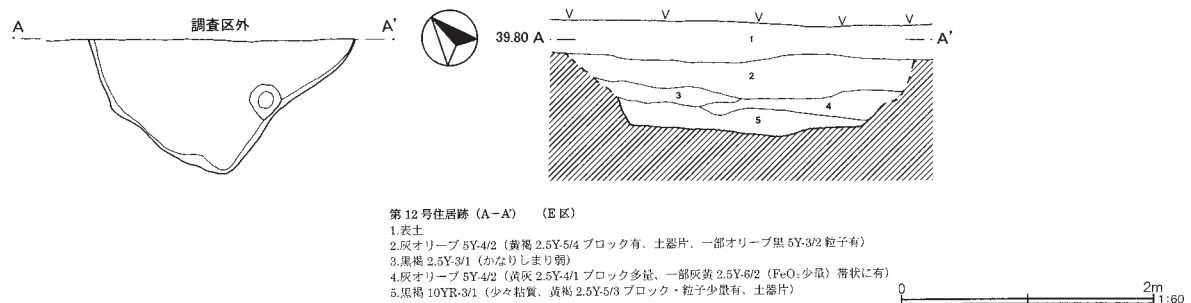
第34図 第11号住居跡出土遺物 (E区)

第12号住居跡（第35図）

I-17グリッド（E区）から検出した。他の遺構との重複関係はないが、大半が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ1.55m、検出短軸は1.48mを測る。この住居もカマドの検出はないが、他の住居と同様北東方向に主軸を指すものと推定される。確認面からの深さは最大で0.24mで、壁面土層を観察すると、0.57mであることが分かる。床面は平坦であり、南東壁面わきにピット状の落ち込みがあり、柱穴跡と考えられる。覆土は基本層でおよそ4層からなる。すべて水平堆積であり、第2層に至っては最大35cm程度の厚さがあることから、河川の氾濫により埋まった氾濫土と推定される。

出土遺物としては、土師器、須恵器片が出土したが、残念ながら図示できるものはなかった。



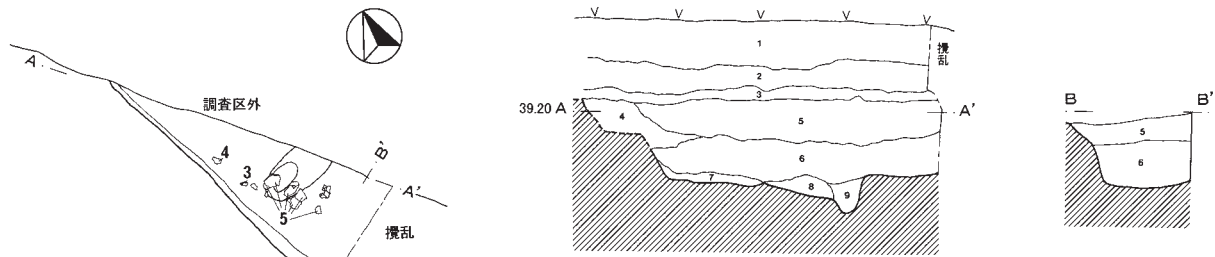
第35図 第12号住居跡（E区）

第13号住居跡（第36図）

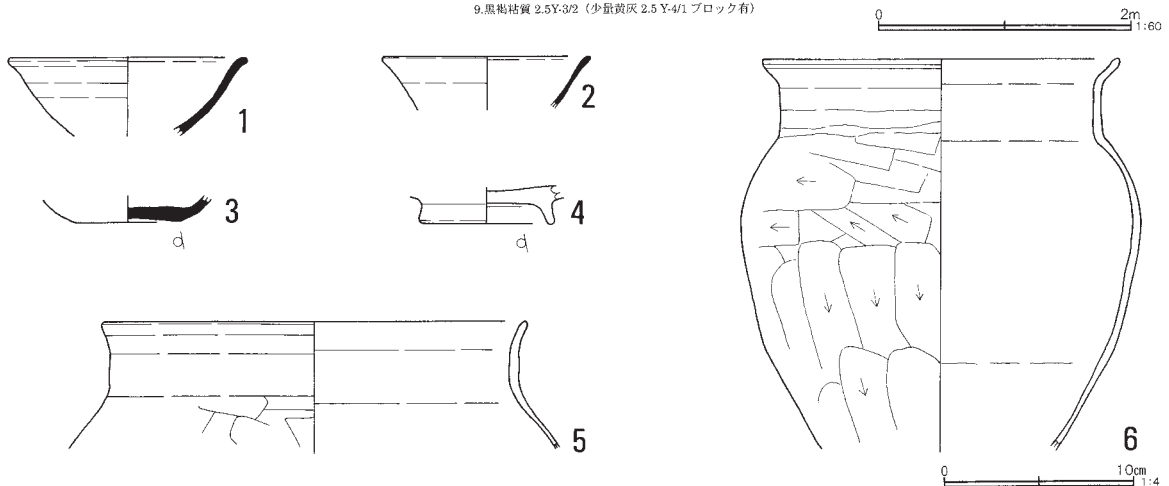
F-21グリッド（E区）から検出した。攪乱により東側が滅失し、大半が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ2.70m、短軸は0.95mを測る。確認面からの深さは最大で0.35m、壁面土層を観察すると、最大0.70mであった。床面はほぼ平坦であるが確認面積が小さいため、詳細は不明である。覆土を観察すると大体水平堆積であり、各層、主に第5層、6層は30cmの厚さがあることから、過去の河川による氾濫土と思われる覆土の可能性が考えられる。また、平面上からの確認はできなかったが、土層観察により、北西方向には2段階の落ち込みがあったことが確認できる。出入り口における段差の可能性も考えられる。なお、床面には調査区域外にかかる形で、土坑状の落ち込みがあり、床面からおよそ25cm程度の深さであったが性格は不明である。

出土遺物は土坑状遺構の周辺に数点のみ出土だったが、その多くが図示可能なものであった。土師器甕、椀？、須恵器坏などが出土した。須恵器坏は南比企産と末野産双方が出土した。残念ながら出土量が少ないため、確定はできないが、これらの遺物からこの住居の時期は9世紀後半から10世紀初めと思われる。



第13号住居跡 (A-A') (B-B') (E区)
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまり有、炭化物)
 2. 黄褐 2.5Y-5/3 (オリーブ黒砂質 5Y-3/1 多く含、しまり弱)
 3. オリーブ黒 5Y-3/3 (一部粘質土、炭化物少量、にぶい黄砂質 2.5Y-6/4 少量含)
 4. 灰オリーブ 5Y-3/2 (黄灰砂質 2.5Y-4/1 粒子、黒褐 2.5Y-4/1 粒子多量)
 5. 灰オリーブ褐粘質 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1、FeO、多量)
 6. オリーブ褐粘質 2.5Y-4/3 (ごく微量に黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 7. 黒褐 2.5Y-3/2 (一部粘質、ごく少量 FeO、有)
 8. オリーブ黒粘質 5Y-3/2 (ソフトローム土粒子・ブロック含)
 9. 黒粘質 2.5Y-3/2 (少量黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)



第36図 第13号住居跡・出土遺物 (E区)

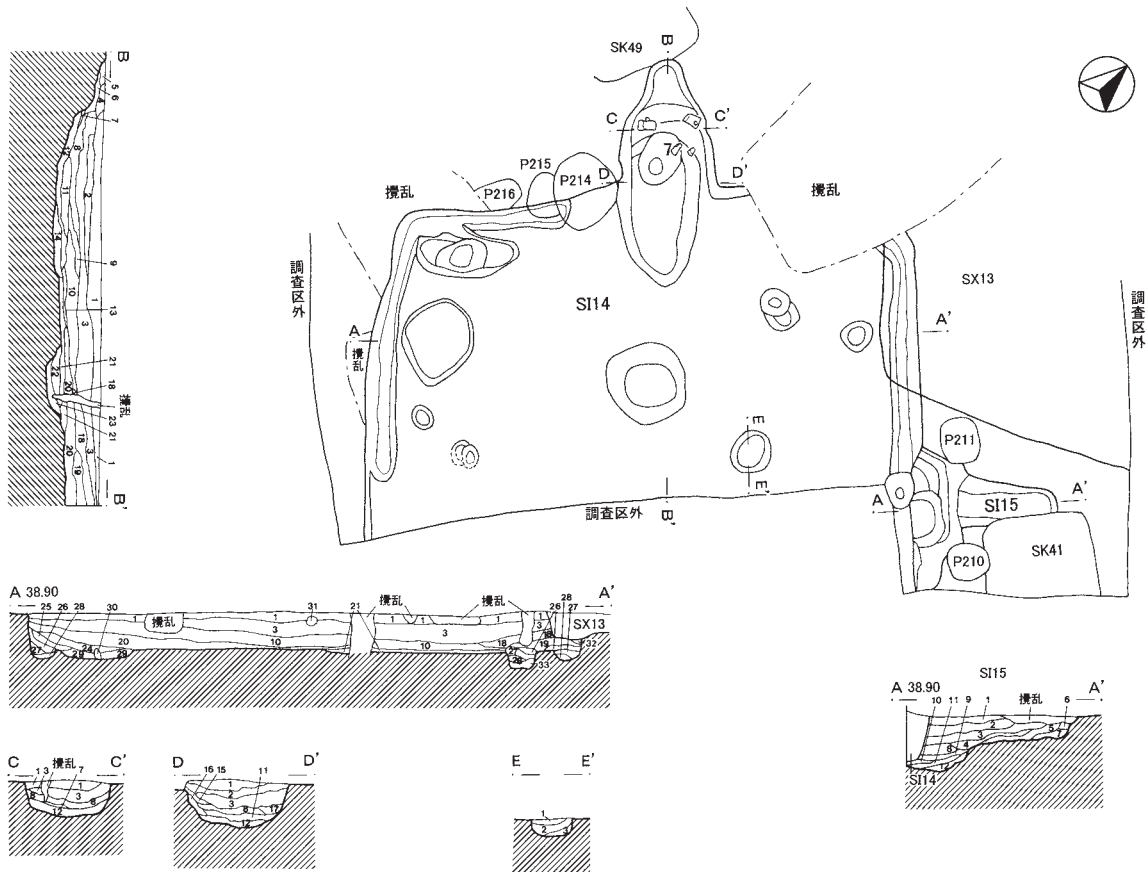
第11表 第13号住居跡出土遺物観察表 (E区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	須恵器 杯	(12.6)	(4.1)	-	ABDHI	灰黄 2.5Y-6/2	B	口縁部10%	口縁部外反 体部丸み	未野産
2	須恵器 杯	(11.0)	(2.8)	-	ABHN	灰黄 2.5Y-6/2	B	口縁部20%	回転ナデ 口縁部やや外反	未野産
3	須恵器 杯	-	(1.4)	(5.6)	AFGHKN	灰 7.5Y-6/1	B	底部40%	回転ナデ やや厚手 底部回転糸切り	南比企産
4	土師器 椀?	-	(2.0)	(7.2)	ABEHIKLN	橙 5YR-6/6	B	底部50%	回転ナデ 底部回転糸切り	
5	土師器 甕	(21.4)	(6.6)	-	ABDEHK	橙 7.5YR-6/6	B	口縁部10%	胴部外面横位ヘラケズリ 口縁部「コ」の字状	
6	土師器 甕	(18.8)	(20.5)	-	ABDEGHIKN	橙 5YR-6/6	B	口縁部30%	胴部外面横位~斜位ヘラケズリ 口縁部「コ」の字状	

第14号住居跡 (第37・38図)

D-23、E-23グリッド (F区) から検出した。複数の遺構との重複関係があり、第214、215号ピット、攪乱に掘り込まれ、第15号住居跡を掘り込んでいた。第13号性格不明遺構とも重複関係にあるが、直接の重複関係は確認されなかった。なお東端の一部が調査区域外であった。

住居のほぼ全体が確認でき、長軸がおよそ3.45m、短軸は4.35mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-42-Wを指し、今回の調査で唯一の西向きのカマドである。確認面からの深さは最大で0.30mであり、床面はほぼ平坦である。覆土については土層断面を観察から、およそ3層にわたって水平に堆積しており、いずれも粘質土で、褐灰色や黒褐色土の黒色系の覆土であった。そのことから、この住居についても一部については過去の河川による氾濫土と思われる覆土と考えられる。カマド部分



第14号住居跡 (A-A') (B-B') (C-C') (D-D') (F区)

- 1.褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子・微粒子少量、焼土粒・炭化物粒少量、火山灰粒若干、土器含)
- 2.にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒若干、火山灰粒少量含)
- 3.黒褐粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒多量、火山灰粒若干含)
- 4.暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子多量、火山灰粒わずか、焼土粒若干含)
- 5.焼土層 (灰黄粘質 10YR-4/2 わずか含)
- 6.黒褐粘質 10YR-3/2 (焼土粒・塊多量含)
- 7.焼土層
- 8.灰黄粘質 10YR-4/2 (灰粘質 2.5Y-7/1 粒子少量、焼土粒若干含)
- 9.暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒わずか、火山灰粒若干含)
- 10.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量、焼土粒若干、火山灰粒若干、土器含)
- 11.暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒少量、炭化物粒若干含)
- 12.黒灰粘質 10YR-4/1 (若干シルト質、焼土粒少量、土器含)
- 13.暗灰粘質 2.5Y-4/2 (火山灰粒少量含)
- 14.褐灰粘質 10YR-4/1 (焼土粒・炭化物粒わずか、火山灰粒わずか含)
- 15.黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子ごくわずか、焼土粒わずか含)
- 16.褐灰粘質 10YR-4/1 (火山灰粒わずか含)
- 17.にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (焼土粒・炭化物粒若干、火山灰粒若干含)
- 18.暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量、焼土粒若干、火山灰粒若干含)
- 19.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、焼土粒わずか含)
- 20.灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子多量含、にぶい黄褐 10YR-6/3 帯ひく)
- 21.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、火山灰粒若干、焼土粒わずか含)
- 22.灰オリーブ粘質 5Y-4/2 (黒褐粘質 2.5Y-3/1 粒子多量、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、火山灰粒わずか含)
- 23.黒褐粘質 2.5Y-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、火山灰粒わずか、焼土粒・炭化物粒わずか含)
- 24.褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒わずか、火山灰粒わずか含)
- 25.黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、Mn 粒わずか含)

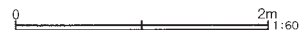
- 26.黒褐粘質 10YR-3/1 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子わずか、火山灰粒わずか含)
- 27.褐粘質 7.5YR-4/3 (火山灰粒わずか含)
- 28.褐灰粘質 10YR-4/1
- 29.褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、にぶい黄褐 10YR-6/3 砂質混)
- 30.にぶい黄褐粘質 10YR-6/3
- 31.褐灰粘質 10YR-6/1 (火山灰粒わずか含)
- 32.黄灰粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 33.灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか含)

第14号住居跡 (E-E') (F区)

- 1.灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、黒褐粘質 10YR-3/1 粒子わずか含)
- 2.灰黄粘質 7.5YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子・微粒子若干、炭化物粒わずか含)
- 3.黒褐粘質 10YR-3/2 (灰粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)

第15号住居跡 (A-A') (F区)

- 1.褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、火山灰粒わずか、焼土粒わずか含)
- 2.灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、炭化物粒・焼土粒わずか含)
- 3.黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、焼土粒わずか含)
- 4.灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量、焼土粒若干含)
- 5.褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、焼土粒・塊多量、炭化物粒多量含、灰混)
- 6.黄灰粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか含)
- 7.褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小、粒子若干含)
- 8.黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量、黒褐粘質 10YR-3/1 粒子少量含)
- 9.黒褐粘質 7.5YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒少量含)
- 10.黒褐粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、焼土粒若干含)
- 11.黒褐粘質 2.5Y-3/1 (黒粘質 10YR-2/1 ブロック小少量、焼土粒わずか含)
- 12.黄灰粘質 2.5Y-4/1 (黒粘質 10YR-2/1 粒子少量、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含、灰混)



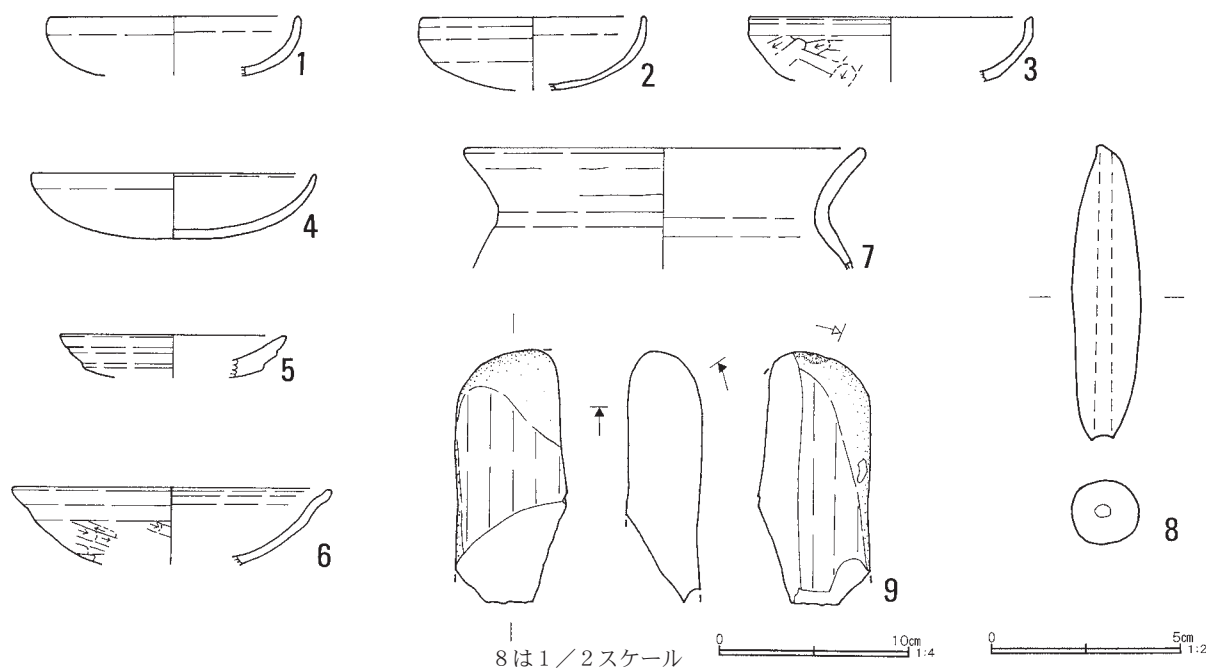
第37図 第14・15号住居跡 (F区)

は煙道部と燃焼部が検出でき、粘土で構築された側面の一部も残存して、確認された。燃焼部は縦長の楕円形の落ち込みで、深さは8cm程度で浅いが甕片が数点検出できた。煙道部はそこからおよそ20°の傾斜で立ち上がり、一度垂直に立ち上がり、再び18°の角度で立上っている。カマドは幅が大きく、80cmの規模がある。土層断面からも大量の焼土痕や炭化物が確認でき、かなり利用があったようである。

住居の北東、北西には壁溝がそれぞれ検出され、北西の壁溝は住居の左肩部分にかけて、掘られている。北東の壁溝は調査区域外から右肩部分にかけて走っていたが、攪乱により詳細は不明であった。

床面からは、ピット状の落ち込みが全部で7基検出され、いずれも柱穴跡との確認はできなかった。なお、左肩の壁溝の隣接する土坑状の落ち込みは貯蔵穴だと想定される。

出土遺物は土師器杯、甕、皿、土錘等が出土し、須恵器などは確認されなかった。一部杯には内部に黒色処理が施されており、黒色土器と考えられる。その多くは摩耗が著しいため、ケズリ調整の不明な点があるが、これまでの住居跡とは時期の違いがみられ、時期としては、7世紀末～8世紀前半と思われる。



第38図 第14号住居跡出土遺物（F区）

第12表 第14号住居跡出土遺物観察表（F区）

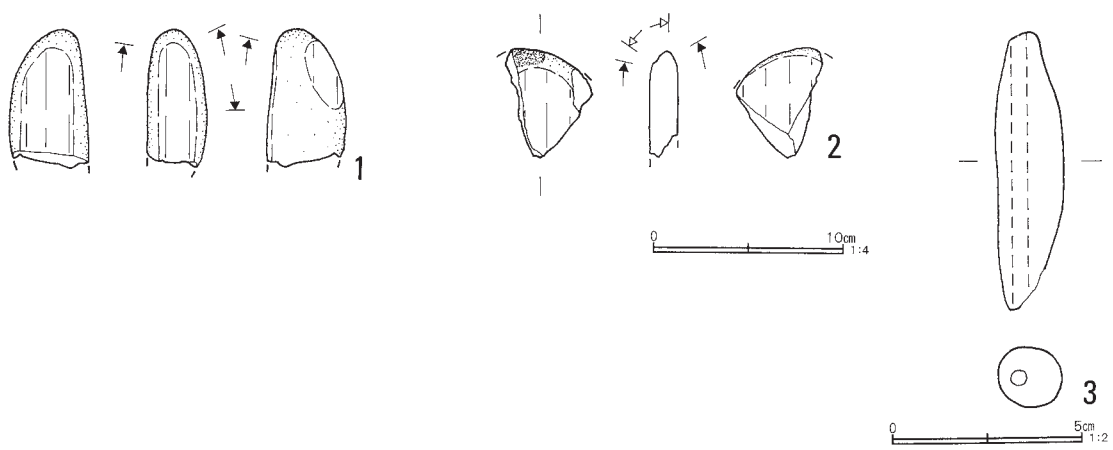
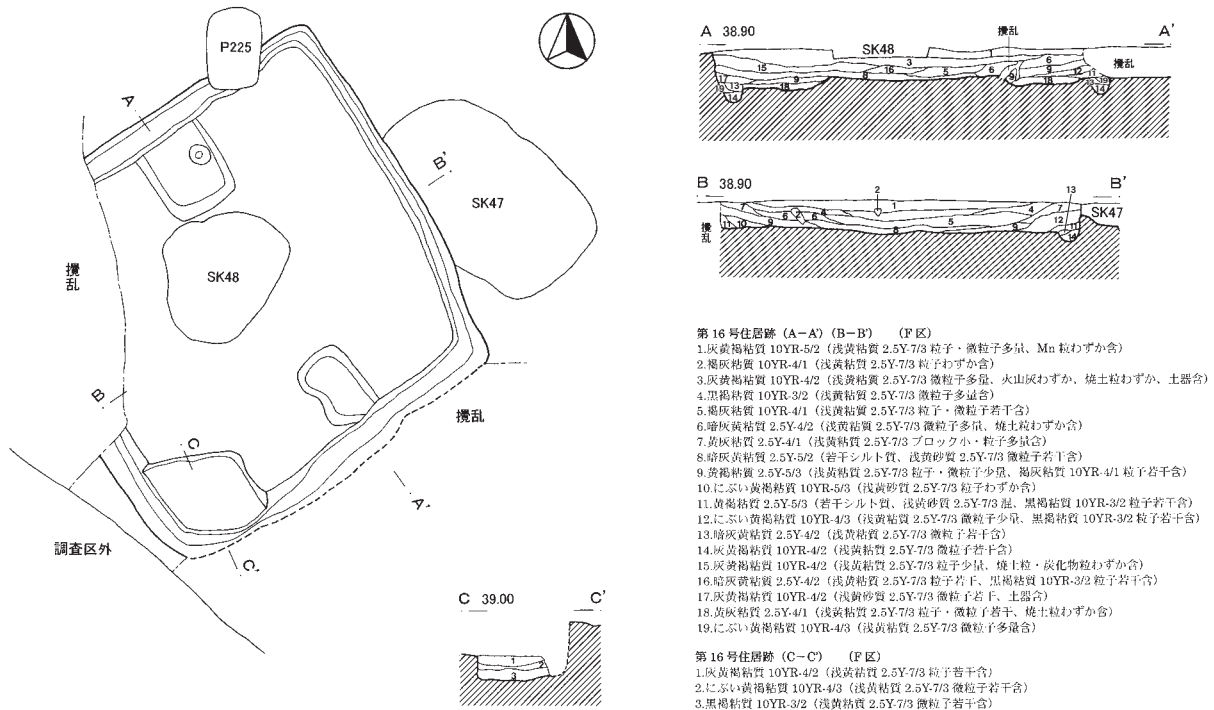
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 杯	(13.4)	(3.2)	-	ABJ	橙5YR-6/6	B	口縁部30%	体部外面黒色処理？ 磨耗著しい	
2	土師器 杯	(12.0)	(3.9)		ABIJ	橙5YR-6/8	B	40%	丸身 体部外面ヘラケズリ	
3	土師器 杯	(15.0)	(3.4)	-	ABDIJN	外：明褐7.5YR-5/6 内：赤褐5YR-4/6	B	口縁部～体部30%	口縁部やや直立 体部外面ヘラケズリ	
4	土師器 杯	(15.0)	3.5	-	ABHIJ	明赤褐5YR-5/8	B	20%	浅身 大型 外面磨耗著しい	
5	土師器 皿	(12.0)	(2.2)	-	AEIJ	明赤褐5YR-5/8	B	口縁部～体部10%	有段皿？ 肉厚	
6	土師器 皿	(16.9)	(4.1)	-	ABDEIJ	明赤褐5YR-5/8	B	口縁部～体部	体部外面ヘラケズリ 口縁部大きく外反	
7	土師器 甕	(21.2)	(6.4)	-	BDEGIK	橙7.5YR-6/6	B	口縁部20%	口縁部「く」の字状 やや胴張り	
8	土錘	最大長 7.8	最大幅 1.8	孔径 0.35	重さ 21.8g		100%		土師質	
9	すり石	最大長 (13.4)	最大幅 (5.4)	最大厚 (4.3)	重さ 397g				2面に擦り痕	砂石

第15号住居跡 (第37図)

D-23、E-23グリッド (F区) から検出した。他の遺構との重複関係があり、第14号住居跡、第41号土坑、第210、211号ピットにこの住居跡が掘り込まれていた。なおカマドの煙道部が検出されたのみで、住居本体は調査区域外と他の住居との重複であると推測できる。

住居の大部分の確認が不可能であり、残存長軸がおよそ1.15m、短軸は1.05mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-50-Eを指す。確認面からの煙道部の深さは最大で0.20mであり、水平に延伸している。手前の燃烧部も確認することができ、底面は、0.42mの深さで、しまりの強い粘質土であった。カマドの覆土の堆積状況を見ると大体が、褐灰色や黒褐色であり、全てにおいて粘質土であり、焼土や炭化物もわずかに確認できた。

出土遺物は残念ながら、確認されなかったが、重複関係から考えて、第14号住居跡に掘られているため、第14号住居以前の遺構であることが分かる。



第39図 第16号住居跡・出土遺物 (F区)

第16号住居跡（第39図）

D-23、24グリッド（F区）から検出した。他の遺構との重複関係があり、第225号ピット、攪乱に掘り込まれ、第48号土坑を掘り込んでいた。遺構の位置からすれば住居の全様は確認できると思われるが、残念ながら、攪乱により全様が判断できないため、カマド位置は不明である。

長軸がおよそ3.21m、短軸は3.25mを測り、ほぼ正方形に近い住居と考えられるが、主軸方向はカマドの検出がないため不明である。しかし、西壁方向にやや傾斜があり、窪むことから西向きのカマドとして主軸を想定することができる。確認面からの深さは最大で0.23mであった。床面はほぼ平坦であり、覆土は大体4、5層からなる。水平堆積も見られるが、レンズ状堆積も確認できるため、氾濫などによる堆積が一部で確認できる。床面の周囲には壁溝が張り巡らされ、およそ12cm程度の深さで取り囲んでいる。床面からは南北壁溝に隣接して大きな土坑状の落ち込みが確認でき、北側のものはほぼ方形の形を呈しており、どちらもおよそ10cmの深さであった。住居南の角でも土坑状の掘り込みが確認でき、こちらはやや深い20cmの深さがある。

出土遺物については、土器については、土器片のみであり、図示可能なものはなく、土錘や、すり石の図示のみである。時期については残念ながら不明である。

第13表 第16号住居跡出土遺物観察表（F区）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土			色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	すり石	最大長	7.3	最大幅	4.1	最大厚	3.0	重さ	140g		3面に擦り痕	砂石
2	すり石	最大長	5.8	最大幅	4.0	最大厚	1.5	重さ	47g		2面に擦り痕 一部先端に敲打痕	砂石
3	土錘	最大長	7.3	最大幅	1.7	孔径	0.4	重さ	17.0g	100%	土師質	

2 掘立柱建物跡

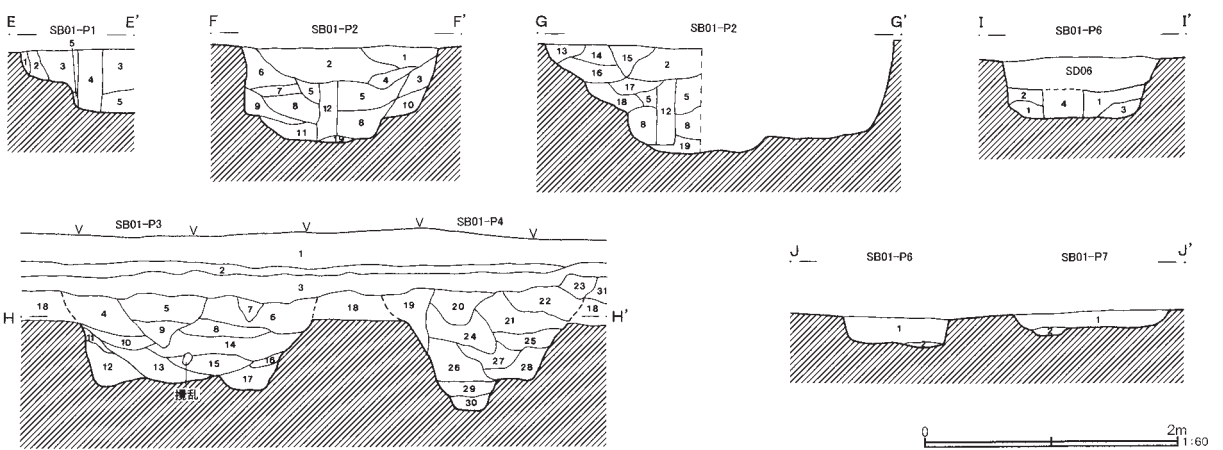
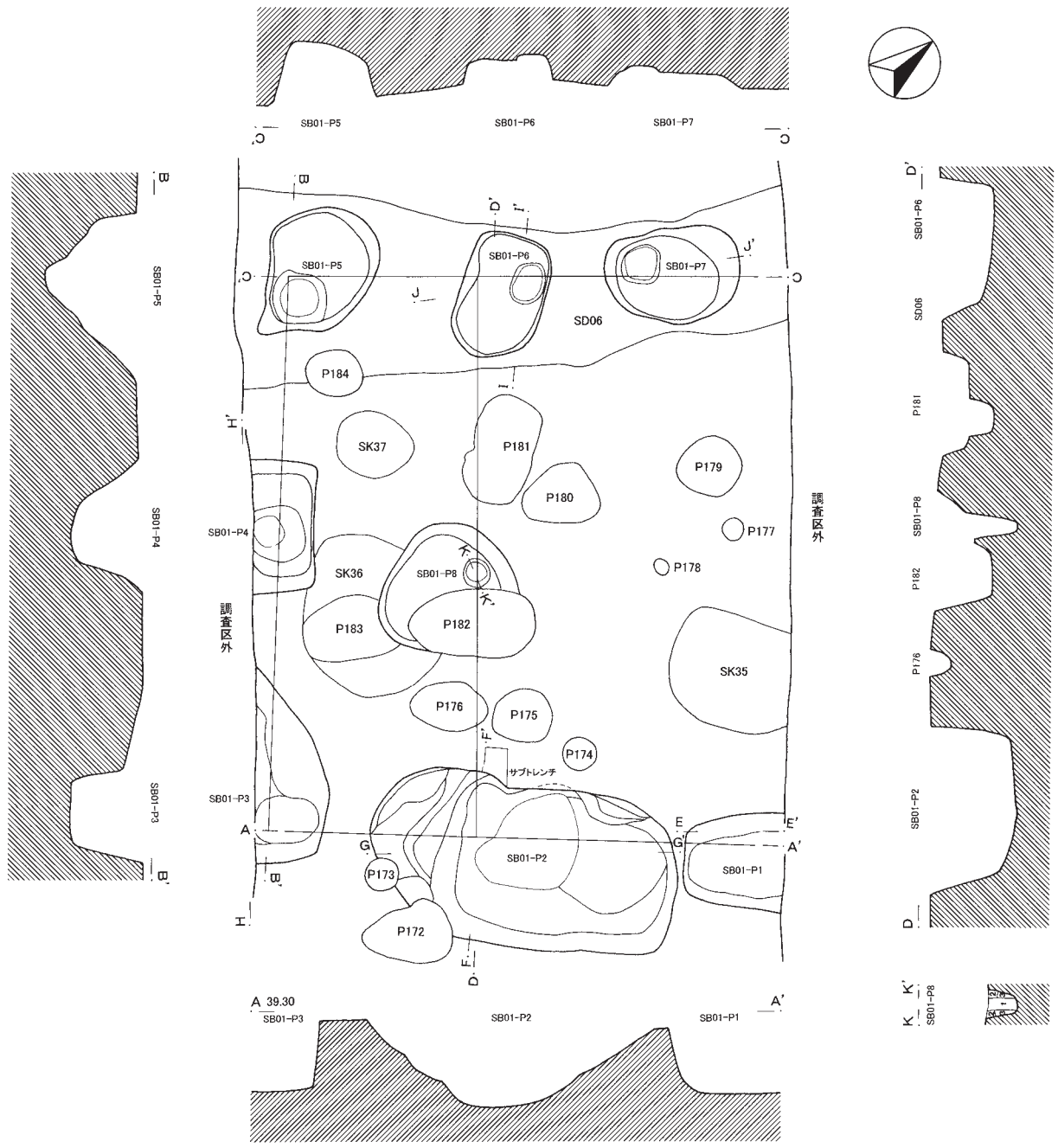
第1号掘立柱建物跡（第40・41図）

J.K-16グリッド（D区）から検出した。第6号溝跡、第36号土坑、第172、173、182、183号ピットと直接重複関係にあり、本遺構が、第36号土坑を一部掘り込み、それ以外の遺構にこの掘立柱建物跡の柱穴が切られていた。なお、直接切り合いの関係にはないが、第35、37号土坑、第174～176、177～181号ピット及び184号ピットと重複関係にある。

一部検出されていないが、一面庇付きもしくは一面仕切りのある側柱式掘立柱建物跡と推測され、一面仕切りの場合、規模は、2間×2間以上で、検出桁行4.55m（15尺）、梁行5.05m（16.6尺）、面積は検出分で23㎡ある。柱間も、平均すると大体8尺から9尺で、桁行が北から東面で2.33m-2.20m、西面1.33m-2.13m、梁行は東から南面で2.69m-2.25mである。主軸方位は、N-55°-Eで北東方向を指すと思われる。

一面庇付きの場合、身舎の規模は、2間×1間以上で、検出桁行2.82m（9.3尺）、梁行5.05m（16尺）、面積は検出分で、14.2㎡である。柱間も、平均すると大体8尺程度で、桁行が北から東面で、2.33m、西面が、1.33m、梁行は東から南面で、2.70m-2.44mである。

また、庇部分の規模は東面が1.90m、西面が2.11m、北面が5.12m、南面が4.95mを図り、若干の誤差はあるが、ほぼ正確な東西に長い長方形を呈している。面積はおよそ10.7㎡を図り、柱間は、東面が1.90m（6.2尺）、西面が2.11m（7尺）、北面が東から2.70m-2.44m（9-8尺）、南面が東から2.69m-2.25



第40図 第1号掘立柱建物跡(1) (D区)

第1号掘立柱建物跡 (E-F) (D区)

第1号ピット

1. 黄褐色砂質 2.5Y-5/4 (少々黒褐 2.5Y-3/1 粒子含)
2. 黒褐色砂質 2.5Y-3/1 (1の粒子少量有、明黄褐 2.5Y-6/6 粘質ブロック有)
3. オリーブ黒 5Y-3/2 (1の粒子少量有、黒褐 2.5Y-3/2 及び明黄褐 2.5Y-6/6 粘質ブロック有、炭化物含)
4. オリーブ黒 5Y-3/1 (土器片、炭化物、1の粒子が少量混入)
5. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (1の粒子が少量混入)

第1号掘立柱建物跡 (F-F) (G-G) (D区)

第2号ピット

1. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (土器片、黄褐 2.5Y-5/3 砂質、灰白 5Y-7/2 砂質ブロック少量有)
2. オリーブ黒 5Y-3/2 (少々砂質、炭化物、黄褐 2.5Y-5/4 ブロック少量)
3. オリーブ黒砂質 5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック、粒子多量、炭化物、土器片有)
4. 黄褐 2.5Y-5/3 (若干砂質、暗灰黄 2.5Y-5/2 粒子多量)
5. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック少量)
6. 黄褐 2.5Y-5/3 (若干砂質)
7. 暗灰黄砂質 2.5Y-5/2
8. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質、明褐 7.5Y-5/6、にぶい黄褐 10YR-4/3 ブロック多量)
9. オリーブ黒砂質 5Y-3/2 (ごく少量黄褐 2.5Y-5/3 ブロック及びび粒子有)
10. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (にぶい黄褐 10YR-6/4 ブロック多量)
11. オリーブ黒砂質 5Y-3/1 (炭化物、一部粘質)
12. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (灰黄褐 10YR-4/2、明黄褐 10YR-6/6 ブロック多量、かなりしまり)
13. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、土器片、しまり強)
14. 暗灰黄 2.5Y-5/2
15. オリーブ黒 5Y-3/2 (炭化物、土器片)
16. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物少量、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック、粒子有、一部砂質)
17. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 砂質ブロック少量、しまり弱)
18. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
19. 黒褐 2.5Y-3/1 (シルト質、オリーブ黒 5Y-3/1 砂質多量含)

第1号掘立柱建物跡 (H-I) (D区)

第3、4号ピット

1. 耕作土
2. 灰オリーブ 5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、Fe₂O₃少量含)
3. 黒褐 2.5Y-3/1 (土器片)
4. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部砂質、炭化物有、黄褐 2.5Y-5/6 粘質有)
5. 黒褐 2.5Y-3/2 (土器片、炭化物有、黄灰 2.5Y-4/1 粒子有)
6. 4ににぶい黄 2.5Y-6/4 及び炭化物有、オリーブ黒 5Y-3/2 粘質有
7. 3に少々オリーブ黒褐 5Y-3/2 粘質ブロック多量、炭化物有
8. 黒褐 2.5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3 砂質粒子及びびブロック多量)
9. 黒褐 2.5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 砂質粒子及びびブロック有)
10. 黒褐 2.5Y-3/2 (ごく微量に黄褐 2.5Y-5/3 粘質ブロック有)

11. オリーブ黒 5Y-3/1 (ごく微量に黄褐 2.5Y-5/3 粘質ブロック及びび灰黄褐 2.5Y-6/2 ブロック有)

12. 暗灰黄褐 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/4 粘質ブロック有)
13. 灰オリーブ砂質 5Y-4/2 (炭化物、黄褐 2.5Y-5/4 粘質ブロック有)
14. 黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、土器片、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック多量、炭化物)
15. 灰オリーブ 5Y-4/2 (黄褐 10YR-6/6 ブロック少量、黄褐 2.5Y-5/4 ブロック多量、炭化物)
16. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片)
17. 黒褐粘質 2.5Y-3/2 (炭化物、黄褐 2.5Y-5/3 ブロック有)
18. オリーブ黒 5Y-3/1 (灰オリーブ 5Y-6/2 粘質ブロック有)
19. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 粒子、黄灰 2.5Y-4/1 粒子・ブロック有、土器片)
20. オリーブ黒 7.5Y-3/1 (かなりしまり弱、土器片、にぶい黄 2.5Y-6/4 粒子少量有)
21. オリーブ褐 2.5Y-4/3 (土器片、暗灰黄 2.5Y-4/2 粒子少量)
22. 黄褐 2.5Y-5/4 (一部オリーブ褐 2.5Y-3/2 粒子含)
23. 黒 10YR-2/1 (しまり強)
24. オリーブ黒 7.5Y-3/2 (かなりしまり弱、土器片、炭化物、にぶい黄、黄褐粒子含)
25. 黄褐 2.5Y-5/4 (炭化物多量、しまり強、土器片、明黄褐 10YR-6/6 ブロック)
26. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-7/4 ブロック多量)
27. 黄褐 2.5Y-5/3 (暗灰黄 2.5Y-4/2 ブロック少量、炭化物、土器片)
28. 黄褐 2.5Y-5/3 (暗灰黄 2.5Y-4/2 ブロック有)
29. オリーブ褐 2.5Y-4/3 (少々粘質、黒褐 2.5Y-3/2 粘質ブロック有)
30. 黒褐色 2.5Y-3/2 (ソフトローム土ブロック有)
31. 黒褐色 2.5Y-3/1 (しまり強)

第1号掘立柱建物跡 (I-I) (D区)

第6号ピット

1. 黄褐 2.5Y-5/4 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック少量)
2. 黒褐粘質 10YR-3/1 (一部にオリーブ黄 5Y-6/3 ブロック有)
3. 黒褐砂質 10YR-3/1 (炭化物少量、オリーブ黄 5Y-6/3 ブロック有)
4. オリーブ黒 5Y-2/2 (土器片、炭化物、黄褐 2.5Y-5/4 ブロック、若干しまり弱)

第1号掘立柱建物跡 (J-J) (D区)

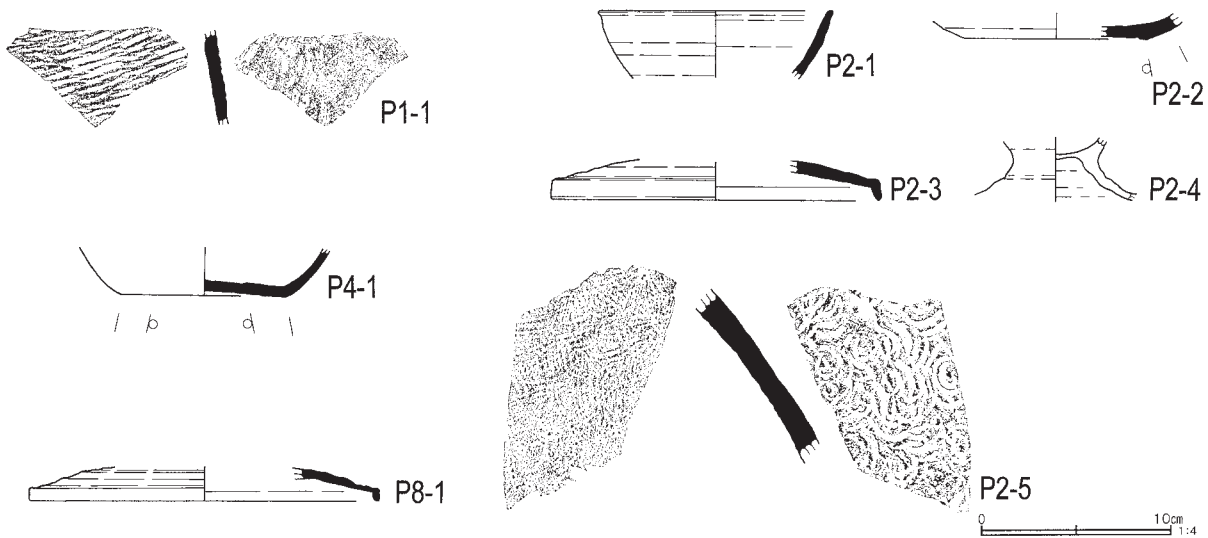
第6、7号ピット

1. 黒褐 2.5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック及びソフトローム土多量)
2. オリーブ黒 5Y-3/2 (少々粘質)

第1号掘立柱建物跡 (K-K) (D区)

第8号ピット

1. オリーブ黒砂質 5Y-3/2
2. オリーブ黒 5Y-3/2 (灰白 5Y-7/2 粒子有)
3. オリーブ黒 5Y-3/2 (ソフトローム土少量)



第41図 第1号掘立柱建物跡(2)・出土遺物 (D区)

第14表 第1号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (D区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
P1-1	須恵器 甕	-	-	-	A I N	灰N5/0	A	胴部破片	外面平行叩き目 内面あて具痕	未野産
P2-1	須恵器 坏	(12.4)	(3.6)		A B D	灰5Y-5/1	B	口縁部20%	回転ナデ 口縁部やや外反	未野産
P2-2	須恵器 坏	-	(1.4)	(9.6)	A B F L	灰7.5Y-6/1	B	底部40%	回転ナデ、平底 底部回転周縁ヘラケズリ	南比企産
P2-3	須恵器 蓋	(17.5)	(2.0)	-	A E N	灰黄2.5Y-6/2	A	20%	回転ナデ	未野産
P2-4	土師器 台付甕	頸部 4.5	(3.3)	-	A B D E I K	橙2.5YR-6/6	B	台部頸片		
P2-5	須恵器 甕	-	-	-	A B C E N	灰N-4/0	A	肩部破片	外面平行叩き目 (重ね) 内面同心円状あて具痕	
P4-1	須恵器 坏	-	(2.6)	8.8	A F I L N	灰7.5Y-6/1	A	底部50%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	未野産
P8-1	須恵器 蓋	(18.4)	(1.8)	-	A B F L N	灰5Y-6/1	A	10%	やや器高低い	南比企産

m (9-7.5尺) であった。

柱穴は円形から楕円形、方形の掘り跡があり、長軸1.12~2.72m、短軸0.82~1.45mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP 1が52cm、P 2が83cm、P 3が55cm、P 4が67cm、P 5が78cm、P 6が30cm、P 7が20cm、P 8が75cmを測る。西側の第6号溝跡の下位に位置するP 5~7はやや掘り方が浅いが、第6号溝跡による影響で削られてしまったことが要因であると思われる。

柱穴は平面確認で柱痕跡はできず、その多くが、掘削時の断面観察により柱痕跡を確認することができた。また、数か所では柱痕跡が確認されず、また、平面上からもわかる通り、P 6とP 7の柱間が狭小だが、柱筋の通りが概ね良い建物である。土層断面観察からは明確な柱痕跡ができ、もっともよく確認できた柱痕跡から推定される柱の直径は、約18~30cmと推定される。

なお、先に述べたように、この掘立柱建物跡は一面庇付きもしくは一面仕切りのある建物跡と考えられるが、どちらの場合も、北東方向に延伸する可能性があり、規模から考えて、大型の建物跡であろうと推定される。

出土遺物は、各柱穴痕内から出土した。出土したのはP 1、P 2、P 4、P 8のみで、土師器台付甕、須恵器坏、蓋、甕で、南比企産や末野産の比率が同様であった。時期からして8世紀後半から9世紀初めごろと考えられる。重複している第6号溝跡が大体9世紀前半であることから、それ以前と推定できる。

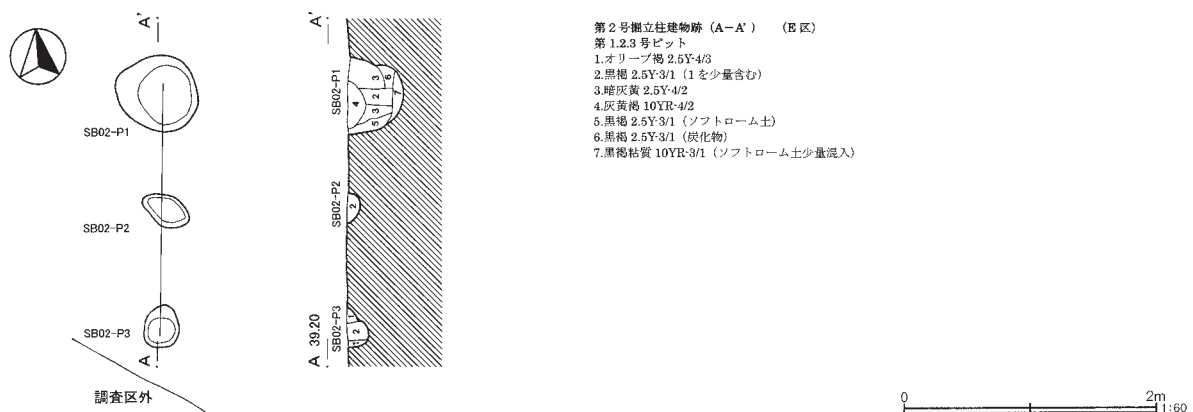
第2号掘立柱建物跡 (第42図)

F-21グリッド (E区) から検出した。いずれの遺構とも重複関係にはない。

2間のみ検出された掘立柱建物跡で、規模は、桁行 (梁行) は2.10m (6.9尺)、面積は不明である。柱間も、平均すると3.3尺で、北から0.98m-1.10mで、主軸方位は不明である。

柱穴は円形、楕円形と掘り方があり、長軸0.25~0.70m、短軸0.26~0.63mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP 1が43cm、P 2が12cm、P 3が16cmを測る。

柱は、柱穴P 2を除き平面確認で柱痕跡が確認でき、その全てにおいて掘り方の中央部に位置していた。また、P 2以外柱痕跡が確認されたが、柱筋の通りが概ね良い建物である。土層断面観察からは明確な柱痕跡が確認でき、平面確認での柱痕跡から推定される柱の直径は小さく、約14~15cmと推定される。



第42図 第2号掘立柱建物跡 (E区)

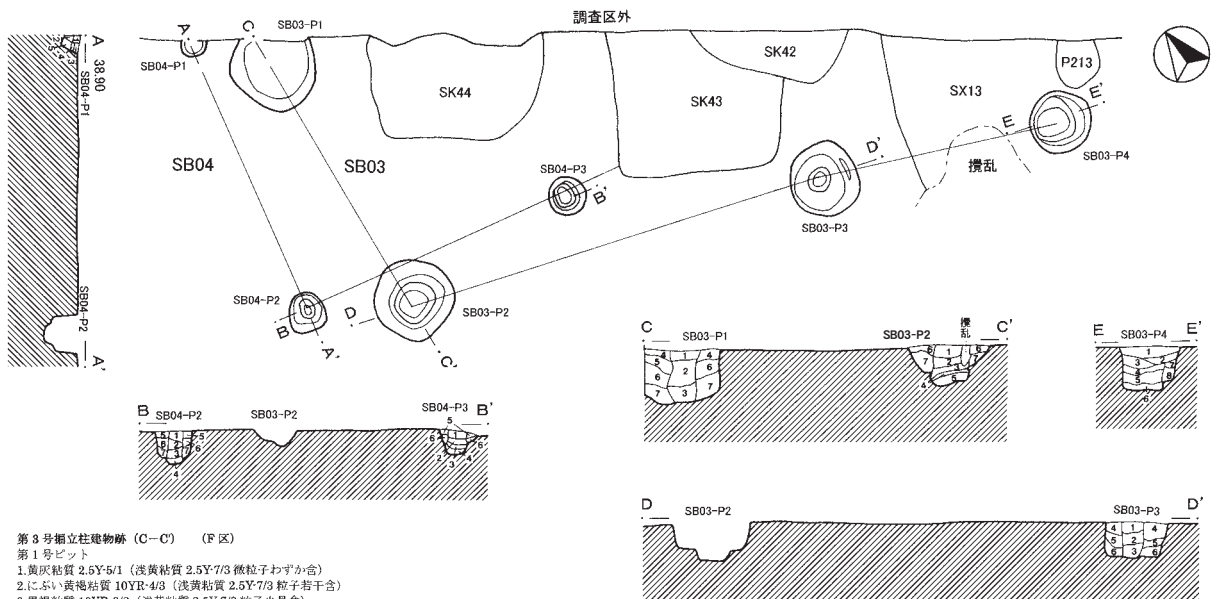
第3号掘立柱建物跡 (第43図)

D-23グリッド (F区) から検出した。第13号性格不明遺構と直接重複関係にあり、本遺構が、その遺構の一部を掘り込んでいる。なお、直接切り合いの関係にはないが、第4号掘立柱建物跡、第42~44号土坑と重複関係にある。

北側が調査区域外のため、詳細は不明だが少なくとも2間以上×1間以上の南北棟側柱式掘立柱建物跡で、規模は、桁行が検出部分で2.22m (7.3尺)、梁行検出部分で5.3m (17.4尺)、面積は約11.7㎡以上を測るものと推測される。柱間も、桁行は北から2.22m (7尺)、梁行は西から3.4m-1.90m (11-6尺)である。主軸方位は、N-87°-Eを指す。

柱穴はほぼ円形の掘り方で、長軸0.50~0.66m、短軸0.49~0.63mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP1が39cm、P2が28cm、P3が30cm、P4が34cmを測る。柱は、柱穴P1を除き平面確認で柱痕跡が確認でき、また、P4以外で柱痕跡が確認されたが、P2からP4にかけての柱筋の通りはいささか悪く、また、P3とP4の柱間もやや狭小な建物である。土層断面観察からはP4を除き、柱痕がきれいに確認でき、いずれも、土層断面から見ると柱穴のほぼ中央に柱痕が位置し、約22~28cmの太さと考えられる。

出土遺物の検出はなかった。



第3号掘立柱建物跡 (C-C') (F区)

第1号ピット

- 1.黄灰粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
- 2.にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 3.黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
- 4.褐灰粘質 10YR-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
- 5.灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子少量含)
- 6.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
- 7.暗褐粘質 10YR-3/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、黒褐粘質 2.5Y-3/2 ブロック若干含)

第2号ピット

- 1.暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子多量、炭化物粒わずかな、土器含)
- 2.にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、土器含)
- 3.にぶい黄褐粘質 10YR-4/3
- 4.黒褐粘質 2.5Y-3/1 (灰白シルト質 2.5Y-8/2 粒子多量含)
- 5.黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 6.褐灰粘質 10YR-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
- 7.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、焼土粒わずかな)

第3号掘立柱建物跡 (D-D') (F区)

第3号ピット

- 1.暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
- 2.黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子多量含)
- 3.黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量含)
- 4.褐灰粘質 10YR-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
- 5.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
- 6.暗褐粘質 10YR-3/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)

第3号掘立柱建物跡 (E-E') (F区)

第4号ピット

- 1.灰黄粘質 2.5Y-7/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、火山灰粒若干含)
- 2.黄灰粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
- 3.灰黄褐粘質 10YR-4/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子少量、火山灰粒わずかな)
- 4.褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
- 5.褐灰粘質 7.5YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 6.褐灰粘質 10YR-5/1 (灰黄褐粘質 10YR-6/2 粒子わずかな)
- 7.にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 8.褐灰粘質 10YR-4/1

第4号掘立柱建物跡 (A-A') (F区)

第1号ピット

- 1.灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、焼土粒わずかな)
- 2.灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
- 3.にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
- 4.にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
- 5.褐灰粘質 10YR-4/1 (にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 粒子少量含)

第4号掘立柱建物跡 (B-B') (F区)

第2号ピット

- 1.灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、焼土粒わずかな)
- 2.灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
- 3.にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (黒褐粘質 10YR-3/2 粒子わずかな)
- 4.灰褐粘質 7.5YR-4/2
- 5.にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
- 6.にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
- 7.褐灰粘質 10YR-4/1 (にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 粒子少量含)

第3号ピット

- 1.灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、焼土粒わずかな)
- 2.灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
- 3.にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (黒褐粘質 10YR-3/2 粒子わずかな)
- 4.灰褐粘質 7.5YR-4/2
- 5.にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
- 6.にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)

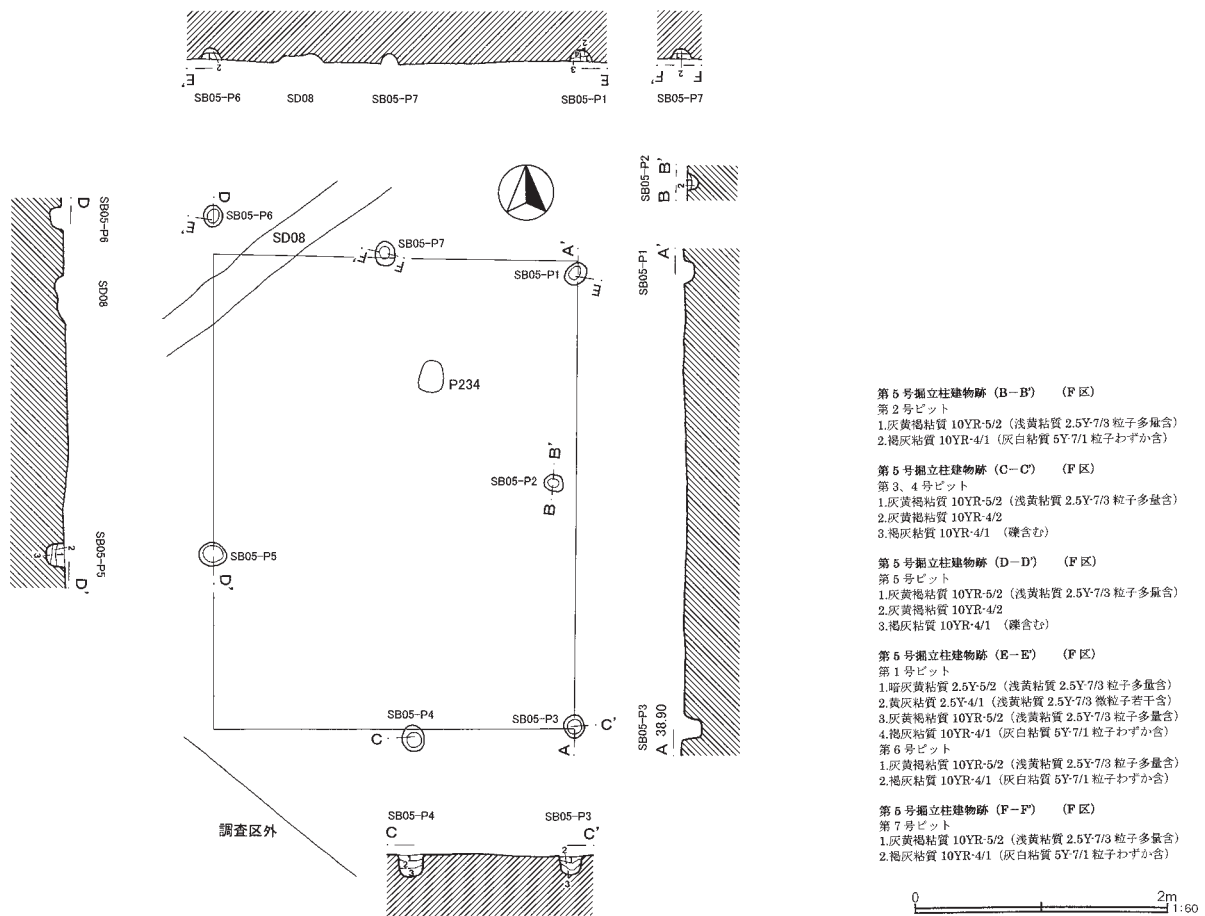
第43図 第3・4号掘立柱建物跡 (F区)

第4号掘立柱建物跡 (第43図)

D-23グリッド (F区) から検出した。第43号土坑と直接重複関係にあり、本遺構が、その土坑により切られていた。なお、直接切り合いの関係にはないが、第3号掘立柱建物跡、第46～48号土坑と重複関係にある。

北側が調査区域外のため、詳細は不明だが、1間以上×1間以上の側柱式掘立柱建物跡で、規模は、桁行が検出部分で2.3m (7.5尺)、梁行検出部分で2.25m (7.4尺)、面積は約5.17㎡以上を測るものと推測される。柱間も、桁行は北から2.3m (7.5尺)、梁行は西から2.25m (7.4尺) である。主軸方位は、N-86°-Eを指す。柱穴は隣接する第3号掘立柱建物跡より小さく、ほぼ円形の掘り方で、長軸0.18~0.2m、短軸0.17~0.19mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP1が10cm、P2が17cm、P3が13cmを測り、ややP1は掘り方が浅いため、北側に柱筋が続くものと考えられる。柱は、柱穴P1を除き土層断面から柱痕跡が確認でき、掘り方はほぼ中央部であった。また、P1以外柱痕跡が確認され、柱筋の通りが概ね良い建物である。土層断面から確認できた柱痕跡を観察すると、推定される柱の直径は、約8~10cmと推定され、柱穴跡に比例した大きさであろうと思われる。

出土遺物は検出されなかった。



第44図 第5号掘立柱建物跡 (F区)

第5号掘立柱建物跡 (第44図)

D-24グリッド (F区) から検出した。いずれの遺構とも直接は重複関係にはない。なお、直接切り合いの関係にはないが、第8号溝跡、第234号ピットと重複関係にある。一部柱穴が調査区域であるが、建物跡の全様をうかがい知ることができる。

南西隅の柱穴跡の検出がないが、2間×2間の南北棟側柱式掘立柱建物跡で、規模は、桁行は3.62m (12尺)、梁行は2.88m (9.5尺) で、面積は約10.4㎡を測る。柱間は、桁行が北から東面で1.66-1.90m (5.5-5尺)、西面で2.69m-推定1.70m (9-5.5尺) で、梁行が西から北面で1.36m-1.48m (4.5-5尺)、南面で推定1.78m-1.3m (6-4尺) であった。主軸方位は、真北を指すものと考えられる。

柱穴は円形の掘り方で、長軸0.18~0.23m、短軸0.13~0.18mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP1が8cm、P2が7cm、P3が14cm、P4が15cm、P5が14cm、P6が9cm、P7が8cmを測り、柱は、北側のP1、P6、P7についてはやや深さが浅く、表土剥ぎ時にやや深く削りすぎてしまったことが原因と考えられ、それ以外の柱穴の深さは大体平均15cm程度であった。また、平面上から、柱穴径が小さいことから、掘り方がそのまま、柱穴痕となっていることが確認された。また、断面上からはいずれの柱穴においても柱痕跡そのものと断定できるものは確認されなかったが、先に述べたように柱穴痕が掘り方そのものであれば、確認できたことになろう。

この建物跡は、P2がやや建物内に寄っている点、P5とP6との柱間が広く、東面、西面、北面と3面に渡って柱筋が悪い建物である。土層断面から観察すると、柱痕跡として推定される柱の直径は小さく、約15~18cmと推定される。

出土遺物は、検出されなかった。

第6号掘立柱建物跡 (第45図)

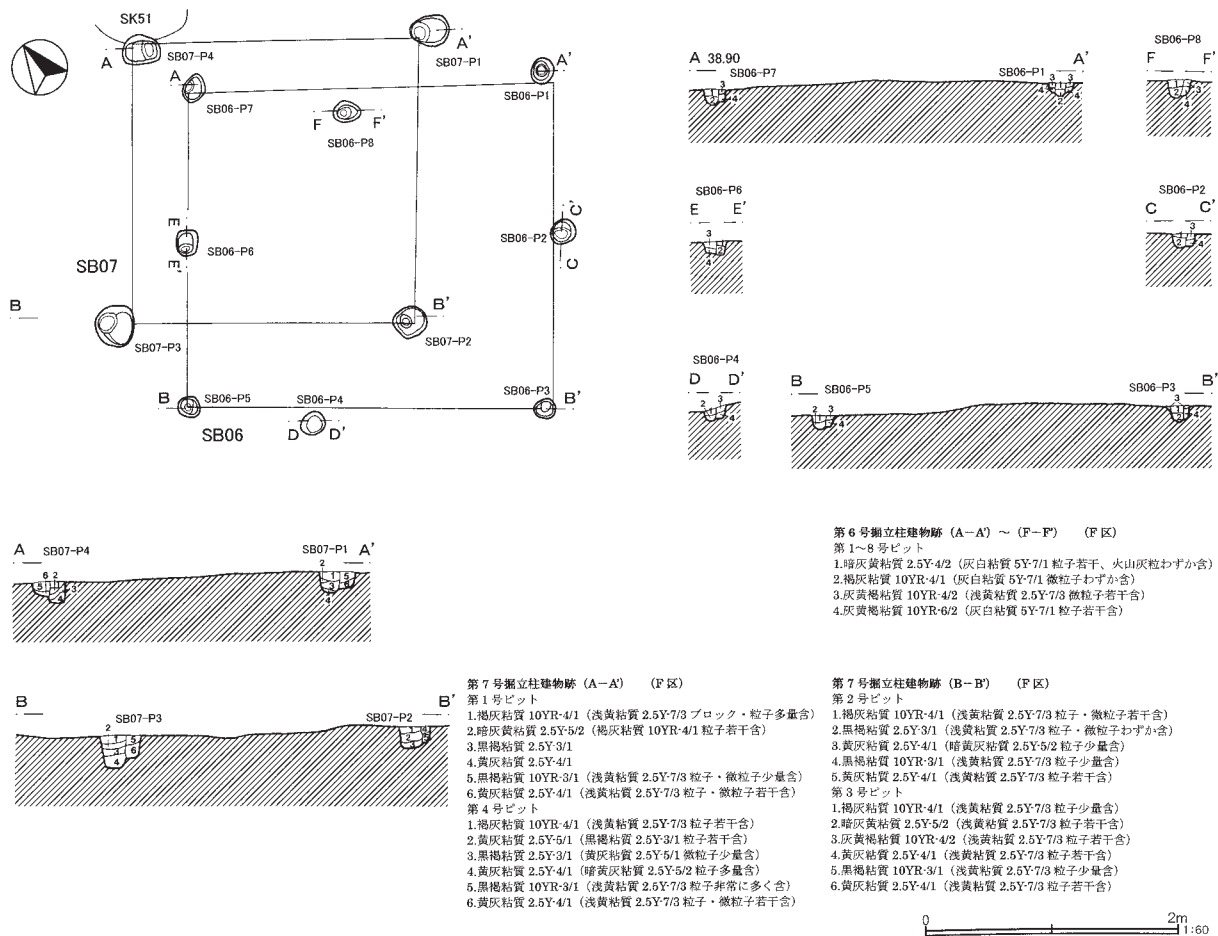
C-25グリッド (F区) から検出した。いずれの遺構とも直接の重複関係はないが、直接切り合いの関係にはない、第7号掘立柱建物跡と重複関係にある。

2間×2間の側柱式掘立柱建物跡で、規模は、桁行は2.65m (8.7尺)、梁行は2.76m (9尺) で、面積は約7.3㎡を測る。柱間は、桁行が北から東面で1.3m-1.38m (4-4.5尺)、西面で1.32m-1.26m (4尺)、梁行が西から北面で1.23m-1.60m (4-5尺)、南面で1.00-1.85m (3-6尺) であった。主軸方位は、N-55°-Eをを指す。

柱穴は円形、楕円形状と様々な掘り方で、長軸0.18-0.20m、短軸0.16-0.19mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP1が12cm、P2が10cm、P3が13cm、P4が9cm、P5が10cm、P6が10cm、P7が10cm、P8が12cmを測り、一貫してほぼ同様の深さであった。

柱は、P4~6、8を除き平面確認で柱痕跡が確認でき、ピットによって南に偏ったり、西に偏ったりとまちまちであり大体が外に寄っていた。また、P4とP5は柱間が狭小で、P8は建物内に寄っており、柱筋の通りが悪い建物である。しかし、土層断面観察からは明確な柱痕跡が確認でき、柱痕跡から推定される柱の直径は、約12cmと推定される。

出土遺物は、残念ながら確認されなかった。



第45図 第6・7号掘立柱建物跡 (F区)

第7号掘立柱建物跡 (第45図)

C-25グリッド (F区) から検出した。第51号土坑と直接重複関係にあり、本遺構が、その土坑を切っている。なお、直接切り合いの関係にはないが、第6号掘立柱建物跡と重複関係にある。

1間×1間の側柱式掘立柱建物跡で、規模は、桁行・梁行とも2.35m (7.7尺)、面積は約7.8㎡を測る。柱間も、桁行・梁行とも2.35m (7.7尺) である。主軸方位は、第6号掘立柱建物跡と同様にN-55°-Eを指す。

柱穴は円形、楕円形状と様々な掘り方で、長軸0.18m-0.30m、短軸0.26~0.30mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP1が17cm、P2が16cm、P3が25cm、P4が16cmを測り、P3が一番深い。

すべてのピットの平面確認で柱痕跡が確認でき、その全てにおいて掘り方の中央部より外に偏っていた。また、P3が若干南西方向に寄っているが、柱筋の通りが概ね良い建物である。土層断面観察から柱痕跡が確認でき、そこから推定される柱の直径は、約13~18cmと推定される。

出土遺物は、検出されなかった。

第8号掘立柱建物跡 (第46図)

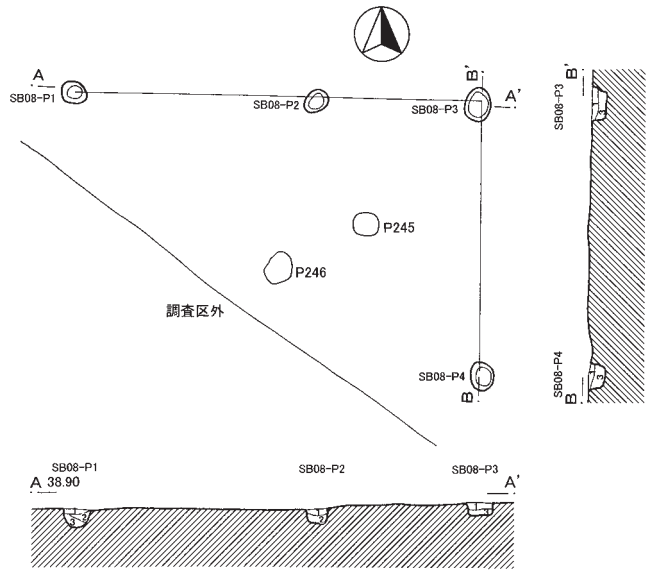
C-25グリッド (F区) から検出した。直接の重複関係にある遺構は検出されなかったが、直接切り合いの関係ではないが、第245、246号ピットと重複関係にある。

大半が調査区域外であるが、2間以上×1間以上の南北棟側柱式掘立柱建物跡と推定され、規模は、桁行は2.2m (7.2尺)、梁行は3.2m (10.5尺) で、面積は約7㎡を測る。柱間は、桁行が北から東面で2.2m (7.2尺)、梁行が西から北面で1.9m-1.3m (6.2-4.2尺) であった。主軸方位は、ほぼ真北をを指す。

柱穴は円形、楕円形状と様々な掘り方で、長軸0.18m-0.30m、短軸0.26~0.30mを測る。掘り方の深さは、いずれも確認面からP1が15cm、P2が10cm、P3が9cm、P4が13cmを測り、大体均等な深さであった。

すべてのピットの平面確認で柱痕跡が確認でき、いずれも、ピットの掘り方がそのまま柱穴痕となっているようである。また、P2が若干東方向に寄っているが、柱筋の通りが概ね良い建物である。土層断面観察から柱痕跡の確認はできなかったが、掘り方をそのまま柱穴痕と考え、そこから推定される柱の直径は、約18~20cmと推定される。

出土遺物は、検出されなかった。



第8号掘立柱建物跡 (A-A') (B-B') (F区)
 第1~4号ピット
 1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
 2. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (FeO、粒わずか含)
 3. 黒褐粘質 10YR-3/2 (にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 粒子若干含)

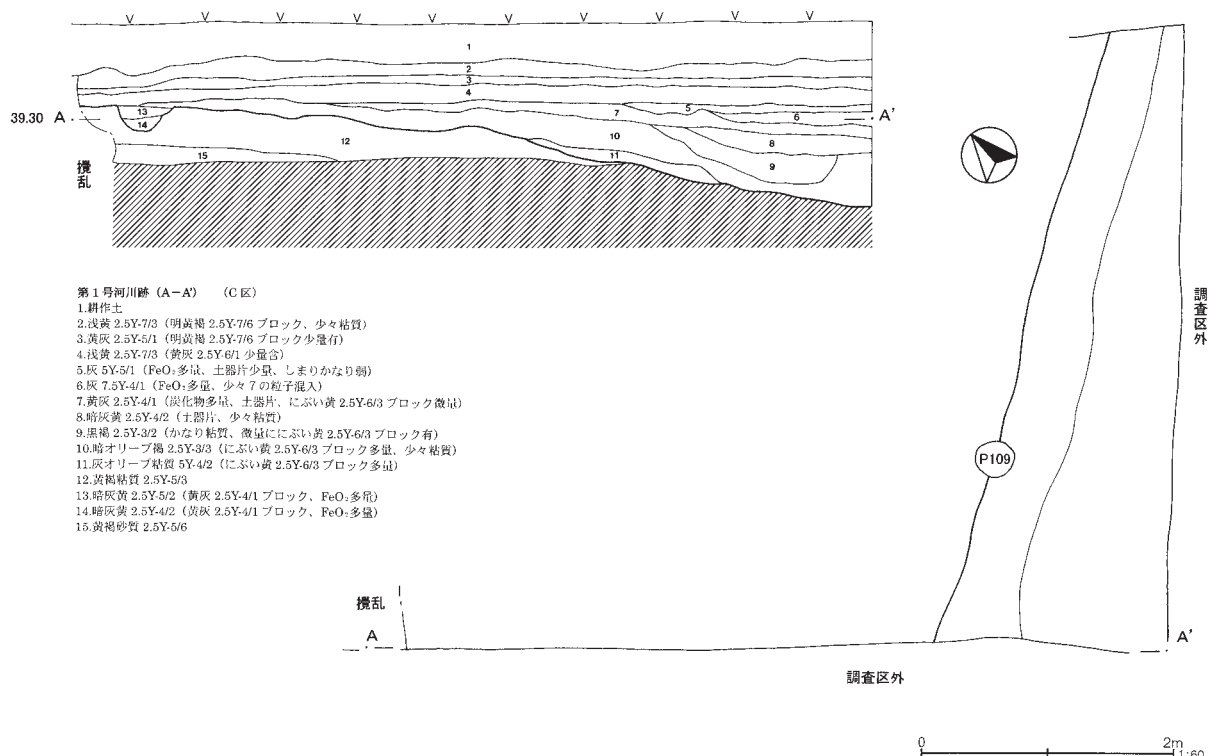
第46図 第8号掘立柱建物跡 (F区)

3 河川跡

第1号河川跡 (第47図)

〇-10グリッド (C区) から検出した。第109号ピットと重複関係にあり、河川跡の一部を掘り込んでいた。

規模は、検出長4.85m、幅0.57~1.82m、深さは確認面から0.20mであった。河川はほぼまっすぐに南西から北東に向かっており、平面上からは、流路跡の底部付近しか確認できなかった。しかし、土層断面を観察すると、現地表面下0.65mから河川跡の掘り込みが確認でき、上から灰褐色の粘質土 (5.6層)、暗灰黄粘質土 (8層)、黒褐色粘質土 (9層)、暗オリーブ褐や粘質土 (10層) の順で堆積しており、第10層に至っては西に向かって緩やかに立ち上がっており、それは検出全幅で5.8m続く。底部付近は粘質土が堆積し、河川の底部中央に向かって、落ち込んでいる様子が確認できる。また、土層断面からは、第13、14層にピットが確認できる。場合によれば、橋脚の跡の可能性も考えられる。残念ながら、出土遺物は検出されなかったが、土層から判断すると時期は、中世以前からの掘り込みと考えられる。なお、東面の調査区域外にはこの河川跡と隣接して、灌漑工事で舗装されている農業用水路が平行して流れている。この河川跡については、この農業用水路との関連性が考えられる。



第47図 第1号河川跡 (C区)

4 溝跡

溝跡は、総じて10条検出した。A区からは第1、2号溝跡が、調査区の東西で検出された。B区からは第3号溝跡が東側に検出し、第4号溝跡は他とは異なる東西方向に走っていた。C区からは第5号溝跡が河川跡のそばに検出し、第6号溝跡はD区のやや西よりに検出し、底部から川原石が多量に検出したことから、流路跡と推定される。また第7号溝跡はD区の西で確認され、溝の終点を確認することができた。F区の第8号溝跡はV字の断面で、細長い溝跡であり、第10号溝跡は深く、幅のある溝で、流路溝と区画溝としての性格がある。いずれの溝跡も、第4号溝跡を除き、同一の北東方向に向かって延伸していた。

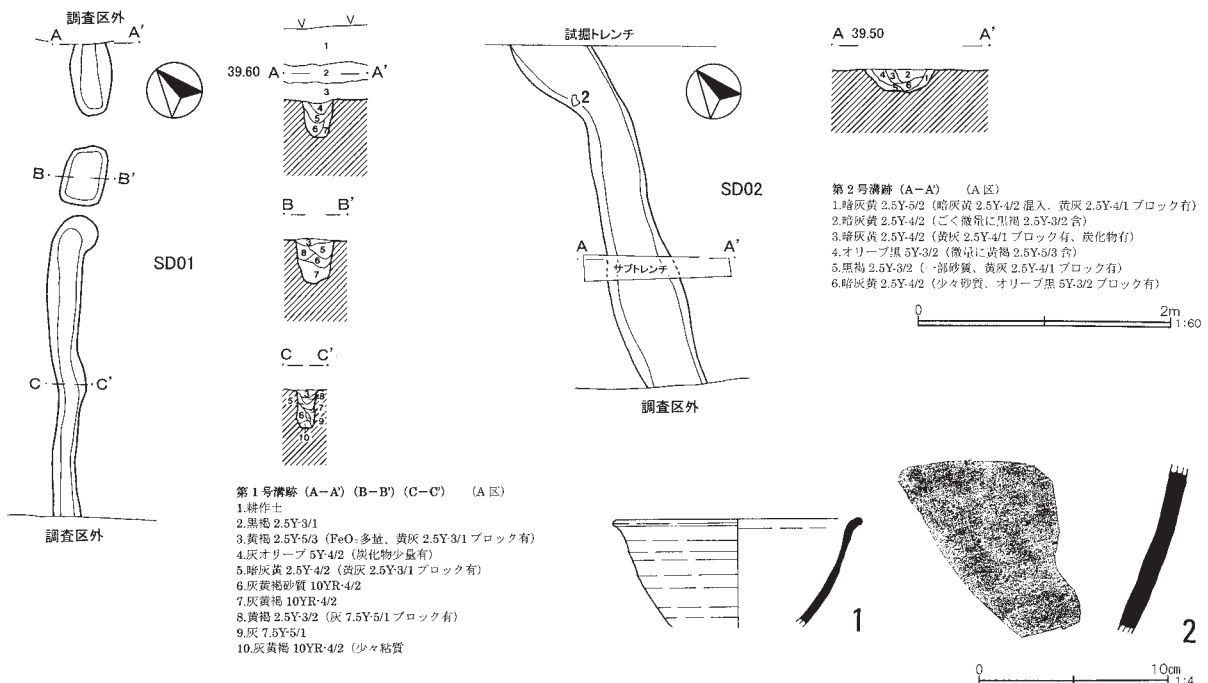
以下溝跡ごとに詳細を記載する。

第1号溝跡 (第48図)

V-1グリッド (A区) から検出した。他の遺構と重複関係はなく、大半は調査区域外であった。

規模は、検出長3.73m、幅0.26m、深さは0.30~0.35mであった。表土除去の際に掘削深度が少々深かったのが要因であろうが、本溝跡は、一部で起伏が激しく、部分的に途切れている。溝は南西から北東方向に伸びており、北東方向に傾斜が確認できる。

残念ながら、出土遺物は検出されなかった。



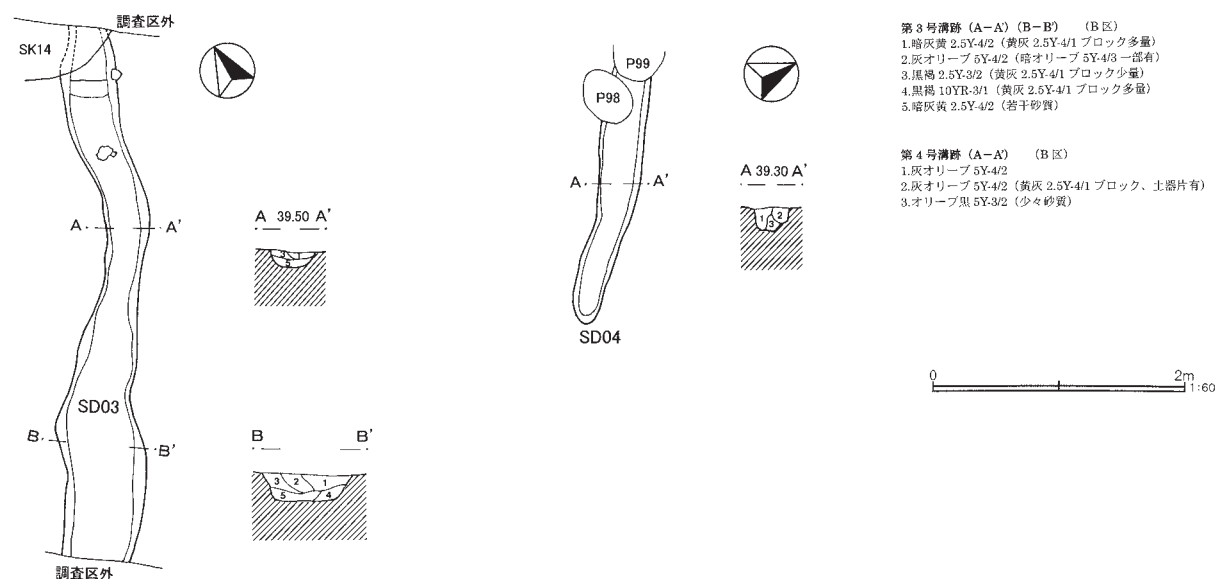
第48図 第1・2号溝跡・第2号溝跡出土遺物 (A区)

第2号溝跡 (第48図)

S-5グリッド (A区) から検出した。試掘トレンチにより掘り込まれ、一部は調査区域外であった。規模は、検出長2.85m、幅0.35~0.58m、深さは0.18mであった。1号溝跡同様、南西から北東方向に延びているが、直線的ではなく、やや曲線気味である。底部付近からは、川原石程度の礫が数点見られた。出土遺物は須恵器坏、甕片が出土した。どちらも末野産と推定される。なお、時期は9世紀代と考えられる。

第15表 第2号溝跡出土遺物観察表 (A区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	須恵器坏	(13.2)	(5.7)	-	AGIN	灰7.5Y-6/1	A	15%	回転ナデ	末野産
2	須恵器甕	-	-	-	ABIN	灰N6/0	A	破片		末野産



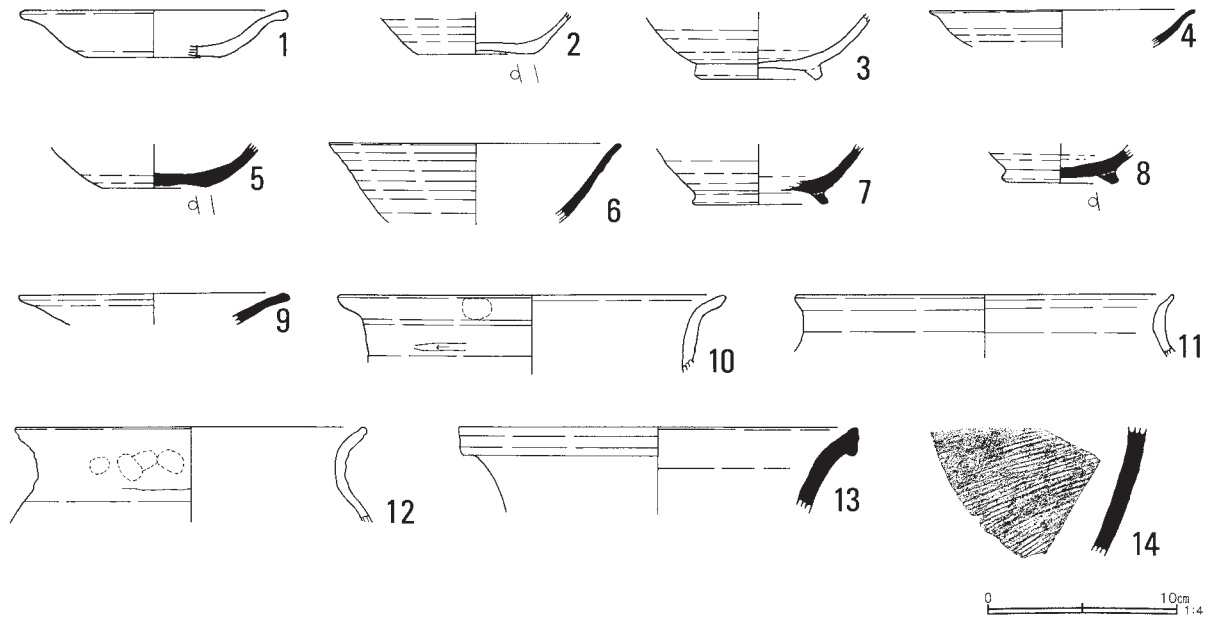
第49図 第3・4号溝跡 (B区)

第3号溝跡 (第49・50図)

R-7グリッド (B区) から検出した。第14号土坑と重複しており、土坑を掘り込んでいた。また、一部は調査区域外である。

規模は、全長4.22m、幅0.31~0.71m、深さは0.15~0.20mであった。先の第1、2号溝跡とともに、南西から北東方向に走り、調査区域外に至る。また、本溝跡は双方の端から中央部付近に向かってなだらかな傾斜があった。溝跡は蛇行した曲線を描いており、底部付近は小礫をいくらか確認できた。

出土遺物は図示可能な遺物が多く出土しており、土師器坏、椀、甕、須恵器坏、皿、椀、長頸瓶などが出土した。底部調整に周縁ヘラケズリなどがみられ、土師器甕の一部には8世紀初めごろと考えられるものもあるが、この溝跡の主体的な時期は9世紀後半~10世紀初めと推定される。



第50図 第3号溝跡出土遺物（B区）

第16表 第3号溝跡出土遺物観察表（B区）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 杯	(14.2)	2.5	(7.2)	AEIN	にぶい橙7.5YR-6/4	B	20%	口縁部外反 底部摩耗著しい	
2	土師器 杯	-	(2.2)	(6.2)	ADIN	にぶい黄橙10YR-6/4	B	底部60%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	
3	土師器 椀	-	(3.5)	(6.8)	BDEHIN	外：にぶい黄橙10YR-6/4 内：黒褐10YR-3/1	B	底部30%	内面黒色 回転ナデ	
4	須恵器 皿	(14.0)	(2.0)	-	ABEK	にぶい黄2.5Y-6/4	B	口縁部20%	口縁部外反 回転ナデ	
5	須恵器 杯	-	(2.3)	(5.6)	ADEGHIN	にぶい黄2.5Y-6/3	B	底部30%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	
6	須恵器 椀	(15.5)	(4.2)	-	ADN	灰10YR-5/1	B	口縁部20%	回転ナデ	
7	須恵器 椀	-	(3.2)	(7.4)	ABDEHN	灰5Y-6/1	B	底部40%	回転ナデ	未野産
8	須恵器 椀	-	(2.1)	(6.2)	ADEGHIN	灰N-6/	B	底部30%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
9	須恵器 皿	(14.2)	(1.6)	-	BDHIN	灰オリーブ5Y-6/2	B	口縁部10%		未野産
10	土師器 甕	(20.5)	(4.2)	-	ABEIJ	明赤褐2.5YR-5/8	B	口縁部20%	口縁部外反し短長 口縁部外面指頭圧痕	
11	土師器 甕	(20.0)	(3.3)	-	ABEIJ	赤褐5YR-4/6	B	口縁部30%	口縁部わずかに外反	
12	土師器 甕	(18.6)	(5.1)	-	ADJN	橙5YR-7/8	B	口縁部30%	口縁部やや「コ」の字状 口縁部外面指頭圧痕	
13	須恵器 長頸瓶	(21.2)	(4.5)	-	ADIN	明黄褐10YR-6/6	B	口縁部10%	回転ナデ やや厚手か	
14	須恵器 甕	-	-	-	ABIL	灰白N-7/0	A	胴部破片	胴部外面平行叩き目	

第4号溝跡（第49図）

P-8. Q-8グリッド（B区）から検出した。第98、99号ピットと重複関係にあり、それらが、溝跡を掘り込んでいた。

規模は、推定長1.93m、幅0.34m、深さは0.20mであった。第99号ピットにより溝跡の端が不明であるが、ほぼ南東から南西方向に伸びており、深さも端から端までほぼ一貫しており、底部付近は小礫を多く含んでいた。溝跡の覆土は、第1号溝跡などとは異なり、暗灰褐色土や灰黄褐色土が含まれており、地山に近づくにつれ砂混じりであった。

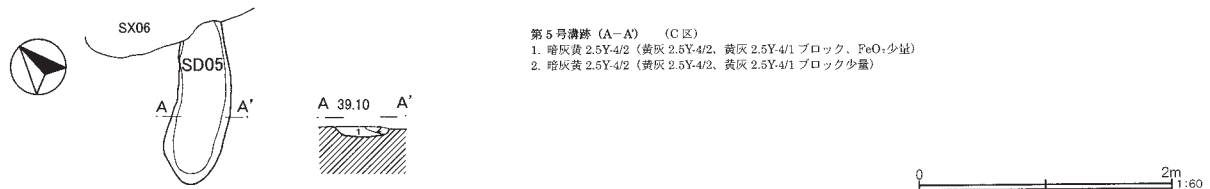
出土遺物は、一部図示可能な土師器杯片1点出土したが、図示可能な遺物ではなかった。

第5号溝跡 (第51図)

〇-10グリッド (C区) から検出した。第6号性格不明遺構と重複関係にあり、それらが、溝跡を掘り込んでいた。

規模は、検出長1.25m、幅0.46m、深さは0.10mであった。第6号性格不明遺構により全景は不明であるが、南西から北東方向に伸びているものと推定され、底部は一貫して同じ深さであった。

遺物は、土師器片数点が出土したが、図示可能な遺物ではなかった。



第51図 第5号溝跡 (C区)

第6号溝跡 (第52図)

J-16グリッド (D区) から検出した。第1号掘立柱建物跡と重複関係にあり、そのP5～P7が直接の重複関係にあり、それらを溝が掘り込んでいた。また、第184号ピットと重複関係にあり、溝跡を掘り込んでいた。溝跡の始点、終点ともに調査区域外であった。

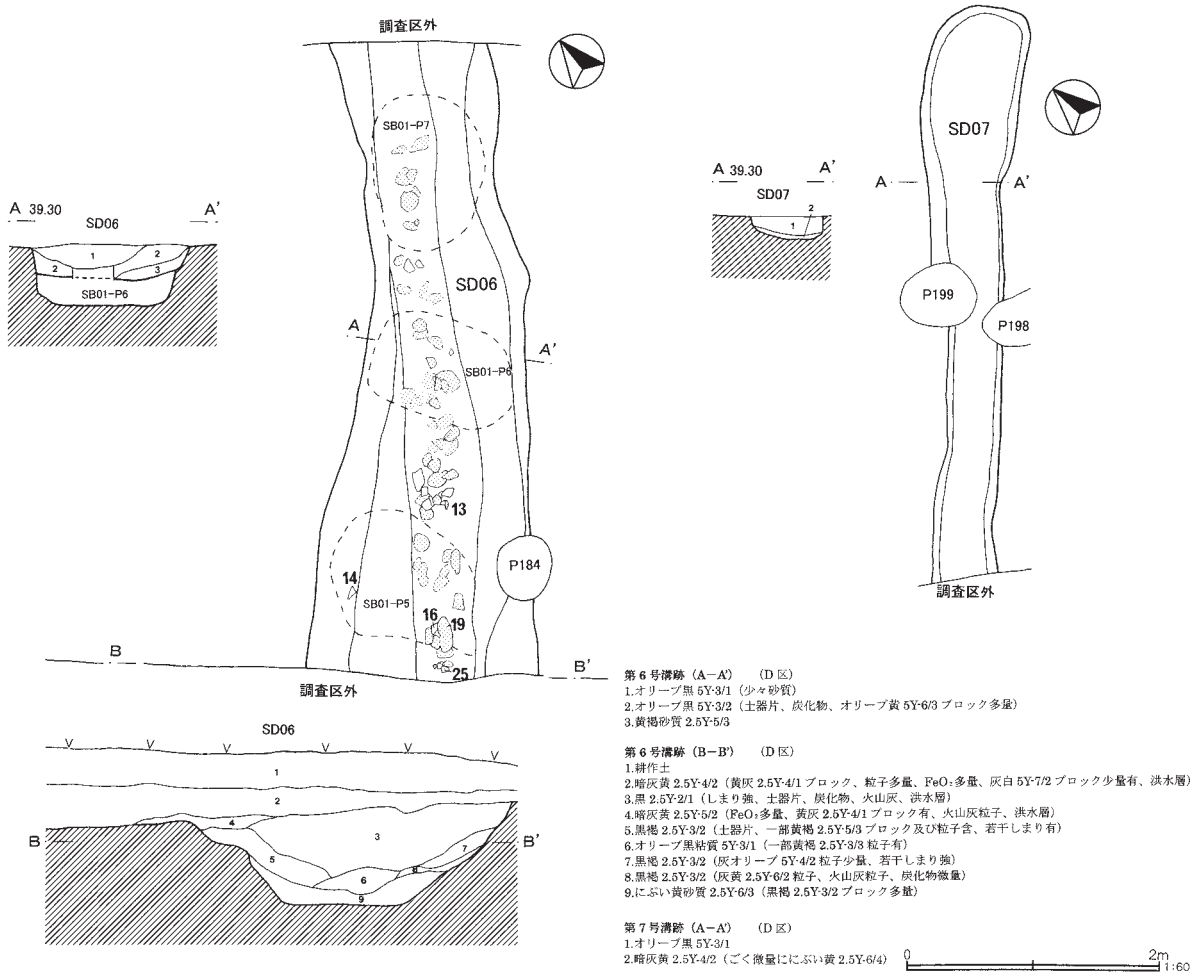
規模は、検出長5.06m、最大幅1.24～1.81m、深さは壁面の断面観察から0.75mであった。本溝跡は、南西から北東方向に延びており、底部付近には大量の礫が堆積していた。土層断面を観察すると、上層部分は洪水層の堆積、底部付近には灰オーリーブなどの粘質土、最終層は礫を含む、砂質土であった。さらに底部は掘立柱建物跡のピットである。流路跡であろうことが想定できる。出土遺物は土師器坏、須恵器坏、蓋、土錘、古銭 (元豊通宝) などが出土した。土器の大多数が9世紀前半と推定でき、溝としての時期は大体その時期であろう。埋没時期についても、出土した古銭の始鋳時期が1078年であることから、それ以降と判断できる。

第7号溝跡 (第52図)

J-16グリッド (D区) から検出した。複数の遺構と重複関係があり、第198、199号ピットが溝跡を一部掘り込んでいた。一部調査区域外であるが、溝の終点だろう位置を確認できた。

規模は、検出長4.51m、幅0.50～0.60m、深さは0.18mであった。南西から東北方向に伸びているだろうことが想定できる。

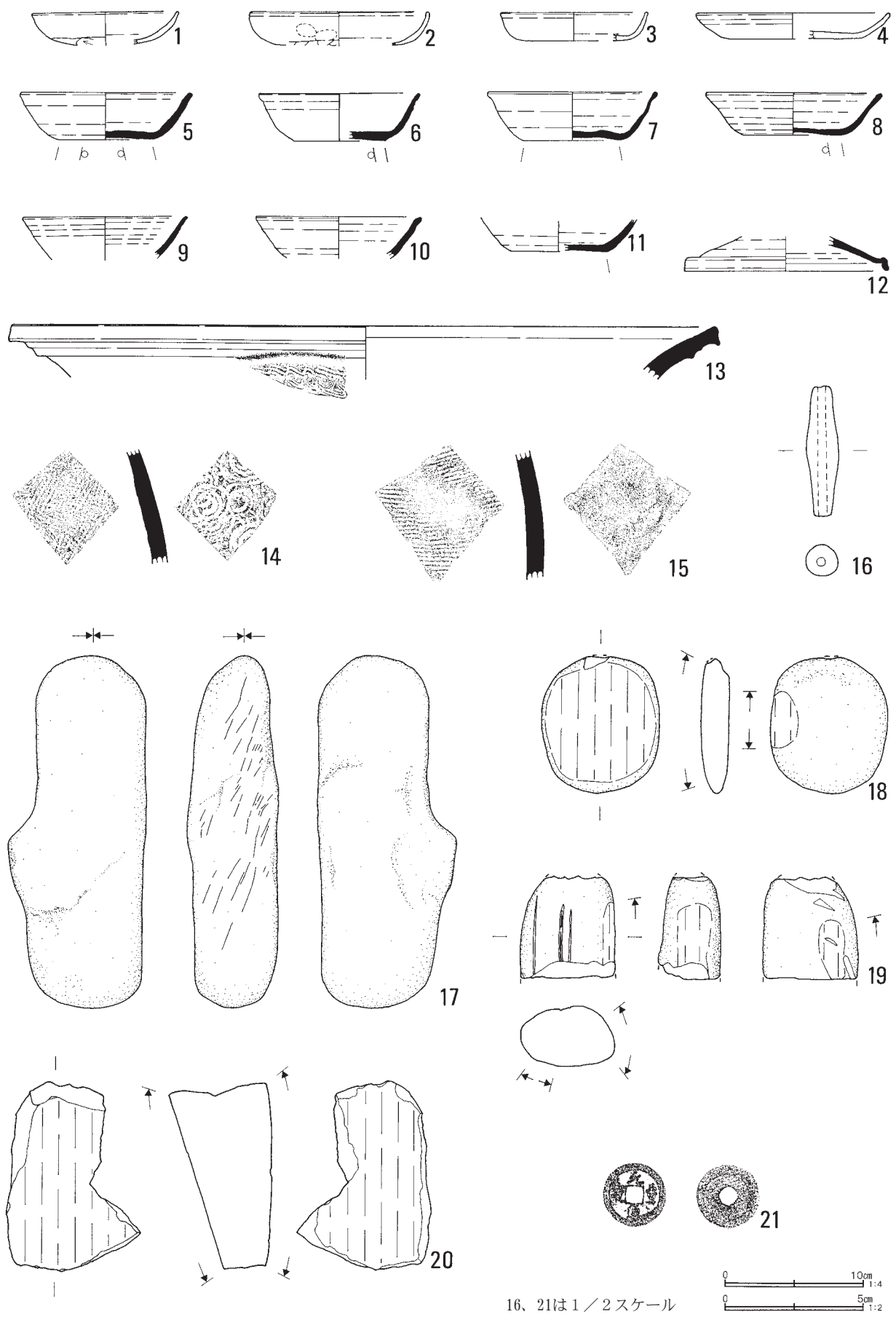
出土遺物は土師器甕片、須恵器坏片が数点検出されたが図示可能な遺物ではなかった。



第52図 第6・7号溝跡 (D区)

第17表 第6号溝跡出土遺物観察表 (D区)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 杯	(10.7)	(2.4)	-	ABDEIM	橙5YR-6/6	B	口縁部20%	外面底部付近ヘラケズリ	
2	土師器 杯	(13.1)	(2.5)	-	ADG	橙7.5YR-7/6	B	口縁部20%	外面体部指頭圧痕 外面底部周辺ヘラケズリ	
3	土師器 杯	(10.6)	2.1	(8.0)	ABEIK	橙7.5YR-6/6	B	10%	体部外面下部ヘラケズリ 平底	
4	土師器 杯	(14.0)	1.9	(10.0)	AI	橙5YR-6/8	B	15%	消耗著しい 浅身で平底	
5	須恵器 杯	(12.5)	3.4	6.8	AFGN	灰N-6/	A	60%	やや厚手、口縁部わずかに外反、底 部回転糸切り 回転ナデ	未野産
6	須恵器 杯	(11.7)	(3.4)	(6.7)	AB	灰5Y-6/1	B	口縁部10% 底部50%	内外面底部火襷痕 口縁部自然袖付着 底部回転周縁ヘラケズリ	未野産
7	須恵器 杯	(12.6)	3.5	7.0	ABDEF	灰白10YR-8/1	A	50%	口縁部外反、回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
8	須恵器 杯	(12.8)	3.1	(7.0)	ABFGHN	外：灰5Y-6/1 内：灰オリーブ5Y-6/2	B	50%	回転ナデ 口縁部緩やかに外反 底部回転周縁ヘラケズリ	
9	須恵器 杯	(12.0)	(3.1)	-	AB	灰5Y-6/1	B	口縁部20%	口縁部自然袖付着	未野産
10	須恵器 杯	(12.0)	(3.0)	-	ABEF	灰7.5Y-6/1	B	口縁部20%	回転ナデ、やや厚手	南比企産
11	須恵器 杯	-	(2.4)	(7.0)	ABDFHN	灰7.5Y-6/1	B	底部50%	回転ナデ 底部回転ヘラケズリ	
12	須恵器 蓋	(14.8)	(2.5)	-	ABN	灰N5/	A	縁部20%	回転ナデ	未野産
13	須恵器 甕	(51.2)	(3.9)	-	ABDHI	灰5Y-4/1	B	口縁部10%	口辺部波状文2条	未野産?
14	須恵器 甕	-	-	-	ABEGN	外：暗青灰5PB-4/1 内：青灰5PB-6/1	A	胴部破片	内面同心円状あて具痕 外面平行叩き目 (重ね)	未野産
15	須恵器 甕	-	-	-	AFGN	灰7.5Y-4/1	A	胴部破片	外面平行叩き目	未野産



16、21は1/2スケール

第53図 第6号溝跡出土遺物 (D区)

第17表 第6号溝跡出土遺物観察表（D区）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
16	土錘	最大長 4.7	最大幅 1.2	孔径 0.3	重さ 5g					
17	すり石	最大長 25.7	最大幅 10.0	最大厚 6.5	重さ 2400g				全面磨り痕、表裏面に斜位有溝	
18	すり石	最大長 (9.9)	最大幅 8.5	最大厚 2.1	重さ 269g					砂石
19	有溝砥石	最大長 (7.4)	最大幅 6.8	最大厚 4.5	重さ 300g				被熱による赤化 表面に溝数条	砂石
20	すり石or 白片	最大長 (13.8)	最大幅 (9.6)	最大厚 (7.2)	重さ 1080g				表裏のみ磨り痕	
21	古銭	径 2.4	重量 2.8g						「元豊通宝」 北宋（1073年～）	

第8号溝跡（第54図）

D-24グリッド（F区）から検出した。直接の重複関係はないが第5号掘立柱建物跡と重複関係にある。

規模は、全長6.81m、幅0.28～0.30m、深さは壁面の土層観察から0.5mであった。若干の傾斜であるが南西から北東に真っ直ぐ走り、北東に向かうにつれ、少しずつ幅広になる。土層を観察すると、「V」字の掘り方で、数層にわたって堆積が確認できることから、自然に時間をかけた堆積であることがわかる。

出土遺物は土師器甕片が検出されたが図示可能な遺物ではなかった。

第9号溝跡（第54図）

C-24グリッド（F区）から検出した。他の遺構との重複関係はない。

規模は、検出長1.31m、幅0.29m、深さは0.18mであった。他の溝跡と同様、南西から北東に伸びる溝であるが、底部には傾斜はなく、ほぼ一貫して同じ深さである。溝跡の覆土は、3層とも暗灰色や黒色の粘質土である。

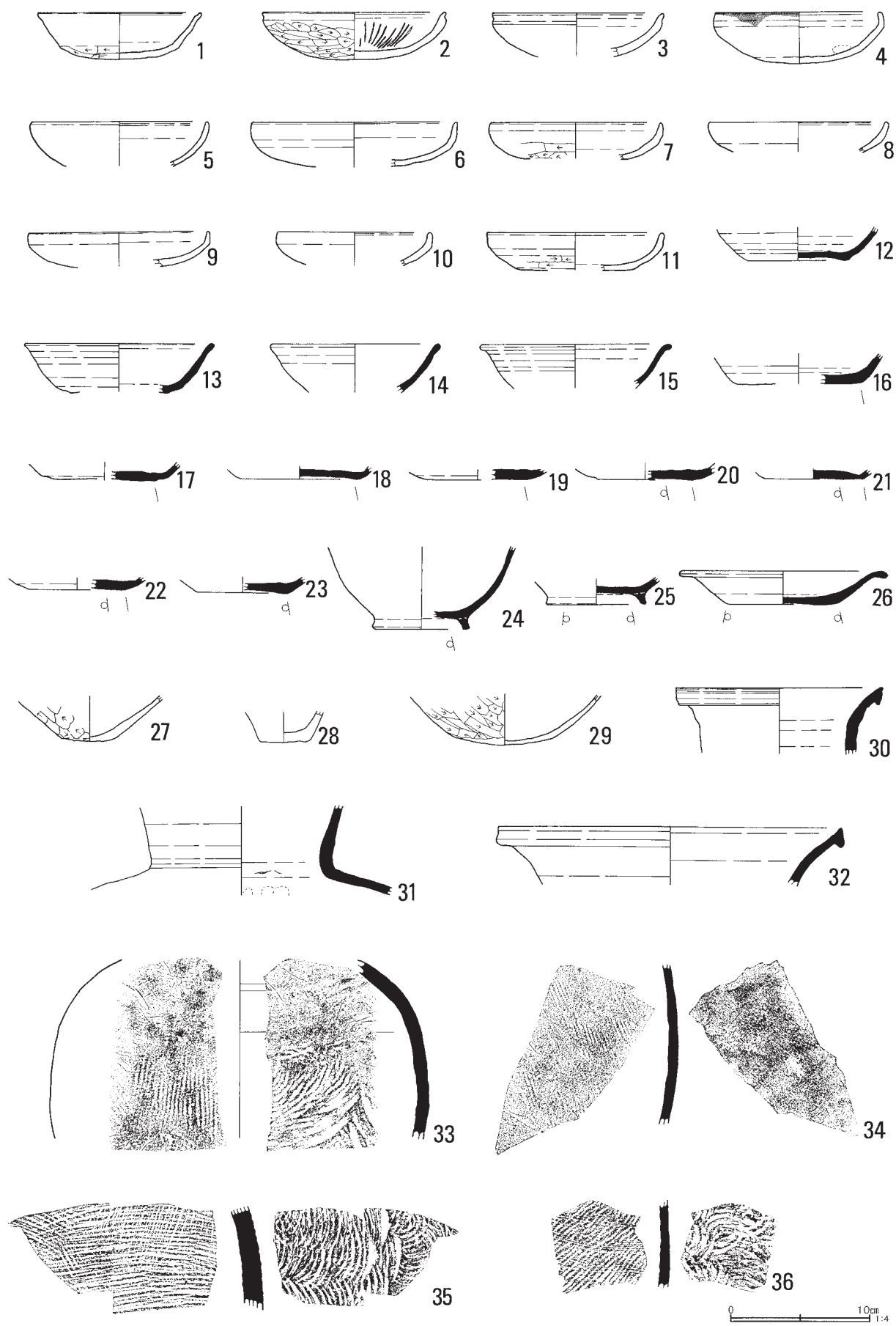
遺物については土師器杯片1点出土したが、図示可能な遺物ではなかった。

第10号溝跡（第54・55・56図）

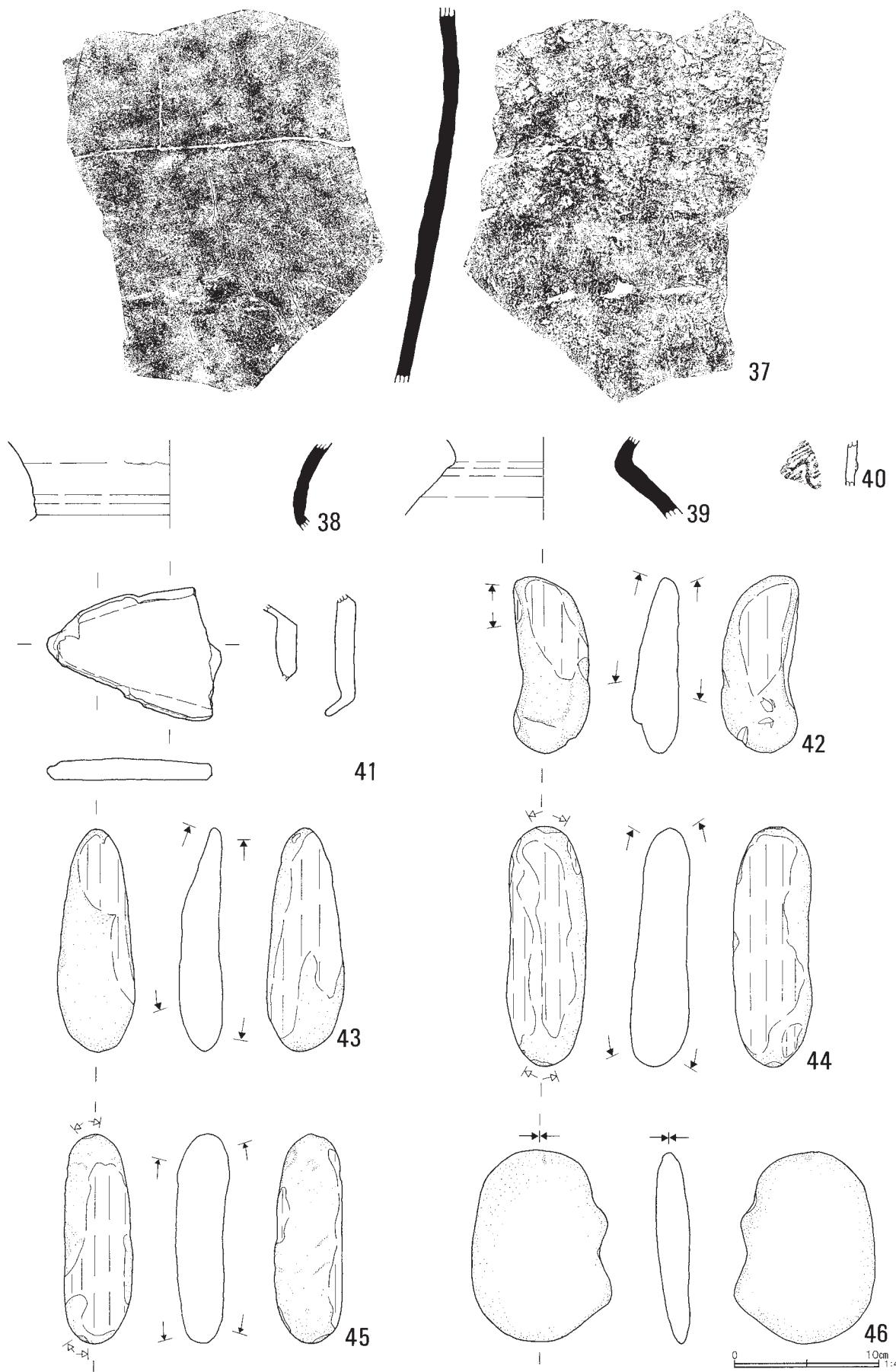
C-24、25・D-25グリッド（F区）から検出した。第288号ピットと重複関係にあり、そのピットを切っていた。

規模は、検出長7m、幅3.12～3.52m、深さは1.2mであった。この溝についても、他の溝跡と同様に、南西から北東方向に伸びており、北東へ向かって傾斜しており、幅も北東に向かうにつれて広がる。土層断面を観察すると、かなり複雑な堆積の仕方がみられ、中間層では砂質土の青灰色や、灰白色が含まれ、溝底部付近ではシルト質や粘質土で青灰色や白灰色の土層が多くみられる。堆積状況を考慮に入ると、水の流れた流路跡と区画溝を兼ねた溝としてのイメージも考えられる。

出土遺物は、土師器杯、壺、甕、須恵器椀、皿、壺、甕、風字硯などが出土した。須恵器の産地はさまざまに南比企、末野産、三毳産と推定されるものも確認できる。遺物の時期もまちまちで、土師器杯については、7世紀末～8世紀初頭、須恵器については、8世紀初め～中ごろもあれば、8世紀末～9世紀初めのものも確認できる。このことは、この溝が7世紀末～9世紀以降に渡って長期間利用されてきたことを意味する。



第 5 5 图 第 1 0 号沟迹出土遗物(1) (F 区)



第56图 第10号沟迹出土遗物(2) (F区)

第18表 第10号溝跡出土遺物観察表（F区）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1	土師器 環	(11.8)	3.4	(5.0)	ABDEGHK	橙5YR-6/6	B	50%	やや口縁部外反 底部外面ヘラケズリ	
2	土師器 環	13.2	3.5	7.0	ABDEIK	外：橙2.5YR-6/8 内：黄橙7.5YR-7/8	B	70%	口縁部外面沈線 体部外面ヘラケズリ 内面放射線状暗文	
3	土師器 環	(12.4)	(3.3)	-	ADEKN	明赤褐5YR-5/6	C	口縁部20%	丸身	
4	土師器 環	11.9	3.8	6.5	ADIKM	明赤褐5YR-5/6	B	90%	口縁部内湾 丸身 体部内面指頭圧痕 内外面ススわずかに付着	
5	土師器 環	(12.8)	(3.2)	-	ABDEGHK	明褐7.5YR-5/8	B	口縁部20%	口縁部やや内湾 丸身	
6	土師器 環	(14.8)	(3.2)	-	BDGK	橙5YR-6/6	B	20%		
7	土師器 環	(12.6)	(2.6)	-	BDGHK	橙7.5YR-6/6	B	20%	口縁部やや内湾 底部外面ヘラケズリ	
8	土師器 環	(13.0)	(2.2)	-	ABI	明褐7.5YR-5/6	B	口縁部20%		
9	土師器 環	(13.0)	(2.5)	-	ABDEHIK	明褐7.5YR-5/8	B	口縁部10%	口縁部直線的	
10	土師器 環	(11.2)	(2.4)	-	ABEIJ	明赤褐5YR-5/8	B	口縁部30%	口縁部やや内湾	
11	土師器 環	(12.8)	2.7	(8.5)	ABDEHIK	明赤褐5YR-5/6	B	30%	口縁部直線的	
12	須恵器 環	-	(2.4)	(7.0)	ABGN	灰白5Y-7/2	B	底部20%	回転ナデ 底部回転ヘラケズリ	未野産
13	須恵器 環	(13.6)	(3.5)	(7.0)	ADHN	灰黄褐10YR-6/2	B	口縁部10%		未野産
14	須恵器 環	(12.2)	(3.5)	-	ADFH	灰白N-7/	B	口縁部20%	やや口縁部外反 回転ナデ	南比企産
15	須恵器 環	(13.8)	(3.2)	-	ABEGN	灰白2.5Y-7/1	B	口縁部20%	回転ナデ 口縁部外反	未野産
16	須恵器 環	-	(2.2)	(9.0)	ABFN	灰白7.5Y-7/1	B	底部20%	回転ナデ 厚い 底部回転ヘラケズリ	南比企産
17	須恵器 環	-	(1.3)	(7.4)	ABEFGH	灰白7.5Y-7/1	B	底部20%	回転ナデ 底部回転ヘラケズリ	南比企産
18	須恵器 環	-	(1.0)	(8.0)	ABN	灰白7.5Y-7/1	A	底部40%	回転ナデ 底部内面ミガキ	三義産?
19	須恵器 環	-	(0.7)	(6.8)	ABDFGH	灰白2.5Y-7/1	B	底部50%	回転ナデ 底部回転ヘラケズリ	南比企産
20	須恵器 環	-	(1.2)	(6.8)	ABDN	灰N-5/	B	底部30%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	
21	須恵器 環	-	(0.7)	(7.0)	ABDFGN	灰白2.5Y-7/1	B	底部50%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	未野産
22	須恵器 環	-	(0.9)	(7.0)	ABDFH	にぶい橙7.5YR-6/4	B	底部30%	回転ナデ 底部回転周縁ヘラケズリ	南比企産
23	須恵器 環	-	(1.2)	(6.4)	ABDHN	褐灰7.5YR-6/1	B	底部50%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
24	須恵器 椀	-	(6.0)	(7.0)	ABDN	灰白5Y-7/1	C	体部～底部40%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産?
25	須恵器 椀	-	(1.9)	7.2	ABIN	灰黄2.5Y-7/2	B	底部100%	台部接着痕 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産?
26	須恵器 皿	(15.0)	2.4	8.0	ABHIN	黄灰2.5Y-6/1	B	70%	口縁部大きく外反 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
27	土師器 甕	-	(3.3)	3.8	ABEJ	外：にぶい黄褐5/4 内：明赤褐5YR-5/6	B	底部100%	胴部外面斜位ヘラケズリ	
28	土師器 甕	-	(2.3)	3.4	ABDI	黒7.5YR-2/1	B	底部100%	もしくは手捏ね土器か?	
29	土師器 壺	-	(4.7)	7.0	ABDEK	明赤褐5YR-5/6	B	底部100%	胴部外面斜位ヘラケズリ	
30	須恵器 長頸瓶	(14.9)	(4.8)	-	ABN	灰N-5/	B	口縁部10%	回転ナデ	未野産
31	須恵器 長頸瓶	-	(6.5)	-	ABHN	灰7.5Y-5/1	B	頸部～肩部30%	内外面自然釉添付 胴部内面指頭圧痕	南比企産
32	須恵器 甕	(25.0)	(4.2)	-	ABDFH	灰N-6	B	口縁部10%	回転ナデ	南比企産
33	須恵器 甕	-	(12.9)	-	ABDEHN	灰オリーブ5Y-6/2	B	肩～胴部破片	胴部外面平行叩き目 胴部内面同心円状当て具痕	
34	須恵器 甕	-	-	-	ABH	灰N-4/	B	胴部破片	外面平行叩き目	南比企産
35	須恵器 甕	-	-	-	ABDH	外：灰N-4/1 内：灰N-5/	B	胴部破片	外面平行叩き目 内面同心円状当て具痕	未野産
36	須恵器 甕	-	-	-	AHN	灰N-6/	B	破片	外面平行叩き目（重ね） 内面同心円状当て具痕	未野産
37	須恵器 甕	-	-	-	ABGN	灰白10Y-7/1	B	胴部破片		未野産
38	長頸壺 須恵器	頸径 (18.6)	(6.1)	-	ABFN	外：灰N-4/1 内：灰N-6/	A	頸部20%	口縁部外面粘土紐積上痕	南比企産
39	須恵器 壺	頸径 (12.2)	(5.7)	-	ABEN	外：灰5Y-4/1 内：青灰5PB-5/1	B	頸部20%		南比企産
40	縄文土器 深鉢	-	-	-	ADEKN	褐灰7.5YR-4/1	B	胴部上端破片	加曾利式 重弧文系?	
41	風字硯	最大長 (12.1)	最大幅 (9.2)	最大厚 (1.4)	重さ 15.6g		B	50%	硯手前部分欠損 脚が確認できないため、傾斜不明	未野産?
42	すり石	最大長 12.3	最大幅 5.3	最大厚 3.3	重さ 301g				自然穿孔有	緑色片岩
43	すり石	最大長 15.4	最大幅 5.3	最大厚 3.0	重さ 335g					凝灰岩
44	すり石	最大長 16.6	最大幅 5.3	最大厚 4.1	重さ 55.3g				上下部敲打痕 全面擦り痕	砂岩
45	すり石	最大長 14.5	最大幅 4.7	最大厚 3.6	重さ 350g				上下部敲打痕 一面擦り痕	砂岩
46	すり石	最大長 13.2	最大幅 9.7	最大厚 2.1	重さ 440g				全面擦り痕	閃緑岩

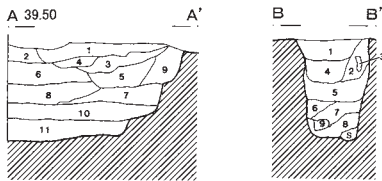
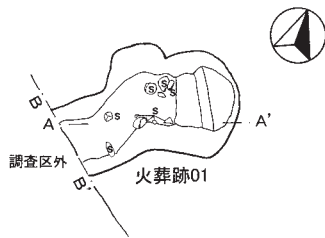
5 火葬跡

第1号火葬跡 (第57・58図)

M-12, 13グリッド (C区) から検出した。他の遺構との重複関係はない。

規模は、検出長軸1.35m、短軸0.85m、深さは0.80mであった。なお、この火葬跡は東側に昇降用と考えられる階段状の段差が確認できた。土層はほぼ水平堆積であるが、一部レンズ状に堆積していることも観察できる。覆土は炭化物が混ざった黒褐色や灰黄褐色が主体となり堆積しており、底部付近はかなりの粘質土で底部4層は人工的に埋められた形跡をもつ。また、床面は平坦で、周囲に川原石が散乱していた。人骨等は確認されなかった。

出土遺物は、土師器の椀と甕で、甕は口縁部が「コ」の字状である。これらの遺物から時期を想定すると、大体9世紀中ごろから後半と考えられる。

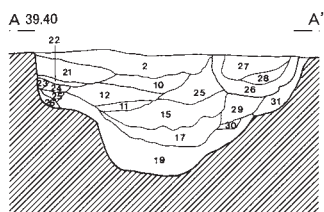
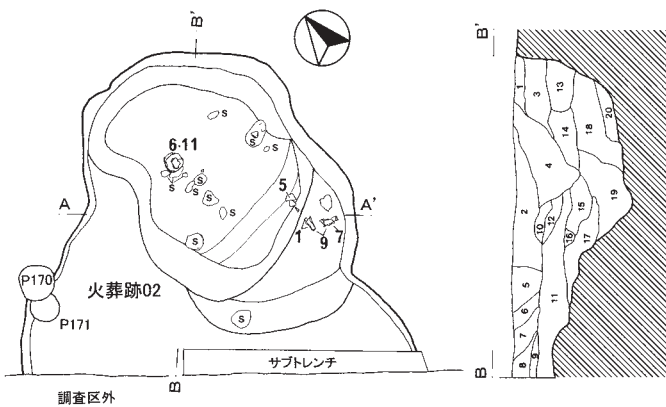


第1号火葬跡 (A-A') (C区)

- 1.黒褐 10YR-3/1 (橙 7.5YR-6/6 ブロック多量、炭化物、にぶい黄橙 10YR-6/3 ブロック微量有)
- 2.黒褐 10YR-3/1 (橙 7.5YR-6/6 ブロックかなり多量、少々粘質)
- 3.灰オリーブ 5Y-4/2 (浅黄 2.5Y-7/4 ブロック多量、黒褐 2.5Y-3/1 ブロック少量有)
- 4.黒褐 2.5Y-3/2 (炭化物ごく微量、一部にぶい黄橙 10YR-6/3、にぶい黄橙 10YR-5/3 ブロック有)
- 5.灰黄褐 10YR-4/2 (炭化物、ごく微量にぶい黄橙 10YR-6/3 粒子有)
- 6.黒褐砂質 2.5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/3、橙 7.5YR-6/6 ブロック少量有)
- 7.オリーブ黒 5Y-3/1 (浅黄 2.5Y-7/4 ブロック少量有)
- 8.黒褐 2.5Y-3/1 (一部砂質、ごく微量に橙 7.5YR-6/6、浅黄 2.5Y-7/4 ブロック有)
- 9.灰黄褐 10YR-4/2 (微量に土器片混入、少々砂質)
- 10.オリーブ黒粘質 5Y-3/1 (かなり多量に明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック及び粒子有)
- 11.灰黄褐 10YR-4/2 (かなり粘質)

第1号火葬跡 (B-B') (C区)

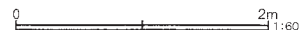
- 1.灰黄褐 10YR-4/2 (土器片多量、黒褐 10YR-3/2 粒子多量)
- 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々炭化物、土器片有)
- 3.黒褐 10YR-3/1
- 4.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黒褐 2.5Y-3/1、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量有)
- 5.灰オリーブ 5Y-4/2 (土器片、黒褐 2.5Y-3/1、黄灰 2.5Y-5/1 粘質ブロック有)
- 6.黄褐 2.5Y-6/4 粘質 (黄灰 2.5Y-4/1 粘質ブロック混入) (人工的な埋土)
- 7.黄褐 2.5Y-6/4 粘質 (黒褐 2.5Y-3/1、黄灰 2.5Y-4/1 粘質ブロック多量、一部しまり弱 (人工的な埋土))
- 8.黄褐粘質 2.5Y-5/4 (かなりしまり強、ごく微量に黒褐 2.5Y-3/1 粒子有) 人工的な埋土
- 9.黄灰 2.5Y-4/1 (少々8の粒子有) 人工的な埋土

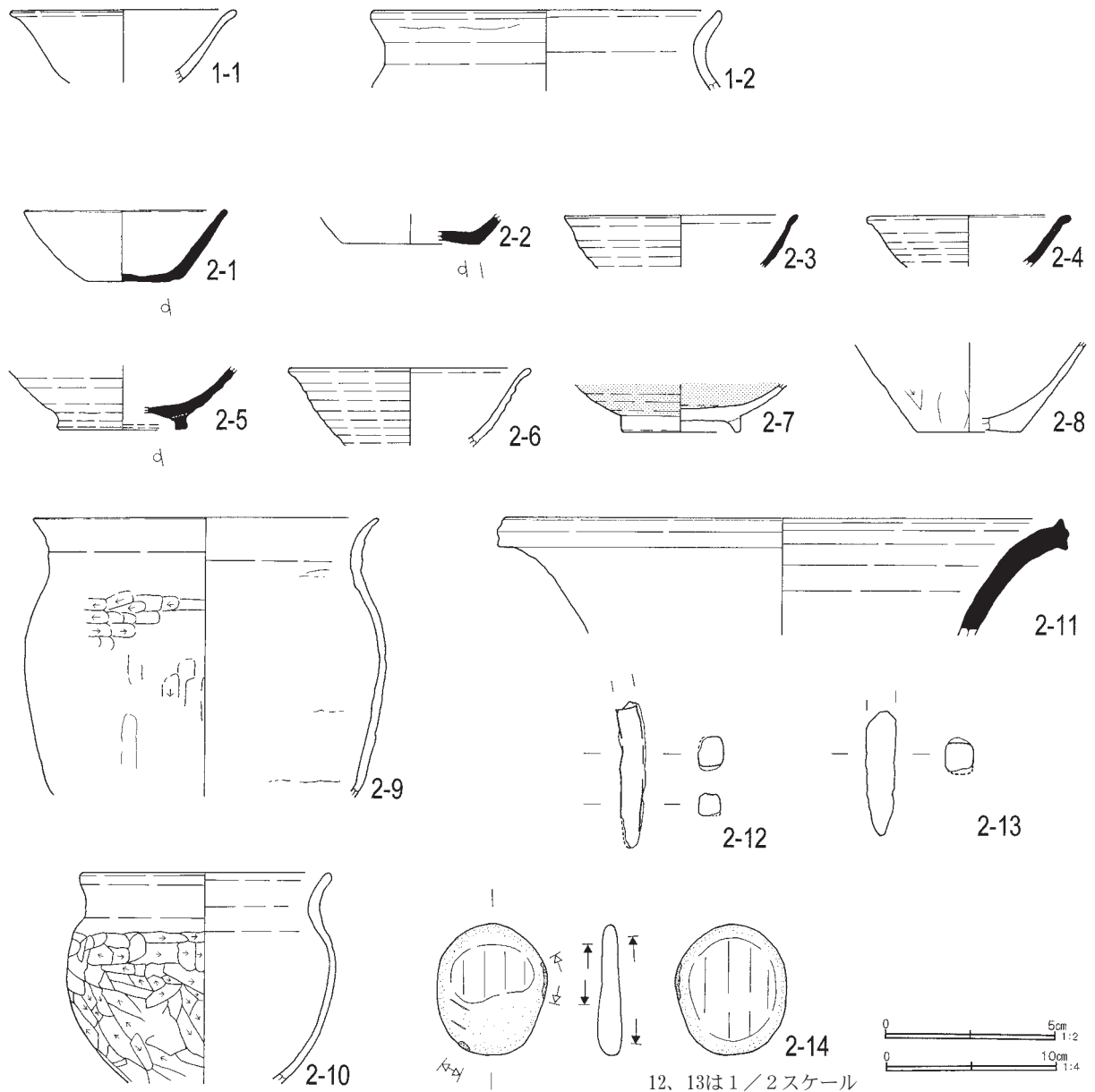


第2号火葬跡 (A-A') (B-B') (D区)

- 1.オリーブ黒 5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック多数)
- 2.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (灰黄 2.5Y-6/2 粒子多量、炭化物有)
- 3.オリーブ黒 5Y-3/1 (少々しまり弱、黄褐 2.5Y-5/3 ブロック2~3cm粘質多数)
- 4.灰オリーブ 5Y-4/2 (しまり弱、土器片、ごく少量灰黄 2.5Y-6/2 ブロック有)
- 5.暗灰黄 2.5Y-4/2 (多量にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
- 6.オリーブ黒 5Y-2/2 (少々シルト質)
- 7.黒褐 2.5Y-3/2
- 8.灰オリーブ砂質 5Y-4/2 (炭化物、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック微量)
- 9.オリーブ黒 5Y-2/2 (ごく微量にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック混ざる)
- 10.暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック、炭化物ブロック少々有)
- 11.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2
- 12.暗灰黄 2.5Y-4/2 (ごく微量に黄褐 2.5Y-5/3 粒子有、少々しまり弱)
- 13.黒褐粘質 2.5Y-3/1 (少量灰黄 2.5Y-6/2 ブロック有)
- 14.黄灰 2.5Y-4/1 (にぶい黄 2.5Y-6/4 粘質ブロック有)
- 15.オリーブ黒 5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック2~3cm多数有)
- 16.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2
- 17.黒褐 2.5Y-3/1 (ごく微量に炭化物有、暗灰黄 2.5Y-4/2 砂質粒子有)
- 18.黄灰 2.5Y-4/1 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック、炭化物、しまりかなり弱)
- 19.黒褐粘質 10YR-3/1
- 20.オリーブ黒砂質 7.5Y-3/2 (にぶい黄褐 10YR-4/3 ブロック少量、炭化物)
- 21.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、土器片)
- 22.暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまり有、にぶい黄 2.5Y-6/4 粘質ブロック、黒褐 2.5Y-3/1 ブロック有)
- 23.灰オリーブ砂質 5Y-4/2 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック有)
- 24.灰オリーブ砂質 7.5Y-4/2
- 25.暗灰黄 2.5Y-5/2 (微量に炭化物、オリーブ褐 2.5Y-4/3 ブロック有)
- 26.黄褐 2.5Y-5/3 (明赤褐 5YR-5/6 ブロック多量、黒褐 7.5YR-3/1 粒子多量、層下編焼土痕有)
- 27.灰オリーブ砂質 5Y-4/2
- 28.灰オリーブ砂質 5Y-4/2 (土器片、一部黒褐 2.5Y-3/1 粒子多量)
- 29.灰オリーブ 5Y-4/2 (少々粘質、黒褐 2.5Y-3/1 ブロック有)
- 30.黒褐 10YR-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量)
- 31.黒褐 10YR-3/1 (少々砂質、わずかににぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有)

第57図 第1・2号火葬跡 (C・D区)





第58図 第1・2号火葬跡出土遺物（C・D区）

第2号火葬跡（第57・58図）

K-15・16グリッド（D区）から検出した。他の遺構と重複関係にあり、第163、164、170、171号ピットに一部を掘り込まれていた。

規模は、検出長軸2.5m、短軸2.12m、深さは0.9mであった。この火葬跡は規模が第1号火葬跡と比較すると規模が大きい。掘り方は昇降可能なように、2段階の掘り方となっており、1段目は、南側で平坦な落ち方となり、そこから北側に向かって、鋭角に土坑状の落ち込みとなっている。規模は長軸1.9m、短軸1.65mのいびつな楕円状で、底部に川原石が散乱し、少量の土器片が出土した。土層はレンズ状堆積であり、自然堆積であろうと考えられる。覆土は多くが灰オリーブ色や暗灰黄褐色で底部を黒褐色の粘質土が堆積していた。各所の覆土に炭化物が含まれていたが、焼土と思われる粒子の確認はできなかった。しかし、第26層の底部には焼土痕が残っており、火葬後に祭祀的な儀礼をしたのだろうか。

しかし、この第26層から28層については、この火葬跡が埋没してから、改めてピット状に掘り返しており、そのことを考慮に入れると、この祭祀的な儀礼というものに時期差を感じる。場合によっては別遺構の掘り込みである可能性も考えられる。

また、この火葬跡からは火葬跡の出土としては多量の出土があった。出土遺物としては、土師器甕、須恵器杯、椀、甕、灰釉陶器椀などが確認され、出土遺物から8世紀後半～9世紀初めの時期と考えられる。

この遺構については、火葬跡としているが、覆土から炭化物は確認されたが、焼土の確認がないという点や、火葬跡のわりに出土遺物が多いことから、やや疑問を持つ。場合によっては、墓や住居跡の隅の遺構である可能性も否めないとする。

第19表 第1・2号火葬跡出土遺物観察表（C・D区）

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1-1	第1号火葬跡	土師器椀	(13.4)	(4.3)	-	ABDI	にぶい黄褐10YR-5/4	C	口縁部～体部20%	口縁部外反	
1-2	第1号火葬跡	土師器甕	(20.7)	(4.7)	-	ABE	橙7.5YR-7/6	B	口縁部20%	やや「コ」の字状 口縁部短 口縁部外面粘土紐積上痕	
2-1	第2号火葬跡	須恵器杯	(12.1)	4.2	(5.5)	BDGHKN	灰白10YR-8/2	B	50%	回転ナデ 体部直線的 底部回転糸切り	未野産
2-2	第2号火葬跡	須恵器杯	-	(1.8)	(8.0)	ABFHN	灰5Y-6/1	B	底部20%	底部回転周縁ヘラケズリ	南比企産
2-3	第2号火葬跡	須恵器杯	(13.8)	(3.1)	-	ABFHN	灰5Y-5/1	A	口縁部20%	回転ナデ 口縁部わずかに外反	
2-4	第2号火葬跡	須恵器杯	(12.0)	(3.0)	-	D	灰白10YR-7/1	B	口縁部30%	回転ナデ 口縁部外反	未野産
2-5	第2号火葬跡	須恵器椀	-	(3.8)	(7.7)	ABDHIN	黄灰2.5-6/1	B	体部～底部30%	台部外面接着痕 外面回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
2-6	第2号火葬跡	土師質土器杯	(14.3)	(4.5)	-	EIJLN	灰褐7.5YR-4/2	B	口縁部20%	回転ナデ 口縁部やや外反	
2-7	第2号火葬跡	灰釉陶器椀	-	(2.8)	7.0	ABDHN	明褐灰7.5YR-7/1	B	底部100%	内外面釉薬あり ツケガケ	
2-8	第2号火葬跡	土師器甕	-	(5.3)	(6.2)	ABDEGHIK	橙7.5YR-7/6	B	底部50%	底部外面周辺ヘラケズリ後ナデ調整 外面胴部斜位ヘラケズリ	
2-9	第2号火葬跡	土師器甕	(20.4)	(16.5)		ABDEGI	にぶい黄橙10YR-7/3	B	口縁～胴部20%	外面胴部横位～縦位ヘラケズリ 口縁部緩やかに外反	
2-10	第2号火葬跡	土師器鉢or台付甕	14.8	(12.4)	-	ABJMO	橙2.5YR-7/8	B	口縁部～胴部80%	外面わずかにスス付着 胴部横位～斜位ヘラケズリ 口縁部緩やかに外反	
2-11	第2号火葬跡	須恵器甕	(33.6)	(6.8)	-	ADHILN	黄灰2.5Y-5/1	B	口縁部10%	外面ナデ	
2-12	第2号火葬跡	鉄釘	最大長 (4.3)	最大幅 0.7	最大厚 (1.0)	重さ 5g				頭部、先端部欠損	
2-13	第2号火葬跡	鉄釘	最大長 (3.7)	最大幅 0.8	最大厚 (1.0)	重さ 3g				頭部、先端部欠損	
2-14	第2号火葬跡	すり石	最大長 7.7	最大幅 6.9	最大厚 1.4	重さ 8.5g				擦り痕及び敲打痕	

6 土坑

土坑は、各調査区を通じて総数61基検出した。土坑は規模の大きなものもあれば、調査区域外に接しており、一部のみしか確認できないものもあった。平面プランについては、楕円形または方形を呈するものが多い。

規模は1m～1.5m程度の長軸をとり、深さも40cm程度が平均である。しかし、第11号土坑などのように規模が大きいものや、第7、34、40、42号土坑のように深さが80cmを超えるものもある。全体の30%ほどの土坑から出土遺物の検出があり、全てにおける時期特定は難しく、遺物の出土がある土坑における時期については、その多くが概ね平安時代（9世紀代）に該当する。

また、第3号土坑は調査区域外に接しており、平面プランは楕円形と推測されている。土層観察をすると、自然堆積によるレンズ状の堆積であることがわかり、主に暗灰黄色で、底部は黒褐色の土層堆積である。掘り込みは2段階の掘り方を確認でき、1段目は緩やかな傾斜で下がり、2段目は30cm程度下からほぼ垂直に底部へ落ち込む。このことから柱穴痕と推定できる掘り込みであることがわかる。

第11号土坑は試掘トレンチ及び調査区域外に隣接しているが、この遺構は規模が大きく、住居跡の隅とも推測できるが、土層断面から、住居にしては、壁面部分の落ち込みが鈍角な落ち方をしており、緩やかな傾斜であった。残念ながら全体の確認が出来なかったため、楕円形の土坑と推測している。

第13号土坑はB区の東隅に検出され、残念ながら大部分が調査区域外にある。第12号土坑と重複関係にあり、それは土層観察からもわかる。第13号土坑は2段階の落ち込みが確認でき、そのどちらも鋭角でやや垂直に落ち込む。2段階の落ち込みは平面状でも確認でき、検出された遺構内の中央から北東に向かって、底部が急激に傾斜している。覆土は水平堆積と一部レンズ状堆積であることから、自然堆積であることがわかる。残念ながら、遺物などの検出はなかったため、時期の判断はできなかった。

第29号土坑は第7号住居跡と重複しており、この土坑を住居が掘り込んでいた。この土坑の断面から覆土の観察をすると、この土層はいずれの土層にもにぶい黄褐色粘質土が混ざっており、明らかに人工的にこの土坑を埋めたことがわかる。推測するに、第7号住居跡を建築する際に、埋めたことが考えられる。

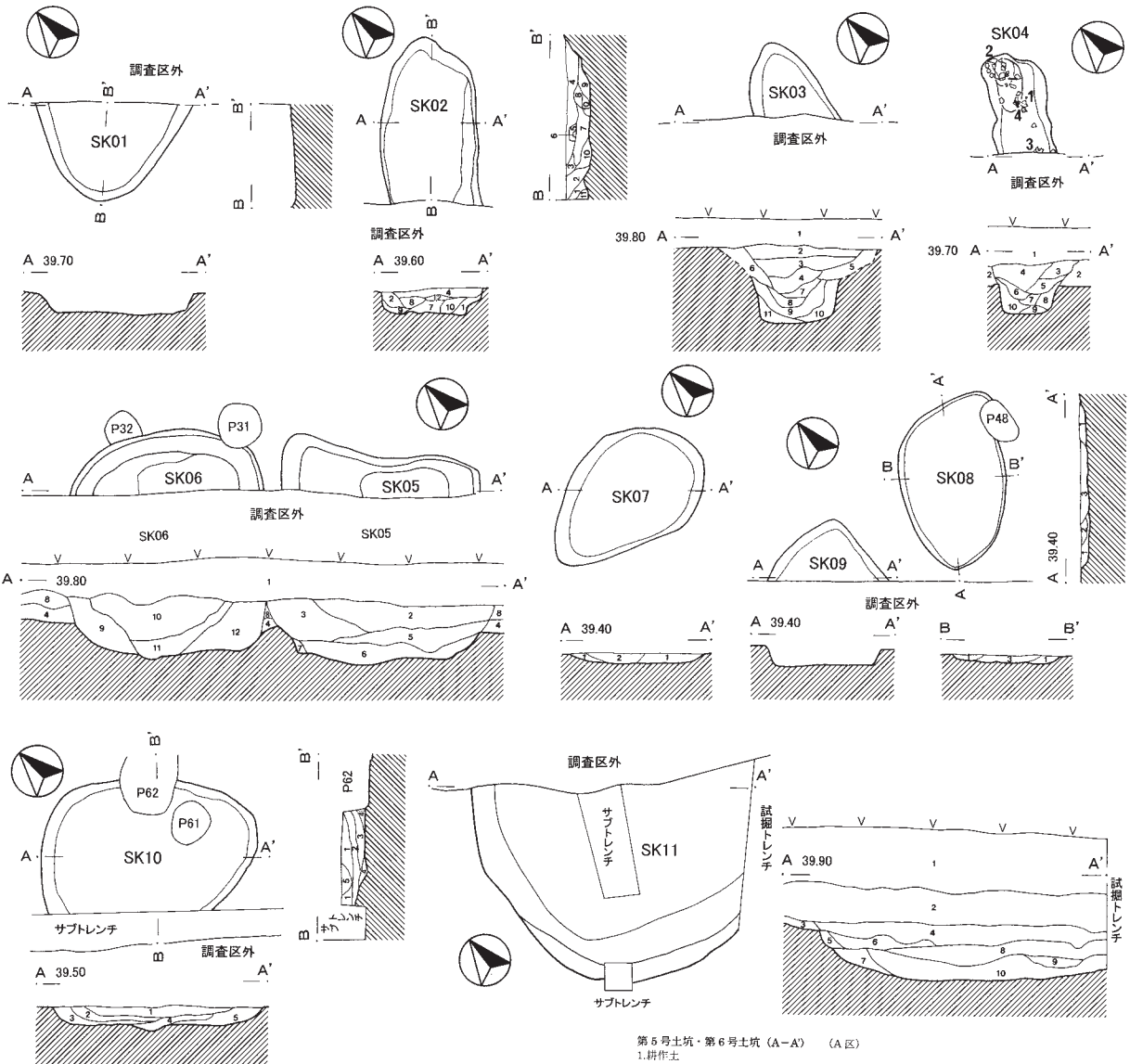
第37、38号土坑は楕円形の平面プランであり、第37号土坑は第3号土坑と類似し、2段階の落ち込みで、底部付近の土層断面から柱穴痕であることが窺え、第38号土坑に至っては、土層断面から、柱穴痕がくっきりと観察することができる。しかしながら、いずれの土坑も周囲に関連づけることの可能な掘り込みがないことから、土坑としている。

第41、43号土坑、第55～61号土坑は平面プランでも方形、もしくは隅丸方形となっており、掘り込みも、いずれも垂直に掘り込まれていることが確認できる。土層観察においても、鋭角に落ち込んでいることが確認でき、さらに堆積状況から、大多数の土坑の土層においても水平堆積であることがわかり、自然堆積により埋設された経緯がわかる。遺物が一部の土坑から出土しており、第46～48号土坑では土師器[?]、椀、須恵器椀などが出土している。これらから、時期は9世紀後半から10世紀初めごろと考えられ、他の土坑についても同様の時期であろうと考えられる。

以下、紙面の都合上から、土坑の特徴等について一覧表で掲載をする。(第59～69図・第20・21表)

第20表 土坑一覧表

番号	位置 (グリッド/調査区)		平面プラン	規模 (cm)	重複関係	出土遺物	時期	備考
				(長軸×短軸×深さ)				
1	V-1	A区	楕円形?	(84)×140×30				
2	V-1.2	A区	楕円形	140×84×22		土師器坏、甕		
3	U-3	A区	楕円形?	(70)×62×62				柱痕?
4	U-3	A区	方形?	(88)×42×46		土師器甕、須恵器椀	9c後～10c初?	
5	U-3	A区	隅丸方形?	170×(34)×56				
6	U-3	A区	楕円形?	164×(52)×54	P31, P32			
7	T-4	A区	楕円形	150×94×80	SI01			
8	T-4	A区	楕円形	142×92×8	P48			
9	T-4	A区	不明	(100)×(52)×16				
10	S-5	A区	楕円形	190×(112)×18	P61, P62	土師器椀		
11	S-5	A区	楕円形?	(236)×(170)×48		須恵器坏、椀、甕		
12	R-6	B区	円形?	70×(46)×22	SK13	須恵器甕、角釘		
13	R-6.7	B区	不明	(172)×(142)×48	SK12			
14	R-7. Q-7	B区	不明	150×(48)×32	SD03	須恵器椀、滑石製紡錘車		
15	Q-7	B区	不明	(170)×(74)×46	P79	須恵器坏	9c後～10c初?	
16	Q-8	B区	楕円形	148×80×62	P90	須恵器坏、皿、椀	8c後～9c初	
17	Q-8	B区	楕円形	114×70×32		須恵器坏	9c前?	
18	Q-8	B区	楕円形?	(66)×122×22		須恵器坏	9c前?	
19	P-8	B区	楕円形?	(50)×84×(34)				
20	P-8	B区	不明	98×(46)×(36)				
21	P-8	B区	楕円形	106×64×24	P107			
22	P-9	B区	楕円形?	98×72×58				
23	N-12	C区	隅丸方形?	(78)×96×24	SI05			
24	M-12	C区	長方形	150×86×32				
25	M-12	C区	円形?	124×62×34				
26	M-13	C区	三角形	74×70×22				
27	M-13	C区	隅丸方形	94×90×18				
28	M-13	C区	円形	106×90×42	P112			
29	M-13	C区	長方形	184×116×44	SI07	土師器台付甕	7c後～8c初?	
30	L-13. H-13	C区	長方形?	154×(42)×22	SI07			
31	K-15	D区	楕円形?	110×(38)×22				
32	K-15	D区	長方形?	(90)×84×64	SI08, SX10			
33	K-15	D区	楕円形?	94×(38)×52				
34	K-15	D区	三角形	178×160×82	P155, P156	棒状礫器		
35	J-15. 16	D区	楕円形?	(110)×100×74		土師器坏、須恵器坏	8c後半及び 9c後～10c初	
36	J-16. K-16	D区	楕円形	158×130×18	SB01, P182, P183			
37	J-16	D区	円形	72×58×44				柱穴?
38	J-16	D区	楕円形	138×90×66	P186	土師器坏、須恵器坏、蓋、甕	8c後?	
39	F-21	E区	方形	106×76×60	P204			
40	F-21	E区	円形	82×78×86				
41	D-23. E-23	F区	方形?	90×(64)×34	SI15, P210			
42	D-23	F区	不明	120×(34)×84	SK43	須恵器甕		
43	D-23	F区	長方形?	(114)×134×48	SK42			
44	D-23	F区	不明	138×(80)×64		土師器坏、板碑		
45	D-23	F区	三角形	108×90×22	SI14, P217			
46	D-23	F区	三角形	190×(102)×16	SK47	土師器坏、土師質土器椀	9c後～10c初?	
47	D-23	F区	隅丸方形	180×112×48	SI16, SK46	須恵器椀	9c前～中	
48	D-23. D-24	F区	円形	112×92×12	SI16	土師器坏、椀	9c末～10c初?	
49	B-25	F区	楕円形	72×50×10				
50	B-25	F区	いびつな方形	72×70×12	SK51			
51	B-25. C-25	F区	不明	76×(24)×2	SK50, SB07			
52	B-25	F区	長方形?	(120)×102×24	SK53, SK54			
53	B-25	F区	長方形	76×54×28	SK52, SK54			
54	B-25	F区	円形?	130×(76)×18	SK52, SK53			
55	C-25. 26	F区	長方形?	78×64×12	SK56			
56	C-25. 26	F区	長方形	64×52×26	SK55			
57	B-26	F区	いびつな長方形	294×122×22	SK58	打製石斧		
58	B-26	F区	長方形	120×102×22	SK57			
59	B-26	F区	長方形	72×62×12				
60	B-26	F区	方形?	(86)×(80)×34				
61	A-26. 27	F区	方形?	156×(82)×32	SX14			

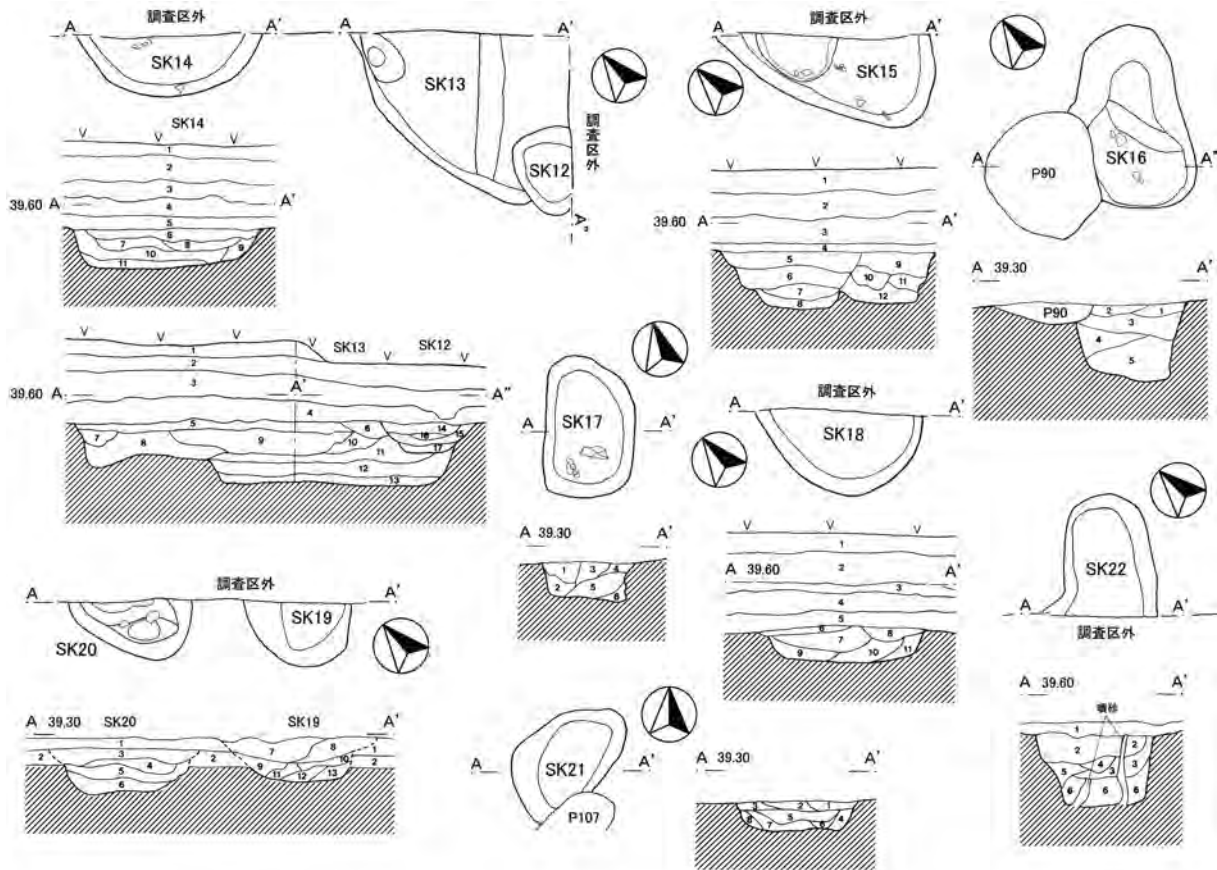


- 第2号土坑 (A-A') (B-B') (A区)**
1. 黄褐 2.5Y-5/3 (一部黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
 2. 黄褐 2.5Y-5/3 (FeO₂ 少々、にぶい黄褐 10YR-5/3 ブロック有)
 3. 黄灰 2.5Y-5/1 (にぶい黄褐 10YR-4/3 粒子ごく少量)
 4. 黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO₂ 少量)
 5. 黒褐 2.5Y-3/1 (若干粘質)
 6. 黒褐 2.5Y-3/1 (FeO₂ 少量含)
 7. オリーブ黒 5Y-3/1 (FeO₂ 多量、土器片、黒褐 2.5Y-3/1 粒子少量)
 8. オリーブ黒砂質 5Y-3/1 (FeO₂ 多量、土器片)
 9. 灰砂質 5Y-4/1
 10. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2
 11. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
 12. 黄灰砂質 2.5Y-3/1 (少々粘質)
- 第3号土坑 (A-A') (A区)**
1. 耕作土
 2. 黒褐 2.5Y-3/1
 3. 黄褐 2.5Y-5/3 (FeO₂ 少量入る)
 4. 暗褐 10YR-3/3 (一部炭化物微量に有)
 5. 黒褐 2.5Y-3/2 (ごく微量にオリーブ黒 5Y-4/3 有)
 6. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (灰 5Y-4/1 ブロック有)
 7. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 多量)
 8. オリーブ黒 5Y-3/2 (灰 5Y-4/2 多量、浅黄 2.5Y-7/4 ブロック有)
 9. 暗オリーブ褐 2.5Y-3/3 (暗灰黄 2.5Y-4/2 粒子、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、少々砂質)
 10. 黒褐砂質 2.5Y-3/2
 11. 黒褐 2.5Y-3/2 (炭化物、微量に黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
- 第4号土坑 (A-A') (A区)**
1. 耕作土
 2. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック少々、FeO₂ 少量)
 3. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質)
 4. 黒褐 10YR-3/1 (一部砂質)
 5. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物有、土器片多数)
 6. 黒褐 10YR-3/1 (にぶい黄褐 10YR-4/3 粒子少量)
 7. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (少量の土器片)
 8. オリーブ黒 5Y-3/1 (一部暗灰黄 2.5Y-4/2 混入、土器片)
 9. オリーブ黒砂質 5Y-3/1
 10. オリーブ黒 5Y-3/1 (少々シルト質器片、小礫有、炭化物有)

- 第5号土坑・第6号土坑 (A-A') (A区)**
1. 耕作土
 2. 暗褐 10YR-3/3 (一部炭化物、土器片有)
 3. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片)
 4. 暗灰黄 2.5Y-3/2 (一部にぶい黄褐 2.5Y-5/3 有、FeO₂ 少量含)
 5. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、炭化物多量)
 6. 暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (微量に黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、炭化物有、小礫混入)
 7. 暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (微量に黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、炭化物有、小礫多量)
 8. 黒褐 2.5Y-3/1
 9. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (オリーブ黒 5Y-3/2 一部混入)
 10. 暗褐 10YR-3/3 (オリーブ黒 7.5Y-3/2、FeO₂、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック多量)
 11. 灰オリーブ 5Y-4/2 (FeO₂ 少量、若干黒ずみ有)
 12. 灰オリーブ 5Y-4/2 (微量に砂質)
- 第7号土坑 (A-A') (A区)**
1. 灰オリーブ 5Y-4/3 (ごく微量に FeO₂ 含む) 黒褐 2.5Y-3/2
 2. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、FeO₂ 少量含む)
- 第8号土坑 (A-A') (B-B') (A区)**
1. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (FeO₂ わずかに含)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO₂ 多量)
 3. 灰オリーブ 5Y-4/2 (少々砂質)
- 第10号土坑 (A-A') (B-B') (A区)**
1. 黒褐 10YR-3/2 (土器片、若干砂質、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック含)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック含)
 3. 黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック含)
 4. 黒褐 2.5Y-3/1 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック含、少々砂質)
 5. 黒砂質 2.5Y-2/1 (しまり弱)
- 第11号土坑 (A-A') (A区)**
1. 耕作土
 2. 黒褐 2.5Y-3/1
 3. 黄褐 2.5Y-5/3 (一部にぶい黄褐 2.5Y-5/3 有、FeO₂ 少量入る)
 4. 黒褐 10YR-3/2 (一部にぶい黄褐 2.5Y-5/3 有)
 5. 黒褐 10YR-3/2 (一部小礫有)
 6. 黒褐 10YR-3/2 (少々砂質、にぶい黄褐 10YR-4/3 ブロック有)
 7. 暗オリーブ褐砂質 2.5Y-3/3 に 4 が少々混入
 8. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 粒子多量)
 9. 黒褐砂質 2.5Y-3/2
 10. 暗オリーブ褐 2.5Y-3/3 (暗灰黄 2.5Y-4/2 粒子有、少々砂質)



第59図 第1~11号土坑 (A区)



第12号土坑、第13号土坑 (A-A'-A'') (B区)

- 1.耕作土
- 2.灰 5Y-4/1 (FeO、ブロック黄灰 2.5Y-4/1、少々土器片)
- 3.黄褐 2.5Y-5/3 (黒褐 2.5Y-3/2 粒子含)
- 4.灰オリーブ 5Y-6/2 (FeO、多量)
- 5.黄褐 10YR-3/2 (FeO、多量、炭化物、明黄褐 10YR-7/6 ブロック)
- 6.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO、多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
- 7.黒褐粘質 2.5Y-2/1
- 8.灰オリーブ 5Y-4/2
- 9.灰オリーブ 5Y-4/2 (炭化物、土器片、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 10.6に小礫多量に含、一部黒褐 2.5Y-3/2 粒子含
- 11.オリーブ黒砂質 5Y-2/1 (黄褐 2.5Y-5/3 少々有)
- 12.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1、明黄褐 2.5Y-4/6 ブロック有)
- 13.オリーブ黒砂質 5Y-2/2 (黄褐 2.5Y-5/3 少々有)
- 14.灰オリーブ 5Y-4/2 (FeO、少量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
- 15.オリーブ黒砂質 5Y-3/1 (黒褐 2.5Y-5/3 有)
- 16.暗灰黄 2.5Y-4/2 (小礫少量有)
- 17.オリーブ黒 5Y-2/2 (土器片、一部シルト質、オリーブ褐 2.5Y-4/4 粒子有)

第14号土坑 (A-A') (B区)

- 1.耕作土
- 2.灰 5Y-4/1 (FeO、ブロック黄灰 2.5Y-4/1、少々土器片)
- 3.黄褐 2.5Y-5/3 (黒褐 2.5Y-3/2 粒子含)
- 4.灰オリーブ 5Y-6/2 (FeO、多量)
- 5.黄褐 10YR-3/2 (FeO、多量、炭化物、明黄褐 10YR-7/6 ブロック)
- 6.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO、多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
- 7.オリーブ黒 5Y-3/1 (FeO、少量、黄灰 2.5Y-6/2 ブロック)
- 8.黒褐 2.5Y-3/1 (一部砂質有、土器片)
- 9.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
- 10.オリーブ黒 5Y-3/2 (炭化物、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO、微量)
- 11.オリーブ黒砂質 5Y-3/2

第15号土坑 (A-A') (B区)

- 1.耕作土
- 2.灰 5Y-4/1 (FeO、ブロック黄灰 2.5Y-4/1、少々土器片)
- 3.黄褐 2.5Y-5/3 (黒褐 2.5Y-3/2 粒子含)
- 4.灰オリーブ 5Y-6/2 (FeO、多量)
- 5.黒褐 2.5Y-3/2 (FeO、及び黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
- 6.オリーブ黒 5Y-3/2 (一部砂質及びシルト質有)
- 7.オリーブ黒シルト質 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、土器片)
- 8.オリーブ黒 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、土器片)
- 9.黒褐 2.5Y-3/2 (FeO、少量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
- 10.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO、微量)
- 11.灰オリーブ 5Y-4/2 (少々シルト質、FeO、少量)
- 12.オリーブ黒砂質 5Y-3/2 (一部シルト質、炭化物、黄灰砂質 2.5Y-4/1 ブロック有)

第16号土坑 (A-A') (B区)

- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片、FeO、少量)
- 2.オリーブ褐 2.5Y-4/3 (一部暗灰黄 2.5Y-4/2 含)
- 3.黒褐 2.5Y-3/2 (少々粘質、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
- 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック)
- 5.黒褐 2.5Y-3/1 (少々砂質有)

第17号土坑 (A-A') (B区)

- 1.オリーブ褐 2.5Y-4/4
- 2.オリーブ褐 2.5Y-4/3 (一部砂質、黄灰ブロック有)
- 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (小礫多量)
- 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (小礫多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
- 5.暗褐 10YR-3/4 (土器片、黒褐 2.5Y-3/1 粒子)
- 6.黒褐 10YR-3/1 (少々粘質)

第18号土坑 (A-A') (B区)

- 1.耕作土
- 2.灰 5Y-4/1 (FeO、ブロック黄灰 2.5Y-4/1、少々土器片)
- 3.黄褐 2.5Y-5/3 (黒褐 2.5Y-3/2 粒子含)
- 4.灰オリーブ 5Y-6/2 (FeO、多量)
- 5.黄褐 10YR-3/2 (FeO、多量、炭化物、明黄褐 10YR-7/6 ブロック)
- 6.黒褐 2.5Y-3/1 (しまり洞、かなり濃黒に黄灰 2.5Y-4/2 粒子有)
- 7.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 粒子、土器片有)
- 8.黒褐 2.5Y-3/2 (一部 5と7の粒子が少々)
- 9.黒褐 2.5Y-3/2 (土器片、黄灰 2.5Y-7/3 ブロック有)
- 10.オリーブ褐 2.5Y-4/4 (少々粘質、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 11.オリーブ黒 5Y-3/2 (灰 5Y-4/1 ブロック有、しまり洞)

第19号土坑、第20号土坑 (A-A') (B区)

- 1.灰オリーブ 5Y-6/2 (FeO、多量)
- 2.黄褐 10YR-3/2 (FeO、多量、炭化物、明黄褐 10YR-7/6 ブロック)
- 3.オリーブ黒 2.5Y-3/2 (土器片、明黄褐 10YR-6/6 ブロック、粒子有)
- 4.オリーブ黒 5Y-3/2 (小礫若干有、若干粘質)
- 5.黒 10YR-2/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 6.黒褐 2.5Y-3/2 (少々砂質、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、土器片、炭化物有、しまりかなり洞)
- 7.黒褐 2.5Y-3/2 (土器片、炭化物有)
- 8.黒褐 10YR-2/2 (少々砂質、FeO、明黄褐 10YR-6/6 ブロック有)
- 9.灰黄砂質 10YR-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、小礫有)
- 10.黒褐 10YR-3/2 (5が少々混ざる、しまり洞)
- 11.明灰黄砂質 2.5Y-4/2 (明黄褐 10YR-6/6、黄灰 2.5Y-4/1 粒子、ブロック)
- 12.明灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
- 13.黒褐粘質 2.5Y-2/2 (しまり若干有)

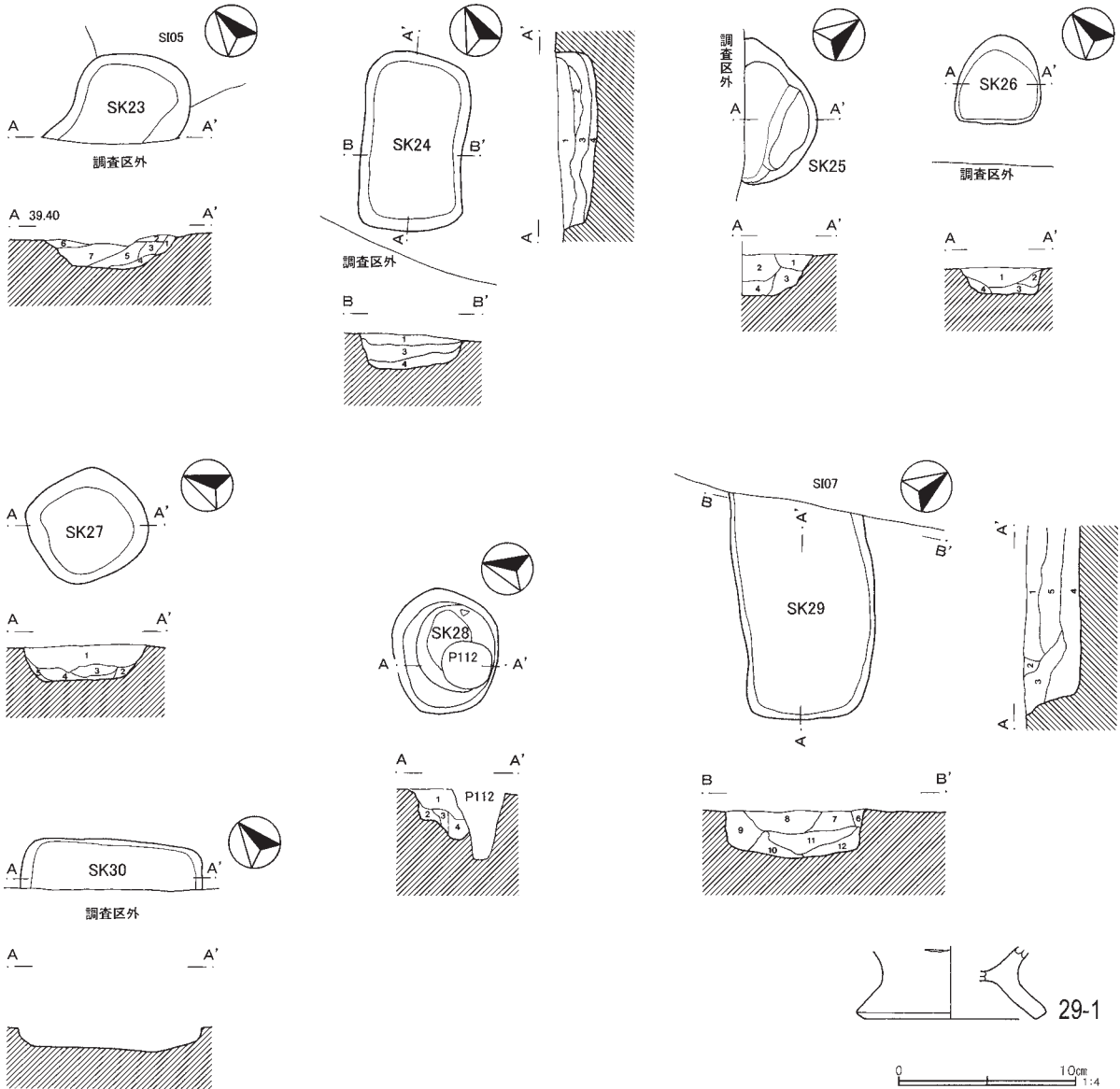
第21号土坑 (A-A') (B区)

- 1.黒褐 10YR-3/1 (暗黄褐 10YR-4/2 粒子含、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (明黄褐 10YR-6/6、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 3.灰オリーブ 5Y-4/2 (少々粘質)
- 4.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、しまりかなり洞)
- 5.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、しまり洞)
- 6.黒褐粘質 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO、微量)
- 7.オリーブ黒砂質 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 8.暗オリーブ褐砂質 2.5Y-3/1 (土器片有)

第22号土坑 (A-A') (B区)

- 1.灰オリーブ 5Y-6/2 (FeO、多量)
- 2.黒褐 10YR-3/2 (土器片、少々砂質、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
- 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
- 4.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
- 5.黒褐 2.5Y-3/1 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、若干粘質)
- 6.黒砂質 2.5Y-2/1 (しまり洞)

第60図 第12~22号土坑 (B区)



第23号土坑 (A-A') (C区)

1. オリーブ褐砂質 2.5Y-4/3 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
2. オリーブ黒 5Y-3/2 (ごく微量に黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
3. オリーブ黒 5Y-3/2 (しまりかなり細)
4. オリーブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO₂多量)
5. オリーブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1、灰黄 2.5Y-6/2、暗灰黄 10YR-6/6 ブロック有、FeO₂多量)
6. 暗灰黄 2.5Y-5/2
7. オリーブ黒 5Y-3/2 (土器片、灰オリーブ 5Y-4/2 粒子…部有)

第24号土坑 (A-A') (B-B') (C区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量、明黄褐 10YR-6/6 ブロック少量、黒褐 2.5Y-3/1 少量)
2. 黒褐 2.5Y-3/1 (少量にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有)
3. 灰オリーブ 5Y-4/2 (明黄褐 10YR-6/6 ブロック多量)
4. 灰オリーブ 5Y-4/2 (明黄褐 10YR-6/6 ブロック多量)

第25号土坑 (A-A') (C区)

1. 灰オリーブ 5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
2. 黒褐 2.5Y-3/2 (炭化物、黄褐 2.5Y-5/4 ブロック多数)
3. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々シルト質)
4. 黒褐 2.5Y-3/2 (ごく微量に黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)

第26号土坑 (A-A') (C区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/3 (土器片多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
2. オリーブ褐 2.5Y-4/3 (少々砂質、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
3. 暗オリーブ褐粘質 2.5Y-3/3 (微量に黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
4. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々粘質)

第27号土坑 (A-A') (C区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、土器片)
2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック少量)
3. 黒褐 2.5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量)
4. オリーブ黒 5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量、一部砂質)
5. オリーブ黒砂質 5Y-3/2

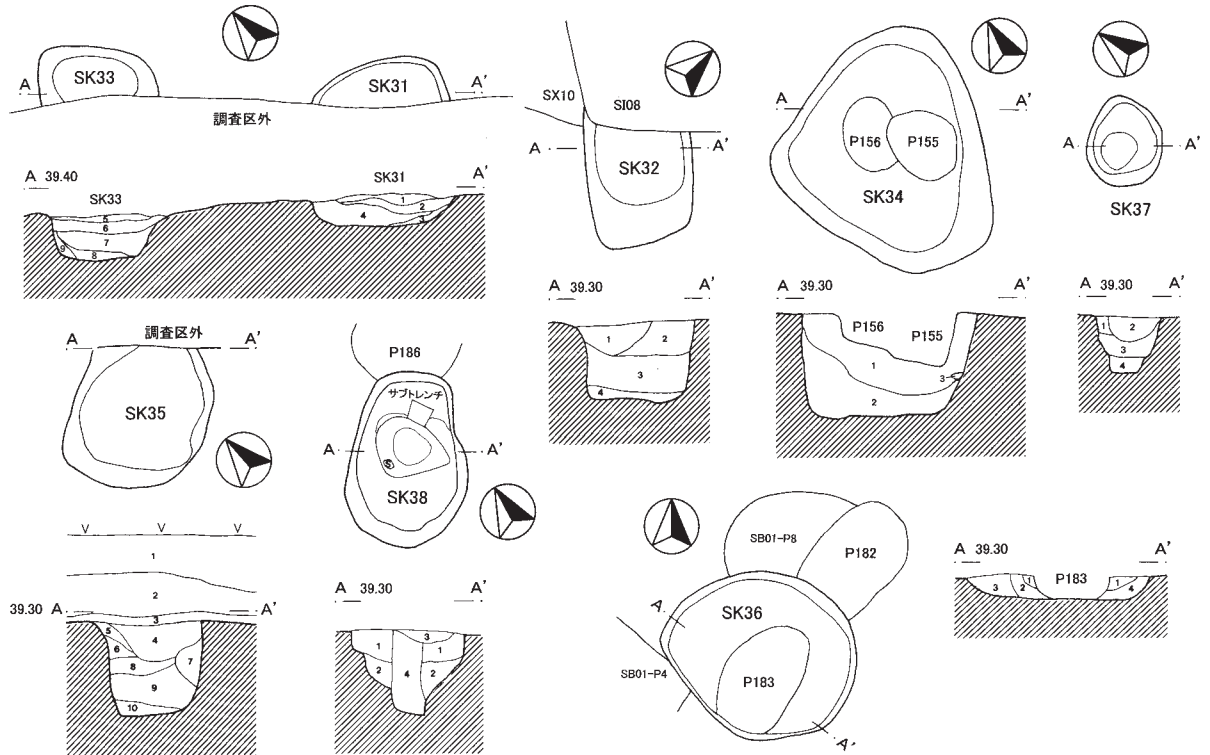
第28号土坑 (A-A') (C区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、黒褐 2.5Y-3/1 粒子有)
2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (オリーブ褐 2.5Y-4/3)
3. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2
4. オリーブ黒 5Y-3/2 (少々粘質、にぶい黄 7.5Y-5/4 ブロック及び、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)

第29号土坑 (A-A') (B-B') (C区)

1. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (少々土器片、にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック多量)
2. 灰黄 2.5Y-6/2
3. 灰オリーブ 5Y-4/2 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック多量)
4. 黒褐 2.5Y-3/1 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック少量、少々砂質、炭化物少量)
5. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄粘質 10YR-6/4、暗オリーブ黒 2.5Y-3/3 ブロック多量)
6. にぶい黄 2.5Y-6/3 (砂質)
7. 黒褐 2.5Y-3/2 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック少量)
8. 暗灰黄 2.5Y-6/2 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック少量)
9. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック少量、炭化物有)
10. 黒褐 2.5Y-3/1 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック少量、炭化物有)
11. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック少量)
12. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄粘質 10YR-6/4 ブロック少量)

第61図 第23～30号土坑・第29号土坑出土遺物 (C区)



第31号土坑・第38号土坑 (A-A') (D区)

- 1.黒褐 2.5Y-3/2
- 2.黒褐 2.5Y-3/2 (少々粘質)
- 3.黒褐 2.5Y-3/1 (一部黄褐 2.5Y-5/3 砂質粒子多量)
- 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片、一部3の粒子を含、黄褐 2.5Y-5/3 砂質粒子少量)
- 5.暗灰黄 2.5Y-5/2 (少々砂質)
- 6.黄褐砂質 2.5Y-5/3 (一部黄灰 2.5Y-4/1 粒子有)
- 7.オリーブ黒砂質 5Y-3/1 (一部黒褐 2.5Y-3/2 有)
- 8.オリーブ黒砂質 5Y-3/2
- 9.オリーブ黒 5Y-3/1 (若干シルト質)

- 6.黄褐砂質 2.5Y-3/1 (少々黒褐 2.5Y-3/1 粒子有)
- 7.黄褐 2.5Y-3/1 (しまりかなり弱)
- 8.黒褐砂質 2.5Y-5/3 (少な量多量に5の粒子有)
- 9.オリーブ黒粘質 5Y-3/1 (黒褐 2.5Y-5/1 ブロック多量、黄褐 2.5Y-5/3 粒子・ブロック多量)
- 10.オリーブ黒粘質 5Y-3/1 (しまりかなり強)

第32号土坑 (A-A') (D区)

- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黒褐 10YR-3/2 粘質ブロック、土器片、炭化物)
- 2.黒褐 2.5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック多量)
- 3.1に黒褐 2.5Y-3/1 が多量に含 (土器片、炭化物)
- 4.灰オリーブ砂質 5Y-4/2

第36号土坑 (A-A') (D区)

- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質)
- 2.黄褐 2.5Y-5/3 (暗オリーブ 5Y-4/3 粒子少量有)
- 3.オリーブ黒 5Y-3/2 (少々砂質)
- 4.黄褐砂質 2.5Y-5/6

第34号ピット (A-A') (D区)

- 1.オリーブ黒 5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック多量)
- 2.黄褐 2.5Y-5/3 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック、オリーブ黒 5Y-3/1 ブロック)
- 3.黄灰砂質 2.5Y-6/1

第37号土坑 (A-A') (D区)

- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
- 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (暗オリーブ褐 2.5Y-3/3、にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック多量有、土器片)
- 3.黒褐 2.5Y-3/2 (炭化物、土器片、暗灰黄 2.5Y-4/2 砂質ブロック)
- 4.オリーブ黒 5Y-3/2 (かなりゆい、暗灰黄 2.5Y-4/2 砂質粒子多量)

第35号土坑 (A-A') (D区)

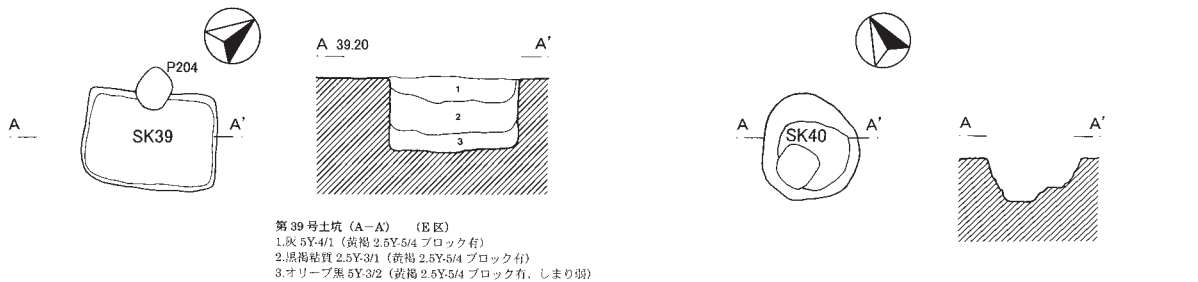
- 1.耕作土
- 2.黄褐 2.5Y-5/3 (FeO₂ 少量、黄灰 2.5Y-4/1、黒褐 2.5Y-3/1 ブロック有)
- 3.オリーブ黒 5Y-3/1 (灰オリーブ 5Y-6/2 粘質ブロック有)
- 4.オリーブ黒砂質 5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
- 5.黄褐砂質 2.5Y-5/3

第38号土坑 (A-A') (D区)

- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまっている)
- 2.黒褐 2.5Y-3/1 (一部ソフトローム土粒子有)
- 3.暗灰黄 2.5Y-5/2
- 4.オリーブ黒 5Y-3/2 (ソフトローム土ブロック・粒子少量、少々ゆい)

0 2m 1:60

第62図 第31~38号土坑 (D区)

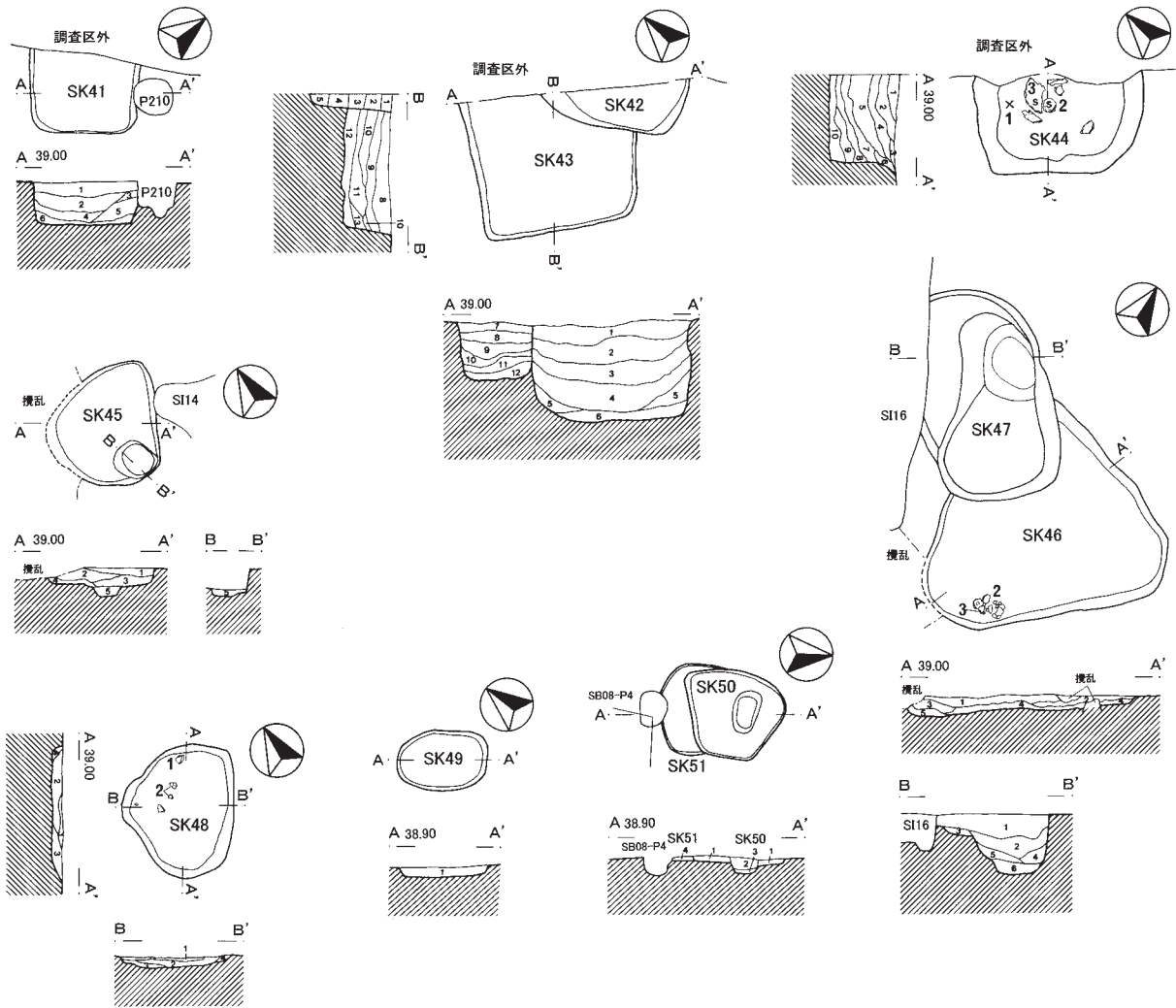


第39号土坑 (A-A') (E区)

- 1.灰 5Y-4/1 (黄褐 2.5Y-5/4 ブロック有)
- 2.黒褐粘質 2.5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/4 ブロック有)
- 3.オリーブ黒 5Y-3/2 (黄褐 2.5Y-5/4 ブロック有、しまり弱)

0 2m 1:60

第63図 第39・40号土坑 (E区)



第41号土坑 (A-A') (F区)

1. におい黄褐粘質 10YR-6/3 (褐灰粘質 10YR-4/1) ブロック少量、火山灰粒わずか、土器含)
2. 暗灰粘質 10YR-4/2 (褐灰粘質 10YR-4/1) 粒子少量、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、火山灰粒わずか、炭化物粒わずか含)
3. におい黄褐粘質 10YR-5/3 (褐灰粘質 10YR-4/1) 粒子若干含)
4. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (褐灰粘質 10YR-4/1) 粒子少量、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
5. におい黄褐粘質 10YR-4/3 (褐灰粘質 10YR-4/1) 粒子若干含)
6. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)

第42・43号土坑 (A-A') (B-B') (F区)

1. におい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック・粒子多量含)
2. 暗灰粘質 2.5Y-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック小・粒子少量、火山灰粒わずか含)
3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック小・粒子少量、焼土粒・炭化物粒わずか含)
4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック小・粒子少量含)
5. 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック・粒子若干含)
6. 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック・粒子若干、黒褐粘質 2.5Y-3/1) ブロック・粒子少量含)
7. におい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック・粒子少量含)
8. 暗灰粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック・粒子若干、火山灰粒わずか含)
9. 暗灰粘質 2.5Y-4/2 (暗灰粘質 2.5Y-5/2) 粒子若干含)
10. 暗灰粘質 10YR-5/2 (暗灰粘質 2.5Y-5/2) 粒子わずか、火山灰粒わずか含)
11. 黒褐粘質 7.5YR-3/2 (灰黄粘質 10YR-5/2) 粒子わずか含)
12. 暗灰粘質 7.5YR-4/2 (灰シルト 5Y-6/2) ブロック・粒子わずか含)
13. 褐灰粘質 10YR-4/1 (黒褐粘質 7.5YR-3/2) 粒子若干含)

第44号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰粘質 2.5Y-7/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 粒子わずか、火山灰粒若干、炭化物粒わずか、礫含)
2. 灰粘質 5Y-6/1 (黄灰粘質 2.5Y-4/1) ブロック多量、焼土粒・炭化物粒非常に多く含)
3. 灰粘質 2.5Y-6/2 (火山灰粒若干、炭化物粒わずか含)
4. 暗灰粘質 2.5Y-5/2 (火山灰粒わずか、炭化物粒・焼土粒わずか含)
5. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (黄灰粘質 2.5Y-5/1) 粒子若干、緑泥砂岩(板碑?) 含)
6. 灰黄粘質 10YR-5/2 (褐灰粘質 10YR-4/1) 粒子多量含)
7. におい黄褐粘質 10YR-5/3 (褐灰粘質 10YR-4/1) ブロック少量含)
8. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック小・粒子多量含)
9. におい黄褐粘質 10YR-4/3 (褐灰粘質 10YR-4/1) 粒子少量含)
10. 黒褐粘質 10YR-3/2 (褐灰粘質 10YR-4/1) 粒子わずか含)

第45号土坑 (A-A') (B-B') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 微粒子多量、焼土粒・炭化物粒わずか含)
2. 暗灰粘質 10YR-5/2 (灰白粘質 5Y-7/1) 粒子若干、浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒・炭化物粒わずか含)
3. 暗灰粘質 2.5Y-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 粒子多量、炭化物・焼土粒わずか含)
4. 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 粒子・微粒子若干、炭化物粒わずか含)
5. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 粒子・微粒子わずか、焼土粒・炭化物粒わずか含)

第46号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック小・粒子少量、火山灰多量、小礫わずか含)
2. 暗灰粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック小・粒子若干、火山灰粒若干含)
3. 褐灰粘質 10YR-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 粒子若干、焼土塊わずか含)
4. 暗灰粘質 10YR-4/2 (灰シルト 5Y-7/1) ブロック少量、火山灰粒若干含)
5. 黒褐粘質 10YR-3/1 (焼土粒わずか、炭化物粒わずか、火山灰粒わずか含)

第47号土坑 (B-B') (F区)

1. 灰粘質 5Y-5/1 (灰黄粘質 10YR-4/2) ブロック多量、浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
2. 暗灰粘質 2.5Y-4/2 (灰黄粘質 10YR-4/2) 粒子少量含)
3. 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 粒子わずか含)
4. 黒褐粘質 2.5Y-3/2 (暗灰粘質 2.5Y-4/2) 粒子若干含)
5. 暗灰粘質 2.5Y-5/2 (黒褐粘質 2.5Y-3/2) 粒子若干含)
6. におい黄褐粘質 10YR-4/3 (黒褐粘質 2.5Y-3/2) ブロック小・粒子若干含)

第48号土坑 (A-A') (B-B') (F区)

1. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 微粒子少量、焼土粒・炭化物粒若干、灰塵じり)
2. 黒褐粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 微粒子若干、焼土粒・焼土塊若干、炭化物粒多量、土器含)
3. 褐灰粘質 7.5YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 微粒子多量、焼土粒・炭化物粒若干含)
4. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 微粒子若干、焼土粒・炭化物粒わずか含)

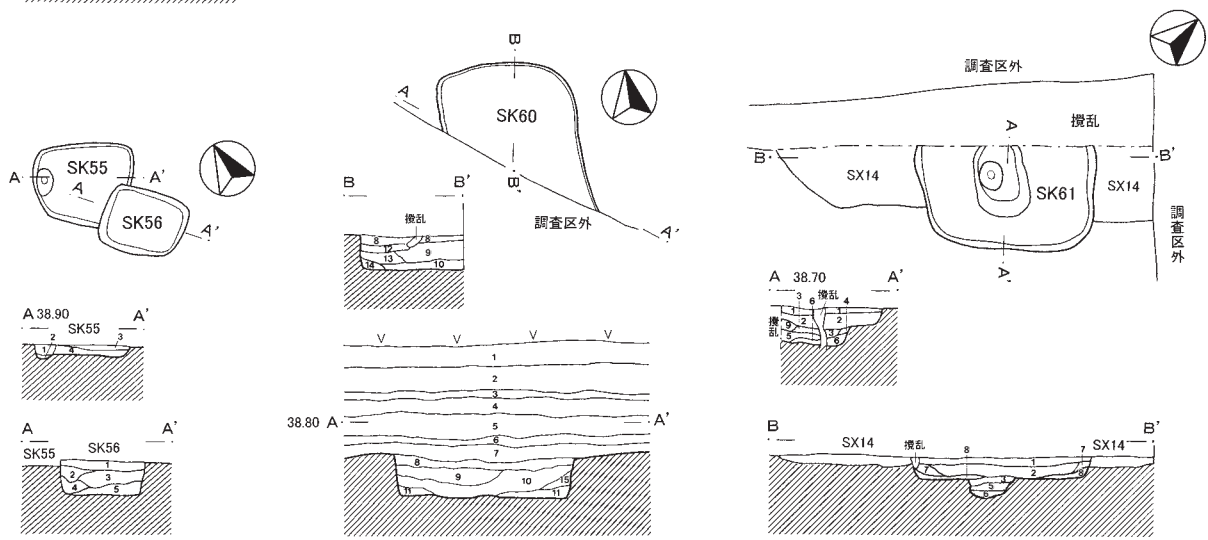
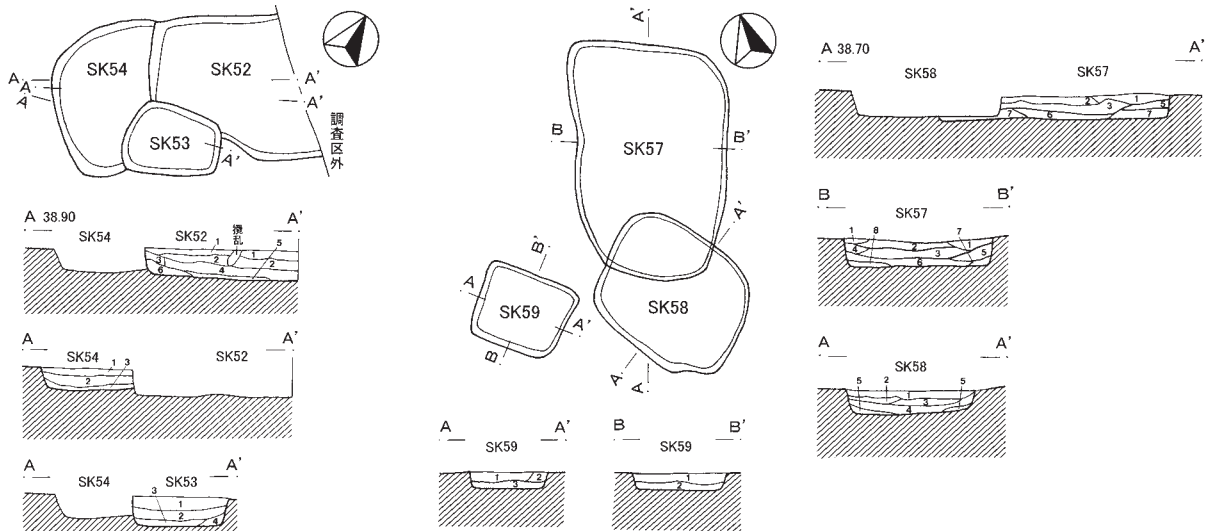
第49号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) ブロック・粒子多量、火山灰粒わずか含)

第50・51号土坑 (A-A') (F区)

1. 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3) 粒子若干、火山灰粒若干、Mn 粒若干含)
2. 暗灰粘質 10YR-4/1 (灰白粘質 5Y-7/1) 微粒子若干、火山灰粒わずか含)
3. 灰黄粘質 10YR-4/2 (灰白粘質 5Y-7/1) 微粒子若干含)
4. 灰黄粘質 10YR-5/2 (灰白粘質 5Y-7/1) 粒子わずか、FeO₃ 若干含)

第64図 第41~51号土坑 (F区)



第52号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量、火山灰粒わずか)
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒少量)
3. 灰黄褐粘質 10YR-6/2 (火山灰粒わずか)
4. にごい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒わずか)
5. にごい黄褐粘質 10YR-5/3 (火山灰粒わずか、シルト質)
6. 黒褐粘質 10YR-3/2 (火山灰粒わずか)

第53号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘りわずか、火山灰粒多量、炭化物粒わずか)
2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒若干、炭化物粒わずか)
3. 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (灰白粘質 2.5Y-7/1 粘りわずか、火山灰粒わずか)
4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (火山灰粒わずか)

第54号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、灰白粘質 5Y-7/1 粘りわずか)
2. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒わずか)
3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒わずか)

第55号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか)
2. 黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘りわずか)
3. にごい黄粘質 2.5Y-6/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘り多量)
4. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干)

第56号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘り少量、褐灰粘質 10YR-4/1 粘り若干、火山灰粒わずか)
2. 灰黄粘質 10YR-4/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粘り若干、Mn 粒わずか)
3. にごい黄粘質 10YR-4/3 (灰白粘質 2.5Y-7/1 粘り若干、Mn 粒わずか)
4. 灰黄粘質 7.5YR-4/2
5. 黒褐粘質 10YR-3/2 (Mn 粒わずか)

第57号土坑 (A-A') (B-B') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粘り少量、火山灰粒わずか)
2. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干)
3. にごい黄褐粘質 10YR-3/3 (火山灰粒若干、塊土粒わずか、Mn 粒わずか)
4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか)
5. 暗褐粘質 10YR-3/3 (火山灰粒わずか)
6. 暗褐粘質 10YR-3/4 (炭化物粒わずか、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘りわずか)
7. 灰黄粘質 7.5YR-4/2 (暗褐粘質 10YR-3/3 粘り若干、火山灰粒わずか)
8. にごい黄粘質 10YR-6/3 (暗褐粘質 10YR-3/4 ブロック小わずか)

第58号土坑 (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粘り少量、火山灰粒わずか)
2. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒少量)
3. 暗褐粘質 10YR-3/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒少量)
4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒少量)
5. 黒褐粘質 10YR-3/1 (火山灰粒若干)

第59号土坑 (A-A') (B-B') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粘り多量、火山灰粒若干)
2. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘り若干、火山灰粒わずか)
3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (灰白粘質 5Y-7/1 粘り若干、火山灰粒わずか)

第60号土坑 (A-A') (B-B') (F区)

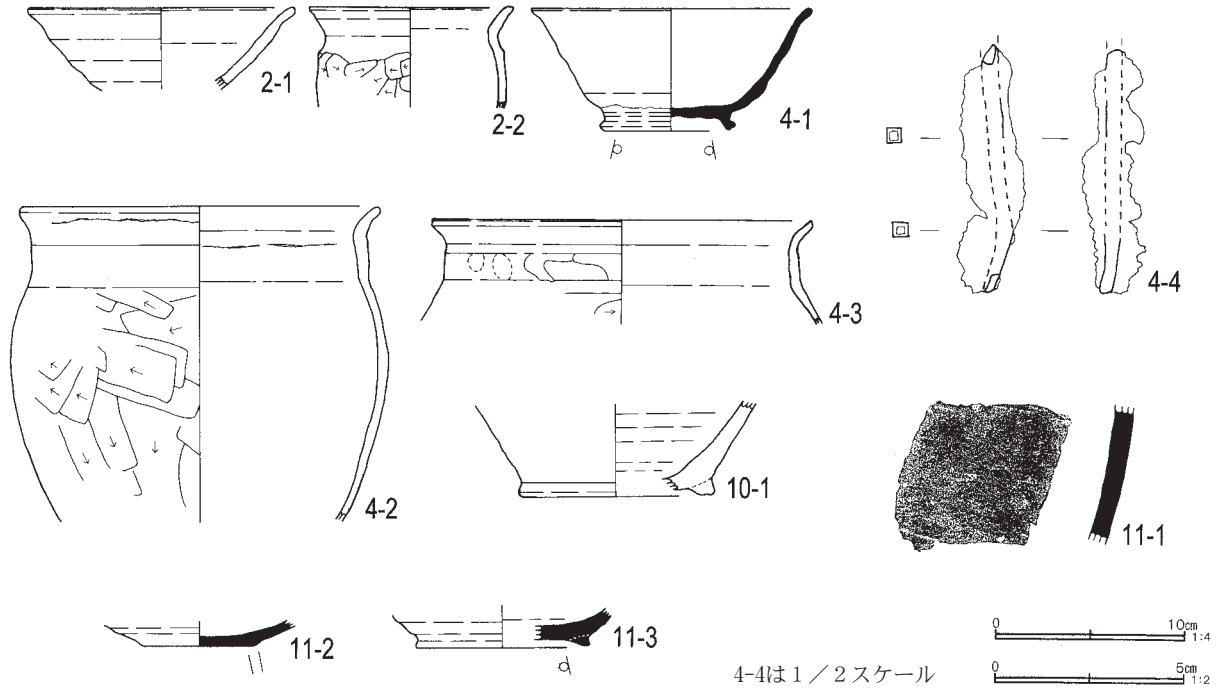
1. 層上 (水田)
2. 灰黄粘質 2.5Y-7/2 (FeO少量、水田層上)
3. 灰黄粘質 10YR-5/2 (灰黄粘質 2.5Y-7/2 ブロック小)
4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (灰黄粘質 2.5Y-7/2 粘りわずか)
5. 灰黄粘質 10YR-4/2 (灰黄粘質 2.5Y-7/2 粘りわずか、炭化物粒わずか)
6. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (にごい黄粘質 2.5Y-6/3 ブロック多量)
7. 黄褐粘質 2.5Y-5/3 (にごい黄粘質 2.5Y-6/3 ブロック多量)
8. にごい黄粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック多量)
9. 褐灰粘質 10YR-4/1 (にごい黄粘質 10YR-7/3 粘り若干)
10. 灰黄粘質 10YR-4/2 (褐灰粘質 10YR-4/1 粘り少量)
11. 黒褐粘質 10YR-3/2 (灰黄粘質 10YR-4/2 粘り若干)
12. 暗褐粘質 10YR-3/3 (褐灰粘質 10YR-4/2 ブロック若干)
13. 灰黄粘質 10YR-4/2 (褐灰粘質 10YR-4/2 ブロック少量)
14. 黒褐粘質 10YR-3/2 (灰黄粘質 10YR-4/2 粘り若干)
15. 褐灰粘質 7.5YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小わずか)

第61号土坑 (A-A') (B-B') (F区)

1. 暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘り多量)
2. 灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘り少量)
3. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘り若干、炭化物粒わずか)
4. 灰黄粘質 10YR-6/2 (炭化物粒わずか)
5. にごい黄粘質 10YR-4/3 (褐灰粘質 10YR-4/1 粘り若干)
6. 褐灰粘質 10YR-6/1 (黒褐粘質 10YR-3/2 粘り少量)
7. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘り若干)
8. 灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘りわずか)
9. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粘りわずか、Mn 粒若干)

第65図 第52～61号土坑 (F区)

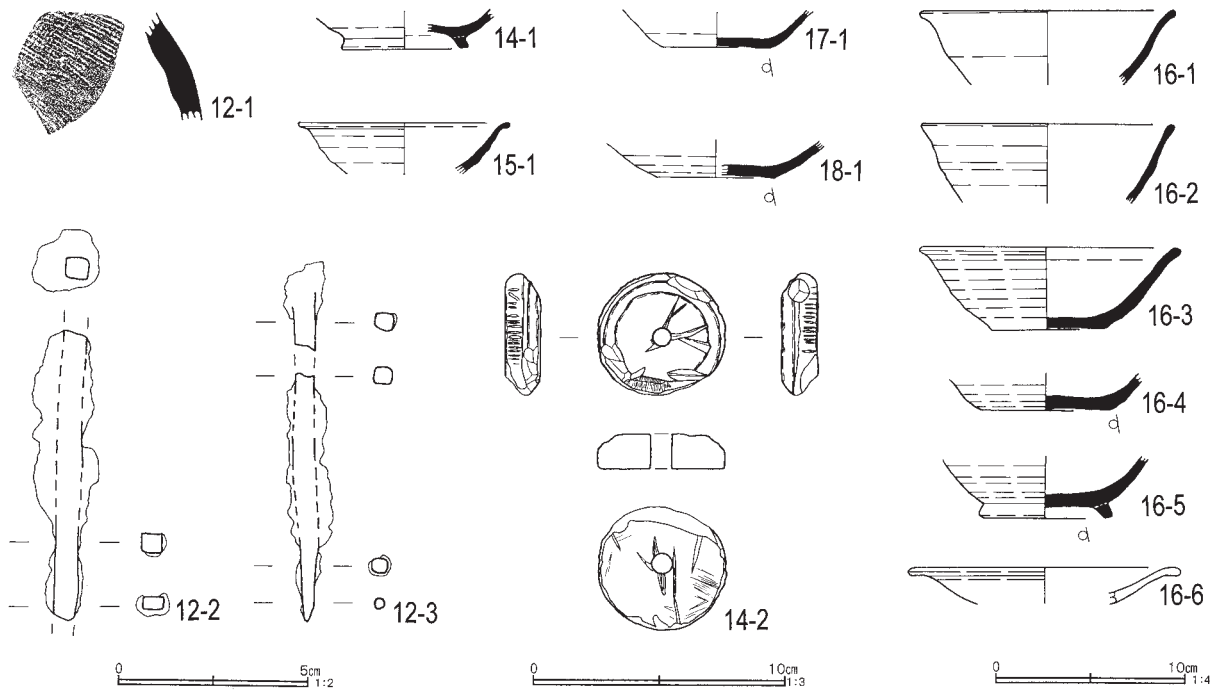




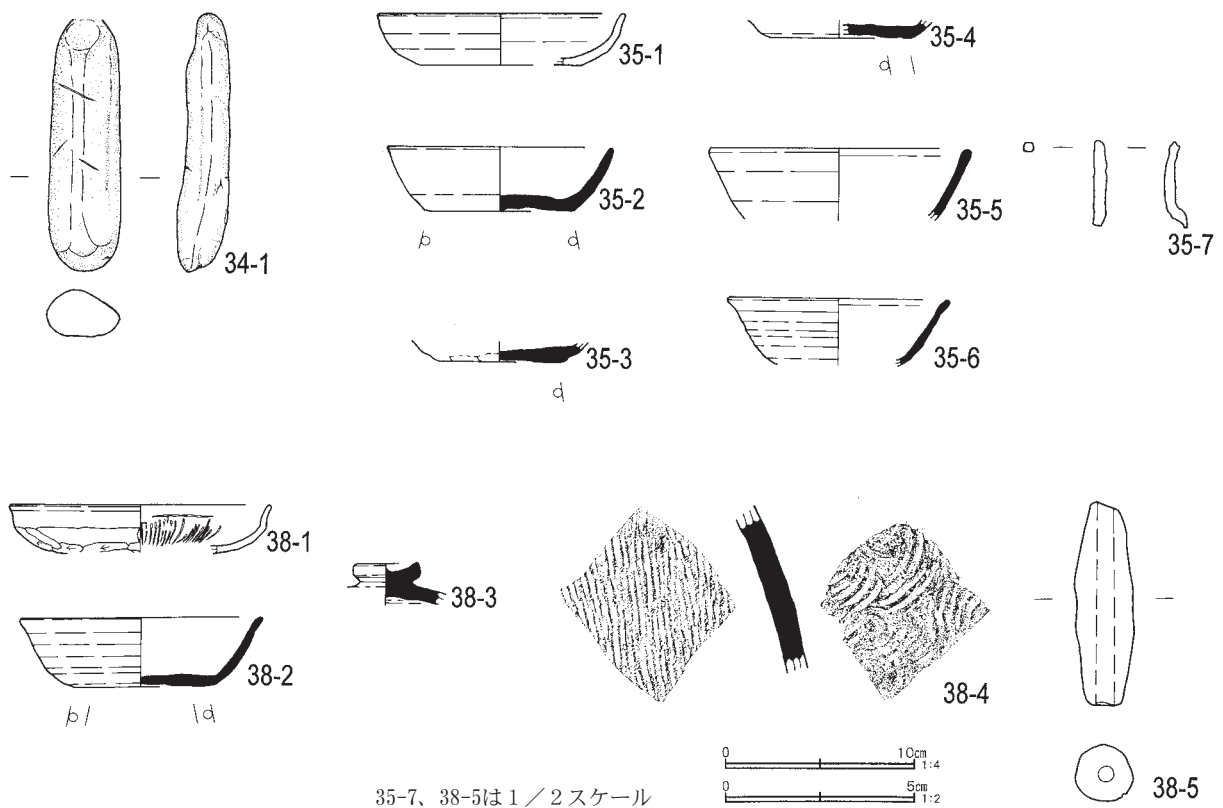
第66図 第2・4・10・11号土坑出土遺物 (A区)

第21表 土坑出土遺物観察表

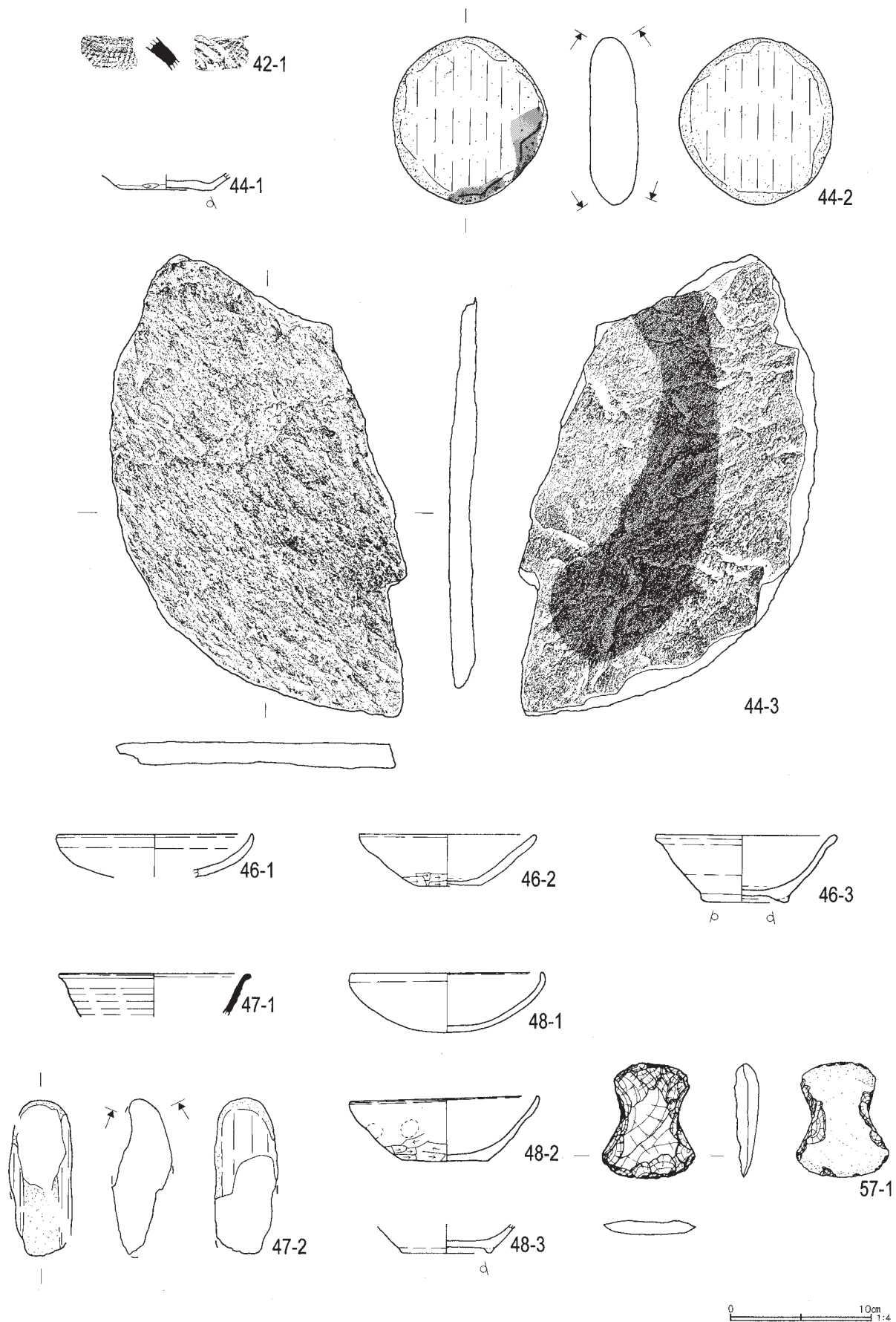
番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考		
2-1	SK02	土師器 坏	(14.0)	(4.3)	-	ABD I M	橙7.5YR-6/6	B	20%	口縁部外に外反する 外面ヨコナデ			
2-2	SK02	土師器 甕	(10.8)	(5.3)	-	ABDE J M O	にぶい赤褐5YR-5/4	B	口縁部~胴部25%	口縁部ヨコナデ 頸部ヘラケズリ			
4-1	SK04	須恵器 椀	14.9	6.5	7.2	ADE I	灰オリーブ5Y-5/2	B	90%	外面全面ヨコナデ	未野産		
4-2	SK04	土師器 甕	19.0	(16.6)	-	ABCDEFGHI	明赤褐2.5YR-4/6	B	口縁部~ 胴部上半50%	口縁から頸部ヨコナデ 胴部上部ヘラケズリ(ヨコ左廻り) 胴部下部ヘラケズリ(タテ下)			
4-3	SK04	土師器 甕	(20.0)	(5.5)	-	ABDE I J K	明赤褐5YR-5/6	B	口縁部30%	指頭圧痕 口縁部ヨコナデ 頸部から胴部ヘラケズリ(ヨコ)			
4-4	SK04	鉄釘	最大長 (6.5)	最大幅 (0.4)	最大厚 (0.4)	重さ 12g				頭部欠損			
10-1	SK10	土師器 椀	-	(4.9)	(10.4)	ABDE	にぶい橙7.5YR-6/4	B	底部20%	胎土しまっている			
11-1	SK11	須恵器 甕	-	-	-	AB I N	灰N6/0	A	破片	内外面ナデ	未野産		
11-2	SK11	須恵器 坏	-	(1.1)	(6.0)	ABEHN	灰白10YR-7/1	B	底部25%		未野産		
11-3	SK11	須恵器 椀	-	(2.1)	(9.2)	ABDEGMN	灰黄褐10YR-6/1	B	底部20%		未野産		
12-1	SK12	須恵器 甕	-	-	-	AB I N	暗灰黄2.5Y-5/2	B	胴部破片	外面平行叩き目 内面同心円状当て具痕			
12-2	SK12	角釘?	最大長	7.6	最大幅	0.6	最大厚	0.55	重さ	20g	頭部及び先端部欠損		
12-3	SK12	角釘	最大長	7.3	最大幅	0.45	最大厚	0.5	重さ	11g	頭部欠損		
14-1	SK14	須恵器 椀	-	(2.0)	(6.8)	ABD I L	灰N6/	A	台部30%	回転ナデ 底部調整不明	未野産		
14-2	SK14	滑石製 紡錘車	最大径	5.1	最大厚	1.4	孔径	0.8	重さ	59g	一部欠損	使用痕鮮明 側面数条溝跡 表面ミガキ痕	滑石製
15-1	SK15	須恵器 坏	(11.2)	(2.7)	-	DEHL	灰N6/	B	口縁部10%	口縁部外反 やや口径小 回転ナデ	未野産		
16-1	SK16	須恵器 坏	(13.3)	(3.9)	-	ADKN	オリーブ黄5Y-6/3	B	口縁部20%	口縁部外反 回転ナデ	未野産		
16-2	SK16	須恵器 坏	(13.4)	(4.2)	-	DN	灰白5Y-7/2	B	口縁部20%	口縁部外反 回転ナデ	未野産		
16-3	SK16	須恵器 坏	13.8	4.5	5.8	BDEH I N	灰N5/	B	80%	口縁部やや外反 深身 底部調整不明	未野産		
16-4	SK16	須恵器 坏	-	(1.9)	(6.6)	ADH I N	黄灰2.5Y-5/1	B	底部30%	やや厚手 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産		
16-5	SK16	須恵器 椀	-	(3.2)	(7.0)	ADH I K N	灰5Y-5/1	B	底部30%	やや厚手 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産		
16-6	SK16	土師器 皿	(14.4)	(1.9)	-	ADEGH I N	赤褐5YR-4/6	B	口縁部20%	口縁部肉厚 やや外反			
17-1	SK17	須恵器 坏	-	(2.0)	(5.8)	ABL	灰N-6/0	A	底部75%	体部ほぼ直線的 底部回転糸切り	未野産		



第67図 第12・14～18号土坑出土遺物（B区）



第68図 第34・35・38号土坑出土遺物（D区）



第69图 第42·44·46~48·57号土坑出土遗物(F区)

第21表 土坑出土遺物観察表

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考			
18-1	S K 18	須恵器 坏	-	(3.6)	(6.6)	ABDHL	灰5Y-6/1	B	底部30%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産			
29-1	S K 29	土師器 台付甕	-	(4.2)	(10.9)	ABCK	橙7.5YR-7/6	B	台部～底部片	台部外面粘土組織上痕				
34-1	S K 34	棒状礫器	最大長	13.7	最大幅	3.8	最大厚	2.4	重さ	217g		砂岩		
35-1	S K 35	土師器 坏	(13.0)		(8.4)	ABCDEFGHIKN	橙2.5YR-6/8	B	20%					
35-2	S K 35	須恵器 坏	(11.9)	3.4	8.0	BD	外：灰7.5Y-6/1 内：灰白2.5Y-8/1	B	50%	回転ナデ、平底 底部回転ヘラケズリ	上野産？			
35-3	S K 35	須恵器 坏	-	(1.1)	(6.5)	A E F N	にぶい黄橙10YR-6/4	B	底部20%	底部外縁指頭圧痕 底部周縁ヘラケズリ	南比企産			
35-4	S K 35	須恵器 坏	-	(1.0)	(7.4)	A E F L N	灰黄2.5Y-6/2	A	底部50%	底部内面火樺痕 底部回転周縁ヘラケズリ	南比企産			
35-5	S K 35	須恵器 椀	(13.9)	(3.8)	-	ABL N	灰白7.5Y-7/1	A	口縁部20%	口縁部外面自然釉 回転ナデ	未野産			
35-6	S K 35	須恵器 椀	(11.8)	(3.5)	-	A E F N	灰7.5Y-6/1	A	20%	回転ナデ 口縁部やや外反、小ぶり	未野産			
35-7	S K 35	鉄釘	最大長	(2.25)	最大幅	0.3	最大厚	0.3	重さ	1.04g				
38-1	S K 38	土師器 坏	(13.8)	(2.5)	-	ABE I N	橙2.5YR-6/8	B	20%	内面放射線状暗文 外面体部ヘラケズリ	浅身	B1類		
38-2	S K 38	須恵器 坏	(12.8)	3.6	7.2	A F N	灰黄2.5Y-7/2	A	50%	口縁部わずかに外反 回転ナデ 底部周縁ヘラケズリ		南比企産		
38-3	S K 38	須恵器 蓋	-	(2.1)	(3.6)	ABDF	灰白2.5Y-7/1Y-8/1	B	蓋つまみ部	つまみ内くぼみ				
38-4	S K 38	須恵器 甕	-	-	-	AGN	外：灰褐5YR-4/2 内：灰N-5/	A	胴部破片	外面平行叩き目 内面同心円状あて具痕				
38-5	S K 38	土錘	最大長	5.4	最大幅	1.6	孔径	0.4	重さ	10.3g				
42-1	S K 42	須恵器 甕	-	-	-	AB	外：にぶい黄褐10YR-4/3 内：褐灰10YR-5/1	A	胴部破片	胴部外面平行叩き目 胴部内面同心円状あて具痕				
44-1	S K 44	土師器 坏	-	(1.3)	(6.0)	ABDE	橙5YR-6/6	B	底部100%	底部回転糸切り				
44-2	S K 44	すり石	最大長	12.9	最大幅	11.0	最大厚	3.4	重さ	675.5g		擦り痕 黒色物付着	閃緑岩	
44-3	S K 44	板碑 or 石蓋	最大長	27.8	最大幅	19.2	最大厚	1.7	重さ	1720g		内面に黒色状シミ有 石蓋としての 使用痕か	雲母片岩	
46-1	S K 46	土師器 坏	(14.0)	(3.0)	-	ABG I K	にぶい橙5YR-6/4	B	口縁部20%	口縁部内湾				
46-2	S K 46	土師器 坏	(12.6)	3.7	(4.2)	ABCDEFGHIK	にぶい橙5YR-7/4	B	30%	体部～底部外面に黒色物付着 底部外面ヘラケズリ				
46-3	S K 46	土師質土器 椀	(13.0)	4.8	6.2	ABDHIKN	にぶい黄橙10YR-7/2	B	40%	回転ナデ 口縁部外反 底部回転糸切り				
47-1	S K 47	須恵器 椀	(13.7)	-	(3.1)	ABD	灰白5Y-7/1	B	口縁部10%	回転ナデ 口縁部外反	未野産			
47-2	S K 47	すり石	最大長	11.2	最大幅	4.5	最大厚	4.3	重さ	235.5g			砂岩	
48-1	S K 48	土師器 坏	(14.0)	4.2	-	ABD I J	褐7.5YR-4/4	B	40%	体部外面ヘラケズリ				
48-2	S K 48	土師器 坏	13.6	4.5	6.3	ABEHI N	浅黄橙10YR-8/3	B	70%	体部外面指頭圧痕 体部外面ヘラケズリ				
48-3	S K 48	土師器 坏	-	(2.1)	(6.4)	ABDGI	にぶい橙10YR-7/4	C	底部30%	磨耗著しい 底部回転糸切り				
57-1	S K 57	打製石斧	最大長	8.2	最大幅	6.6	最大厚	2.0	重さ	101.0g		完形	使用痕有	凝灰岩

7 ピット

ピットは、総じて290基検出した。A区では数にして68基、B区では基検出された。C区、D区ではそれぞれで44基、47基確認された。E区では大部分が攪乱のため、検出数が少なく、10基、F区では67基であった。

多くのピットは性格を判断できるものはなかったが、一部には柱穴痕を伺わせるものも確認することができたが、判断材料に乏しく、ピットとした。

また大多数のピットからは出土遺物はほぼ検出されなかったが、一部のピットからは土師器や須恵器の坏や椀、甕、灰釉陶器椀、土師器の椀を転用した紡錘車などが出土しており、それらから推定すると、いずれも時期は大体9世紀から10世紀にかけてのものと考えられる。

以下、紙面の都合上から、ピットの特徴等について一覧表で掲載をする。(第70～85図・第22・23表)

第22表 ピット一覧表

番号	位置 (グリッド/調査区)		平面プラン	規模 (cm)	重複関係	出土遺物	時期	備考
				(長軸×短軸×深さ)				
1	V-1	A区	隅丸方形	42×34×22				
2	V-1	A区	円形	42×36×14				
3	V-1	A区	楕円形	32×20×8	P4			
4	V-1	A区	楕円形	74×56×6	P3			
5	V-2	A区	いびつな楕円形	94×88×26				
6	V-2	A区	楕円形?	32×24×10	P7			
7	V-2	A区	円形	46×42×16	P6			
8	V-2	A区	いびつな方形	100×20×52				
9	V-2	A区	円形	36×28×16				
10	V-2	A区	楕円形	72×56×24		須恵器甕		
11	U-2	A区	楕円形	58×34×18				
12	U-2	A区	楕円形	36×22×28				
13	U-2	A区	楕円形	40×32×30				
14	U-2	A区	円形?	28×24×26				
15	U-2	A区	円形	36×32×28				
16	U-2	A区	楕円形	48×36×28		須恵器甕		
17	U-2	A区	円形	32×32×28				
18	U-3	A区	いびつな三角形	26×24×14		須恵器坏		
19	U-3	A区	円形	30×26×28				
20	U-3	A区	楕円形	50×44×22				
21	U-3	A区	円形	50×50×14				
22	U-3	A区	いびつな長方形	108×26×26				溝跡?
23	U-3	A区	楕円形	66×56×34				
24	U-3	A区	円形	56×54×28		土師器台付甕、須恵器椀		
25	U-3	A区	楕円形	50×42×32				
26	U-3	A区	円形	36×34×28		須恵器甗、甕		
27	U-3	A区	円形	36×30×28				
28	U-3	A区	円形	30×30×18				
29	U-3	A区	円形	32×30×22				
30	U-3	A区	楕円形	46×38×20				
31	U-3	A区	円形	40×38×20	SK06	土師器台付甕、須恵器坏、甕		
32	U-3	A区	楕円形?	(26)×24×20	SK06			
33	U-3	A区	円形	38×34×10				
34	U-3	A区	円形	34×32×20				
35	U-3	A区	楕円形	40×28×10				
36	U-3	A区	楕円形	26×20×8				
37	T-3	A区	円形	56×52×16				
38	T-3	A区	楕円形	48×42×14				
39	U-3	A区	楕円形	74×66×22		土師器甕		
40	U-3	A区	円形	42×40×12	SX01			
41	T-4	A区	楕円形?	(72)×66×10	P42			
42	T-4	A区	楕円形	72×60×10	P41, P43			
43	T-4	A区	円形?	82×(56)×14	P42			
44	T-4	A区	隅丸方形	68×24×12				
45	T-4	A区	楕円形	36×32×14				
46	T-4	A区	楕円形	(40)×30×10	P47			
47	T-4	A区	隅丸方形	116×16×10	P46			溝跡?
48	T-4	A区	楕円形	40×26×16	SK08			
49	T-4	A区	楕円形	74×66×18		須恵器壺	9c代	
50	T-5	A区	隅丸方形	90×80×30	S102			溝跡?
51	T-5	A区	円形	46×44×22	P52			
52	T-5	A区	円形?	(46)×54×16	P51			
53	T-5	A区	円形	38×36×18				
54	S-5	A区	いびつな三角形	90×78×32				
55	S-5	A区	楕円形	44×34×18		灰釉陶器長頸瓶	9c後~10c	
56	S-5	A区	楕円形	64×38×22				
57	S-5	A区	円形	46×46×18				
58	S-5	A区	楕円形?	(94)×(26)×24				
59	S-5	A区	楕円形	74×52×18				
60	S-5	A区	楕円形	36×26×28				
61	S-5	A区	円形	36×32×14	SK10			
62	S-5	A区	隅丸方形	108×40×24	SK10			溝跡?
63	S-5	A区	方形	20×18×8				

第22表 ピット一覧表

番号	位置		平面プラン	規模 (cm)	重複関係	出土遺物	時期	備考
	(グリッド/調査区)			(長軸×短軸×深さ)				
64	S-5	A区	円形	60×54×24				
65	S-5	A区	円形	46×40×32				
66	S-5	A区	円形	30×26×16				
67	S-5	A区	円形	30×30×18				
68	S-6	A区	円形	82×80×38		須恵器甕、須恵器椀		
69	R-7	B区	楕円形	60×48×16				
70	R-7	B区	隅丸方形	50×48×12				
71	R-7	B区	楕円形	36×28×20				
72	R-7	B区	楕円形	(42)×30×28	P75			
73	R-7	B区	楕円形	(38)×30×28	P75			
74	R-7	B区	いびつな三角形	96×70×36	P75	土師器甕	9c末~10c初	
75	R-7	B区	隅丸方形	112×90×36	P72、73、74、76	須恵器坏		
76	R-7	B区	いびつな三角形	90×78×24	P75	土師器椀転用紡錘車、甕	9c後~10c初	
77	Q-7	B区	円形	80×78×24		須恵器坏、椀	9c前半?	
78	Q-7	B区	円形?	(72)×(26)×22				
79	Q-7	B区	楕円形?	(46)×50×60	SK15			
80	R-7	B区	円形	74×64×18				
81	Q-7	B区	楕円形	112×92×18	SI04			
82	Q-7	B区	楕円形	48×42×28				
83	Q-7	B区	円形	58×56×28				
84	Q-7	B区	円形	40×36×16				
85	Q-8	B区	楕円形	44×30×26				
86	Q-8	B区	楕円形	62×52×22				
87	Q-8	B区	楕円形	52×44×28				
88	Q-8	B区	円形	38×34×32		須恵器坏		
89	Q-8	B区	楕円形	72×68×32		刀子		
90	Q-8	B区	楕円形	102×88×64	SK16			
91	Q-8	B区	楕円形	56×36×20				
92	Q-8	B区	円形	30×26×6				
93	Q-8	B区	楕円形	52×40×12				
94	Q-8	B区	楕円形	36×32×20				
95	Q-8	B区	円形	24×20×16				
96	Q-8	B区	楕円形?	(80)×58×24	P97	土師質土器椀	9c後~10c初	
97	Q-8	B区	円形	110×86×30	P96	須恵器椀		
98	Q-8	B区	楕円形	46×34×38	SD04	須恵器鉢?	9c中~末	
99	P-8	B区	円形?	42×(26)×20	SD04、P101			
100	Q-8	B区	楕円形	82×60×30		土師器甕、台付甕、須恵器椀、灰釉陶器椀、土師質土器椀		
101	P-8	B区	楕円形	88×68×240	P99	須恵器椀		
102	P-8	B区	円形	60×60×22				
103	P-8	B区	楕円形	62×52×24				
104	P-8	B区	円形	36×34×20				
105	P-8	B区	円形	58×58×24				
106	P-8	B区	隅丸方形?	(56)×32×22				
107	P-8	B区	隅丸方形?	(58)×32×26	SK21、P108	須恵器甕		
108	P-8	B区	楕円形	48×34×34	P107			
109	O-10	C区	円形	30×28×10	NR01			柱痕?
110	O-10	C区	円形	16×16×10				
111	O-10	C区	円形	28×24×12				柱痕?
112	M-13	C区	円形	42×38×60	SK28			
113	N-11	C区	楕円形	52×38×26				
114	N-11	C区	楕円形?	46×(30)×26				
115	N-11	C区	楕円形?	(30)×30×20				
116	N-11	C区	円形	42×40×10				
117	N-11	C区	円形	20×20×14	P118			
118	N-11	C区	円形	46×42×20	P117			
119	N-11	C区	円形	16×15×18				柱痕?
120	N-11	C区	楕円形	48×28×14				
121	N-11	C区	円形	36×34×46	SX07			柱痕?
122	N-11	C区	円形?	40×(34)×22	SX07	須恵器坏	9c代	
123	N-12	C区	楕円形	44×40×8	SI05			
124	N-12	C区	楕円形	38×32×14	SI05			

第22表 ピット一覧表

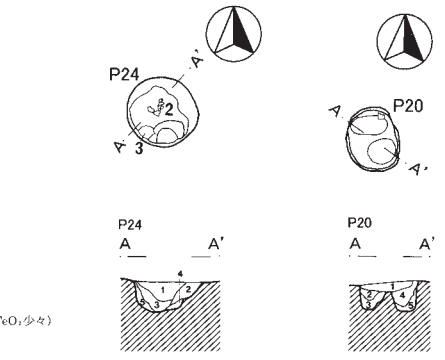
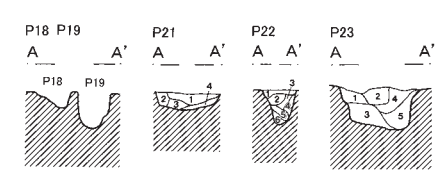
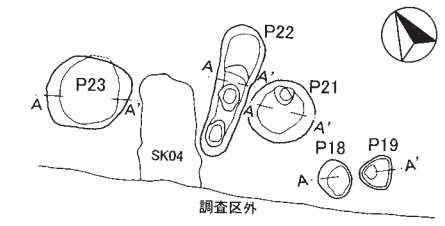
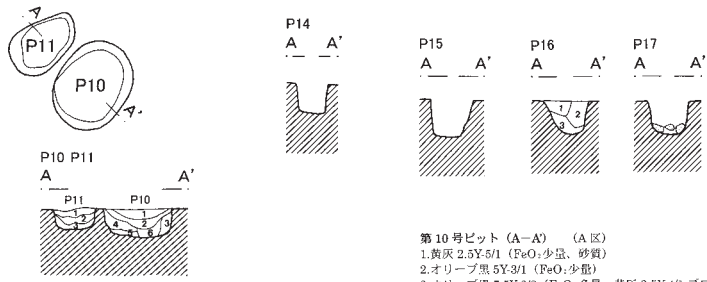
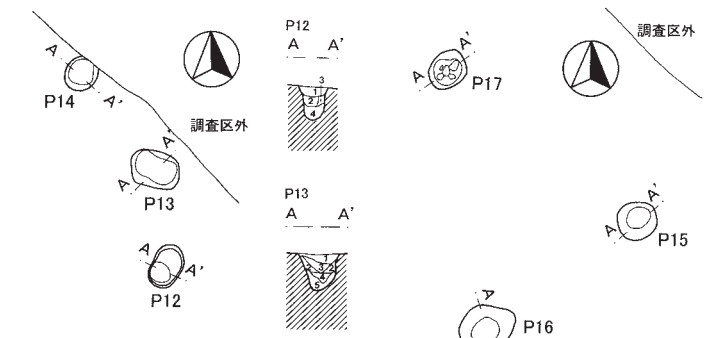
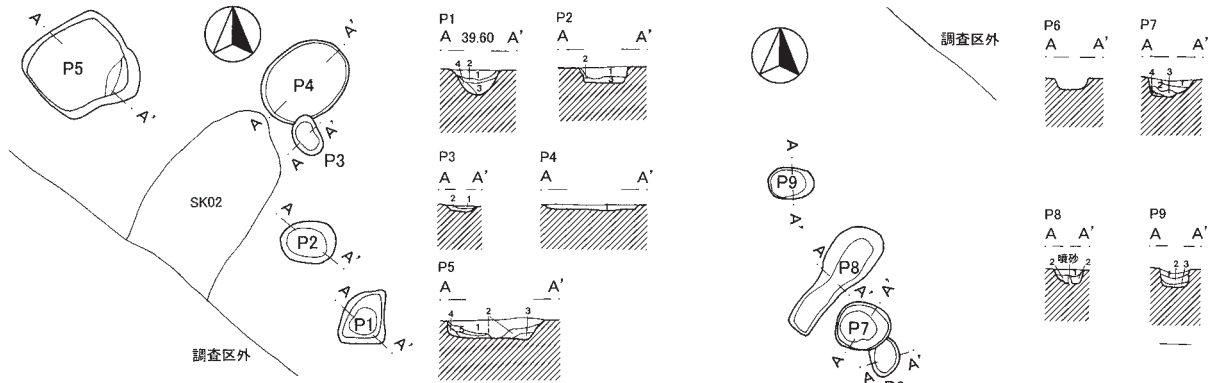
番号	位置		平面プラン	規模 (cm)	重複関係	出土遺物	時期	備考
	(グリッド/調査区)			(長軸×短軸×深さ)				
125	N-12	C区	円形	22×22×16	SI05			
126	M-12	C区	円形	36×36×8	SI06			
127	M-12	C区	楕円形	38×36×28				
128	M-12	C区	円形	46×46×12				
129	M-12	C区	円形	36×28×18				
130	M-12	C区	楕円形	30×22×22				
131	M-12	C区	楕円形	52×50×22				
132	M-13	C区	楕円形?	26×36×26				半裁のみ
133	M-13	C区	楕円形	64×56×60				
134	M-12	C区	楕円形?	(44)×48×12	P135			
135	M-12	C区	円形	36×32×10	P134			
136	M-13	C区	円形	26×24×30				
137	M-13	C区	隅丸方形	50×36×22				
138	M-13	C区	楕円形	58×44×22				
139	M-13	C区	円形	48×44×30				
140	M-13	C区	楕円形	36×24×6				
141	M-13	C区	楕円形	58×34×28				柱痕?
142	M-13	C区	楕円形	54×44×34				柱痕?
143	M-13	C区	楕円形	50×38×24				
144	M-13	C区	楕円形?	(40)×38×30				
145	M-13	C区	楕円形	32×26×28				柱痕?
146	M-13	C区	楕円形	50×40×24				
147	M-13	C区	楕円形?	(60)×(40)×10	P148			
148	M-13	C区	円形	40×34×22	P147			
149	M-13	C区	いびつな楕円形	36×28×18				
150	L-13	C区	円形	48×48×60	SI07			
151	L-13	C区	楕円形	59×44×18	SI07			
152	L-13	C区	円形	44×38×12				
153	K-15	D区	楕円形	76×40×14	SX10			
154	K-15	D区	方形	56×44×16	SI08			
155	K-15	D区	楕円形	58×52×42	SK34, P156			
156	K-15	D区	楕円形?	60×(40)×30	SK34, P155			
157	K-15	D区	円形	44×44×26	SI09			
158	K-15	D区	楕円形	40×32×34	SI09			
159	K-15	D区	隅丸方形	86×60×32	SI09			
160	K-15	D区	円形	30×30×8				
161	K-15	D区	円形	30×28×30				
162	K-15	D区	円形	40×34×26				
163	K-15	D区	円形	30×24×12	火葬跡02			
164	K-15	D区	円形	34×30×24	火葬跡02			
165	J-15	D区	楕円形?	(36)×24×24	P166			
166	J-15	D区	楕円形	36×30×12	P165			
167	J-15	D区	楕円形	58×40×26	P168			
168	J-15	D区	楕円形?	(24)×26×12	P167			
169	K-15	D区	円形	44×44×30				
170	K-16	D区	円形	30×28×12	火葬跡02、P171			
171	K-16	D区	円形	22×(20)×16	火葬跡02、P170			
172	K-16	D区	いびつな楕円形	84×46×28	SB01			
173	K-16	D区	円形	32×28×24	SB01			
174	J-16	D区	円形	34×32×32				
175	J-16	D区	円形	58×54×50				
176	J-16	D区	楕円形	74×50×38		土師器坏	9c 前半	
177	J-16	D区	円形	20×20×24				
178	J-16	D区	円形	16×16×38				
179	J-16	D区	円形	62×54×32				
180	J-16	D区	楕円形	68×52×54				
181	J-16	D区	隅丸方形	100×56×22				
182	J-16	D区	楕円形	120×60×56	SB01, SK36	土師器坏	9c 代	
183	J-16	D区	楕円形	96×60×22	SB01, SK36			
184	J-16	D区	円形	52×42×30	SD06	土師器台付甕		
185	J-16	D区	楕円形	50×34×38				

第22表 ピット一覧表

番号	位置		平面プラン	規模 (cm)	重複関係	出土遺物	時期	備考
	(グリッド/調査区)			(長軸×短軸×深さ)				
186	J-16	D区	円形	106×80×28	SK38	須恵器坏、椀、長頸瓶	9c 前半	
187	J-16	D区	隅丸方形	68×32×20				
188	J-16	D区	隅丸方形	80×30×22				
189	J-16	D区	円形	52×48×20	P190			
190	J-16	D区	円形	48×44×18	P189			
191	J-16	D区	楕円形	36×18×22				
192	J-16	D区	円形	32×28×26				
193	J-16	D区	円形	26×26×12				
194	J-16	D区	円形	24×24×10				
195	J-16	D区	楕円形	30×22×8				
196	J-16	D区	楕円形	54×38×36				
197	J-16	D区	楕円形	64×34×46				
198	J-16	D区	隅丸方形	100×44×22	SD07			
199	J-16	D区	円形	60×48×26	SD07			
200	F-21	E区	円形	36×32×12				
201	F-21	E区	円形	32×24×12				
202	F-21	E区	円形	48×48×18				
203	F-21	E区	円形	32×28×6				
204	F-21	E区	円形	34×30×16	SK39			
205	F-21	E区	円形	28×28×12				
206	F-21	E区	楕円形?	76×36×42				
207	F-21	E区	円形	16×16×8				
208	F-21	E区	円形	46×44×14	SX11			
209	F-21	E区	円形	28×26×8				
210	E-23	F区	円形	34×30×22	SI15, SK41			
211	D-23	F区	楕円形	36×30×12				
212	D-23	F区	隅丸方形	54×38×22	SX13			
213	D-23	F区	楕円形	(36)×30×18	SX13			
214	E-23	F区	楕円形	64×52×8	SI14, P215			
215	E-23	F区	円形	38×(34)×6	SI14, P214			
216	E-23	F区	楕円形?	(30)×24×8	SI14			
217	D-23	F区	円形?	26×(18)×16	SK45			
218	D-23	F区	円形	24×20×10				
219	E-23	F区	楕円形	62×42×24	P220			
220	E-23	F区	楕円形?	80×(34)×16	P219			
221	E-23	F区	円形	22×18×18				
222	E-23	F区	円形?	(42)×(14)×18				
223	D-23	F区	円形	38×36×16				
224	D-24	F区	円形?	50×(34)×14	SI16			
225	D-23	F区	長方形	64×42×22	SI16			
226	D-23	F区	円形	88×82×32				
227	D-24	F区	楕円形	94×50×38				
228	D-23	F区	長方形	36×28×12				
229	D-24	F区	円形	28×26×14				
230	D-24	F区	円形	24×24×10				
231	D-24	F区	隅丸方形	48×28×22				
232	D-24	F区	円形	26×22×12				
233	D-24	F区	楕円形	28×20×20				
234	D-24	F区	楕円形	24×20×12	SB05			
235	D-24	F区	円形	18×16×12				
236	C-24	F区	円形	20×18×8				
237	C-24	F区	円形	22×20×14				
238	C-24	F区	円形	18×16×12				
239	C-24	F区	楕円形	20×14×12				
240	D-24	F区	円形	24×24×16				
241	C-24	F区	円形	10×10×8				
242	C-25	F区	円形	18×18×20				
243	C-25	F区	円形	18×16×14				
244	C-25	F区	円形	20×18×12				
245	C-25	F区	円形	20×18×12				
246	C-25	F区	円形	22×20×10				
247	B-25	F区	楕円形	26×18×14				
248	C-26	F区	円形	16×14×20				

第22表 ピット一覧表

番号	位置		平面プラン	規模 (cm)	重複関係	出土遺物	時期	備考
	(グリッド/調査区)			(長軸×短軸×深さ)				
249	C-26	F区	楕円形	36×28×24				
250	C-25	F区	楕円形	36×22×12				
251	C-25	F区	楕円形	18×12×16				
252	B-25	F区	楕円形	20×14×14				
253	C-25	F区	円形	14×12×12				
254	C-25	F区	楕円形	22×16×20				
255	B-25	F区	円形	22×20×12				
256	B-25	F区	楕円形	22×14×22				
257	B-25	F区	円形	16×16×16				
258	B-25	F区	円形	14×14×22				
259	B-26	F区	方形	54×50×26				
260	B-26	F区	楕円形	26×20×14				
261	B-26	F区	円形	18×14×14				
262	B-26	F区	楕円形	20×14×14				
263	B-26	F区	楕円形?	(40)×42×26				
264	B-26	F区	楕円形	70×42×22				
265	B-26	F区	円形	20×16×20				
266	B-26	F区	円形	26×20×20				
267	B-26	F区	円形	22×20×20				
268	B-26	F区	円形	18×16×6				
269	B-26	F区	楕円形	26×18×18				
270	B-26	F区	円形	22×20×18				
271	B-26	F区	円形	54×48×22				
272	B-26	F区	楕円形	54×40×24				
273	B-26	F区	円形	50×48×28				
274	B-27	F区	楕円形	42×32×12				
275	B-27	F区	楕円形	42×34×12				
276	B-27	F区	円形?	18×(10)×20				
277	B-27	F区	円形	30×28×16				
278	B-27	F区	楕円形	78×56×30				
279	B-27	F区	楕円形	54×(36)×18				
280	B-27	F区	楕円形	66×50×6				
281	B-27	F区	円形	26×26×16				
282	B-27	F区	楕円形?	(62)×80×40				
283	B-27	F区	円形	48×44×46				
284	B-27	F区	楕円形?	(38)×50×22				
285	C-25	F区	円形	20×12×12				柱痕?
286	C-25	F区	円形	18×15×12				柱痕?
287	C-25	F区	円形	16×18×13				柱痕?
288	C-25	F区	円形	(15)×17×13	SD10			柱痕?
289	C-25	F区	円形	21×17×16				柱痕?
290	C-25	F区	円形	22×20×11				柱痕?



第1号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰 2.5Y-5/1 (FeO:少量)
 2.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO:多量、少々黒ずみ有)
 3.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (FeO:少量、2のブロック少々有)
 4.灰オリブ砂質 5Y-4/2 (FeO:少量)

第9号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰 2.5Y-5/1 (FeO:少量)
 2.灰 7.5Y-5/1
 3.黄灰黄 2.5Y-5/1 (FeO:多量、少々黒ずみ有)

第3号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO:少量)
 2.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (黄灰 2.5Y-3/1 粒子わずかに含)

第4号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO:少量)

第5号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO:少量)
 2.黄灰 2.5Y-5/1 (FeO:多量)
 3.灰オリブ 5Y-4/2
 4.灰オリブ 5Y-4/2 (FeO:少々黒ずみ有)
 5.黄灰粘質 2.5Y-5/1

第7号ピット (A-A') (A区)
 1.褐灰砂質 10YR-4/1 (多量に FeO:有)
 2.黄灰 2.5Y-4/1 (多量に FeO:有)
 3.灰オリブ砂質 5Y-4/2 (-部2が有)
 4.オリブ黒砂質 5Y-3/2 (オリブ灰 2.5GY-5/1 ブロック有)

第8号ピット (A-A') (A区)
 1.褐灰砂質 10YR-4/1 (FeO:有)
 2.黄灰 2.5Y-4/1 (多量に FeO:有)

第9号ピット (A-A') (A区)
 1.暗灰黄 2.5Y-5/2(黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量、FeO:微量)
 2.灰オリブ 5Y-4/2(暗灰黄 2.5Y-4/2 少々有、若干粘質) 充満
 3.灰オリブ 5Y-5/2 (炭化物含)

第10号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰 2.5Y-5/1 (FeO:少量、砂質)
 2.オリブ黒 5Y-3/1 (FeO:少量)
 3.オリブ黒 7.5Y-3/2 (FeO:多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 4.灰オリブ 5Y-4/2 (小礫多量に含)
 5.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO:少量)
 6.灰 7.5Y-4/1 (2が少量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO:少量)

第11号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO:少量)
 2.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (黄灰 2.5Y-4/1 が多量、FeO:有)
 3.オリブ黒 7.5Y-3/2 (小礫多量に含)

第12号ピット (A-A') (A区)
 1.灰 7.5Y-4/1 (FeO:多量)
 2.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (一部黄褐 2.5Y-5/3 粒子有、炭化物少々、FeO:少々)
 3.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2
 4.暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (かなり微量に FeO:有)

第13号ピット (A-A') (A区)
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO:少量、一部砂質)
 2.灰オリブ 5Y-4/2 (-部黄褐 2.5Y-5/3 粒子有)
 3.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 に少々暗オリブ 5Y-3/3 有
 4.オリブ黒砂質 5Y-3/2
 5.オリブ黒砂質 5Y-3/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子有)

第18号ピット (A-A') (A区)
 1.オリブ黒 5Y-3/2 (土器片、ごく微量に黄灰 2.5Y-3/1 含)
 2.灰オリブ粘質 5Y-4/2
 3.灰オリブ砂質 5Y-4/2 (微量に FeO:有)

第20号ピット (A-A') (A区)
 1.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO:少量)
 2.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 粒子及び FeO:少量)
 3.暗灰黄 2.5Y-4/2
 4.オリブ黒 5Y-3/2 (少々砂質)
 5.オリブ黒 5Y-3/2 (灰オリブ 5Y-4/2、土器片)

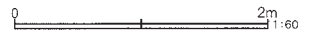
第21号ピット (A-A') (A区)
 1.オリブ褐 2.5Y-4/3 (しまりかなり強)
 2.オリブ褐 2.5Y-4/3 (炭化物有)
 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質、1が少々混入)
 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)

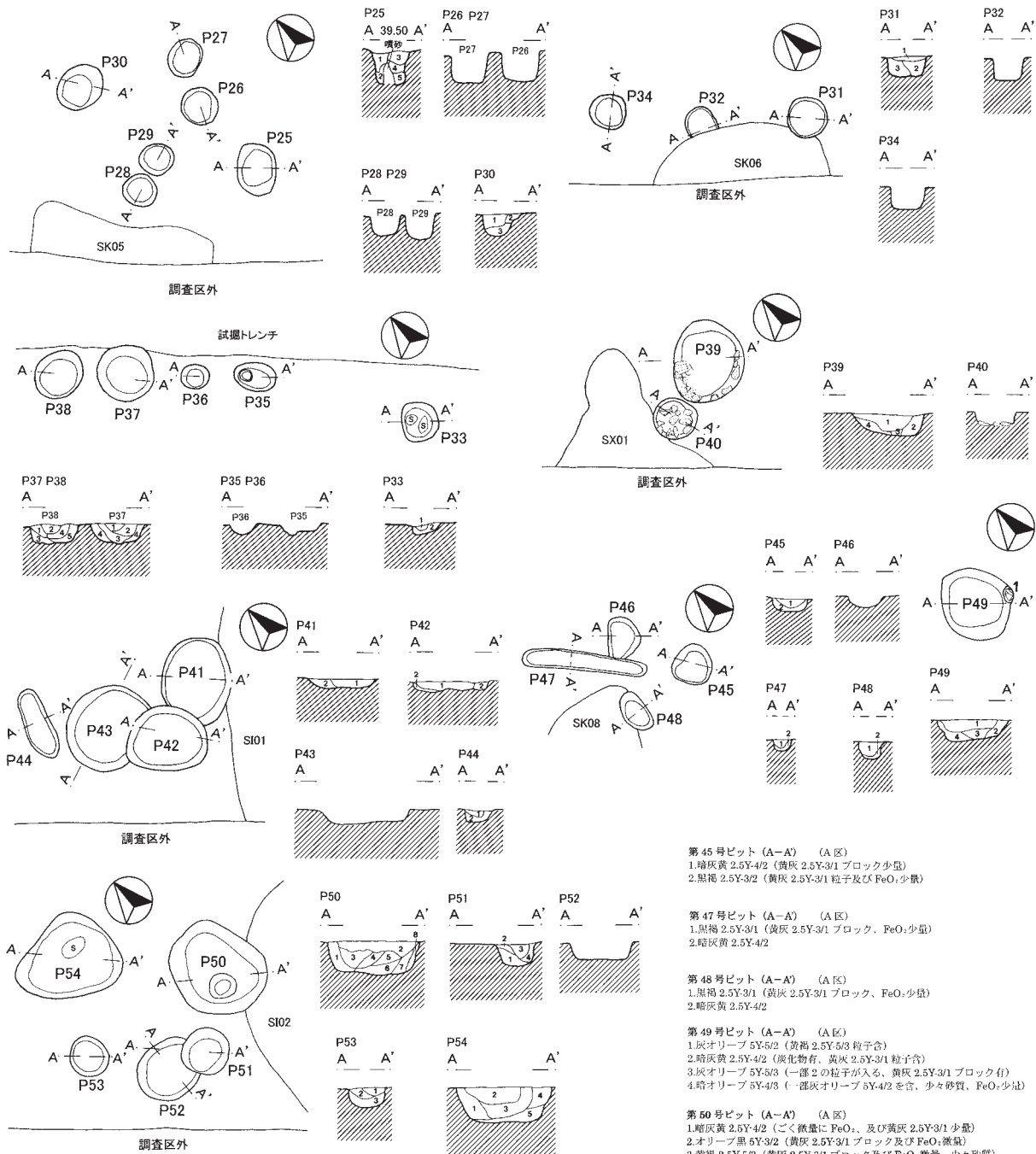
第22号ピット (A-A') (A区)
 1.灰オリブ 5Y-4/2 (FeO:少々)
 2.オリブ黒 5Y-3/2 (FeO:少々)
 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
 4.灰オリブ 5Y-5/3 (少々砂質)
 5.オリブ黒 5Y-3/2 (少々黄灰 2.5Y-3/1 含)
 6.オリブ黒 5Y-3/2

第23号ピット (A-A') (A区)
 1.にぶい黄褐 10YR-4/3 (黄灰 2.5Y-3/1 粒子多量)
 2.褐灰 10YR-4/1 (小・中礫多量)
 3.灰黄粘砂質 10YR-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 粒子・ブロック少量)
 5.黒褐 2.5Y-3/2

第24号ピット (A-A') (A区)
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO:少量、土器片)
 2.オリブ褐 2.5Y-4/3 (-部暗灰黄 2.5Y-4/2 含)
 3.黒褐 2.5Y-3/2 (少々粘質、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (暗灰黄 2.5Y-6/6 ブロック有)
 5.黒褐 2.5Y-3/1 (少々砂質)

第70図 第1~24号ピット (A区)





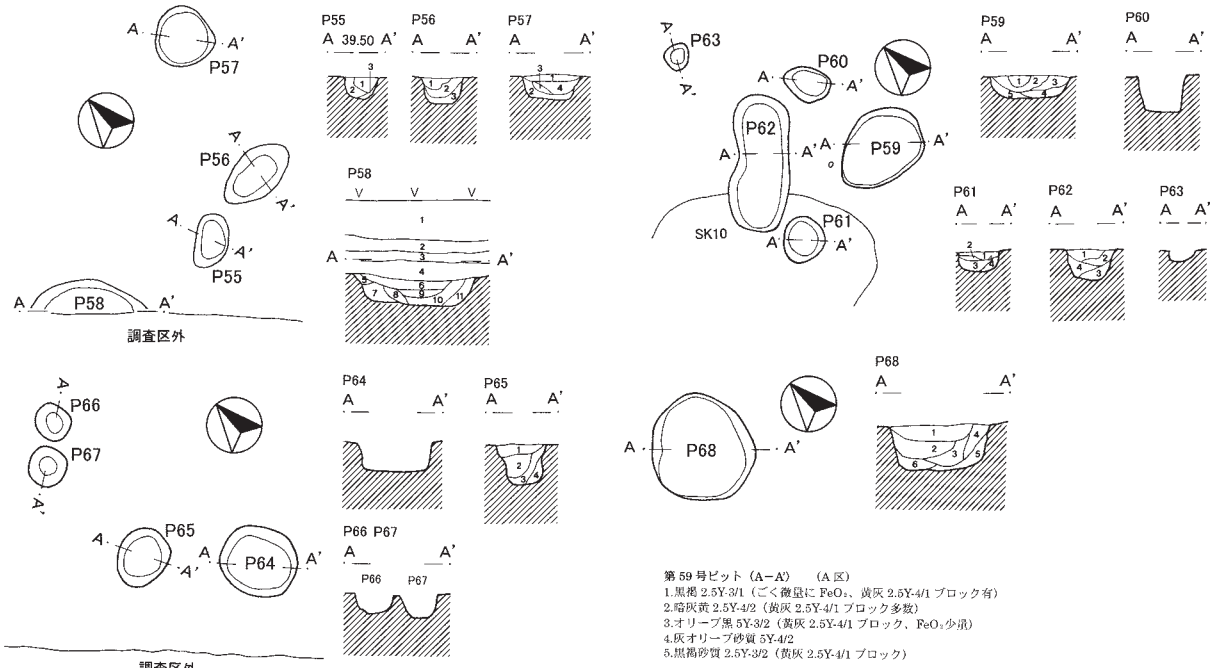
- 第25号ピット (A-A') (A区)**
 1.暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 2.暗灰砂質 2.5Y-4/2
 3.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO₂少量)
 4.暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (しまり強)
 5.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 粒子、黒褐色 2.5Y-3/1 ブロック少量)
- 第30号ピット (A-A') (A区)**
 1.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (FeO₂少量)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO₂少量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 3.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 第31号ピット (A-A') (A区)**
 1.黒褐 2.5Y-5/2 (FeO₂及び黄灰 2.5Y-3/1 少量含)
 2.黒褐 2.5Y-3/2 (FeO₂及び黄灰 2.5Y-3/1 少量含)
 3.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (FeO₂及び黄灰 2.5Y-3/1 少量含)
- 第33号ピット (A-A') (A区)**
 1.灰 7.5Y-4/1
 2.灰オリブ 5Y-4/2 (FeO₂少量)
- 第37号ピット (A-A') (A区)**
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO₂少量)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-3/1 粒子含、土器片)
 3.灰オリブ 5Y-4/2 (炭化物、黄灰 2.5Y-5/1 粒子含、FeO₂多量)
 4.黒褐 2.5Y-3/2 (少々砂質、FeO₂、黄褐 2.5Y-4/3 及び黄灰 2.5Y-5/1 粒子少量)

- 第38号ピット (A-A') (A区)**
 1.灰オリブ 5Y-4/2 (FeO₂、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 2.オリブ黒 7.5Y-3/2 (FeO₂、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 3.暗オリブ 2.5Y-3/3 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、土器片)
 4.オリブ黒 7.5Y-3/2 (少々粘質)
 5.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質)
- 第39号ピット (A-A') (A区)**
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-5/3、土器片、小機わずか)
 2.灰オリブ 5Y-4/2 (一部灰 5Y-4/1 有、一部砂質)
 3.オリブ黒 5Y-3/2 (一部シルト質)
 4.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (一部シルト質、礫多量)
- 第41号ピット (A-A') (A区)**
 1.オリブ黒 7.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、土器片)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、少々砂質)
- 第42号ピット (A-A') (A区)**
 1.黄灰砂質 2.5Y-5/1 (小機少量)
 2.黄灰 2.5Y-5/1 (小機少量)
- 第44号ピット (A-A') (A区)**
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック少量)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黒褐 2.5Y-3/2 粒子少量)

- 第45号ピット (A-A') (A区)**
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック少量)
 2.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-3/1 粒子及び FeO₂少量)
- 第47号ピット (A-A') (A区)**
 1.黒褐 2.5Y-3/1 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、FeO₂少量)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2
- 第48号ピット (A-A') (A区)**
 1.黒褐 2.5Y-3/1 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、FeO₂少量)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2
- 第49号ピット (A-A') (A区)**
 1.灰オリブ 5Y-5/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子含)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物有、黄灰 2.5Y-3/1 粒子含)
 3.灰オリブ 5Y-5/3 (一部2の粒子が入る、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
 4.暗オリブ 5Y-4/3 (一部灰オリブ 5Y-4/2 を含、少々砂質、FeO₂少量)
- 第50号ピット (A-A') (A区)**
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (ごく微量に FeO₂、及び黄灰 2.5Y-3/1 少量)
 2.オリブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック及び FeO₂微量)
 3.黄褐 2.5Y-5/3 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック及び FeO₂微量、少々砂質)
 4.黄褐 2.5Y-5/3 (黒褐 10YR-3/1 一部有、明黄褐 2.5Y-7/6 ブロック有)
 5.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黒褐 10YR-3/1 粒子含、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック少量)
 6.暗オリブ 2.5Y-3/3 (少々砂質)
 7.オリブ黒 5Y-3/2 (ごく微量に黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有、黒褐 10YR-3/1 粒子少量有)
 8.黒褐 2.5Y-3/2
- 第51号ピット (A-A') (A区)**
 1.オリブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
 2.黒褐 2.5Y-3/2 (にぶい黄褐 10YR-6/3 粒子ごく微量)
 3.暗オリブ 5Y-4/4 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、灰黄褐 10YR-4/2 ブロック少量)
 4.暗灰黄 2.5Y-4/2
- 第53号ピット (A-A') (A区)**
 1.黒褐 2.5Y-3/2 (炭化物少量、FeO₂微量)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部1の粒子が入る)
 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 少量、灰黄褐 10YR-4/2 ブロック有)
- 第54号ピット (A-A') (A区)**
 1.黒褐 2.5Y-3/2 (オリブ褐 2.5Y-4/3 含、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 2.黄褐 2.5Y-5/3 (黄灰 2.5Y-4/1、明褐 7.5YR-5/6 ブロック有)
 3.オリブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 4.暗オリブ 2.5Y-3/3 (暗灰黄 2.5Y-4/2 ブロック)
 5.黒褐 2.5Y-3/2 (小機少量含)



第71図 第25~54号ピット (A区)



第55号ピット (A-A') (A区)
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 2.オリブ黒 5Y-3/1 (FeO₂ごく微量有)
 3.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)

第56号ピット (A-A') (A区)
 1.オリブ黒 5Y-3/1 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 2.オリブ黒 5Y-3/1 (黒褐 2.5Y-3/1 粒子多量)
 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO₂少量、黒褐 2.5Y-3/1 粒子少量含)

第57号ピット (A-A') (A区)
 1.オリブ黒 5Y-3/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子多量)
 2.オリブ褐砂質 2.5Y-4/3 (黄灰 2.5Y-4/1)
 3.略オリブ褐砂質 2.5Y-3/3 (炭化物有)
 4.黒褐 2.5Y-3/1 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)

第58号ピット (A-A') (A区)
 1.耕作土
 2.暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック少々、FeO₂少量)
 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片少量含、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、FeO₂微量)
 4.黄褐 2.5Y-5/3 (少々砂質)
 5.オリブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO₂少量)
 6.オリブ黒 5Y-3/2(FeO₂ごく微量有)
 7.暗灰黄 2.5Y-4/2
 8.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 9.灰オリブ砂質 5Y-4/2
 10.黒褐砂質 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 11.黒褐 2.5Y-3/1 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)

第59号ピット (A-A') (A区)
 1.黒褐 2.5Y-3/1 (ごく微量に FeO₂、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 3.オリブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO₂少量)
 4.灰オリブ砂質 5Y-4/2
 5.黒褐砂質 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)

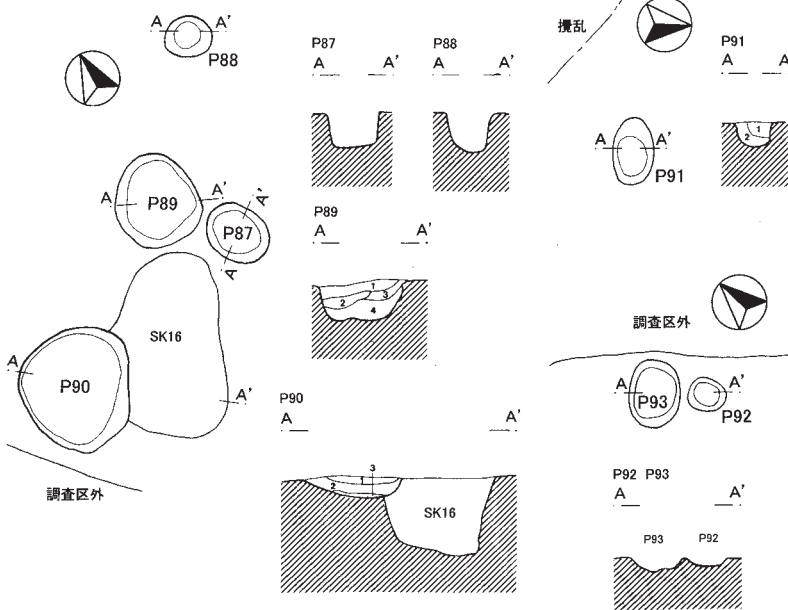
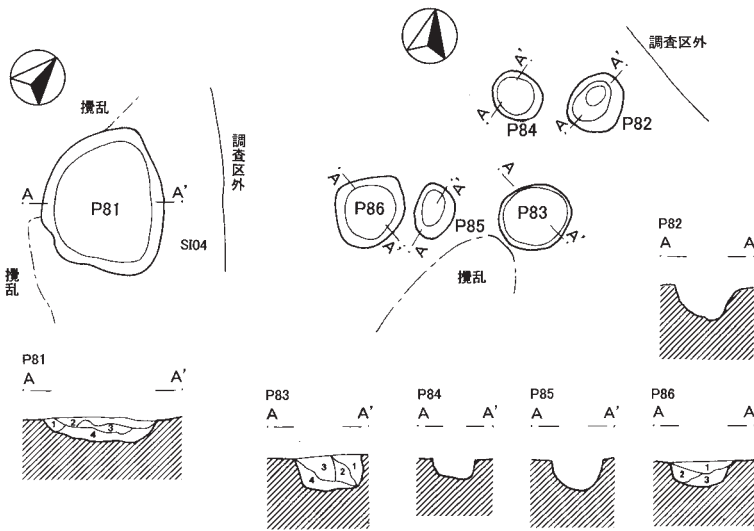
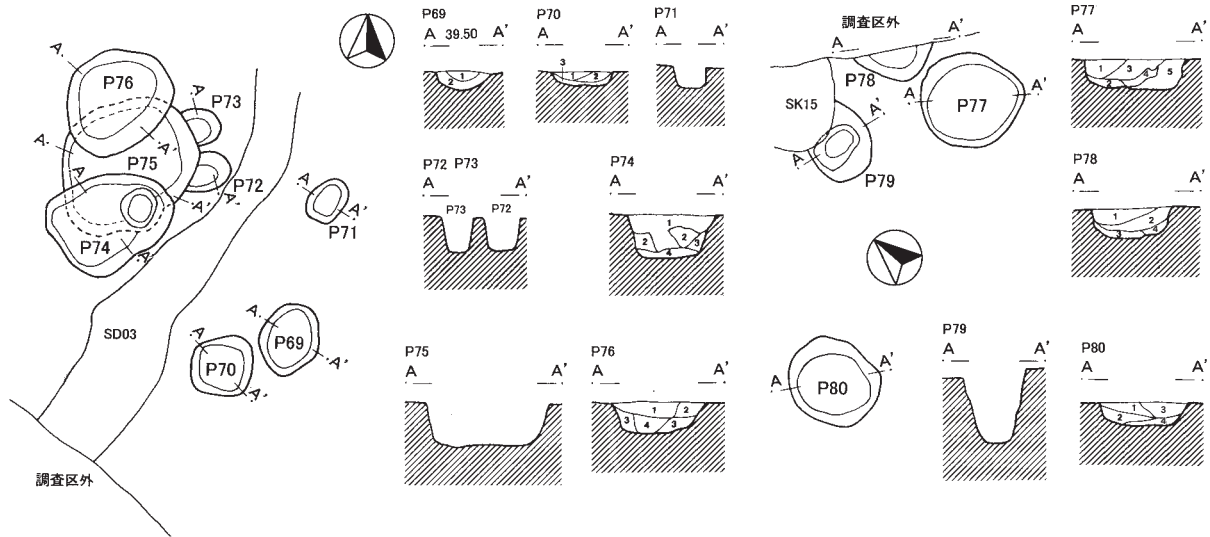
第61号ピット (A-A') (A区)
 1.オリブ黒 5Y-2/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 2.オリブ褐 2.5Y-4/3
 3.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黒褐 2.5Y-3/1 粒子多量)
 4.暗灰黄 2.5Y-5/2

第62号ピット (A-A') (A区)
 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 3.黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、少々しまり強)
 4.灰オリブ 6Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、少々しまり強)

第65号ピット (A-A') (A区)
 1.オリブ黒 5Y-3/2
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、少々砂質)
 3.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 4.暗灰黄 2.5Y-5/2

第68号ピット (A-A') (A区)
 1.オリブ黒 5Y-3/2
 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 粒子)
 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子少量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 4.暗灰黄 2.5Y-4/2 (に深い黄褐 10YR-4/3、黒褐 10YR-3/1 ブロック微量に有)
 5.オリブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)
 6.オリブ黒砂質 5Y-3/2 (少々小粒混入)

第72図 第55～68号ピット (A区)



第69号ピット (A-A') (B区)
 1. オリーブ黒 5Y-3/1
 2. オリーブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有)

第70号ピット (A-A') (B区)
 1. 灰オリーブ 5Y-4/2 (FeO₂多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 2. 灰オリーブ 5Y-4/2 (炭化物有)
 3. オリーブ黒 5Y-3/2 (炭化物有)

第74号ピット (A-A') (B区)
 1. 灰オリーブ 5Y-4/2 (炭化物、少々シルト質)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO₂微量)
 3. 暗灰黄シルト質 2.5Y-4/2
 4. オリーブ黒 7.5Y-3/2 (炭化物、微量に明赤褐 5Y-6/6 ブロック有)

第76号ピット (A-A') (B区)
 1. 灰オリーブ 5Y-4/2
 2. オリーブ黒 5Y-3/2
 3. 黒褐 2.5Y-3/2 (土器片含)
 4. 灰オリーブシルト質 5Y-4/2

第77号ピット (A-A') (B区)
 1. 灰オリーブ 5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片含)
 3. 黒褐 2.5Y-3/2 (土器片含)
 4. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまりかなり弱、灰オリーブ 5Y-4/2 少量)
 5. オリーブ黒 6Y-2/2 (土器片、少々砂質)

第78号ピット (A-A') (B区)
 1. オリーブ黒 5Y-3/1 (暗オリーブ褐 2.5Y-3/3 一部含)
 2. 黒褐 2.5Y-3/2 (暗オリーブ褐 2.5Y-3/3 一部含)
 3. オリーブ黒 5Y-3/2 (暗オリーブ褐 2.5Y-3/3 一部含)
 4. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黒褐 2.5Y-3/2 少量混入)

第80号ピット (A-A') (B区)
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO₂多量)
 2. オリーブ黒 5Y-3/2 (しまり若干弱)
 3. 黒褐 2.5Y-3/2 (炭化物、土器片)
 4. 黒褐 10YR-3/1

第81号ピット (A-A') (B区)
 1. 黒褐 7.5YR-3/2 (炭化物)
 2. 黒褐 10YR-2/1 (にぶい黄褐 10YR-4/3 粒子有)
 3. 黒褐 10YR-3/1 (一部しまり弱、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO₂少量)
 4. 黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、暗灰黄 2.5Y-4/2 粒子含)

第83号ピット (A-A') (B区)
 1. オリーブ黒 5Y-3/2 (FeO₂多量、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 2. オリーブ黒 5Y-3/2
 3. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO₂多量、土器片)
 4. 暗灰黄砂質 2.5Y-5/2 (FeO₂、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)

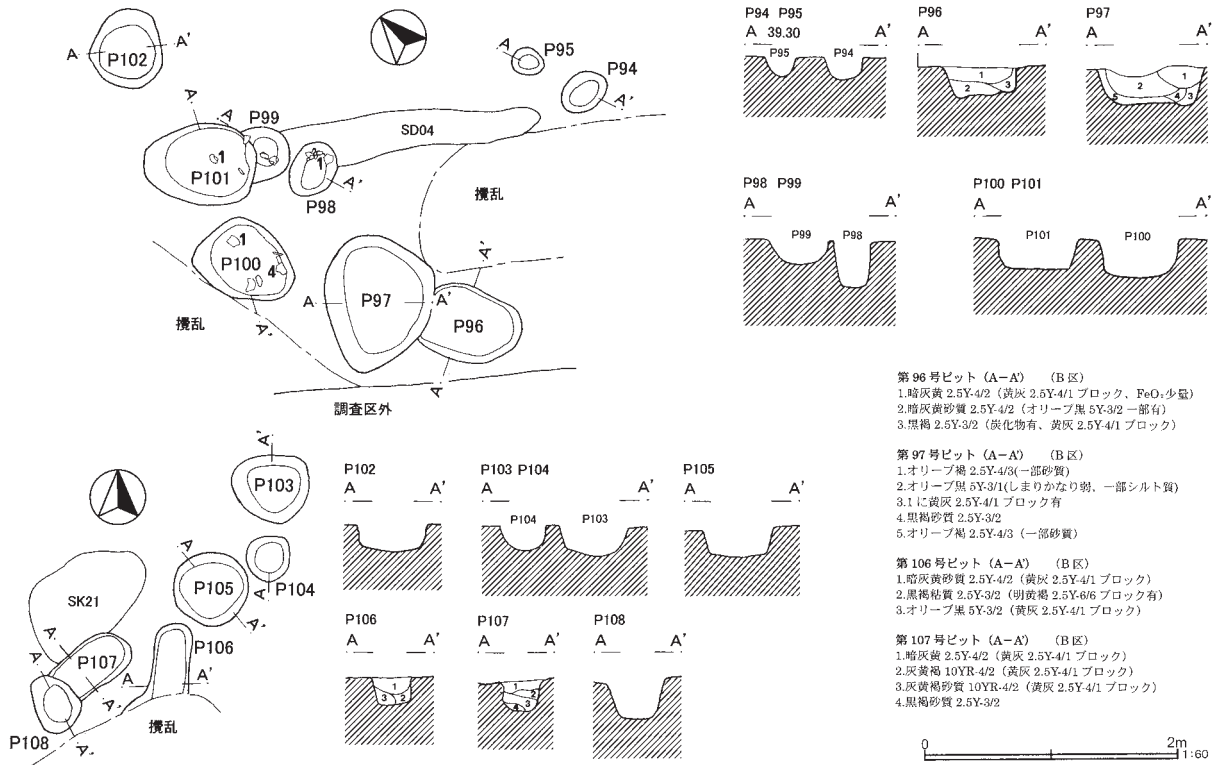
第86号ピット (A-A') (B区)
 1. 灰黄褐 10YR-4/2 (かなり微量に FeO₂)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (小礫少量)
 3. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、土器片、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)

第89号ピット (A-A') (B区)
 1. 灰黄褐 10YR-4/2 (小礫混入)
 2. 暗オリーブ褐 2.5Y-3/3
 3. 黒 2.5Y-3/2 (浅黄 2.5Y-7/3 ブロック有)
 4. 黒砂質 2.5Y-3/2 (炭化物有)

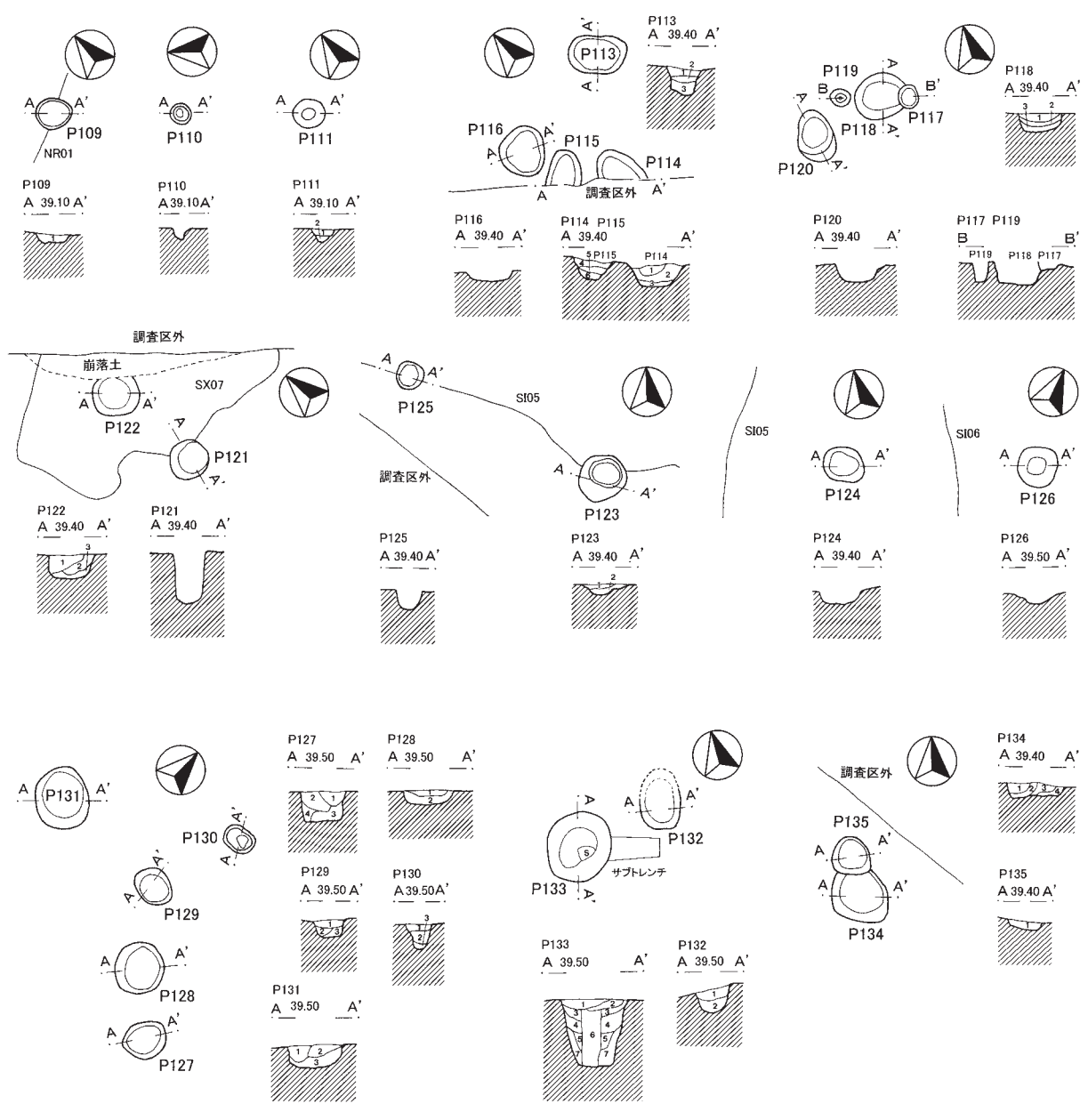
第90号ピット (A-A') (B区)
 1. 黒褐 2.5Y-3/2 (少々黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 2. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 3. 暗オリーブ粘結質 2.5Y-3/3 (炭化物有)

第91号ピット (A-A') (B区)
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 2. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2

第73図 第69~93号ピット (B区)



第74図 第94～108号ピット (B区)

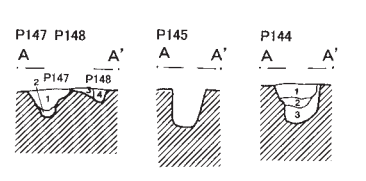
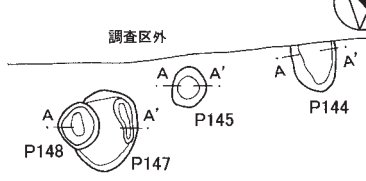
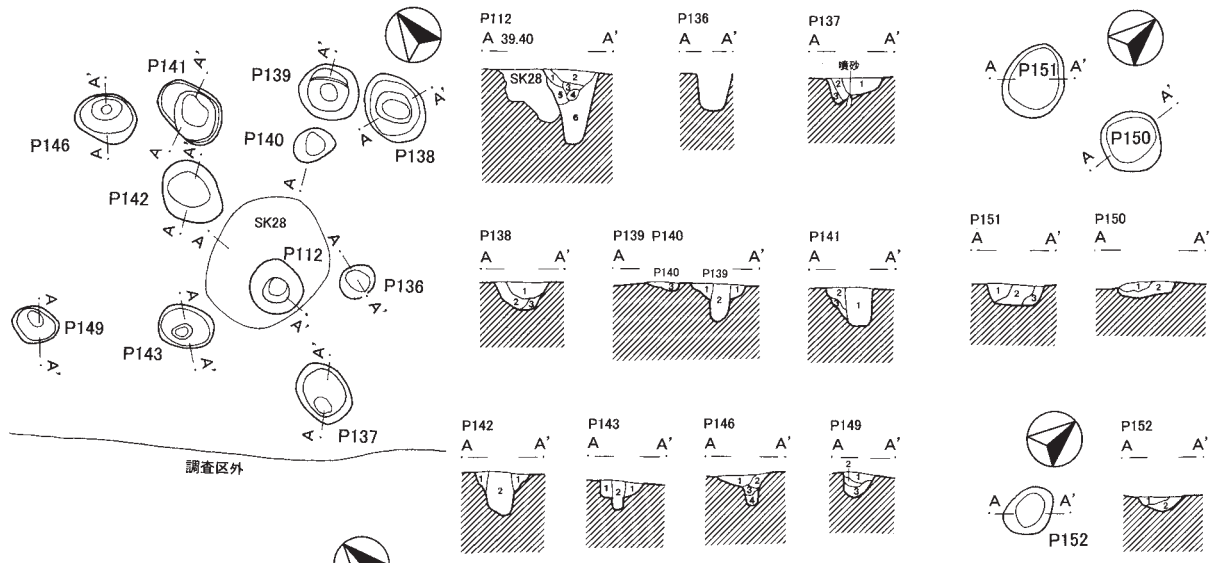


- 第109号ピット (A-A') (C区)**
 1. 灰オリーブ 5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック、炭化物有)
- 第111号ピット (A-A') (C区)**
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 微量に含)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物若干)
- 第113号ピット (A-A') (C区)**
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質)
 3. 黒褐 2.5Y-3/2 (少々オリーブ褐 2.5Y-4/4 粒子有)
- 第114号・第115号ピット (A-A') (C区)**
 1. オリーブ褐 2.5Y-4/3
 2. 黒褐 2.5Y-3/2 (しまり強)
 3. 黄褐 2.5Y-5/3 (FeO₂少量混入)
 4. オリーブ黒 5Y-3/1 (一部にぶい黄 2.5Y-6/3 有)
 5. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部にぶい黄 2.5Y-6/3 有)
 6. オリーブ黒 5Y-3/2 (若干粘質)
- 第118号ピット (A-A') (C区)**
 1. 灰オリーブ 5Y-4/2 (FeO₂少量)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 3. 黒褐 2.5Y-3/1
- 第122号ピット (A-A') (C区)**
 1. オリーブ黒 5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-3/1 粒子多量)
 2. オリーブ黒 7.5Y-2/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 3. 暗オリーブ褐 2.5Y-3/3 (2の粒子少量含)
- 第123号ピット (A-A') (C区)**
 1. 黒褐 2.5Y-3/2
 2. 黒褐 2.5Y-3/2 (炭化物、土器片)

- 第127号ピット (A-A') (C区)**
 1. 灰オリーブ 5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量)
 2. 黒褐 2.5Y-3/1 (土器片、炭化物、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量含)
 3. オリーブ黒 5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック、土器片有)
 4. 暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (一部黒褐 2.5Y-3/2 含)
- 第128号ピット (A-A') (C区)**
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまり強)
 2. にぶい黄 2.5Y-6/3 (1のブロック多量)
- 第129号ピット (A-A') (C区)**
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2
 2. 黒褐 2.5Y-3/2 (少々シルト質)
 3. 黒褐 2.5Y-3/2 (少々シルト質、一部暗灰黄 2.5Y-4/2 ブロック有)
- 第130号ピット (A-A') (C区)**
 1. 黄褐 2.5Y-5/3 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 2. 黒褐 2.5Y-3/2 (一部に1のブロック有)
 3. 黒褐砂質 2.5Y-3/2
- 第131号ピット (A-A') (C区)**
 1. 黒褐 2.5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量有)
 2. にぶい黄 2.5Y-6/3 (黒褐 2.5Y-3/1 粒子多量)
 3. オリーブ黒 5Y-3/2 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック多量)
- 第132号ピット (A-A') (C区)**
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2
 2. 黒褐 2.5Y-3/2 (土器片、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)

- 第133号ピット (A-A') (C区)**
 1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片少量)
 3. 灰黄褐 10YR-4/2 (土器片、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有)
 4. オリーブ褐 2.5Y-4/3 (暗灰黄 2.5Y-4/2 少量、炭化物)
 5. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (炭化物)
 6. 灰オリーブ 5Y-4/2 (炭化物、土器片少量含)
 7. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (一部粘質も有、黒褐 2.5Y-3/1 ブロック混入)
- 第134号ピット (A-A') (C区)**
 1. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有)
 2. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黒褐 2.5Y-3/1 粒子少量)
 3. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 4. 暗灰黄 2.5Y-5/2 (しまり強、黒褐 2.5Y-3/1 粒干、FeO₂微量に有)
- 第135号ピット (A-A') (C区)**
 1. 黒褐 2.5Y-3/1 (黒褐 2.5Y-5/3 ブロック多量)

第75図 第109~111・113~135号ピット (C区)



- 第112号ピット (A-A') (C区)**
- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片有)
 - 2.オリブ黒 5Y-3/2 (土器片有)
 - 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (暗灰黄 2.5Y-4/2 粒子含)
 - 4.灰オリブ砂質 5Y-4/2
 - 5.暗灰黄 2.5Y-4/2 (灰オリブ 5Y-4/2 砂質粒子多量)
 - 6.黒褐 2.5Y-3/1 (少々砂質、土器片、炭化物有)
- 第137号ピット (A-A') (C区)**
- 1.オリブ黒 5Y-3/1 (若干砂質、黄褐 2.5Y-5/3 ブロック少量)
 - 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (灰黄 2.5Y-6/2、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 - 3.暗灰黄 2.5Y-5/2 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロック少量、土器片有)

- 第138号ピット (A-A') (C区)**
- 1.オリブ黒 5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量)
 - 2.黒褐 2.5Y-3/1 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量、土器片有)
 - 3.黒褐 2.5Y-3/1 (1が少量有)

- 第139号・第140号ピット (A-A') (C区)**
- 1.黄灰 2.5Y-4/1 (黒褐 2.5Y-3/2 粒子少量)
 - 2.暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、黄褐 2.5Y-5/2 粒子多量)
 - 3.オリブ黒 5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック多量)

- 第141号ピット (A-A') (C区)**
- 1.黒褐 2.5Y-3/2 (暗灰黄 2.5Y-5/2 ブロック多量、黄褐 10YR-5/6 ブロック)
 - 2.にぶい黄 2.5Y-6/3 (一部1の粒子含)
 - 3.にぶい黄粘質 2.5Y-6/3

- 第142号ピット (A-A') (C区)**
- 1.オリブ黒 7.5Y-3/2 (灰 7.5Y-4/1、褐 7.5Y-4/3 ブロック有)
 - 2.オリブ黒 5Y-3/2 (灰オリブ 5Y-5/2 ブロック多量、一部シルト質)

- 第143号ピット (A-A') (C区)**
- 1.灰オリブ 5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、土器片)
 - 2.黒褐 2.5Y-3/1 (土器片、黄褐 2.5Y-5/3 ブロック少量有)

- 第144号ピット (A-A') (C区)**
- 1.オリブ黒 5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3 ブロック多量)
 - 2.黄褐 2.5Y-5/3 (一部黒褐砂質 2.5Y-3/1 少量有)
 - 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々砂質、ごく微量に黒褐 2.5Y-3/1 ブロック有)

- 第146号ピット (A-A') (C区)**
- 1.黄褐 2.5Y-5/3 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量)
 - 2.灰黄褐 10YR-4/2 (若干砂質)
 - 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 - 4.黒褐 2.5Y-3/1 (若干粘質)

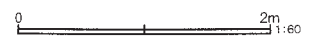
- 第147号・第148号ピット (A-A') (C区)**
- 1.オリブ黒 10YR-3/1 (炭化物、土器片、明黄褐 10YR-6/6 ブロック有)
 - 2.黒褐粘質 10YR-3/1
 - 3.暗灰黄 2.5Y-5/2 (黒褐 2.5Y-3/1 ブロックかなり多量に有)
 - 4.オリブ黒 5Y-3/2 (少々砂質)

- 第149号ピット (A-A') (C区)**
- 1.灰オリブ 5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有)
 - 2.黒褐 2.5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック微量)
 - 3.黒褐 2.5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロックかなり多量)

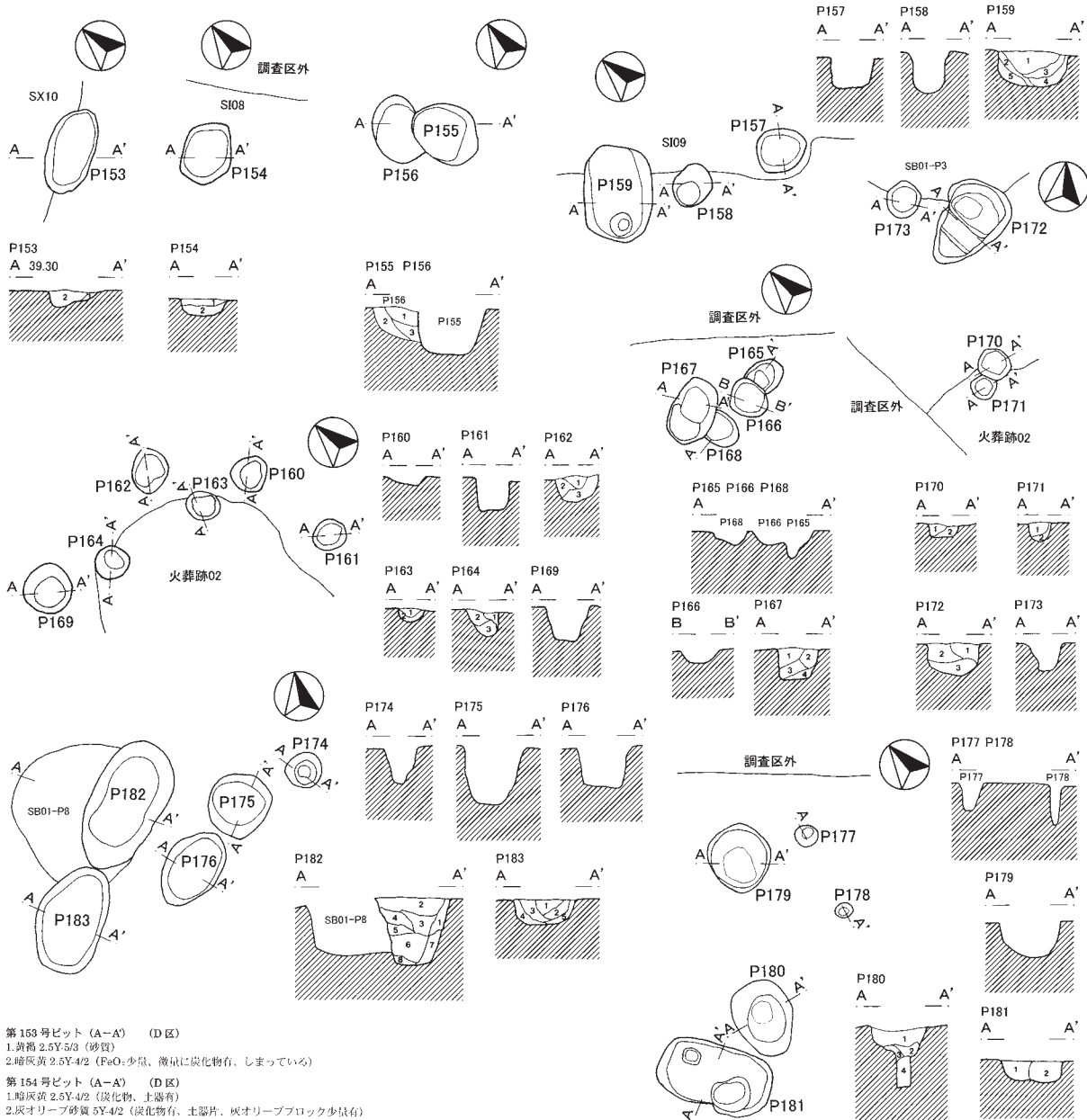
- 第150号ピット (A-A') (C区)**
- 1.灰オリブ 5Y-5/2 (土器片有)
 - 2.灰オリブ 5Y-4/2 (FeO:微量に含)

- 第151号ピット (A-A') (C区)**
- 1.オリブ黒 5Y-3/1 (土器片、にぶい黄 2.5Y-6/3 粒子少量)
 - 2.にぶい黄 2.5Y-6/3 (明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック及び1の粒子多量)
 - 3.オリブ黒 5Y-3/2 (ごく微量ににぶい黄 2.5Y-6/3 粒子有)

- 第152号ピット (A-A') (C区)**
- 1.灰オリブ 5Y-4/2 (FeO:微量、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量、炭化物)
 - 2.灰オリブ 5Y-4/2 (しまり弱、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック、炭化物)



第76図 第112・136～152号ピット (C区)



第153号ピット (A-A') (D区)

1. 黄褐 2.5Y-5/3 (砂質)
2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (FeO₂少量、微量に炭化物有、しまっている)

第154号ピット (A-A') (D区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、土器有)
2. 灰オリブ砂質 5Y-4/2 (炭化物有、土器片、灰オリブブロック少量有)

第156号ピット (A-A') (D区)

- 全体しまり弱
1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片、黒褐 2.5Y-3/1 粒子有)
 2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-4/1 粒子、黒褐 2.5Y-3/1 粒子、明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック有)
 3. 黒褐 2.5Y-3/1 (一部に灰オリブ 5Y-5/2 ブロック有)

第159号ピット (A-A') (D区)

1. 黒褐 2.5Y-3/2 (少々ゆるい、黄褐 2.5Y-5/4 粒子少量)
2. 灰オリブ砂質 5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/4 粒子ごく微量有)
3. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/4 ブロック有)
4. 黒褐 2.5Y-3/1 (少々ゆるい、土器片)
5. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2

第162号ピット (A-A') (D区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々黒褐 2.5Y-3/2 ブロック有)
2. 黄褐 2.5Y-5/3 (1が少量に有)
3. 黄褐 2.5Y-5/3 (1が少々有)

第163号ピット (A-A') (D区)

1. オリブ黒砂質 5Y-3/1
2. 灰オリブ 5Y-4/2 (オリブ黄 5Y-6/3 粒少量)

第164号ピット (A-A') (D区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (ごく微量にふい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
2. 黒褐 2.5Y-3/2 (しまり弱、にふい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
3. オリブ黒 5Y-3/2 (少々にふい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)

第167号ピット (A-A') (D区)

1. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまり弱、にふい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
2. オリブ黒 5Y-3/1 (一部砂質)
3. 灰オリブ 5Y-4/2 (1にふい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
4. オリブ黒砂質 5Y-3/2

第170号ピット (A-A') (D区)

1. 灰オリブ砂質 5Y-4/2
2. 灰オリブ砂質 7.5Y-4/2

第171号ピット (A-A') (D区)

1. 黒砂質 2.5Y-3/1
2. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2

第172号ピット (A-A') (D区)

1. オリブ褐 2.5Y-4/3 (一部暗灰黄 2.5Y-4/2 粒子有)
2. 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物有、少々砂質)
3. オリブ黒砂質 5Y-3/2

第180号ピット (A-A') (D区)

1. オリブ黒 5Y-3/1 (明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック有)
2. オリブ黒 5Y-3/1 (炭化物少量、明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック有)
3. オリブ黒砂質 5Y-3/1 (明黄褐 2.5Y-6/6 ブロック有)
4. 黒褐 2.5Y-3/1 (少々しまり弱)

第181号ピット (A-A') (D区)

1. オリブ黒 5Y-3/1 (黄褐 2.5Y-5/3、炭化物有、若干しまり弱)
2. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (炭化物、黄褐 2.5Y-5/3 砂質ブロック)

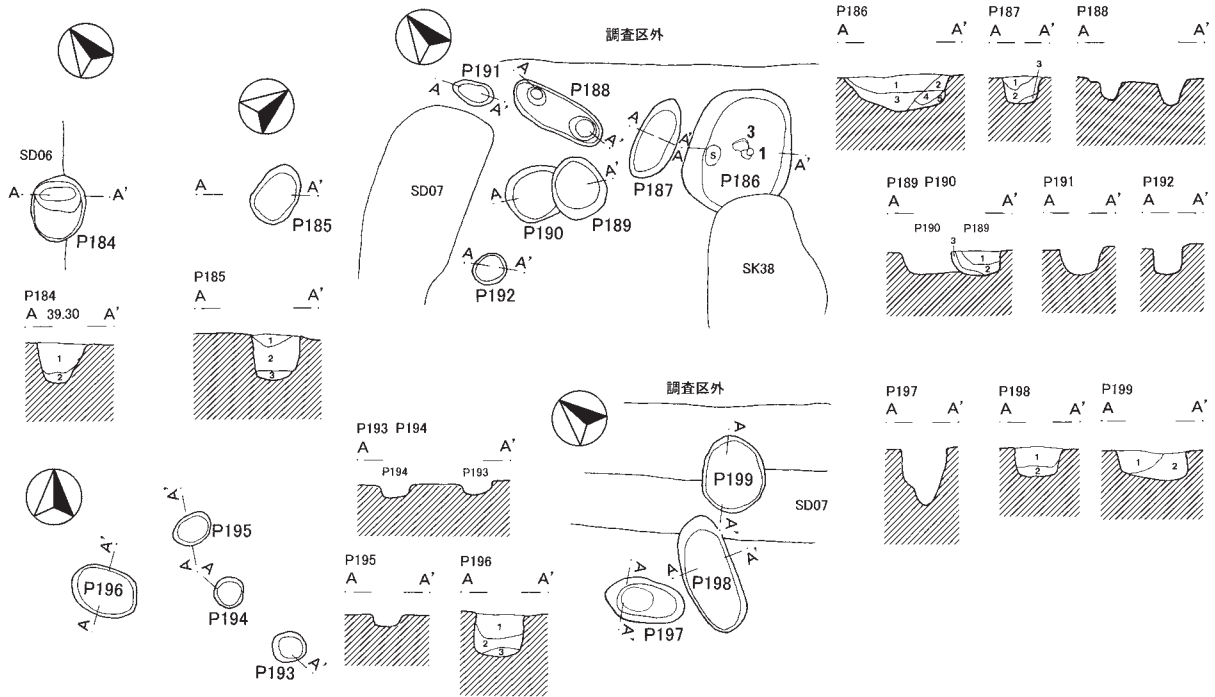
第182号ピット (A-A') (D区)

1. オリブ黒 5Y-3/1 (少々粘質、ごく微量に黄褐 2.5Y-5/3 ブロック)
2. オリブ黒砂質 5Y-3/2 (灰オリブ 5Y-5/3 砂質ブロック少量)
3. オリブ黒砂質 2.5Y-4/2 (にふい黄 2.5Y-6/3 ブロック、粒子多量、炭化物、土器片有)
4. 黄褐 2.5Y-5/3 (若干砂質、暗灰黄 2.5Y-5/2 粒子多量)
5. 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 砂質少量)
6. 黄褐 2.5Y-5/3 (若干粘質)
7. 暗灰黄 2.5Y-5/2
8. 暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (明褐 7.5Y-5/6、にふい黄 10YR-4/3 ブロック多量)

第183号ピット (A-A') (D区)

1. オリブ黒 5Y-3/2
2. オリブ黒 5Y-3/2 (一部黒褐 2.5Y-3/1 砂質ブロック)
3. オリブ黒砂質 5Y-3/2 (炭化物、土器片)
4. オリブ黒 5Y-3/2 (ソフトローム土粒子微量に有)
5. オリブ黒 5Y-3/2 (ソフトローム土多量)

第77図 第153~183号ピット (D区)



第184号ピット (A-A') (D区)

- 1.灰オリーブ 5Y-4/2 (しまり強、土器片多量、にぶい黄 2.5Y-6/4 砂質ブロック有)
- 2.にぶい黄砂質 2.5Y-6/4

第185号ピット (A-A') (D区)

- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック少量、FeO₂、炭化物微量)
- 2.にぶい黄褐 10YR-4/3 (にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック有、少々ゆるい、炭化物有)
- 3.暗灰黄砂質 2.5Y-4/2

第186号ピット (A-A') (D区)

- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片、にぶい黄 2.5Y-6/3 ブロック少量有)
- 2.オリーブ黒砂質 5Y-3/2
- 3.オリーブ黒 5Y-3/2 (土器片)
- 4.黒褐 2.5Y-3/2
- 5.暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄褐 2.5Y-5/3 粒子多量に含)

第187号ピット (A-A') (D区)

- 1.黒褐 2.5Y-3/1
- 2.暗灰黄 2.5Y-4/2
- 3.黒褐砂質 2.5Y-3/1

第189号ピット (A-A') (D区)

- 1.黒褐 2.5Y-3/2 (しまり強)
- 2.暗オリーブ褐 2.5Y-3/3 (しまり少々弱)
- 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (一部暗灰黄 2.5Y-5/2 粒子有)

第196号ピット (A-A') (D区)

- 1.黄褐 2.5Y-5/3 (少々砂質)
- 2.黒褐 2.5Y-3/1 (1が少量含)
- 3.暗灰黄 2.5Y-4/2 (少々しまっている)

第198号ピット (A-A') (D区)

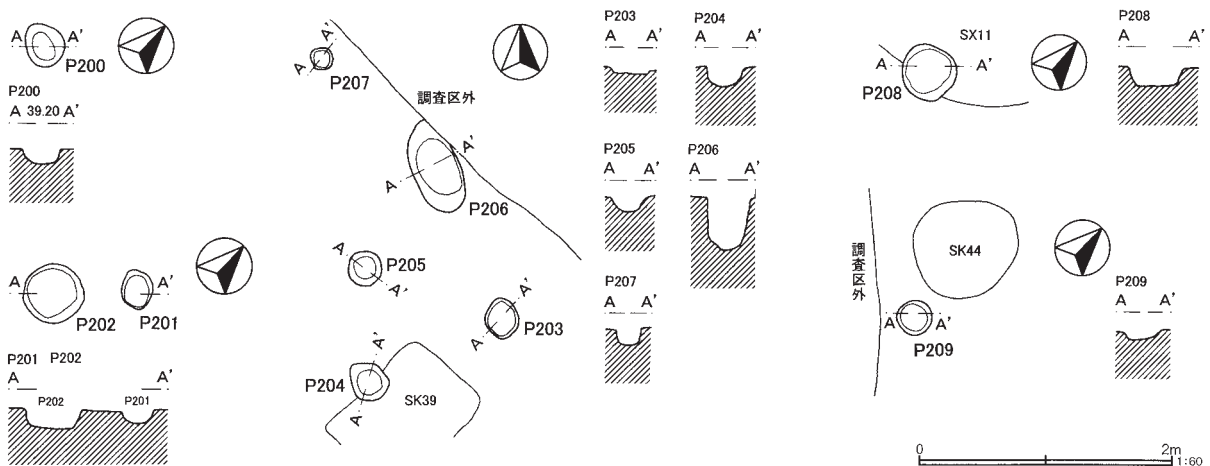
- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2
- 2.黒褐粘質 2.5Y-3/1

第199号ピット (A-A') (D区)

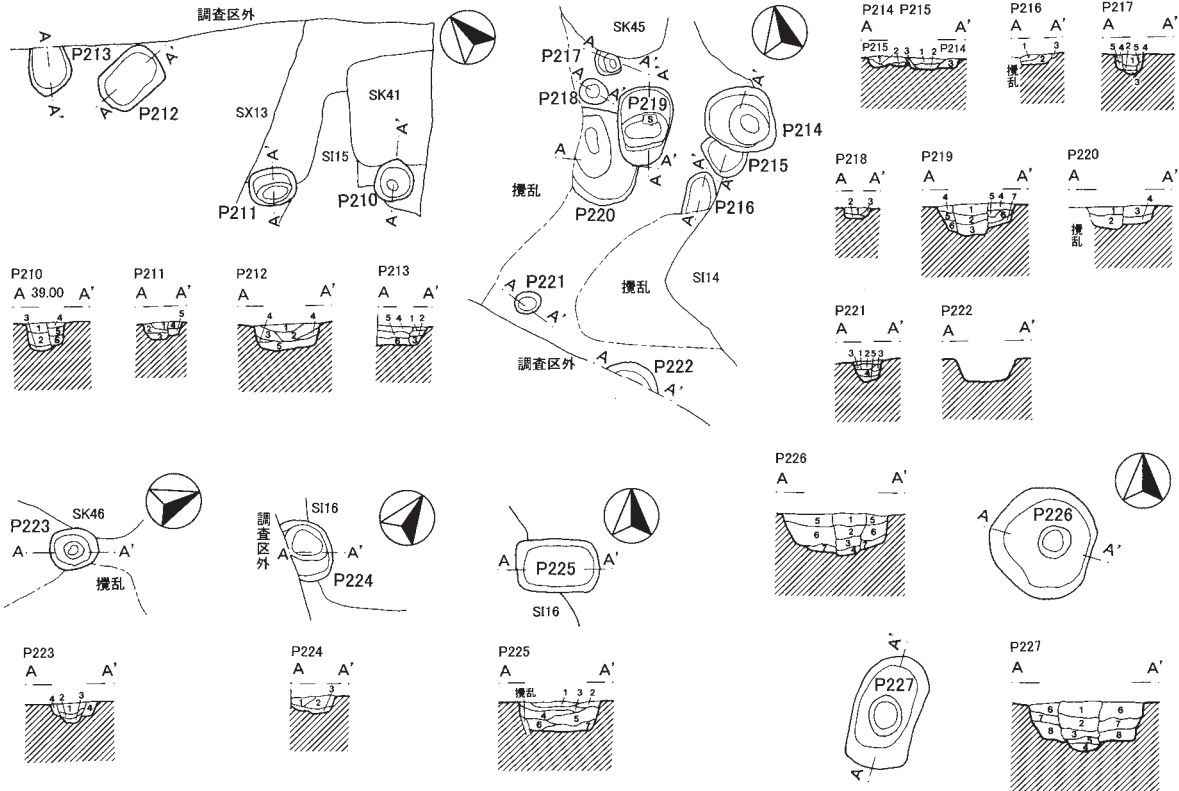
- 1.暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまり強)
- 2.黒 2.5Y-2/1 (ごく少量黄褐 2.5Y-5/3 ブロック有)

0 2m 1:60

第78図 第184～199号ピット (D区)



第79図 第200～209号ピット (E区)



第210号ピット (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
2. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
3. 灰粘質 5Y-4/1 (若干シルト質)
4. 灰黄粘質 2.5Y-6/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
5. 黒粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
6. 暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)

第211号ピット (A-A') (F区)

1. 褐灰粘質 10YR-6/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、火山灰粒わずか含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、火山灰粒わずか含)
3. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
4. 黄粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子若干、炭化物粒若干含)
5. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)

第212号ピット (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、焼土粒・炭化物粒若干含)
2. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、炭化物粒少量含)
3. 灰粘質 5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、炭化物粒若干含)
4. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、炭化物粒若干含)
5. 灰粘質 5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、炭化物粒若干含)

第213号ピット (A-A') (F区)

1. 灰粘質 5Y-5/1 (FeO:若干含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (FeO:わずか、火山灰粒わずか含)
3. 灰黄粘質 10YR-4/2 (FeO:わずか含)
4. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子わずか含)
5. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか含)
6. 黒粘質 10YR-3/2 (にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 ブロック小・粒子若干含)

第214号ピット・第215号ピット (A-A') (F区)

- 第214号ピット
1. 灰粘質 2.5Y-6/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、褐灰粘質 10YR-4/1 粒子わずか、焼土粒わずか含)
 2. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、灰白粘質 5Y-7/1 粒子わずか含)
 3. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)

第215号ピット

1. 黄粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒わずか含)
2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか含)

第216号ピット (A-A') (F区)

1. 褐灰粘質 10YR-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量含)
2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
3. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)

第217号ピット (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
2. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3
3. 黒粘質 10YR-3/2
4. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子多量含)
5. 暗褐粘質 10YR-3/3 (黒粘質 10YR-3/2 粒子若干含)

第218号ピット (A-A') (F区)

1. 褐灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子非常に多く含)
3. 黒粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量含)

第219号ピット (A-A') (F区)

1. 黄粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、焼土粒わずか含)
2. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか含)
3. 黒粘質 2.5Y-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
4. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
5. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、灰白粘質 5Y-7/1 粒子わずか含)
6. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子若干含)
7. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、焼土粒わずか含)

第220号ピット (A-A') (F区)

1. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子少量含)
3. 黄粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子多量含)
4. 黒粘質 2.5Y-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干、焼土粒わずか含)

第221号ピット (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子若干含)
2. 黄粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずか含)
3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずか、炭化物粒わずか含)
4. 黒粘質 2.5Y-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
5. 黒粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずか含)

第223号ピット (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
2. 黄粘質 2.5Y-6/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずか含)
3. 灰粘質 10YR-4/1 (黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
4. 灰粘質 6Y-6/1 (黒粘質 10YR-3/1 粒子若干、Mn 粒わずか含)

第224号ピット (A-A') (F区)

1. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか含)
2. 黒粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
3. 黒粘質 10YR-2/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか含)

第225号ピット (A-A') (F区)

1. 黄粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずか、火山灰粒わずか、土器含)
2. 灰黄粘質 2.5Y-6/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
3. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (灰黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子少量含)
4. 灰黄粘質 10YR-4/2 (灰黄粘質 10YR-5/2 粒子少量含)
5. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (灰黄粘質 10YR-5/2 ブロック・粒子多量含)
6. 黒粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずか含)
7. 暗褐粘質 10YR-3/3 (灰黄粘質 10YR-5/2 ブロック小・粒子若干含)

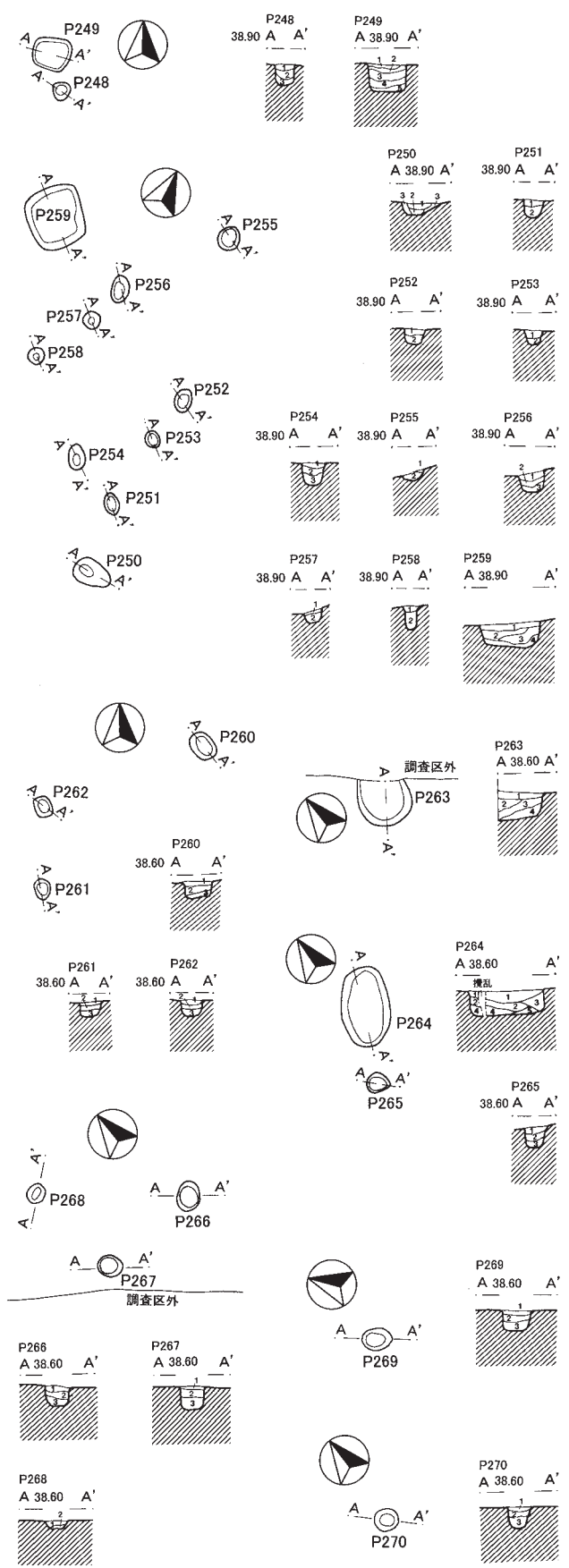
第226号ピット (A-A') (F区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
2. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、Mn 粒わずか含)
3. 黒粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
4. 黒粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
5. 黄粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量、火山灰粒・焼土粒わずか含)
6. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (黄粘質 10YR-4/1 ブロック・粒子少量、土器含)
7. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)

第227号ピット (A-A') (F区)

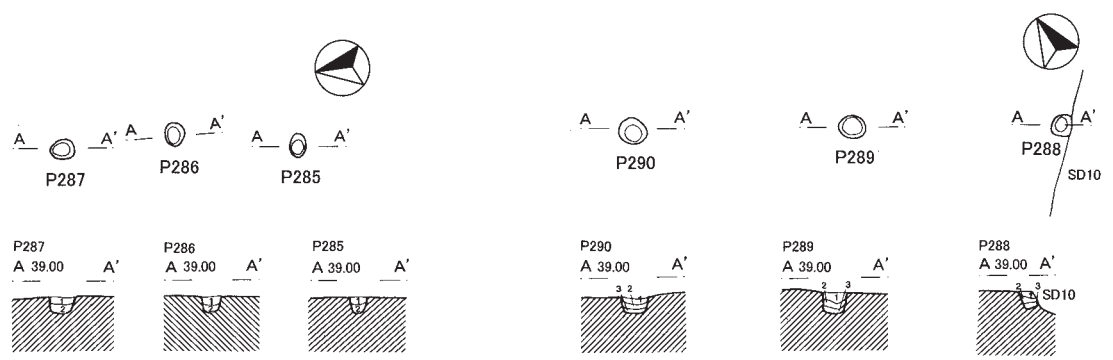
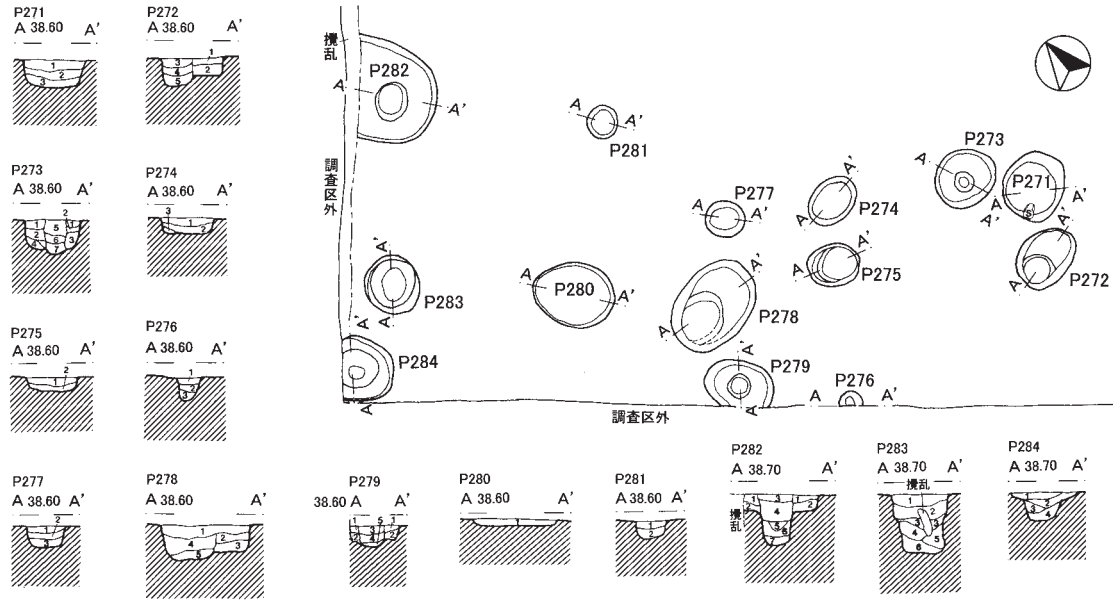
1. 灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
2. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
3. 灰粘質 7.5Y-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
4. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
5. 褐灰粘質 7.5Y-4/3
6. 黄粘質 2.5Y-5/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
7. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
8. 黒粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)

第80図 第210~227号ピット (F区)



- 第248号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子若干含)
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
 3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 第249号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、火山灰粘粒若干含)
 2. 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、灰白粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)
 3. 暗灰黄粘質 2.5Y-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな、Mn 粒わずかな)
 4. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子若干含)
 5. 黒褐粘質 10YR-3/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子若干含)
- 第250号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、火山灰粘粒若干含)
 2. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
 3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
- 第251号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
 2. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子若干含)
- 第252号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 第253号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1
- 第254号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、火山灰粘粒わずかな)
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子少量含)
 3. 黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
- 第255号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
- 第256号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2
 3. 褐灰粘質 10YR-4/1
- 第257号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含) = P27 の第1層
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 第258号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子少量含)
- 第259号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量、火山灰粘粒わずかな)
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、火山灰粘粒わずかな)
 3. 暗灰黄粘質 2.5Y-4/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)
 4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)
- 第260号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、火山灰粘粒・炭化物粒わずかな)
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
 3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
- 第261号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2
 3. 褐灰粘質 10YR-4/1
- 第262号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2
 3. 褐灰粘質 10YR-4/1
- 第263号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック多量、火山灰粘粒わずかな)
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック少量、火山灰粘粒わずかな)
 3. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック少量、火山灰粘粒わずかな、Mn 粒わずかな)
 4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子若干、火山灰粘粒わずかな)
- 第264号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含、火山灰粘粒若干、炭化物粒わずかな)
 2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
 3. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (灰白粘質 5Y-7/1 粒子若干、焼土粒・火山灰粘粒わずかな)
 4. 黒褐粘質 10YR-3/2 (火山灰粘粒わずかな)
 5. 黒褐粘質 10YR-3/1 (Mn 粒わずかな)
- 第265号ビット (A-A) (F区)
1. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
 2. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (黒褐粘質 10YR-3/2 粒子若干含)
 3. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (黒褐粘質 10YR-3/2 粒子若干含)
- 第266号ビット (A-A) (F区)
1. 褐灰粘質 10YR-4/1
 2. 黒褐粘質 10YR-3/1 (褐灰粘質 10YR-4/1 粒子わずかな)
 3. 黒粘質 10YR-2/1 (褐灰粘質 10YR-4/1 粒子若干含)
- 第267号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
 2. 黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
 3. 黒褐粘質 10YR-3/1
- 第268号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (黒褐粘質 10YR-3/2 ブロック少量含)
 2. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (黒褐粘質 10YR-3/2 粒子わずかな)
- 第269号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 ブロック小わずかな)
 3. 黒褐粘質 10YR-3/1 (褐灰粘質 10YR-4/1 粒子わずかな)
- 第270号ビット (A-A) (F区)
1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
 2. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
 3. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (黒褐粘質 10YR-3/2 粒子若干含)

第82図 第248～270号ビット (F区)



第 271 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2
3. 黒粘質 10YR-3/2 (黒粘質 10YR-3/2 粒子若干含)

第 272 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2
3. 褐粘質 7.5YR-4/1
4. 黒粘質 10YR-3/2
5. 黒粘質 7.5YR-3/1

第 273 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子若干含)
3. 暗褐粘質 10YR-3/3 (黒粘質 10YR-3/2 粒子若干含)
4. 黒粘質 10YR-3/2 (灰黄褐粘質 10YR-4/2 ブロック少量含)
5. 褐粘質 7.5YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
6. 黒粘質 10YR-3/2 (灰粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)
7. 黒粘質 7.5YR-3/1 (灰黄褐粘質 10YR-4/2 粒子若干含)

第 274 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2
2. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3
3. 黒粘質 10YR-3/2 (にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 粒子わずかな)

第 275 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (黒粘質 10YR-3/2 ブロック多量、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
2. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (黒粘質 10YR-3/2 粒子わずかな、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)

第 276 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (灰黄褐粘質 10YR-4/2 ブロックわずかな、浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
2. 黒粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
3. 黒粘質 10YR-2/1

第 277 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (黒粘質 10YR-3/2 ブロック多量含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (黒粘質 10YR-3/2 ブロック少量含)
3. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (黒粘質 10YR-3/2 粒子若干含)

第 278 号ピット (A-A') (F 区)

1. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、黒粘質 10YR-3/2 ブロック少量含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)
3. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (黒粘質 10YR-3/2 ブロック少量含)
4. 暗褐粘質 10YR-3/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
5. 黒粘質 10YR-3/1 (灰粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)

第 279 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2
2. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3
3. 黒粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
4. 灰褐粘質 7.5YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子わずかな)
5. 黒粘質 10YR-3/1

第 280 号ピット (A-A') (F 区)

1. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)

第 281 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (黒粘質 10YR-3/2 粒子少量含)
2. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (黒粘質 10YR-3/2 粒子若干含)

第 282 号ピット (A-A') (F 区)

1. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量、FeO₂多量含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干、炭化物粘わずかな)
3. 灰黄褐粘質 10YR-6/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子多量、FeO₂少量含)
4. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量含)
5. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
6. 黒粘質 10YR-3/2 (灰粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)
7. 黒粘質 10YR-3/1 (灰粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)

第 283 号ピット (A-A') (F 区)

1. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子少量含)
2. にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 (灰粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)
3. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (黒粘質 10YR-3/2 ブロック多量含)
4. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (黒粘質 10YR-3/2 粒子少量含)
5. 灰黄粘質 7.5YR-4/2 (Mn 粒わずかな)
6. 黒粘質 10YR-3/1 (灰粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)

第 284 号ピット (A-A') (F 区)

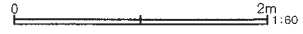
1. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子少量含)
2. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
3. にぶい黄褐粘質 10YR-6/3 (灰粘質 5Y-7/1 粒子わずかな)
4. 灰褐粘質 7.5YR-4/2 (Mn 粒わずかな)

第 285・286・287 号ピット (B-B') (F 区)

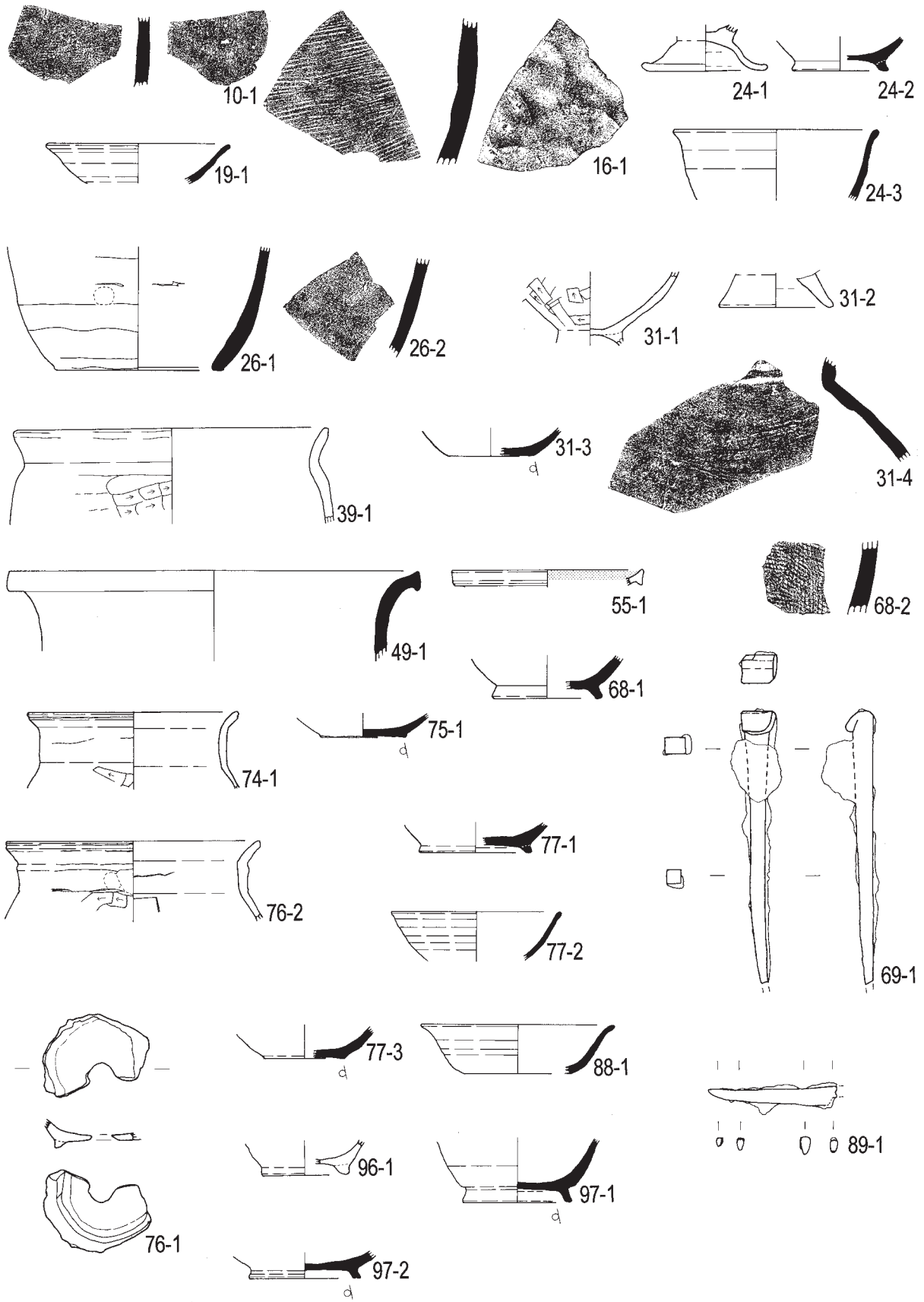
1. 灰黄褐粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子多量含)
2. 褐粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)

第 288・289・290 号ピット (A-A') (F 区)

1. 灰黄褐粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含)
2. にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子わずかな)
3. 褐粘質 10YR-4/1 (にぶい黄褐粘質 10YR-5/3 粒子少量含)



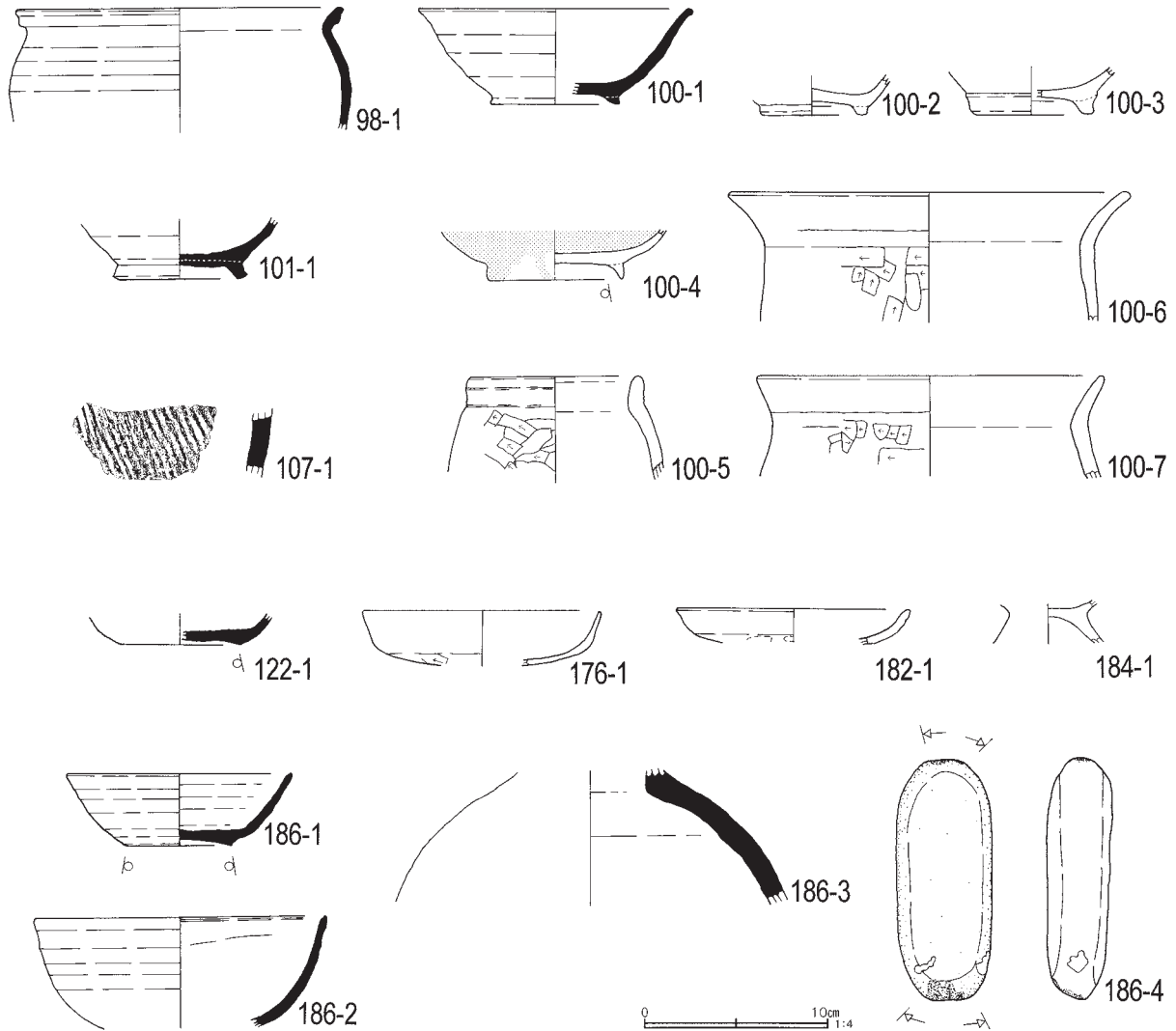
第 8 3 図 第 271~290 号ピット (F 区)



69-1は1/2スケール



第84図 ピット出土遺物 (A・B区)



第 8 5 図 ピット出土遺物 (B・C・D区)

第 2 3 表 ピット出土遺物観察表

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
10-1	P 10	須恵器 甕	-	-	-	ABDFGHIN	灰10Y-5/1	B	破片	外面平行叩き目	
16-1	P 16	須恵器 甕	-	-	-	ABDHN	オリーブ灰2.5GY-6/1	B	破片	外面平行叩き目紋	
19-1	P 19	須恵器 坏	(13.1)	(2.8)	-	ABN	灰N5/	B	口縁部17%	外面回転ヘラケズリ 内面ナデ	未野産
24-1	P 24	土師器 台付甕	-	(3.3)	8.8	BDEGHIK	褐10YR-4/4	B	底部80%	内外面回転ナデ 台先端部やや上に外反する	
24-2	P 24	須恵器 椀	-	(2.4)	(6.8)	ABH	黄灰2.5Y-6/1	B	台部40%	底部不明	未野産
24-3	P 24	須恵器 椀?	(14.4)	(5.0)	-	ABJ	灰白10Y-7/1	B	口縁部20%	内外面回転ナデ、外面磨耗著しい 口縁部やや外反する	未野産
26-1	P 26	須恵器 甕	-	(8.6)	(11.8)	ABEIN	灰5Y-6/1	A	底部20%	内外面回転ナデ 外面指頭圧痕 内外面粘土紐積上痕	未野産
26-2	P 26	須恵器 甕	-	-	-	AN	灰7.5Y-5/1	A	破片	外面平行叩き目 内面回転ナデ	未野産
31-1	P 31	土師器 台付甕	-	(5.2)	-	BDEGK	外：にぶい褐7.5YR-6/3 内：浅黄橙10YR-8/3	B	体部50%	外面わずかにスス有	
31-2	P 31	土師器 台付甕	-	(2.4)	(8.0)	ABEGHK	にぶい橙7.5YR-6/4	B	台部35%	台部他のものより厚み、高さ有 ヨコナデ	
31-3	P 31	須恵器 坏	-	(2.0)	(6.0)	ABD	褐灰7.5YR-5/	B	底部30%	内外面回転ナデ、磨耗有	未野産
31-4	P 31	須恵器 甕	-	-	-	ABDIN	灰N5/	B	肩部破片	内外面回転ナデ	未野産
39-1	P 39	土師器 甕	(22.0)	(6.6)	-	ABDG	にぶい黄橙10YR-6/4	B	口縁部10%	口縁部ナデ 頸部ヘラケズリ	
49-1	P 49	須恵器 壺	(29.0)	(6.4)	-	ABD	明黄褐2.5Y-6/6	B	口縁部10%		未野産

第23表 ピット出土遺物観察表

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考	
55-1	P 55	灰釉陶器 長頸瓶	(13.5)	(1.1)	-	AB	外：灰白5Y-8/1 内：灰オリーブ5Y-6/2	A	口縁部11%	長頸瓶の口縁部 内面釉葉 ヘラヌリ		
68-1	P 68	須恵器 椀	-	(3.0)	(7.8)	A I N	灰N6/0	A	台部25%	底部ヘラケズリ調整	未野産	
68-2	P 68	須恵器 甃	-	-	-	A E I N	灰N5/0	A	破片	外面平行叩き目		
69-1	P 69	角釘	最大長	9.5	最大幅	1.2	最大厚 1.0	重さ 15.8 g		茎部先端やや欠損	頭部は先端を折り曲げて平らに鍛える	
74-1	P 74	土師器 甃	(14.8)	(5.4)	-	ABDEGIK	にぶい橙5YR-6/4	B	口縁部10%	口唇部に沈線 外面粘土紐積上痕 口縁部「コ」の字状 胴部外面横位ヘラケズリ		
75-1	P 75	須恵器 杯	-	(1.6)	(6.1)	ABEN	灰5Y-6/1	A	底部30%	やや厚手 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産	
76-1	P 76	土師器転用 紡錘車	最大径	7.9	厚さ	0.4~1.3	孔径 (1.8)	重さ32 g		土師器底面転用 転用後の使用痕希薄		
76-2	P 76	土師器 甃	(17.8)	(5.7)	-	AB I N	橙5YR-6/6	B	口縁部~胴部20%	口縁部「コ」の字状 内外面粘土紐積上痕 口縁部外面指頭庄痕 胴部外面ヘラケズリ 内面当て具痕		
77-1	P 77	須恵器 椀	-	(2.1)	(8.0)	ABDEI	外：にぶい黄褐10YR-5/3 内：褐7.5YR-4/4	C	底部30%	底部調整不明	未野産	
77-2	P 77	須恵器 杯	(12.0)	(3.4)	-	ABN	灰7.5Y-6/	B	口縁部~体部30%	口縁部やや外反 回転ナデ	未野産	
77-3	P 77	須恵器 杯	-	(2.3)	(5.5)	ABN	灰N-5/	A	体部~底部30%	やや厚手 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産	
88-1	P 88	須恵器 杯	(13.6)	(3.4)	(7.6)	AHN	灰N6/0	B	20%			
89-1	P 89	鉄 刀子	残存長	9.0	最大幅	1.8	最大厚 1.0	重さ 16 g			先端部から胴部にかけて残存	
96-1	P 96	土師質土器 椀	-	(2.4)	(6.2)	ABK	明黄褐10YR-7/6	B	底部30%	摩耗著しい		
97-1	P 97	須恵器 椀	-	(4.5)	(7.6)	ABN	灰N-5/	B	体部~底部40%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産	
97-2	P 97	須恵器 椀?	-	(1.9)	(7.7)	ABDH	灰5Y-6/1	B	体部~底部30%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産	
98-1	P 98	須恵器 鉢?	(17.8)	(6.7)	-	ABL	灰N-6/0	B	口縁部30%	口縁部短長で内湾 胴部外面膨らみ 回転ナデ		
100-1	P 100	土師質土器 椀	-	(2.2)	(5.9)	ABDEGHIK	灰白10YR-8/2	B	底部80%	底部調整不明		
100-2	P 100	土師質土器 椀	-	(2.6)	(6.8)	ABEGK	灰白7.5Y-8/2	B	底部50%	底部調整不明 回転ナデ		
100-3	P 100	須恵器 椀	(15.1)	(5.2)	0.0	ABHN	灰白7.5Y-5/1	B	40%	口縁部わずかに外反 体部に膨らみあり 底部調整不明	未野産	
100-4	P 100	灰釉陶器 椀	-	(2.7)	(7.4)	AB	浅黄2.5Y-7/3	A	底部40%	釉葉 (ツケガケ)	東海産	
100-5	P 100	土師器 小型台付甃	(9.8)	(5.7)	-	BDEGK	にぶい橙5YR-6/3	B	口縁部30%	胴部外面斜位ヘラケズリ		
100-6	P 100	土師器 甃	(22.0)	(7.1)	-	ABDEGHK	にぶい橙7.5YR-7/4	B	口縁部20%	頸部外面横位~斜位ヘラケズリ 口縁部「く」の字状に屈折		
100-7	P 100	土師器 甃	(19.0)	(5.5)	-	ABCEGK	にぶい橙7.5YR-7/4	B	口縁部20%	頸部外面横位ヘラケズリ 口縁部なだらかに外反		
101-1	P 101	須恵器 椀	-	(3.3)	(7.4)	ABDGH I KN	灰白10YR-7/1	B	底部30%	台部接着痕 回転ナデ	未野産	
107-1	P 107	須恵器 甃	-	-	-	ABN	灰N-5/0	A	破片	外面平行叩き目		
122-1	P122	須恵器 杯	-	(1.7)	(6.7)	ABN	灰白7.5Y-7/1	B	底部30%	回転ナデ 底部回転糸切り		
176-1	P 176	土師器 杯	(13.0)	(3.0)	-	ABE I J N	橙5YR-6/8	B	20%	底部外面付近ヘラケズリ		
182-1	P 182	土師器 杯	(12.7)	(1.9)	-	B C I K	明赤褐5YR-5/6	B	口縁部10%	口縁部外面スス付着 体部外面指頭庄痕		
184-1	P 184	土師器 台付甃	-	(2.4)	-	BDEGK	にぶい橙5YR-6/4	B	台部頭片			
186-1	P 186	須恵器 杯	(12.4)	3.9	5.9	AB I N	灰5Y-5/1	A	50%	体部外面火樫有 体部直線の 底部回転糸切り	未野産	
186-2	P 186	須恵器 椀	(16.0)	(6.0)	-	ABF I N	灰5Y-6/1	A	口縁部~体部30%	体部全体に丸み	未野産	
186-3	P 186	須恵器 長頸瓶?	-	(7.4)	-	ABN	外：灰7.5Y-4/1 内：青灰5P B-6/1	A	肩部破片	外面多量に降灰付着	未野産	
186-4	P 186	叩き石	最大長	13.2	最大幅	5.2	最大厚 3.5	重さ 407 g			上下部に敲打痕	砂岩

8 性格不明遺構

今回の調査において性格不明遺構は全部で14基出土し、大部分が形状の不明なものであったり、全容が判断できないことから、性格不明遺構としたものが多い。しかし、中には、住居跡を疑うものや、カマド跡や火葬跡ではないかと推測できるものもあった。

第11、12号性格不明遺構は当初、遺物の出土量から住居跡と推測していたが、住居跡とは考えにくい、形状でありカマドや住居跡と推測できる根拠が検出されないことから、性格不明遺構とした。

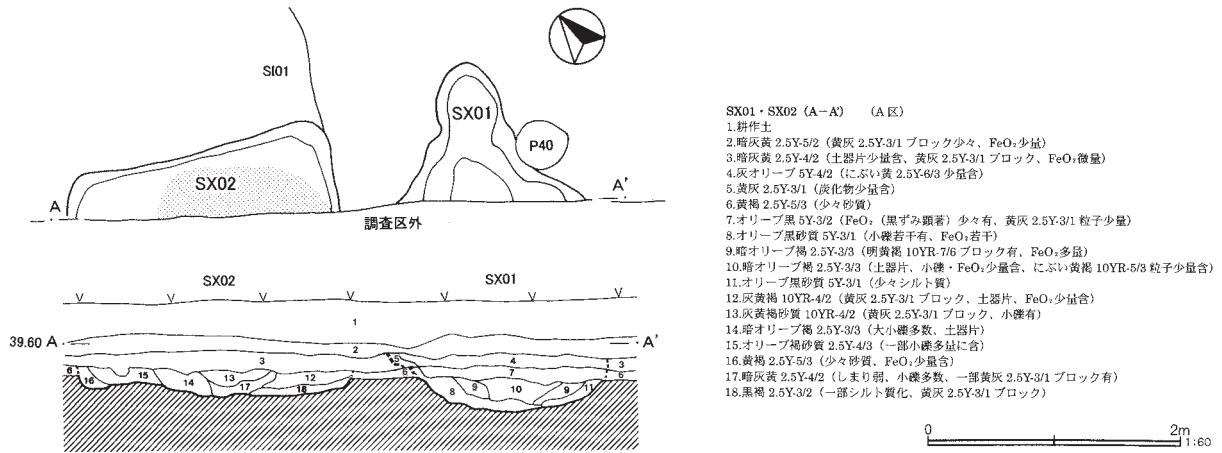
また、第10号性格不明遺構も当初住居跡と推測し、第8号住居跡と重複していると仮定した。しかし、この遺構の底部は東に向かって傾斜があり、西床と東床での落差は最大で50cmもある。また東西幅はわずか2.3mで、住居とは考えにくいことから、性格不明遺構と判断している。

さらに、第3、4号性格不明遺構は2基とも調査区域外に接しており、全容をつかむことができなかったが、これらの遺構は掘り方が北東方向に向かって住居のカマドのように立ち上がっていることから、カマド跡もしくは火葬跡であろうと考えたが、壁面の土層観察において焼土や炭化物が検出されないことから、性格不明遺構と判断することとした。

以下、紙面の都合上から、性格不明遺構の特徴等について一覧表で掲載をする。(第86～94図・第24・25表)

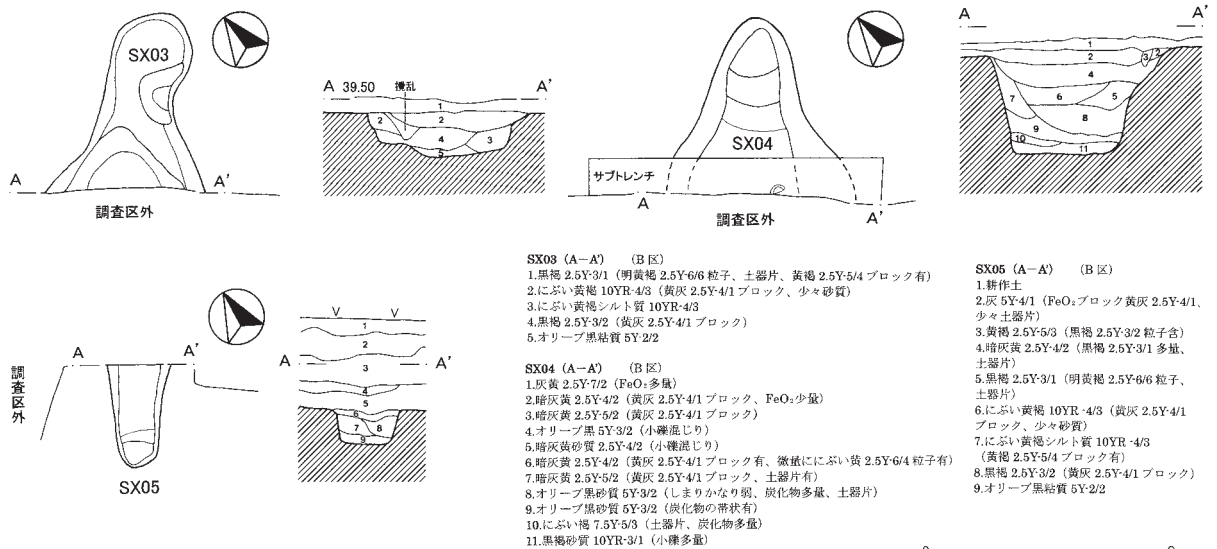
第24表 性格不明遺構一覧表

番号	位置		平面プラン	規模 (cm)	重複関係	出土遺物	時期	備考
	(グリッド/調査区)			(長軸×短軸×深さ)				
1	U-3.4	A区	不整形	142×(110)×42	P40	須恵器壺、角釘		
2	T-4	A区	長方形?	216×50×30	SI01			
3	R-7	B区	不整形	(136)×122×34		土師器甕、台付甕、須恵器坏	9c代?	
4	Q-8	B区	不明	(140)×130×84		土師器甕、須恵器坏、高台椀、椀、鉢	9c中～後	
5	O-8	B区	不明	(80)×50×30				
6	O-10	C区	不明	242×(54)×58	SD05	土師器台付甕?、須恵器蓋、甕	9c後～10c前	
7	N-11	C区	不整形	214×(86)×36	SI05、P121 P122	土師器坏	8c代	
8	M-12 N-11.12	C区	不整形	230×64×12	SI05			
9	K-15	D区	不整形	138×(60)×14	SI08			
10	K-15	D区	隅丸方形?	(248)×230×76	SI08、SK32、 P153	土師器台付甕、須恵器坏、椀、皿、甕	9c中～後	
11	F-21	E区	不明	(268)×222×54	P208	手づくね坏、土師器坏、須恵器椀、坏、皿、甕、鉢、灰釉陶器椀、皿	9c中～後	住居跡か?
12	F-21	E区	方形?	(254)×(174)×54		土師器坏、甕、須恵器坏、皿、甕、砥石	9c中～後	住居跡か?
13	D-23	F区	不明	360×(168)×26	SI14、SB03、 P212、P213	土師器坏、皿	8c代	
14	A-26.27	F区	不明	(296)×(60)×10	SK61			



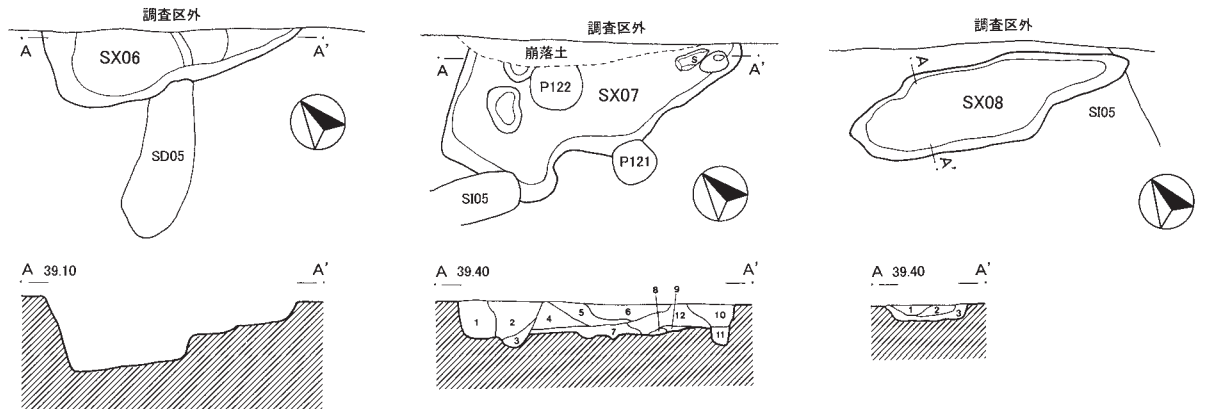
- SX01・SX02 (A-A) (A区)
- 耕作土
 - 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック少々、FeO:少量)
 - 暗灰黄 2.5Y-4/2 (土器片少量含、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、FeO:微量)
 - 灰オリブ 5Y-4/2 (にぶい黄 2.5Y-6/3 少量含)
 - 黄灰 2.5Y-3/1 (炭化物少量含)
 - 黄褐 2.5Y-5/3 (少々砂質)
 - オリブ黒 5Y-3/2 (FeO、黒ずみ顕著) 少々有、黄灰 2.5Y-3/1 粒子少量)
 - オリブ黒砂質 5Y-3/1 (小礫若干有、FeO:若干)
 - 暗オリブ褐 2.5Y-3/3 (明黄褐 10YR-7/6 ブロック有、FeO:多量)
 - 暗オリブ褐 2.5Y-3/3 (土器片少量含、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、FeO:微量)
 - 暗オリブ褐 2.5Y-3/3 (土器片、小礫・FeO:少量含、にぶい黄褐 10YR-5/3 粒子少量含)
 - オリブ黒砂質 5Y-3/1 (少々シルト質)
 - 灰黄褐 10YR-4/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、土器片、FeO:少量含)
 - 灰黄褐砂質 10YR-4/2 (黄灰 2.5Y-3/1 ブロック、小礫有)
 - 暗オリブ褐 2.5Y-3/3 (大小礫多量、土器片)
 - オリブ褐砂質 2.5Y-4/3 (一部小礫多量に含)
 - 黄褐 2.5Y-5/3 (少々砂質、FeO:少量含)
 - 暗灰黄 2.5Y-4/2 (しまり弱、小礫多量、一部黄灰 2.5Y-3/1 ブロック有)
 - 黒褐 2.5Y-3/2 (一部シルト質化、黄灰 2.5Y-3/1 ブロック)

第 86 図 第 1・2号性格不明遺構 (A区)



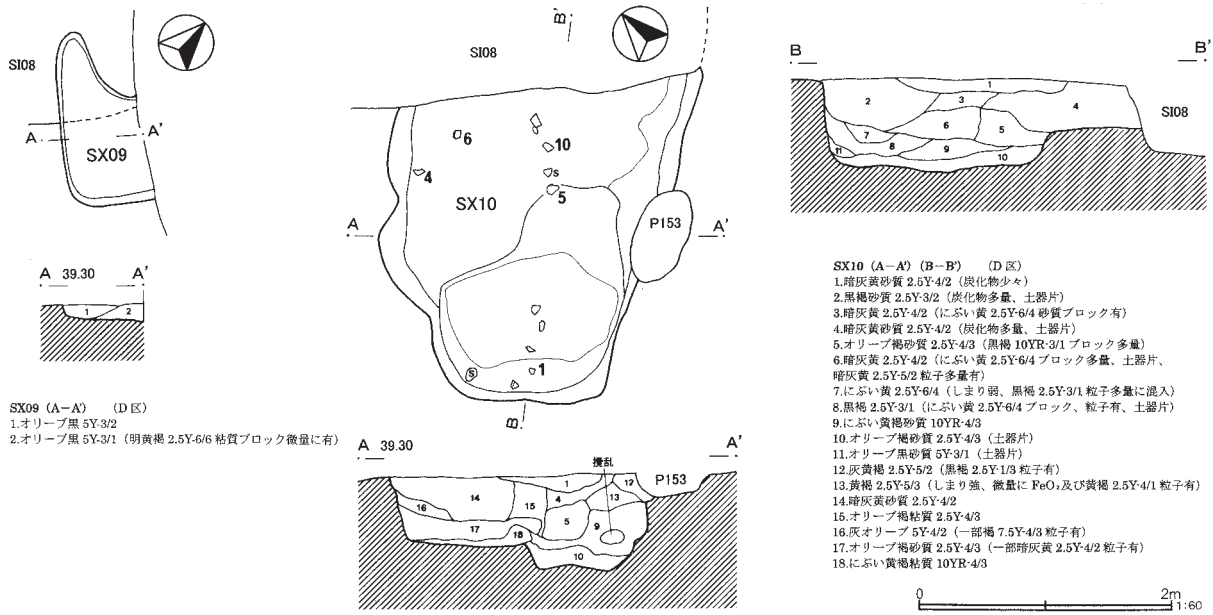
- SX03 (A-A) (B区)
- 耕作土
 - にぶい黄褐 10YR-4/3 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、少々砂質)
 - にぶい黄褐シルト質 10YR-4/3
 - 黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 - オリブ黒結質 5Y-2/2
- SX04 (A-A) (B区)
- 灰黄 2.5Y-7/2 (FeO:多量)
 - 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、FeO:少量)
 - 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 - オリブ黒 5Y-3/2 (小礫混じり)
 - 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (小礫混じり)
 - 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、微量ににぶい黄 2.5Y-6/4 粒子有)
 - 暗灰黄 2.5Y-5/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、土器片有)
 - オリブ黒砂質 5Y-3/2 (しまりかなり弱、炭化物多量、土器片)
 - オリブ黒砂質 5Y-3/2 (炭化物の帯状有)
 - にぶい褐 7.5Y-5/3 (土器片、炭化物多量)
 - 黒褐砂質 10YR-3/1 (小礫多量)
- SX05 (A-A) (B区)
- 耕作土
 - 灰 5Y-4/1 (FeO:ブロック黄灰 2.5Y-4/1、少々土器片)
 - 黄褐 2.5Y-5/3 (黒褐 2.5Y-3/2 粒子含)
 - 暗灰黄 2.5Y-4/2 (黒褐 2.5Y-3/1 多量、土器片)
 - 黒褐 2.5Y-3/1 (明黄褐 2.5Y-6/6 粒子、土器片)
 - にぶい黄褐 10YR-4/3 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック、少々砂質)
 - にぶい黄褐シルト質 10YR-4/3 (黄褐 2.5Y-5/4 ブロック有)
 - 黒褐 2.5Y-3/2 (黄灰 2.5Y-4/1 ブロック)
 - オリブ黒結質 5Y-2/2

第 87 図 第 3～5号性格不明遺構 (B区)

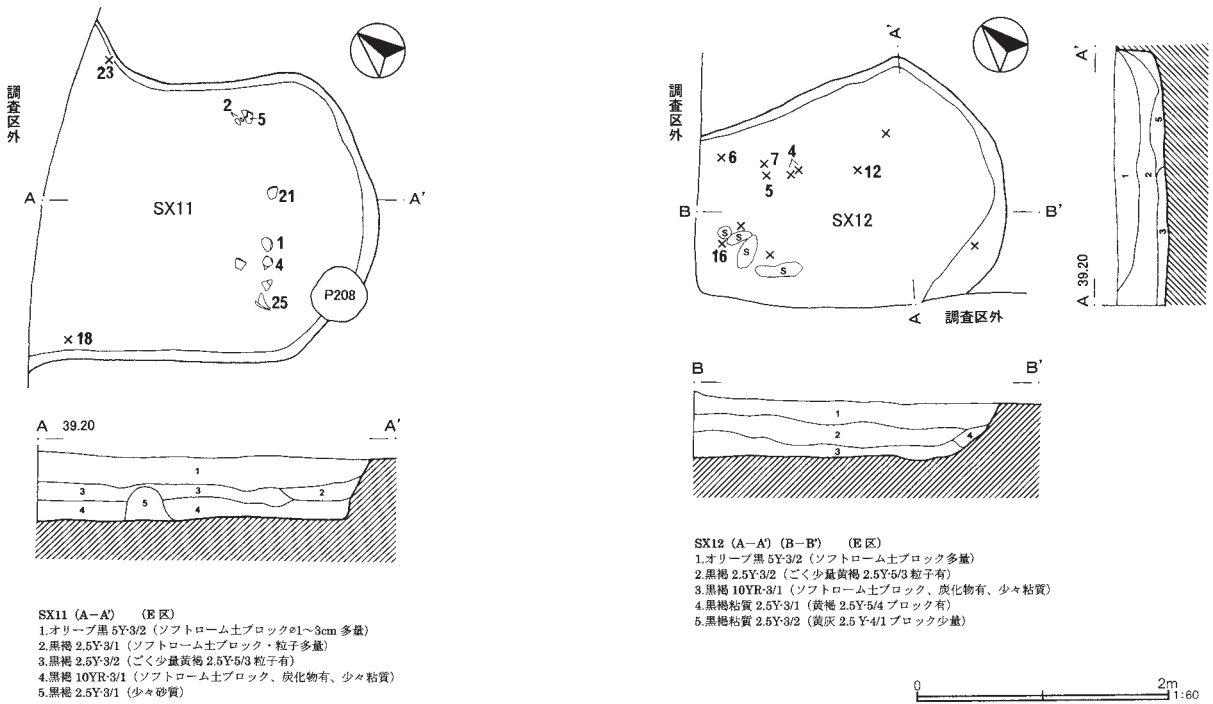


- SX06 (A-A) (C区)
- 黒褐 2.5Y-3/2 (にぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック混入) (人工的な埋土)
 - にぶい黄 2.5Y-6/4 (一部粘質、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック多量)
 - 黄灰粘質 2.5Y-4/1 (にぶい黄 2.5Y-6/4 若干有)
 - 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (かなり多量に黄灰 2.5Y-6/2 粒子有、炭化物、一部に黄褐 10YR-5/6 ブロック有)
 - 灰黄褐 10YR-4/2 (少々砂質)
 - 暗灰黄 2.5Y-4/2 (炭化物、土器片、明黄褐 10YR-6/6 ブロック少量有)
 - 褐灰 10YR-4/1 (一部ににぶい黄褐 10YR-5/4 粘質ブロック有、土器片含)
 - にぶい黄褐粘質 10YR-5/4
 - 褐灰砂質 10YR-4/1
 - 暗灰砂質 10YR-3/3 (ごく微量ににぶい黄 2.5Y-6/4 ブロック有)
 - 暗褐粘質 10YR-3/3 (多量に明黄褐 10YR-6/6 及び褐灰 10YR-4/1 粒子含)
 - 褐灰 10YR-4/1 (一部粘質、炭化物、土器片)
- SX07 (A-A) (C区)
- 黒褐色 2.5Y-3/2 (土器片)
 - 暗灰黄砂質 2.5Y-4/2 (黄褐色 2.5Y-5/3 ブロック多量)
 - 黒褐色 2.5Y-3/1 (土器片、黄灰 2.5Y-4/1 ブロック有、ごく微量に黄褐色 2.5Y-5/3 ブロック有)

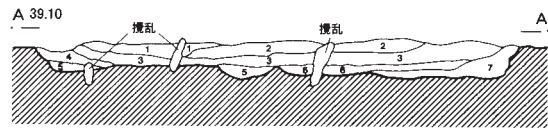
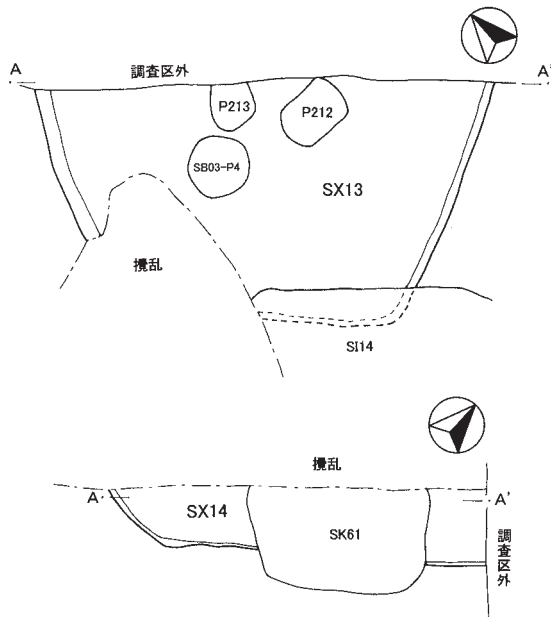
第 88 図 第 6～8号性格不明遺構 (C区)



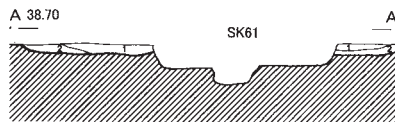
第89図 第9・10号性格不明遺構 (D区)



第90図 第11・12号性格不明遺構 (E区)



- SX13 (A-A') (F区)
1. 灰黄粘質 2.5Y-6/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、炭化物粒若干、火山灰粒わずか含)
 2. 灰黄粘質 10YR-5/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、焼土粒・炭化物粒若干含)
 3. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック・粒子多量含、焼土粒・炭化物粒若干含)
 4. 灰黄粘質 10YR-4/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子少量、焼土粒わずか含)
 5. 黒褐粘質 10YR-3/2 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 微粒子若干含)
 6. 黒褐粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 ブロック小・粒子少量、土器含)
 7. 黒褐粘質 10YR-3/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子若干含)



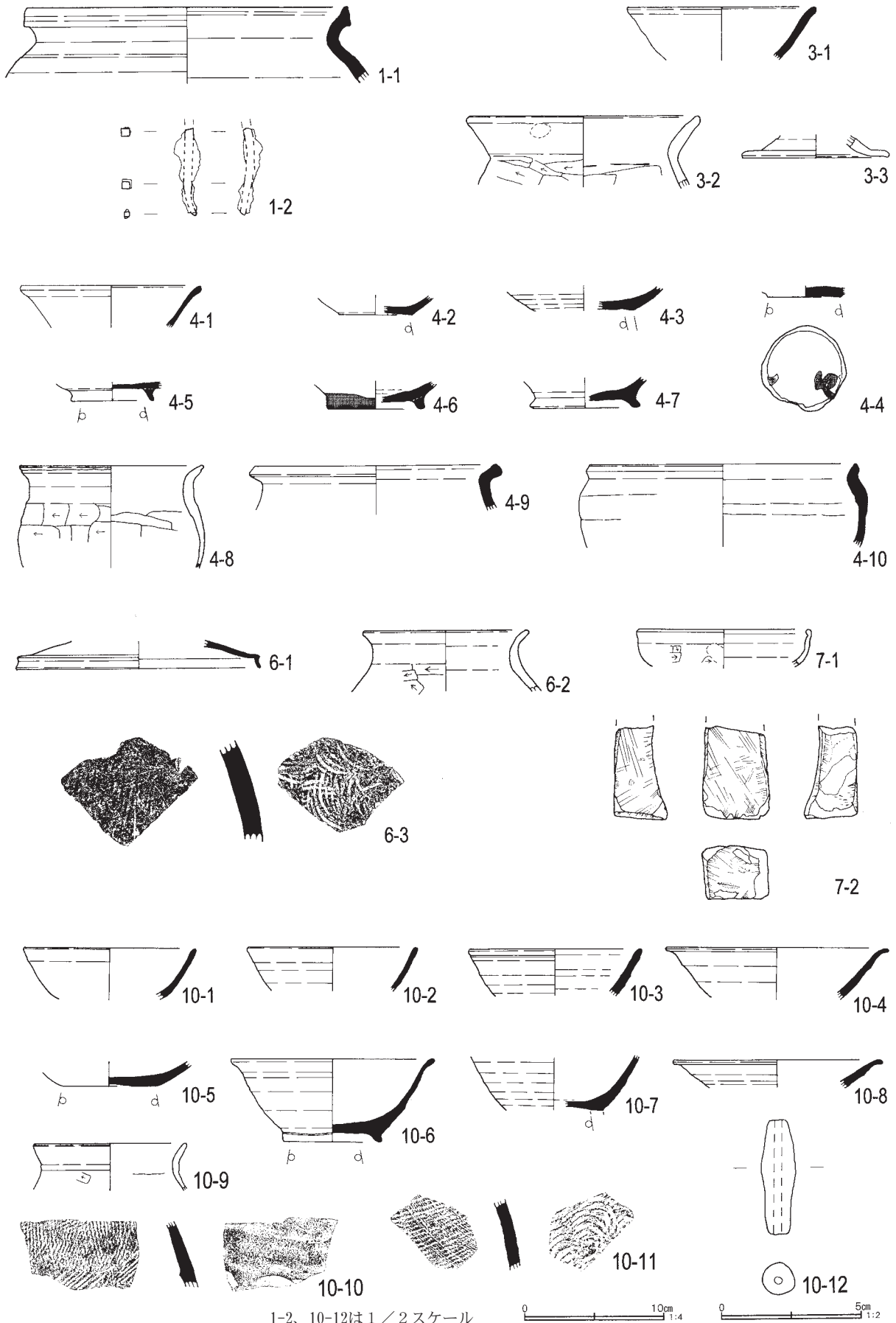
- SX14 (A-A') (F区)
1. にぶい黄褐粘質 10YR-4/3 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)
 2. 褐灰粘質 10YR-4/1 (浅黄粘質 2.5Y-7/3 粒子多量含)



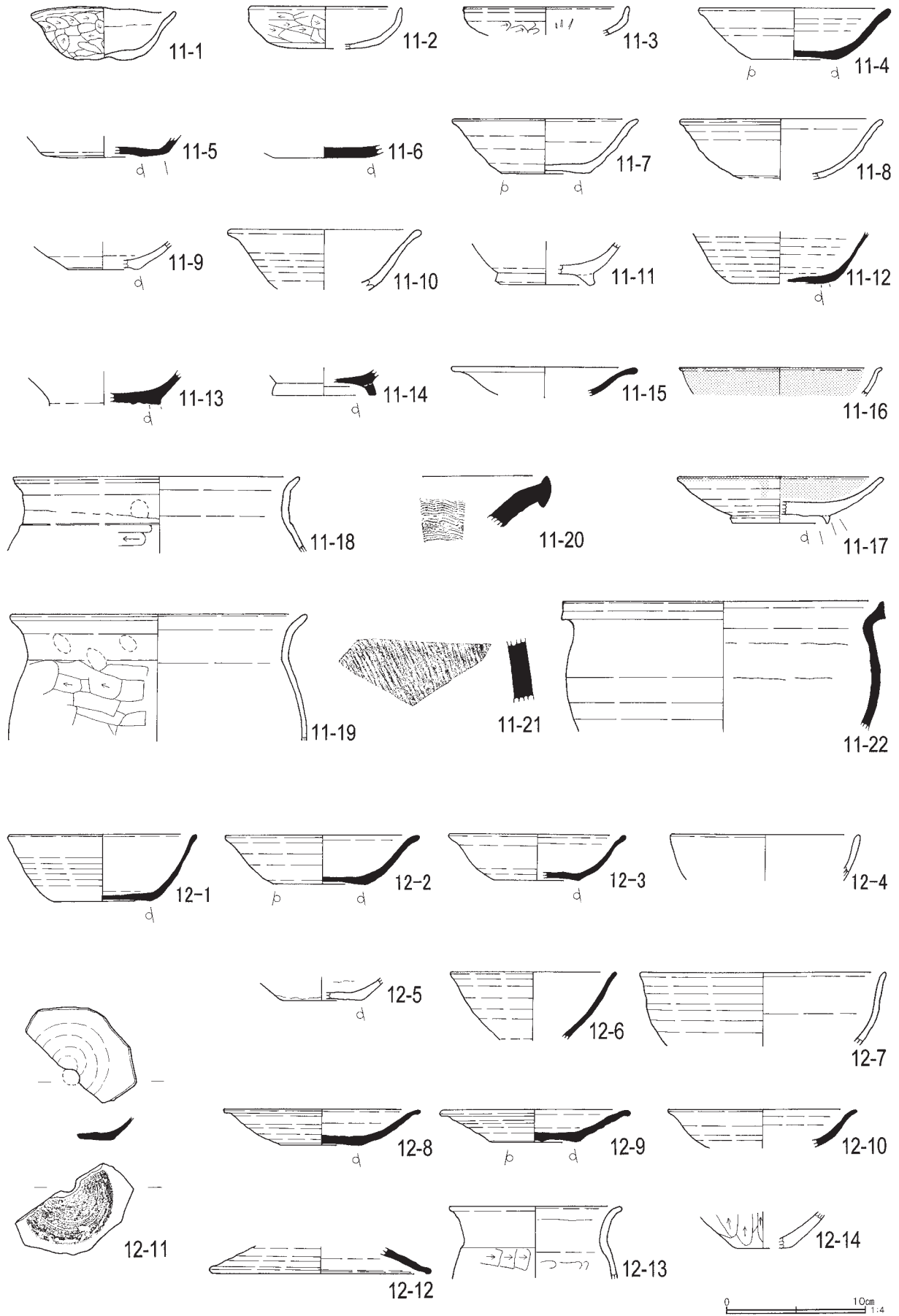
第91図 第13・14号性格不明遺構 (F区)

第25表 性格不明遺構出土遺物観察表

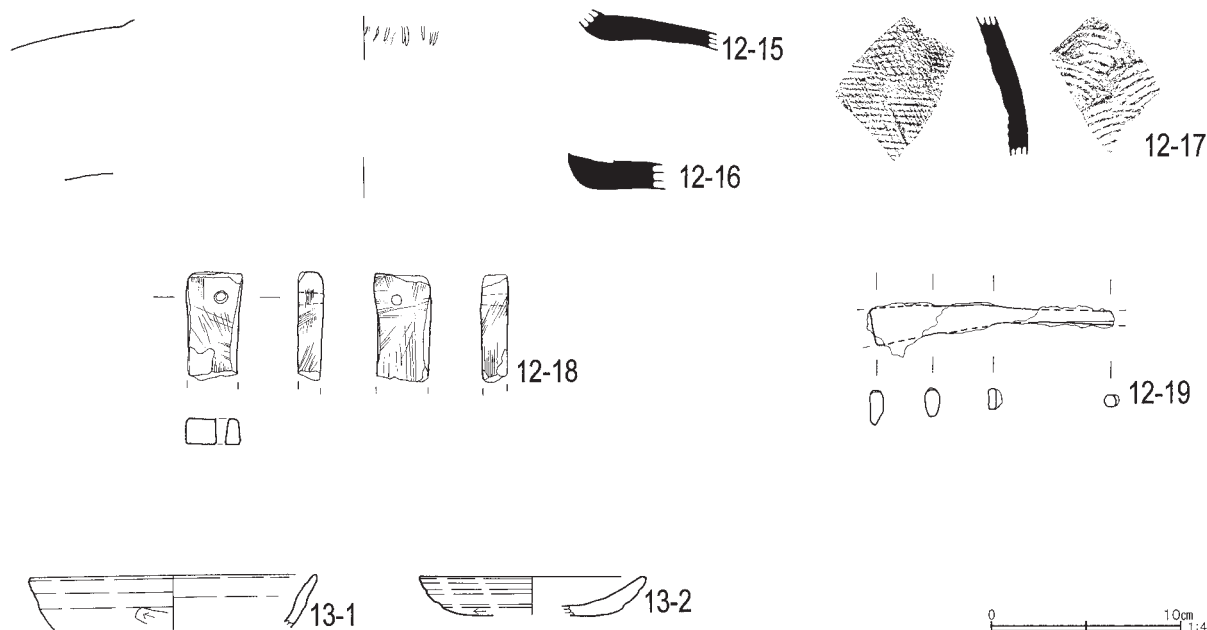
番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
1-1	SX01	須恵器壺	(23.0)	(5.5)	-	ABDH	黄灰2.5Y-6/1	B	口縁部15%		未野産か?
1-2	SX01	鉄角釘	最大長	(3.2)	最大幅	(0.3)	最大厚	(0.3)	重さ	1.4g	
3-1	SX03	須恵器坏	(13.6)	(3.8)	-	DEGHIKN	暗灰黄2.5Y-5/2	B	口縁部10%	回転ナデ	未野産
3-2	SX03	土師器甕	(16.8)	(5.2)	-	AGIJN	にぶい黄橙10YR-6/4	B	口縁部20%	口縁部内面粘土紐積上痕 口縁部「く」の字状 口縁部指頭圧痕有	
3-3	SX03	土師器小型台付甕	-	(1.6)	(10.6)	AEGIKN	明赤褐2.5YR-5/6	B	底部20%	回転ナデ	
4-1	SX04	須恵器坏	(13.0)	(3.0)	-	BDEHIN	灰N5/	B	口縁部20%	口縁部やや外反 回転ナデ	未野産
4-2	SX04	須恵器坏	-	(1.3)	(5.2)	BDEGHIN	灰白2.5Y-7/1	B	底部30%	内面に火樺 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
4-3	SX04	須恵器碗	-	(1.7)	-	ABGN	灰5Y-5/1	B	底部20%	回転ナデ 底部周縁ヘラケズリ	未野産
4-4	SX04	須恵器坏	-	(0.7)	5.3	ABN	黄灰2.5Y-5/1	B	底部100%	底部回転糸切り 底部墨書「?」	未野産? 墨書
4-5	SX04	須恵器高台碗	-	(1.3)	(6.0)	ABDHN	褐灰10YR-6/1	B	底部80%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
4-6	SX04	須恵器高台碗	-	(2.0)	(7.0)	ABDEGHIN	外:オリーブ黒5Y-3/1 内:にぶい褐7.5Y5/3	C	底部50%	外面スス付着 底部調整不明	未野産?
4-7	SX04	須恵器碗	-	(2.1)	(7.9)	ABDIL	にぶい黄橙10YR-6/4	B	台部30%	底部調整不明	未野産
4-8	SX04	土師器小型台付甕	(13.2)	(7.4)	-	ABDIN	橙5YR-6/6	B	口縁部50%	口縁部「コ」の字状 胴部外面横位ヘラケズリ	
4-9	SX04	須恵器鉢	(17.2)	(3.4)	-	ABN	灰N6/	B	口縁部20%		未野産
4-10	SX04	須恵器鉢	(19.2)	(6.0)	-	ABN	灰N6/	A	口縁部~胴部10%	回転ナデ	未野産
6-1	SX06	須恵器蓋	(17.6)	(2.0)	-	ABDFGHN	にぶい黄橙10YR-7/2	B	口縁部20%	内面返し (やや外反ぎみ)	
6-2	SX06	土師器台付甕?	(12.0)	(4.4)	-	ABDK	明赤褐5YR-5/6	B	口縁部20%	口縁部大きく外反	
6-3	SX06	須恵器甕	-	-	-	ADEHN	外:灰褐7.5YR-5/2 内:灰7.5Y-5/1	B	破片	外面平行叩き目 内面同心円状あて具痕	未野産
7-1	SX07	土師器坏	(12.6)	(2.7)	-	ABEO	にぶい橙7.5YR-6/4	B	口縁部20%	体部外面指頭圧痕 口縁部やや内湾 体部外面ヘラケズリ	
7-2	SX07	砥石	最大長	(6.7)	最大幅	4.8	最大厚	4.9	重さ	177g	



1-2、10-12は1/2スケール
 第92図 性格不明遺構出土遺物 (A~D区)



第 9 3 図 性格不明遺構出土遺物 (E 区)



第94図 性格不明遺構出土遺物 (E・F区)

第25表 性格不明遺構出土遺物観察表

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
10-1	S X10	須恵器 坏	(12.4)	(3.7)	-	AFN	灰5Y-6/1	A	口縁部20%	口縁部外面に自然釉 回転ナデ	
10-2	S X10	須恵器 坏	(12.2)	(3.2)	-	A I N	灰5Y-5/1	A	口縁部20%	口縁部わずかに外反 回転ナデ	
10-3	S X10	須恵器 坏	(12.4)	(3.4)	-	A B F N	灰黄2.5Y-6/2	C	口縁部10%	体部ほぼ直線的 回転ナデ	南比企産
10-4	S X10	須恵器 坏	(16.0)	(3.7)	-	A B D I L	灰黄2.5Y-5/1	C	口縁部20%	口縁部大きく外反 回転ナデ	未野産
10-5	S X10	須恵器 坏	-	(1.8)	6.8	B D H I L N	にぶい黄橙10Y R-7/3	B	底部100%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
10-6	S X10	須恵器 椀	(14.6)	6.0	7.0	B E H I	灰黄2.5Y-7/2	B	70%	口縁部外反、台部外面接着痕 底部回転糸切り	三毘産?
10-7	S X10	須恵器 椀	-	(3.9)	(7.0)	B D H I L N	黄灰2.5Y-6/1	B	30%	台部欠損、回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
10-8	S X10	須恵器 皿	(15.0)	(2.0)	-	B E H I	灰黄2.5Y-5/1	B	口縁部20%	回転ナデ 口縁部外反	未野産
10-9	S X10	土師器 台付甕	(11.0)	(3.4)	-	A B G I J N	明赤褐5Y R-5/6	B	口縁部30%	口縁部「コ」の字状 胴部外面横位ヘラケズリ	
10-10	S X10	須恵器 甕	-	-	-	A I L N	灰N-4/0	A	胴部破片	外面平行叩き目(重ね)	未野産
10-11	S X10	須恵器 甕	-	-	-	A E I N	灰N-5/0	A	胴部破片	外面平行叩き目(重ね) 内面同心円状あて具痕	未野産
10-12	S X10	土錘	最大長	4.1	最大幅	1.2	孔径	0.3	重さ	4.6g	
11-1	S X11	手づくね 坏	10.4 ~9.5	3.9 ~3.4	4.5	A B D E	橙5Y R-7/6	B	100%		
11-2	S X11	土師器 坏	11.2	3.0	(8.2)	A B D G K	にぶい橙5Y R-6/4	B	30%	口縁部直立	
11-3	S X11	土師器 坏	(12.0)	(2.1)	-	A E I	明赤褐5Y R-5/8	B	口縁部10%	内面放射線状暗文 体部外面ヘラケズリ	
11-4	S X11	須恵器 坏	(13.9)	3.7	6.2	A B D I J M N	黄灰2.5Y-5/1	C	70%	回転ナデ やや厚手 体部直線的 底部回転糸切り	未野産
11-5	S X11	須恵器 坏	-	(1.5)	(8.6)	A F N	灰5Y-6/1	B	底部40%	底部回転糸切り	南比企産
11-6	S X11	須恵器 坏	-	(0.8)	(7.0)	A B D F G	灰白10Y-7/1	B	底部25%	回転ナデ 底部回転糸切り	
11-7	S X11	土師質土器 坏	13.5	3.9	6.5	A D E I L M N	褐灰10Y R-6/1	C	70%	回転ナデ 口縁部やや外反 底部回転糸切り	
11-8	S X11	土師質土器 坏	(14.7)	(4.2)	(6.7)	A B D E I N O	にぶい橙7.5Y R-6/4	C	口縁~体部20%	回転ナデ 口縁部やや外反	
11-9	S X11	土師質土器 坏	-	(2.0)	(5.4)	A B D E G	灰白2.5Y-7/1	B	体部~底部20%	底部回転糸切り	未野産
11-10	S X11	土師質土器 椀	(14.0)	(4.3)	-	B D E G H I K N	橙7.5Y R-6/6	B	口縁部10%		
11-11	S X11	土師質土器 椀	-	(3.1)	(7.2)	D E H I	橙5Y R-6/6	B	底部30%	底部調整不明	
11-12	S X11	須恵器 椀	-	(3.7)	(7.2)	A D N	灰黄2.5Y-6/2	B	底部40%	高台部欠損 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産

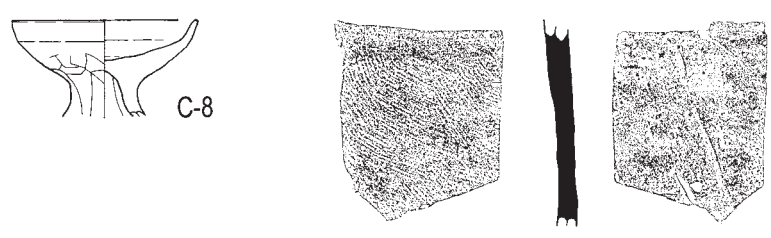
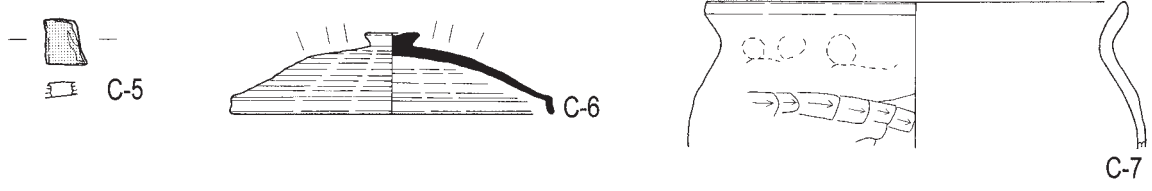
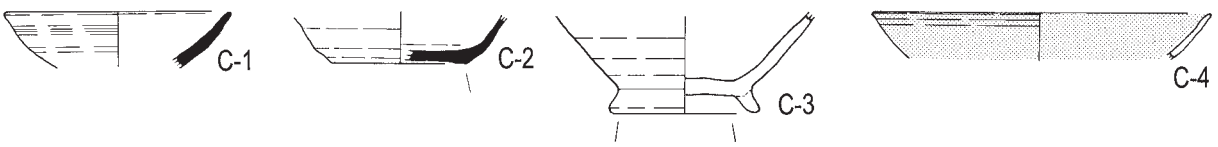
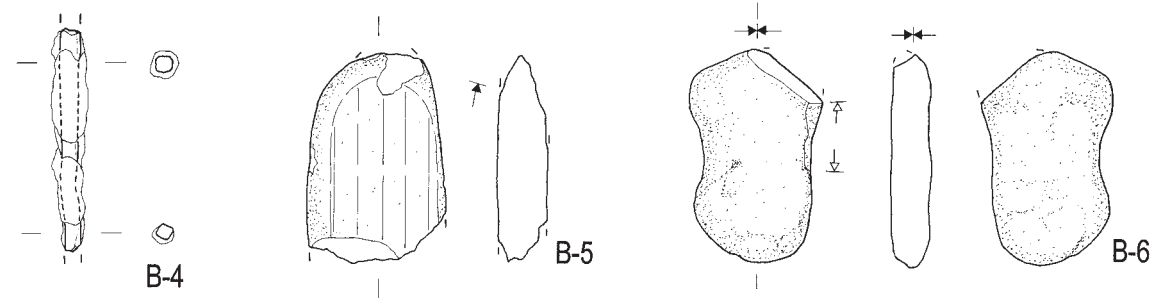
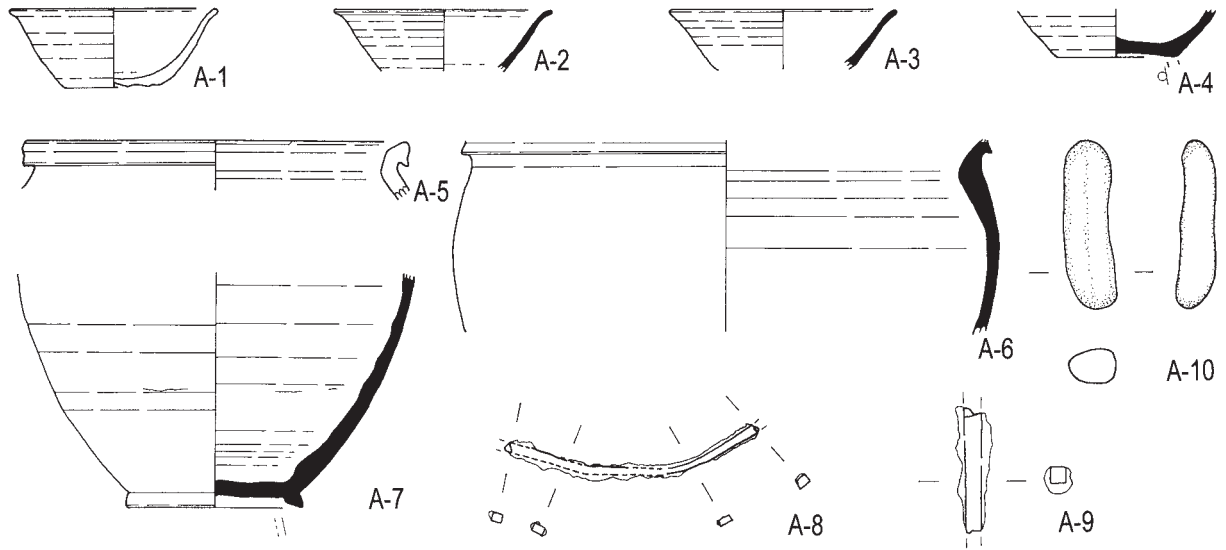
第25表 性格不明遺構出土遺物観察表

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考
11-13	S X11	須恵器 椀	-	(2.5)	-	ABN	灰5Y-6/1	B	底部30%	高台部欠損 胴部直線的 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
11-14	S X11	須恵器 椀	-	(1.8)	(7.4)	ADLN	青灰5P B-5/1	B	底部40%	回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
11-15	S X11	須恵器 皿	(13.4)	(2.0)	-	ADHILN	灰N5/	B	口縁部20%	口縁部大きく外反 回転ナデ	未野産
11-16	S X11	灰釉陶器 椀	(14.6)	(1.9)	-	BH	灰白2.5Y-7/1	B	口縁部10%	口縁部外反 内外面釉薬	東海産 K90窯式ご ろか
11-17	S X11	灰釉陶器 皿	(14.9)	3.4	(7.0)	AB	灰白N8/	A	30%	三角高台 厚手 口縁部外面及 び内面体部にかけて釉薬 (ハケ スリ) 底部糸切り~周縁ヘラケ ズリ K90窯か	東海産
11-18	S X11	土師器 甕	(20.7)	(5.4)	-	ABDEI	橙5Y R-7/8	B	口縁部20%	口縁部外面粘土紐積上痕 口縁部指頭圧痕 口縁部「コ」 の字状 胴部外面横位ヘラケズ リ	
11-19	S X11	土師器 甕	(21.4)	(9.0)	-	ABEGKN	橙5Y R-6/6	B	口縁部40%	口縁部外面指頭圧痕 口縁部「コ」の字状 胴部外面横位ヘラケズリ	
11-20	S X11	須恵器 甕	-	-	-	ABD	灰N5/-4/	A	口縁部破片	口縁部外面波状文	未野産
11-21	S X11	須恵器 甕	-	-	-	AB	灰5Y-5/1	B	胴部破片	外面平行叩き目	未野産
11-22	S X11	須恵器 鉢	(23.2)	(9.4)	-	ABDIMN	灰白5Y-7/1	B	口縁部~胴部20%	回転ナデ	産地不明
12-1	S X12	須恵器 杯	(13.6)	4.8	(7.0)	ABDGHLN	褐灰10Y R-6/1	B	20%	口縁部やや外反 体部外面火樺痕 底部回転糸切 り	未野産
12-2	S X12	須恵器 杯	14.0	3.5	6.8	ABDEN	灰7.5Y-5/1	B	70%	回転ナデ 口縁部外反 底部回転糸切り	未野産
12-3	S X12	須恵器 杯	(12.8)	3.3	(6.0)	ABDEGHIN	黄灰2.5Y-6/1	B	30%	口縁部大きく外反 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
12-4	S X12	土師質土器 杯	(13.7)	(3.3)	-	ABDI	灰黄2.5Y-7/2	C	口縁部10%	体部やや直線的	
12-5	S X12	土師質土器 杯	-	(1.7)	(5.8)	ABEN	明赤褐5Y R-5/6	B	底部30%	底部回転糸切り	
12-6	S X12	須恵器 椀	(12.0)	(4.9)	-	ABN	灰5Y-6/1	B	口縁部~体部20%	口縁部やや外反 底径口縁の半分の可能性	未野産
12-7	S X12	土師質土器 椀	17.8	(5.3)	-	ABDEGHN	にぶい黄橙10Y R-7/3	C	口縁部10%	やや口縁部外反	
12-8	S X12	須恵器 皿	(14.3)	(2.6)	(6.7)	ABDGKN	灰黄褐10Y R-6/2	C	50%	口縁部外反 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
12-9	S X12	須恵器 皿	(13.8)	(2.3)	(7.6)	ABDGKN	灰黄2.5Y-6/2	C	40%	口縁部外反 回転ナデ 底部回転糸切り	未野産
12-10	S X12	須恵器 皿	(13.6)	(2.8)	-	AI	灰N-4/	B	口縁部10%	口縁部やや外反	
12-11	S X12	須恵器 転用紡錘車	最大径 (9.0)	最大厚 0.5	孔径 (1.0)	ABEIN	灰7.5Y-5/1	B	50%	転用品、底部中央穿孔あり 底部回転糸切り	
12-12	S X12	須恵器 蓋	(16.0)	(2.0)	-	ABDIN	灰N-5/	B	口縁部20%	返しなし	未野産
12-13	S X12	土師器 甕	(12.4)	(5.2)	-	ABEI	灰褐5Y R-4/2	B	口縁部~胴部20%	胴部外面横位ヘラケズリ	
12-14	S X12	土師器 甕	-	(2.6)	(4.2)	ABEKO	にぶい橙2.5Y R-5/4	B	底部30%	底部外面斜位ヘラケズリ	
12-15	S X12	須恵器 甕	-	-	-	ABDH	外: 褐灰5Y R-6/1 内: 灰7.5Y-6/1	B	肩部破片	肩部外面降灰付着 肩部内面ケズリ溝痕	未野産
12-16	S X12	須恵器 甕	-	-	-	ABDGHKLN	外: 褐灰5Y R-5/2 内: 灰7.5Y-6/1	B	肩部破片	口縁部鈹部分欠損	未野産
12-17	S X12	須恵器 甕	-	-	-	AB	青灰5B-5/1	A	胴部破片	外面格子状文 内面同心円状当て具痕	未野産
12-18	S X12	砥石 (携帯 用)	残存長 (5.7)	最大幅 2.9	最大厚 1.4	重さ 36.1g		-		下部欠損 上部穿孔あり 紐通しか?	堆積岩
12-19	S X12	鉄製品 小刀?	残存長 (13.0)	最大幅 (2.0)	最大厚 (0.75)	重さ 34.4g		-		刃先欠損か	
13-1	S X13	土師器 杯	(15.2)	(2.3)	-	ABEI	明赤褐5Y R-5/6	B	口縁部10%	体部外面ヘラケズリ 有段口縁	
13-2	S X13	土師器 皿	(12.0)	(2.0)	-	ABDEI	外: 橙2.5Y R-6/6 内: 橙5Y R-6/8	B	20%	底部外面ヘラケズリ 有段皿	

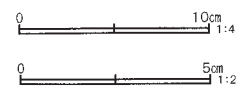
9 遺構外出土遺物

遺構外から出土した遺物については、主に表土剥ぎ、試掘時の遺物である。

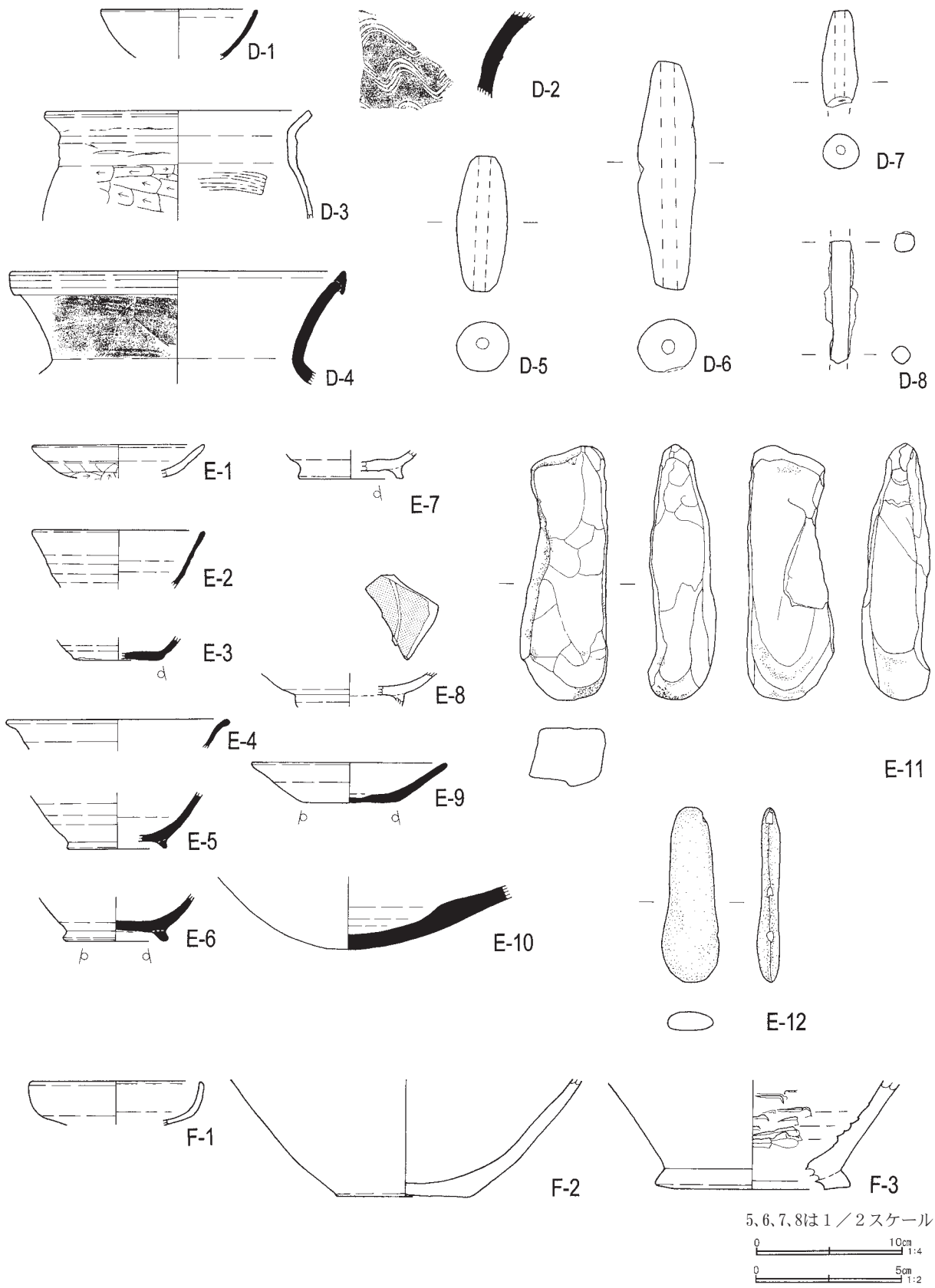
なお、出土地点ごとに調査区に分類し、試掘時に出土した遺物についても本項に合わせて掲載している。



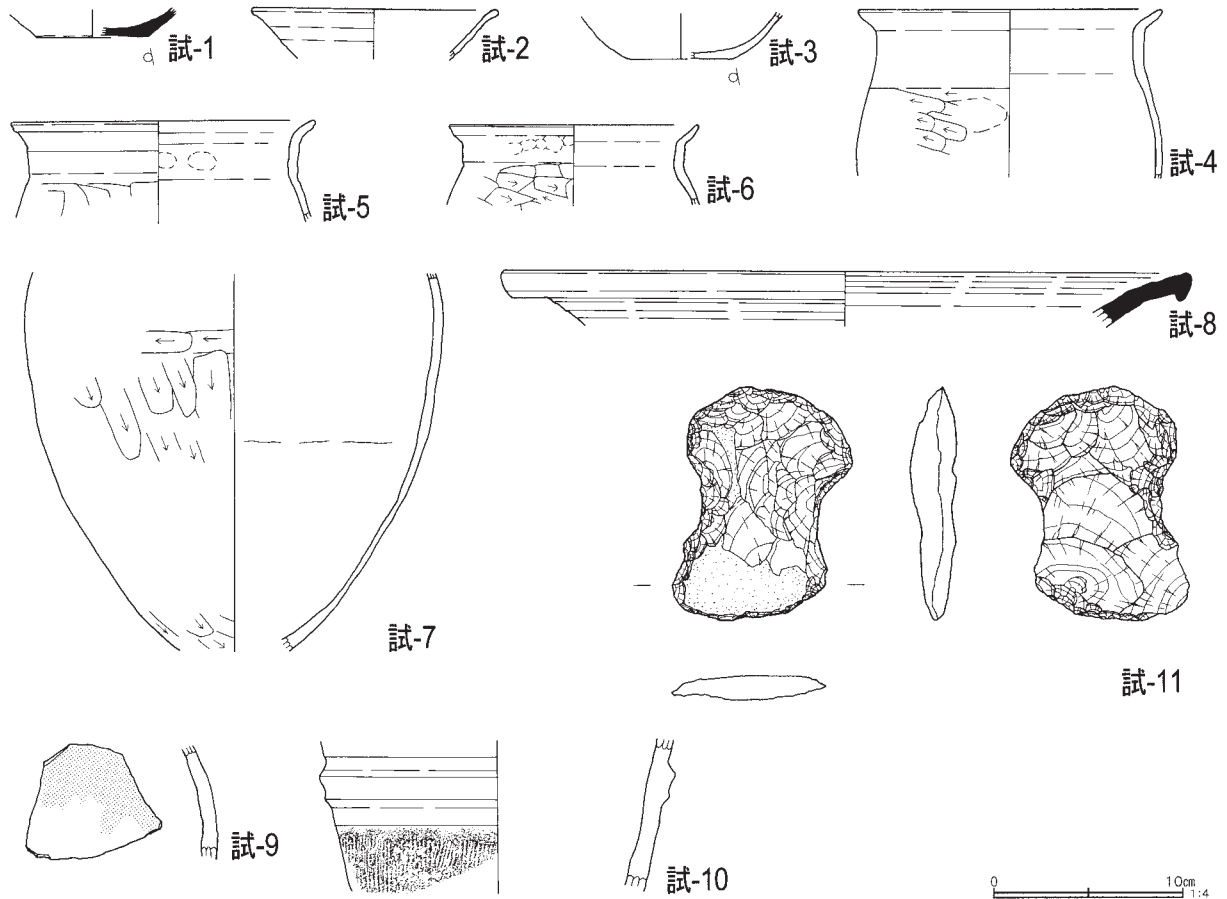
A-9、B-4は1/2スケール



第95図 遺構外出土遺物 (A~C区)



第96図 遺構外出土遺物 (D~F区)



第97図 遺構外出土遺物（試掘トレンチ）

第26表 遺構外出土遺物観察表

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考	
A-1	A区 表採	土師質土器 杯	(11.0)	4.2	-5	ADEHIKN	明黄褐10YR-6/6	B	20%	口縁部外反		
A-2	A区 表採	須恵器 杯	(11.6)	(3.3)	-	BDIN	赤灰2.5YR-5/1	B	口縁部10%	口縁部外反 やや小ぶり	産地不明	
A-3	A区 表採	須恵器 杯	(12.0)	(3.2)	-	ADHN	青灰5PB-6/1	A	口縁部20%	口縁部わずかに外反	未野産	
A-4	A区 表採	須恵器 椀	-	(2.5)	-6.4	ADEHN	灰5Y-5/1	B	底部60%	回転ナデ	未野産	
A-5	A区 表採	土師器 鉢	(20.4)	(3.1)	-	ACEGHIKN	灰黄褐10YR-6/2	B	口縁部10%		産地不明	
A-6	A区 表採	須恵器 鉢	(28.0)	(10.3)	-	ABEHN	外：オリープ灰5GY-5/1 内：黄灰2.5Y-4/1	B	口縁部10%		未野産	
A-7	A区 表採	須恵器 長頸瓶	-	(12.4)	-9.4	ABN	外：灰白5Y-7/1 内：灰白N-7/	B	40%	底部内外面自然釉付着 胴部降灰付着	東海産	
A-8	A区 表採	鏝	最大長	13.4	最大幅	0.75	最大厚	0.5	重さ	24.3g		両端欠損
A-9	A区 表採	鉄釘	最大長	(3.4)	最大幅	(0.45)	最大厚	(0.5)	重さ	4.0g		頭部、先端部欠損
A-10	A区 表採	棒状礫器	最大長	8.9	最大幅	2.5	最大厚	1.9	重さ	61.0g		全面擦り
B-1	B区 表採	土師質土器 杯	(12.4)	3.7	-	ABDGHIN	浅黄2.5Y-7/3	B	口縁部10%	口縁部大きく外反 回転ナデ		
B-2	B区 表採	須恵器 椀	-	(2.6)	7	ABDHN	灰N5/	B	底部100%		未野産	
B-3	B区 表採	土師器 羽釜	(20.2)	(5.4)	-	ABDEK	にぶい橙7.5YR-7/4	B	口縁部20%	突帯部接続痕なし		
B-4	B区 表採	鉄釘	最大長	(5.8)	最大幅	(1.1)	最大厚	(1.2)	重さ	6.1g		頭部、先端部欠損
B-5	B区 表採	すり石	最大長	(11.1)	最大幅	7.3	最大厚	2.7	重さ	325.0g		凝灰岩?
B-6	B区 表採	すり石	最大長	11.3	最大幅	7.0	最大厚	2.2	重さ	249.5g		両面とも一部に剥離有
C-1	C区 表採	須恵器 杯	(12.0)	(3.0)	-	ABFN	黄灰2.5Y-6/1	B	口縁部～体部20%	回転ナデ	未野産	
C-2	C区 表採	須恵器 杯	-	(2.6)	-7	ABHI	灰5Y-6/1	B	底部30%		未野産	
C-3	C区 表採	土師質土器 椀	-	(5.3)	8	ABDGIKN	明黄褐10YR-6/6	B	底部90%	回転ナデ 全面的に厚み		
C-4	C区 表採	灰釉陶器 杯	(17.8)	(2.5)	-	ABN	灰白10YR-7/1	A	口縁部10%	内外面釉薬 ツケガケ	猿投H72窯 東海産	

第26表 遺構外出土遺物観察表

番号	出土遺構	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	手法、形態の特徴等	備考	
C-5	C区 表採	緑釉陶器 段皿?	-	-	-	AND	オリブ黄5Y-6/3	A	破片	体部～底部周辺か? 内外面釉薬	東海産	
C-6	C区 表採	須恵器 蓋	(17.0)	4.3	つまみ径 2.9	ABDF	灰N5/	A	50%	やや内窪み 返しやや外反	南比企産	
C-7	C区 表採	土師器 甕	(22.3)	(7.7)	-	ABEI	にぶい橙7.5YR-6/3	B	口縁部20%	胸部外面横位ヘラケズリ やや肉厚		
C-8	C区 表採	土師器 高盤	(9.8)	(5.1)	-	ABDHIK	にぶい橙5YR-6/4	B	口縁部30%	口縁部、体部の間に稜線 口縁部わずかに立ち上がる		
C-9	C区 表採	須恵器 甕	-	-	-	ADEHN	灰N5/	B	胸部破片	胸部外面平行叩き目 内面同心円状当て具痕		
D-1	D区 表採	須恵器 杯	(10.9)	(3.5)	-	ABI	外：黄灰2.5-6/2 内：灰5Y-6/1	B	口縁部～体部20%	外面降灰多量に付着	南比企産	
D-2	D区 表採	須恵器 甕	-	-	-	ABDH	灰N-5/	B	口縁部片	口縁部外面波状文3条 回転ナデ		
D-3	D区 表採	土師器 甕	(18.4)	(7.5)	-	ABI	明赤褐5YR-5/6	A	口縁部20%	体部外面横位ヘラケズリ 口縁部外面粘土組織上痕 口縁部「コ」の字状、内面当て 具痕		
D-4	D区 表採	須恵器 壺	(23.0)	(7.7)	-	ABHN	灰5Y-5/1	B	口縁部10%	やや焼き悪い	未野産	
D-5	D区 表採	土錘	最大長	4.7	最大幅	1.8	孔径	0.4	重さ	13.9g	100%	
D-6	D区 表採	土錘	最大長	7.9	最大幅	2.0	孔径	0.5	重さ	23.9g	80%	
D-7	D区 表採	土錘	最大長	(3.3)	最大幅	1.2	孔径	0.3	重さ	4.2g	60%	
D-8	D区 表採	鉄釘	最大長	(4.2)	最大幅	(0.7)	最大厚	(0.6)	重さ	3.7g		頭部、先端部欠損
E-1	E区 表採	土師器 杯	(11.8)	(2.2)	-	ABEGK	明赤褐5YR-5/8	B	口縁部20%	身模倣杯 体部外面ヘラケズリ		
E-2	E区 表採	須恵器 杯	(11.9)	(4.0)	-	ADLN	灰黄2.5Y-6/2	B	10%	外面回転ナデ痕濃 直線的に立ち上がる	未野産	
E-3	E区 表採	須恵器 杯	-	(1.6)	-6.2	AB	灰7.5-6/1	B	底部30%			
E-4	E区 表採	須恵器 椀	(15.4)	(2.1)	-	ABH	灰N-5/	A	口縁部20%	口縁部大きく外反 回転ナデ	未野産	
E-5	E区 表採	須恵器 椀	-	(3.8)	-6.9	ABDEHIL	灰黄2.5Y-7/2	B	底部40%	底部調整不明	未野産	
E-6	E区 表採	須恵器 椀	-	(3.0)	7.2	ABDI	灰白2.5Y-7/1	B	底部100%	厚手	未野産	
E-7	E区 表採	土師質土器 椀	-	(1.9)	-7.2	AEIN	にぶい黄2.5Y-6/3	A	台部50%			
E-8	E区 表採	灰釉陶器 椀	-	(2.3)	-	AB	外：灰白N-8/ 内：灰白7.5Y-7/1	A	底部20%	底部内面溝有 内面釉薬 ハケヌリか		
E-9	E区 表採	須恵器 皿	(13.5)	2.8	6.6	ABFH	灰5Y-6/1	B	70%	やや厚手 回転ナデ	南比企産	
E-10	E区 表採	須恵器 甕	-	(5.0)	-	ABN	灰N-5/	B	底部100%	少々いびつ		
E-11	E区 表採	楔石?	最大長	17.4	最大幅	6.0	最大厚	4.6	重さ	650.0g		緑泥片岩
E-12	E区 表採	棒状礫器	最大長	12.0	最大幅	3.9	最大厚	1.5	重さ	101.2g		砂岩
F-1	F区 表採	土師器 杯	(12.0)	(3.0)	-	BDIK	橙7.5YR-6/6	B	40%	口縁部わずかに内湾 体部外面ヘラケズリ		
F-2	F区 表採	土師器 壺	-	(8.2)	-9.2	ADEGHKN	橙5YR-6/6	B	底部40%	厚手		
F-3	F区 表採	陶器 壺	-	(7.6)	-13.4	AHN	外：にぶい赤褐2.5YR-5/3 内：赤灰2.5YR-6/1	B	底部30%	内面ヘラ調整 内面底部一部自然釉付着	瀬戸美濃産	
試-1	試掘トレンチ	須恵器 杯	-	(1.5)	-6	ABG	灰5Y-6/1	B	底部30%	回転ナデ	未野産	
試-2	試掘トレンチ	土師質土器 杯	(13.0)	(2.7)	-	ABDI	褐7.5YR-4/3	B	口縁部20%	直線的に立ち上がる		
試-3	試掘トレンチ	土師質土器 杯	-	(2.5)	-5.8	ABEHN	褐7.5YR-4/6	B	底部30%	やや体部ふくらみ		
試-4	試掘トレンチ	土師器 甕	(16.0)	(9.0)	-	ABIN	にぶい褐7.5YR-5/4	B	上部30%	胸部外面横位ヘラケズリ 口縁部外反		
試-5	試掘トレンチ	土師器 甕	(16.1)	(5.4)	-	ABEK	明赤褐2.5YR-5/6	B	口縁部10%	口縁部外反、口縁部やや「コ」 字状 胸部外面横位ヘラケズリ 口縁部内面指頭圧痕		
試-6	試掘トレンチ	土師器 甕	(13.2)	(4.2)	-	ABK	にぶい褐7.5YR-5/4	B	口縁部10%	口縁部外反 口縁部「コ」字状 胸部外面横位ヘラケズリ		
試-7	試掘トレンチ	土師器 甕	-	(19.8)	-	ABDI	にぶい褐10YR-4/3	B	胸部30%	胸部外面横位ヘラケズリ 胸部内面粘土組織上げ痕		
試-8	試掘トレンチ	須恵器 甕	(36.8)	(2.9)	-	ABEN	灰N-4/1	B	口縁部破片	回転ナデ		
試-9	試掘トレンチ	灰釉陶器 長頸瓶	-	-	-	ABDN	外：灰黄2.5Y/-7/2 内：灰白N-7/	B	胸部破片			
試-10	試掘トレンチ	円筒埴輪 (突帯 径) (18.8)	(8.1)	-	-	AEGN	灰10Y-5/1	B	胸部破片	胸部ハケ目 三ヶ尻古墳群からの流れ込みか		
試-11	試掘トレンチ	石斧	最大長	12.2	最大幅	8.3	最大厚	2.4	重さ	279.0g		結石

V 調査のまとめ

扇状地末端部における土層状況

今回の調査箇所は既存道路の拡張に伴う調査のため、東西方向におよそ300m程度、幅5～8m程度の東西に長い調査箇所であった。この調査箇所は台地を経て、新荒川扇状地の扇端周辺の地域であり、これらに対して平行に調査区画を設けることができたため、地形上の調査の点でも貴重な成果を得ることができた。

まず、調査箇所の東端にあたるA区～B区にかけて、灰褐色土の確認面に小礫（直径1cm～5cm）を多量に含む覆土であり、その上に包含層、洪水層と相互に重なり合うように堆積している。

しかし、C区以降、西へ進むにつれ、次第に確認面からは小礫が減り、今度はソフトローム土の微粒子を含む灰褐色土が検出され、その上に包含層、洪水層と堆積するようになる。

そして、調査区西のE区以西では確認面は完全にソフトローム土となり、小礫は全く確認できなくなる。この周辺でテストピットとしてソフトローム土を掘り込むと、およそ30～40cmから礫層を確認することができる。

これらのことから、今回の発掘箇所はちょうど櫛引台地と新荒川扇状地における扇端部分でも、低地への落ち込み部分と考えられるため、地形観察の上でも大変参考となった調査であった。平面上からは、ほぼ平坦であり、台地と扇状地部分の高低差はほとんどなく、平面からその違いをうかがい知ることは、難しい。しかしながら、今回の調査によって、現在の熊谷西高等学校あたりを境に台地と扇状地が低地へと落ち込む部分に分けられるということが分かった。

河川跡からの周辺集落とのつながり

調査区のうちC区では調査区の東壁沿いに河川跡と考えられる溝跡を検出した。南北方向に走っており、若干ではあるが南へ傾斜がある。検出できたのは溝跡中央部分から右岸のみで、左岸側は調査区域外であった。土層の堆積状況から判断すると、堆積は水平堆積によるものが大部分であり、一部レンズ堆積であり、このことから自然堆積によるものであることが分かる。土壌はほとんどが黒褐色、暗灰褐色の粘質が繰り返し相互に堆積しており、底部にいたると、砂質となる。右岸の溝跡の立ち上りは現地表面下から65cm下であり、堆積状況から近世に至るころまでの間に完全に埋まったと考えられる。また想定される溝跡の幅は約6m程度であり、それらのことから河川跡と判断することができる。おそらく、荒川の支流であっただろうと推測できる。このことは、荒川の氾濫のみならず、荒川の流路跡自体もこの周辺を通過していたことを、伺い知る資料の一つと捉えることができる。

なお、現在この河川跡の隣接する東の調査区域外には、この河川跡と平行して、農業用水が流れている。この周辺は現在では農地改良を行い、区画整理され、コンクリートで舗装されているが、数十年前には未整備であり、農業用水路はなく、小川のような河川がやや蛇行した自然河川がそのまま水路として利用されていたことが過去の資料（昭和44年発効国土基本図）からわかる。したがって、この農業用水路はもともとあった流路を利用し、整備されたものだということになり、今回の調査で確認され

た河川跡はその流路跡の過去における名残と推測できる。今回の調査により、過去の流路跡の検出と現在の水路跡の経緯を知る上においても、興味深いものとなった。

集落展開について

本調査において16軒の竪穴式住居跡および7軒の掘立柱建物跡を確認することができた。時期的に幾分か違いがあるものの、その多くが9世紀から10世紀に位置し、その多くが今回調査をした箇所の中央に寄っている。(F区にも住居跡が存在するが、いずれも7世紀から8世紀代の時期に位置すると推測される。)その中央部であるC区には第1号河川跡が存在する。この河川跡を中心にして東西におよそ200mの幅で住居が存在することから、水を求めて、漁労を生業とするため、その両岸に定住し、集落を築いていったものと考えられる。河川跡の東はおよそ130m進むと谷地形となり落ち込み、人の痕跡を探る遺構は、極めて希薄になる。西は100m進むと、大きな溝跡である第10号溝跡(F区)が出現し、それより以西は極端に遺構が少なくなる。そのことから、集落の大まかな範囲を示すことができ、河川跡を挟んで集落が展開されていたことがわかる。生活スタイルをうかがい知る遺物もいくつか出土しており、多くの住居跡からは、土錘が出土している。中でも第7号住居跡からは、21点もの土錘が確認できた。このことから、漁労を生業としていたことが確信でき、先に説明した河川跡がその活動場所であったのであろう。

さらに、遺物からは、灰釉陶器や緑釉の欠片も出土しており、当時の一般住居としては考えにくい遺物である。また、第10号溝跡からは風字硯として捉えることができる硯も検出されており、これがこの地域で使われていたということになれば、文字を書くことができる役人に近い役職の人物たちが居たことになる。今回の調査ではそれをほのめかすような建物跡として、第1号掘立柱建物跡が検出している。全容の確認は残念ながらうかがい知ることができないが、規模から考えて、明らかに官衙などに類することができる建物跡と考えられる。しかしながら、この周辺の集落の性格を述べるにあたっては、まだまだ周辺の調査が必要であり、今後の調査に期待することとしたい。今回の調査において、結論を出すことはできなかったが、今後の調査資料の一躍を担えれば幸いである。

引用・参考文献

熊谷市 1963 『熊谷市史』前編

2014 『熊谷市史 資料編1 考古』

妻沼町 1977 『妻沼町史』

熊谷市教育委員会 2011 『熊谷市史研究 第3号』

国土地理院 2011 『治水地形分類図』-D1-N o. 727-

熊谷市教育委員会 1984 『三尻遺跡群 上辻・下辻遺跡』

1985 『三尻遺跡群 黒沢館跡・樋ノ上遺跡』

- 1986 『三尻遺跡群 若松遺跡・黒沢遺跡・東遺跡』
- 1988 『三尻遺跡群 社裏遺跡・社裏北遺跡・社裏南遺跡』
- 1992 『西別府廃寺』
- 1994 『西別府廃寺（第二次）』
- 2000 『寺東遺跡・別府氏館跡』
- 2000 『西別府祭祀遺跡』
- 2002 『三ヶ尻遺跡Ⅱ』
- 2003 『一本木前遺跡Ⅳ』
- 2004 『籠原裏遺跡』
- 2005 『籠原裏古墳群』
- 2006 『拾六間後遺跡』
- 2013 『西別府祭祀遺跡 西別府廃寺、西別府遺跡総括報告書Ⅰ』
- 2015 『籠原裏古墳群Ⅳ・籠原裏遺跡Ⅲ』

- (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 1983 『三ヶ尻天王・三ヶ尻林(1)』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第23集
 - 1984 『三ヶ尻林(2)・台』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第34集
 - 1986 『樋の上遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第59集
 - 1987 『下辻遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第69集
 - 1989 『新田裏・明戸東・原遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第85集
 - 1990 『東川端遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第94集
 - 1991 『小敷田遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第95集
 - 1998 『樋の上/皇山』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第205集

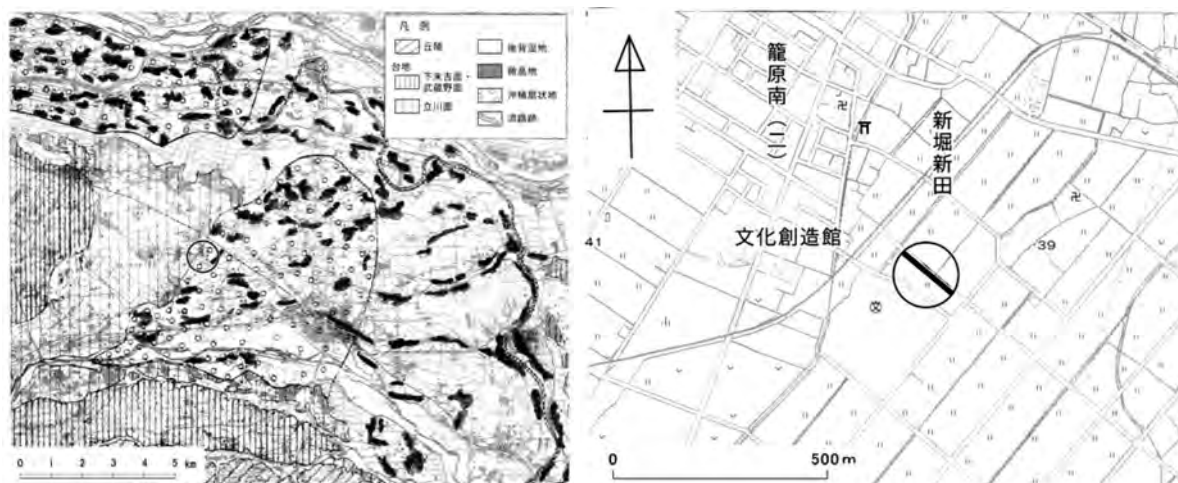
附編 樋の上遺跡の地形と地質

清水康守・小勝幸夫・小川政之・武藤博士

1. 地形と地質

(1) 地形

樋の上遺跡は櫛引台地の拾六間にある三ヶ尻中学校から、県立熊谷西高校の方向に延びる広大な遺跡である。この発掘調査は、2015年度に同高校の北東部に北西から南東に走る道路に沿って進められた(第98図)。樋の上遺跡はその大部分が櫛引台地上に位置し、北東のごく一部分が新期荒川扇状地にあっている。台地と新期荒川扇状地との比高はほとんどなく、両者が連続していくように見える平坦な地形となっている。



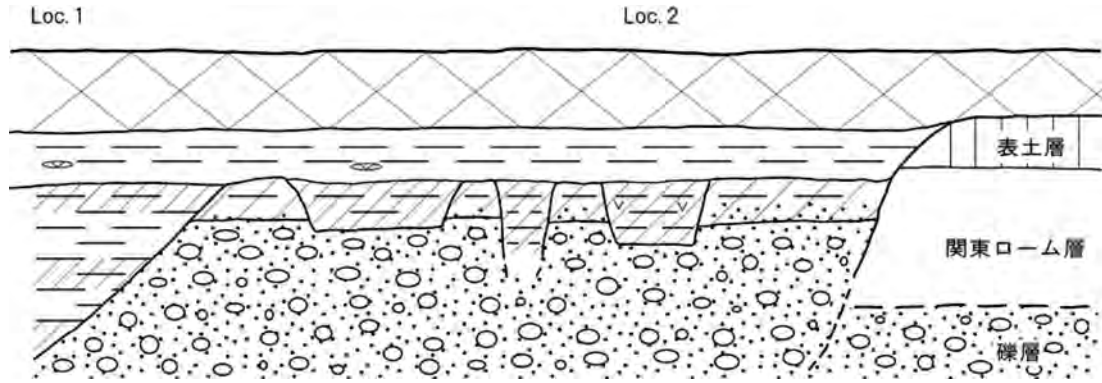
第98図 周辺の地形区分図(左)、及び遺跡位置図(右) ※丸印部分が遺跡位置

新期荒川扇状地は、その扇頂が現荒川の植松橋の約1km下流の位置となる扇状地である。

そのため、扇頂より北東方向に同心円状に高度を下げる地形となっている。玉井堰用水沿いの西側に遺跡周辺の高度(水田に絞って)分布をみると、三ヶ尻の東で42~43m、久保島の西で39~40mとなっている。また、扇状地上の河川は分流することが一般的である。新期荒川扇状地でも、分流した河川は現荒川をはじめ、忍川・星川・玉井堰用水路(下流で余計掘など)などが主なものであり、時代により荒川本流が違っていたためと考えられる。荒川の本流がどれであったのかは、縄文時代以降について、推定されている(清水、2015)。玉井堰用水路に沿う地域は、古代から中世前期の間に荒川本流沿いに栄えた地域といえる。すなわち、樋の上遺跡は古代から中世前期を主体にした遺跡といえるのである。

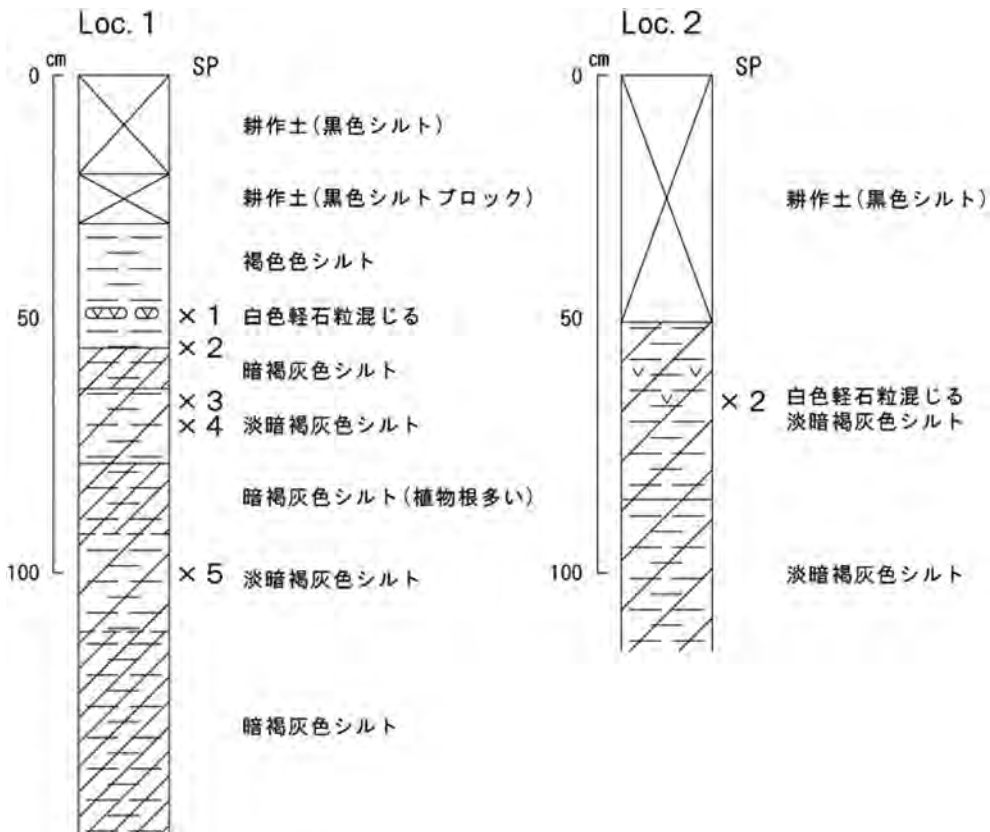
(2) 地質

遺跡発掘に伴い、地質調査を実施し、その結果、遺跡の地質は第2図のようにまとめることができた。発掘された樋の上遺跡の地質は、北西端(第2図の右側)の関東ローム層が分布する台地部と南東側(第2図の左側)の低地の扇状地部に分けることができる。両者は高度がほぼ同じため、地表から一見しただけでは、区分することが難しい。低地部には、第2図に示したように、新期荒川扇状地の礫層の上に、台地上から連続する薄いシルト質粘土層が覆っているところが大部分である。



第 9 9 図 模式地質断面図

主な調査地点の地質柱状図について、第 1 0 0 図に示した。Loc. 2 地点は数多くみられた遺構の一つである。ここでは、地表から 1 m20cm の位置に扇状地の礫層があり、礫層を遺構の覆土層が覆っている。Loc. 1 地点は流路跡であり、厚いシルト質粘土層が分布している。上部の褐灰色シルト層は水田土壌と考えられるもので、褐色の植物のひげ根状の褐鉄鉱の模様が認められた。また、この中には 1 mm 前後の灰白色軽石が混入していた。この下には腐食の集積により黒ずんだ地層が分布している。しかしよく見ると、暗褐灰色と淡暗褐灰色のシルトが交互に繰り返していることが分かる。これの形成機構を考えると、まず、暗褐灰色と淡暗褐灰色のシルトの一セットの地層が洪水などで堆積した。その後、暗褐灰色のシルト層が地表になった時に、何年間も地表に繁茂した植物などがもととなり、腐食が集積し、暗褐灰色シルト層が形成される。以上のことが、何回か繰り返されたためと考えられる。



第 1 0 0 図 地質柱状図

2. 自然科学的分析

(1) 分析方法

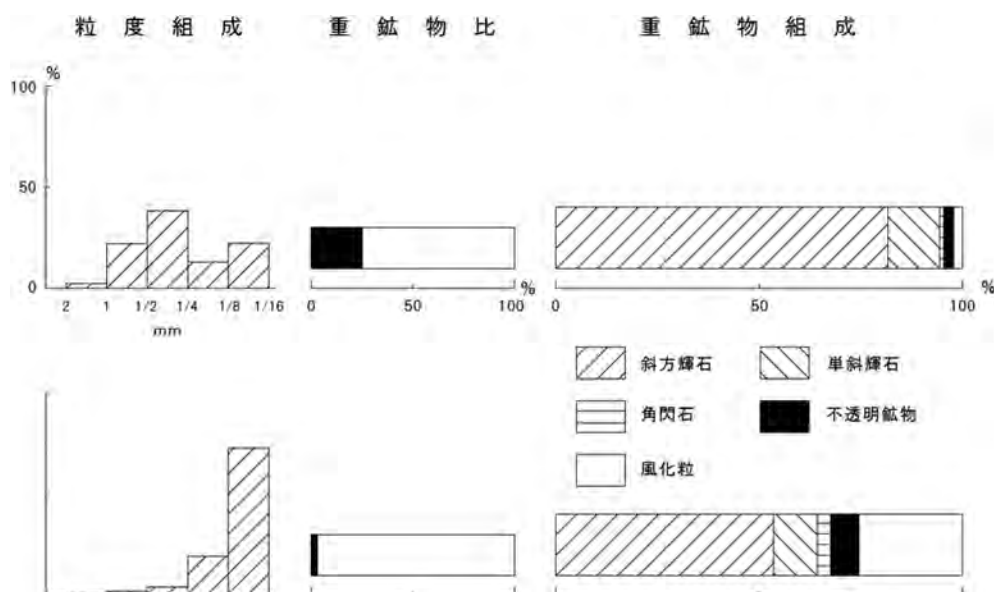
分析方法について略述する。試料はよく乾燥し、秤量後、水中で篩分けをする。使用する篩は1φごとのものである。乾燥後、秤量し、砂の粒度組成を求めた。また、全ての砂の量の合計を基に、試料中の砂成分の割合（砂分比）も求めた。火山灰分析では、まず、各粒度ごとの砂粒子を観察する（主に双眼実体顕微鏡で）。その他、細粒砂について重液としてブロムホルムを用いて、重鉱物と軽鉱物に分け、秤量後、重鉱物比を求めた。その後、重鉱物と軽鉱物のプレパラートを作り、偏光顕微鏡で鉱物の同定と計数を実施し、重鉱物組成などを求めた。

岩片組成では、中粒砂以上に岩片が多く含まれるため、篩分けで洗った中粒砂以上の砂を双眼実体顕微鏡で検鏡し、同定と計数を実施した。

(2) 火山灰分析

遺跡の地質調査で、地層中に火山灰がみられたのはLoc. 1地点とLoc. 2地点であった。

Loc. 1地点の上部の灰褐色のシルト層中の白色軽石がやや多く混じるもの（sp. 1）である。この軽石は遺跡全体の水田耕作土中の灰色シルト質粘土中に認められた。もう一つは、Loc. 2地点の耕作土下の遺構覆土の淡暗灰色シルト層中に点在する白色軽石（sp. 2）である。これらを分析すると第101図のようになる。



第101図 火山灰分析 (Loc. 1-sp1 (上)、Loc. 2-sp2 (下))

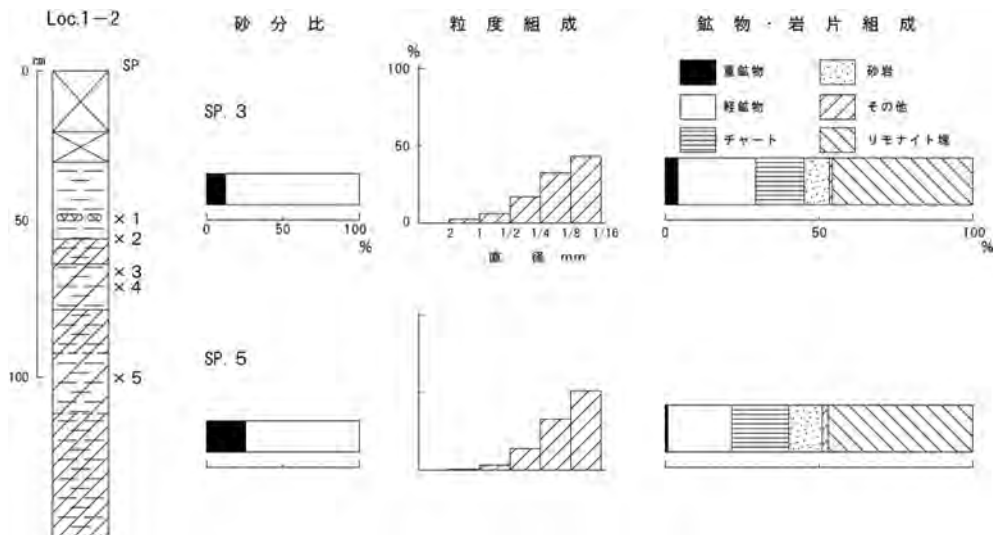
Loc. 1地点のsp. 1の粒度組成は、中粒砂（径1/2～1/4mm）が最も多く38%、次いで粗粒砂が22%、極細粒砂が22%となり、細粒砂は14%、極粗粒砂が3%となっている。以上のうち中粒砂以上の砂中には、灰白色の軽石粒子が最も多く、極粗粒砂・粗粒砂中はほとんどが灰白色の軽石粒子が占めている。重鉱物比が25%と大きく、重鉱物組成が斜方輝石が83%・単斜輝石が11%となる両輝石型の火山灰は浅間火山特有のものである。極細粒砂が22%と多くなっているのは、泥の中に混入していたためであると考えられる。粗粒砂・中粒砂が多い浅間の火山灰は天明3年の噴出火山灰、浅間-Aといえる。

Loc. 2 地点のsp. 2 の試料は粒度組成をみると、極細粒砂が73%と非常に多くなっている。中粒砂以上の砂は少なく、含まれる灰白色の軽石の量も少ない。細粒砂の重鉱物比も3%と小さな値となっている。重鉱物組成は両輝石型のものであるが、風化粒が多く、純粋な火山灰層に近いものとはいえない。よって、この層は浅間-Bを含んでいる可能性があるが、軽石も量的に少なく、確実とは言い難い。

(3) 岩片組成

従来より、礫を含んだその地層を、その礫種同定から供給源の推定を行うことは、普通にやられていた。しかし、礫よりも小さい砂や泥という堆積物から砂粒を洗い出し、その岩片を同定し、供給源を推定することはあまりやられていなかった。

本稿では、分析方法で示した方法で、Loc. 1 地点のsp. 3 と sp. 5 の泥から砂を洗い出して、双眼実体顕微鏡で同定した。同定に用いた砂の粒子は直径1/2～1/4mmの中粒砂である。経験的に直径1/4mm以上の砂には岩片を多く含むことがその理由である。



第102図 岩片組成図

sp. 3は砂成分が12.3%, sp. 5は25.3%やや多めに砂を含む泥層である。粒度組成をみると、両者とも粗粒砂から極細粒砂へと順次多くなる、泥層特有の粒度分布になっていることが分かる。岩片組成は両者ともに似た組成を示している。最も多いのが、高師小僧と呼ばれる植物の地下茎や根に褐鉄鉱が集積して硬くなったものをリモナイト塊として示した。また、20～30%の鉱物（重鉱物と軽鉱物）粒を含んでいる。岩片としては、チャートとあらわした珪質岩が多く、次いで砂岩が多くなっている。注目することは、両者とも、結晶片岩を少量含んでいることである。

岩片組成からわかることは、火山岩片を含まず、チャート・砂岩を主体にし、結晶片岩を含む点である。この礫種は、荒川の礫の特徴であり、流路堆積物が荒川の堆積物であると結論できる。

[引用文献]

清水康守 (2015) 地理と古環境。「熊谷市史 資料編1 考古」, 3-18, 熊谷市

写 真 图 版



A区調査区全景（東から）



第1号住居跡（南から）（A区）



第2号住居跡検出遺物（南から）（A区）



第2号住居跡（南から）（A区）



B区調査区全景（西から）

図版 2



第3号住居跡（西から）（B区）



第4号住居跡 検出遺物(西から)(B区)



第4号住居跡（南から）（B区）



第4号住居跡 遺物検出(西から)(B区)



P-8グリッド付近（南から）（B区）



Q-7グリッド付近（南から）（B区）



C区調査区全景（東から）



第1号河川跡土層断面（北東から）（C区）



第1号河川跡（北から）（C区）



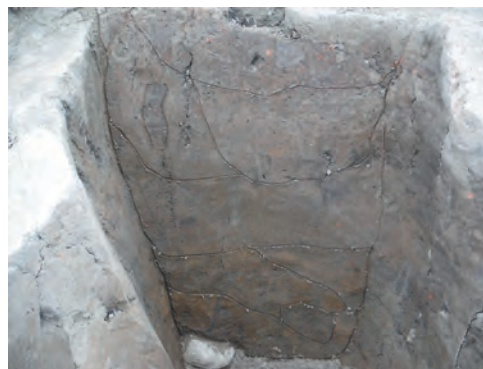
第5号住居跡（西から）（C区）



第5号住居跡 カマド土層（C区）



第5号住居跡出土遺物（C区）



火葬跡01 土層断面（北から）（C区）

図版 4



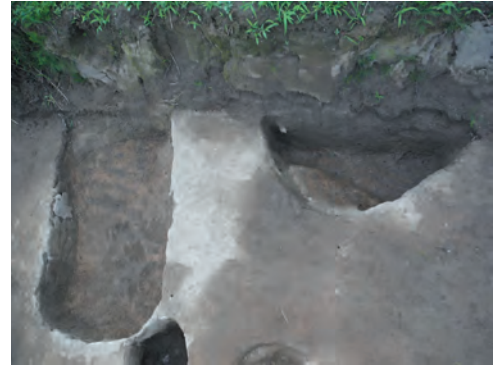
第6号住居跡（南から）（C区）



第7号住居跡 カマド土層断面（C区）



第7号住居跡（南から）（C区）



第24.25号土坑（北から）（C区）



火葬跡01（北から）（C区）



M-13グリッド付近(南から)（C区）



N-11グリッド付近(南から)（C区）



D区調査区全景（西から）



第6号溝跡・第1号掘立柱建物跡 土層断面(D区)



第1号掘立柱建物跡（南から）(D区)



第6号溝跡（南から）(D区)



SB01-ピット土層断面(D区)



SB01-ピット(南から)(D区)



第8号住居跡（南から）（D区）



第8号住居跡検出遺物（D区）



第9号住居跡（南から）（D区）



第9号住居跡検出遺物（D区）



火葬跡02 遺物検出状況（D区）



火葬跡02（南から）（D区）



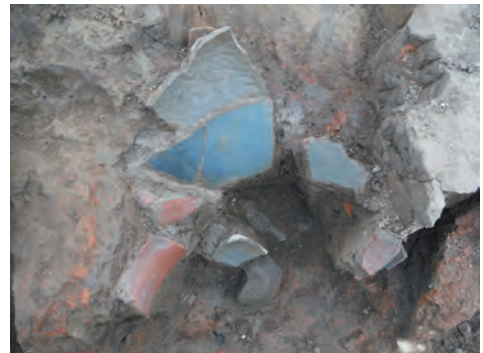
火葬跡02 遺物検出状況（D区）



第10. 11号住居跡（南から）（E区）



第11号住居跡 カマド土層断面（E区）



第11号住居跡 カマド検出遺物（E区）



第12号住居跡（北から）（E区）



第11号住居跡 カマド状況（E区）



F-21グリッド付近（南から）（E区）



第13号住居跡（南から）（E区）



F区調査区全景（東から）



第16号住居跡（東から）（F区）



第14号住居跡（東から）（F区）



第9号溝跡（南から）（F区）



第10号溝跡（南から）（F区）



第15号住居跡（南から）（F区）



第12图-1.2.3 (上)
-4.5 (下) (S I O 1)



第12图-7.8 (上)
-9.11 (下) (S I O 1)



第12图-9 (S I O 1)



第12图-10 (S I O 1) 第12图-6 (S I O 1)



第12图-12 (S I O 1)



第14图-1 (S I O 2)



第14图-2 (S I O 2)



第14图-3 (S I O 2)



第14图-4 (S I O 2)



第14图-5.6.7 (S I O 2)



第14图-9 (S I O 2)



第16图-1 (S I O 3)



第16图-3 (S I O 3)



第16图-5 (S I O 3)



第16图-6 (S I O 3)



第18图-1 (S I O 4)



第18图-2. 3. 4. 6. 7 (上)
-9. 10. 11 (下) (S I O 4)



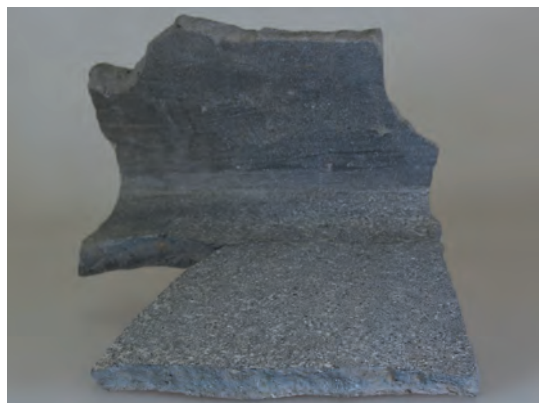
第18图-14. 15. 16 (S I O 4)



第18图-5 (S I O 4)



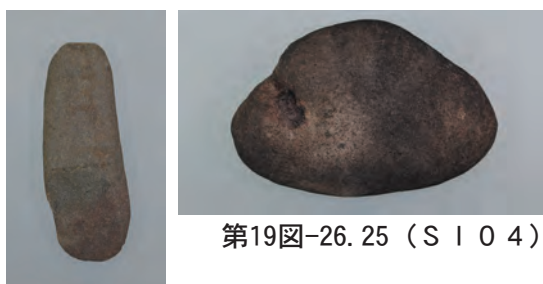
第18图-8 (S I O 4)



第18图-17 (S I O 4)



第19图-20 (S I O 4)



第19图-26. 25 (S I O 4)



第19图-21. 22. 23. 24 (S I O 4)



第21図-3 (S I O 5)



第21図-12 (S I O 5)



第21図-1. 2. 14 (S I O 5)



第21図-13 (S I O 5)



第21図-4. 5. 6. 7 (上)
-8. 9. 10. 11 (下) (S I O 5)



第24図-2 (S I O 7)



第24図-6 (S I O 7)



第24図-7 (S I O 7)



第24図-22 (S I O 7)



第24図-1. 3. 4. 5 (上)
-8. 9. 10 (下) (S I O 7)



第24图-11. 12. 13. 14 (上)
-15. 16. 17 (中)
-18. 19. 20. 21 (下) (S I O 7)



第24图-26. 27. 28 (上)
-29. 30. 32 (下) (S I O 7)



第25图-35. 36. 37 (S I O 7)



第24图-23. 24. 25 (S I O 7)



第25图-35~58 (S I O 7)



第26图-59. 60. 61 (上) 第25图-29
-62. 63. 64 (下) (S I O 7) (内面: 压痕) (S I O 7)



第28图-1 (S I O 8)



第28图-3 (S I O 8)



第28图-9 (S I O 8)



第28图-10 (S I O 8)



第28図-11 (S I O 8)



第28図-12 (S I O 8)



第28図-13 (S I O 8)



第28図-14 (S I O 8)



第28図-15 (S I O 8)



第28図-4. 5. 6 (上)
-7. 8. 9 (下) (S I O 8)



第28図-16. 17. 18 (S I O 8)



第29図-1. 2. 3 (S I O 9)



第31図-3 (S I 1 0)



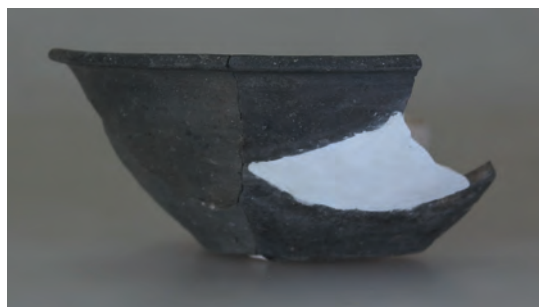
第31图-4 (S | 10)



第31图-5 (S | 10)



第31图-6 (S | 10)



第31图-8 (S | 10)



第31图-14 (S | 10)



第31图-18 (S | 10)



第31图-19 (S | 10)



第31图-22 (S | 10)



第31图-23 (S | 10)



第31图-7. 9. 10. 11 (上)
-12. 13. 15. 16 (中)
-17. 20. 21 (下) (S | 10)



第31図-24 (S I 1 0)



第31図-25 (S I 1 0)



第31図-26 (S I 1 0)



第32図-40 (S I 1 0)



第32図-34. 35 (S I 1 0)



第32図-41. 42. 43 (S I 1 0)



第34図-2 (S I 1 1)



第34図-6 (S I 1 1)



第34图-7 (S | 1 1)



第34图-8 (S | 1 1)



第34图-11 (S | 1 1)



第34图-1. 3. 4. 5 (上)
-9. 10. 12. 20 (下) (S | 1 1)



第34图-14. 15 (上)
-17. 18 (下) (S | 1 1)



第34图-13. 21. 22 (S | 1 1)



第36图-1. 2. 3. 4. 5 (S | 1 3)



第36图-6 (S | 1 3)



第38図-2 (S I 1 4)



第38図-4 (S I 1 4)



第38図-6 (S I 1 4)



第38図-1.5.7 (S I 1 4)



第41図-P4-1 (S B 0 1)



第41図-P2-2 (S B 0 1)



第41図-P2-1.3、P8-1 (S B 0 1)



第41図-P1-1、P2-5 (S B 0 1)



第50図-2 (S D 0 3)



第50図-7 (S D 0 3)



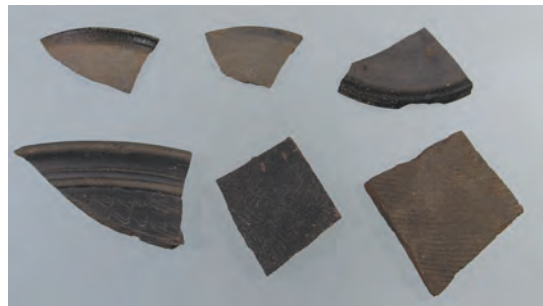
第50图-12 (SD 0 3)



第50图-3. 4. 5. 6 (上)
-8. 9. 13. 14 (下) (SD 0 3)



第53图-1. 2 (上)
-3. 4 (下) (SD 0 6)



第53图-9. 10. 12 (上)
-13. 14. 15 (下) (SD 0 6)



第53图-16. 21 (SD 0 6)



第53图-17. 18. 19. 20 (SD 0 6)



第55图-1 (SD 1 0)



第55图-2 (SD 1 0)



第55図-4 (SD 10)



第55図-11 (SD 10)



第55図-24 (SD 10)



第55図-25 (SD 10)



第55図-26 (SD 10)



第55図-3. 5. 6. 7 (上)
-8. 9. 10 (下) (SD 10)



第55図-12. 13. 14. 15 (上)
-16. 17. 18. 19 (中)
-20. 21. 22. 23 (下) (SD 10)



第55. 56図-30. 32 (上)
-38. 39 (下) (SD 10)



第56図-41 (SD 10)



第56図-42~46 (SD 10)



第58图-1-2 (火葬跡)



第58图-2-7 (火葬跡)



第58图-2-2. 3. 5 (上)
-6. 11 (下) (火葬跡)



第58图-2-10 (火葬跡)



第67图-16-3 (S K 1 6)



第67图-16-4 (S K 1 6)



第68图-38-1 (S K 3 8)



第68图-38-2 (S K 3 8)



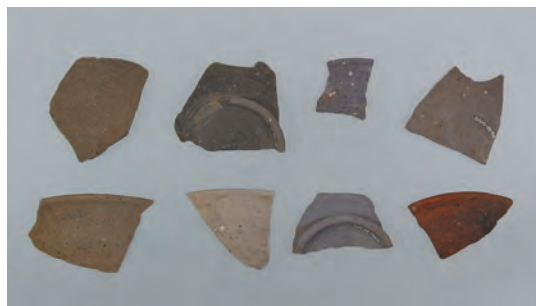
第69图-46-3 (S K 4 6)



第69图-48-1 (S K 4 8)



第69図-48-2 (S K 4 8)



第67図-12-1. 14-1. 15-1 (上)
16-1. 2. 5. 6. 18-1 (下) (S K)



第68. 67図-38-3. 14-2 (S K)



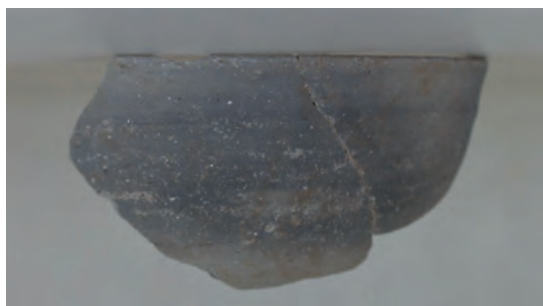
第85図-100-1 (P 1 0 0)



第85図-100-4 (P 1 0 0)



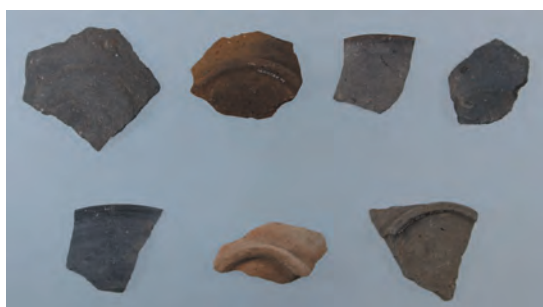
第85図-186-1 (P 1 8 6)



第85図-186-2 (P 1 8 6)



第85図-98-1 (P 9 8)



第84. 85図-75-1. 77-1. 2. 3 (上)
88-1. 96-1. 97-2 (下) (P I T)



第84図-69-1. 89-1. 76-1 (P I T)

報告書抄録

ふりがな	ひのうえいせき2							
書名	樋の上遺跡II							
副書名	埼玉県熊谷市教育委員会埋蔵文化財調査報告書 第22集							
巻次	幹線第3号線道路改良事業地内遺跡発掘調査報告書							
シリーズ名	—							
シリーズ番号	—							
編集者名	吉野 健 腰塚 博隆							
編集機関	埼玉県熊谷市教育委員会							
所在地	〒360-8601 熊谷市宮町2-47-1 TEL048-524-1111							
発行年月日	西暦2016(平成28)年3月25日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収年月日	所在地	市町村	遺跡番号	(°′″)	(°′″)			
ひのうえいせき 樋の上遺跡	くまがやし 熊谷市三ヶ尻字樋上 2083番2ほか	11202	059-018	36° 16′ 47″	139° 33′ 38″	20140423 ~ 20140809	2,356	道路改良 工事
所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
樋の上遺跡	集落跡	奈良・平安時代	竪穴式住居跡・掘立柱建物跡・河川跡・溝跡・土坑・火葬跡	土師器・須恵器 灰釉陶器、土錘		9世紀~10世紀ごろの集落跡 集落境界溝、河川跡		

埼玉県熊谷市教育委員会埋蔵文化財調査報告書 第22集

樋の上遺跡

平成28年3月25日発行

発行／埼玉県熊谷市教育委員会

印刷／大屋印刷株式会社

